

令和2年度

歳入歳出決算にかかる
主要な施策の成果説明書

宇 治 市

目 次

はじめに	1
令和2年度の決算概要	1
(1) 各会計決算額	2
(2) 普通会計決算状況	3
(3) 地方公共団体の財政の健全化に関する法律について	6
(4) 都市計画税の使途	8
(5) 全会計市債等現在高	8
(6) 地方消費税交付金（社会保障財源化分）が充てられる社会保障4経費 その他社会保障施策に要する経費	9
(7) 令和2年度 普通会計決算状況調書	10

部門別決算成果概要

1 危機管理室	12
2 市長公室	17
3 政策経営部	23
4 総務部	31
5 産業地域振興部	38
6 人権環境部	76
7 福祉こども部	90
8 健康長寿部	145
9 建設部	186
10 都市整備部	202
11 教育部	223
12 消防本部	263
13 その他	269
議会事務局	269
選挙管理委員会事務局	270
監査委員事務局	271
公平委員会事務局	271
固定資産評価審査委員会事務局	272
農業委員会事務局	272
14 用品調達基金運用状況表	273

はじめに

本説明書(歳入歳出決算にかかる主要な施策の成果説明書)は、地方自治法第233条第3項の規定により、市長が決算を議会の認定に付すにあたり、同条第5項の規定により施策の成果を説明するものである。各会計の決算規模及び総務省地方財政状況調査基準に基づく普通会計(一般会計と墓地公園事業特別会計の合計額から各会計相互間の重複額等を控除したもの)の決算概要と、令和2年度の主要な施策の成果について部門毎に取りまとめたものである。

令和2年度の決算概要

令和2年度各会計歳入歳出決算の状況は、(1)各会計決算額のとおりとなっている。

また、令和2年度普通会計決算状況は、歳入の主な状況を分析すると、基幹歳入である地方税が、前年度から3億1,066万9千円(△1.3%)の減額となった。国庫支出金は、特別定額給付金給付事業費補助金や新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金などの影響により、前年度から224億2,857万7千円(182.4%)の増額となった。

歳出を目的別に分析すると、前年度から、総務費は、特別定額給付金給付事業費などの影響により、193億2,116万5千円(358.9%)、民生費は、ひとり親家庭臨時特別給付金給付事業費などの影響により、12億7,143万6千円(4.4%)、土木費は、お茶と宇治のまち歴史公園交流ゾーンの整備などの影響により、8億6,887万4千円(12.8%)、教育費は、児童生徒1人1台端末の整備などの影響により、12億6,907万4千円(20.7%)の増額となった。

また、歳出を性質別に分析すると、人件費は、会計年度任用職員制度の導入などの影響により、前年度から14億692万7千円(11.9%)の増額、物件費は、前年度から1億343万2千円(△1.7%)の減額、補助費等は、前年度から198億9,739万6千円(379.9%)の増額となった。なお、お茶と宇治のまち歴史公園交流ゾーンの整備や黄檗公園の再整備、JR奈良線複線化事業補助金などの影響により、普通建設事業費は、前年度から23億1,129万7千円(55.6%)の増額、災害復旧事業費は、前年度から2,601万7千円(皆減)の減額となった。

(1) 各会計決算額

(単位：千円)

会計名	年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引	繰越財源	実質収支	単年度収支
一般会計	令和2年度	87,359,686	86,516,727	842,959	173,859	669,100	153,565
	令和元年度	63,732,483	62,976,478	756,005	240,470	515,535	230,248
	差引	23,627,203	23,540,249	86,954	△ 66,611	153,565	△ 76,683
国民健康保険 事業特別会計	令和2年度	17,683,672	17,683,672	0	0	0	0
	令和元年度	18,770,809	18,770,809	0	0	0	0
	差引	△1,087,137	△1,087,137	0	0	0	0
後期高齢者医療 事業特別会計	令和2年度	3,131,624	3,123,258	8,366	0	8,366	△ 3,502
	令和元年度	2,920,122	2,908,254	11,868	0	11,868	△ 76,533
	差引	211,502	215,004	△ 3,502	0	△ 3,502	73,031
介護保険事業 特別会計	令和2年度	16,038,811	15,424,626	614,185	0	614,185	179,664
	令和元年度	15,269,546	14,835,025	434,521	0	434,521	203,274
	差引	769,265	589,601	179,664	0	179,664	△ 23,610
墓地公園事業 特別会計	令和2年度	162,924	162,924	0	0	0	0
	令和元年度	44,892	44,892	0	0	0	0
	差引	118,032	118,032	0	0	0	0
水道事業会計 (収益的収支)	令和2年度	3,945,612	3,704,638	240,974			
	令和元年度	3,921,905	3,570,900	351,005			
	差引	23,707	133,738	△ 110,031			
水道事業会計 (資本的収支)	令和2年度	2,220,858	3,099,620	△ 878,762			
	令和元年度	2,048,569	2,935,558	△ 886,989			
	差引	172,289	164,062	8,227			
公共下水道 事業会計 (収益的収支)	令和2年度	5,609,073	5,397,925	211,148			
	令和元年度	5,357,672	5,182,154	175,518			
	差引	251,401	215,771	35,630			
公共下水道 事業会計 (資本的収支)	令和2年度	4,367,214	6,046,721	△1,679,507			
	令和元年度	4,366,999	5,883,596	△1,516,597			
	差引	215	163,125	△ 162,910			

(2) 普通会計決算状況

総務省地方財政状況調査における普通会計の決算状況については、次のとおりである。

ア 歳入決算状況

	2年度決算額 (千円)	構成比 (%)	元年度決算額 (千円)	構成比 (%)	増減額 (千円)	伸び率 (%)
地方税	24,090,098	27.6	24,400,767	38.4	△310,669	△1.3
うち個人市民税	10,071,432	11.5	10,080,253	15.9	△8,821	△0.1
うち法人市民税	1,463,566	1.7	1,797,309	2.8	△333,743	△18.6
うち固定資産税	9,636,616	11.0	9,598,823	15.1	37,793	0.4
地方譲与税	349,993	0.4	348,151	0.5	1,842	0.5
利子割交付金	23,355	0.1	22,436	0.1	919	4.1
配当割交付金	160,532	0.1	181,547	0.3	△21,015	△11.6
株式等譲渡所得割交付金	178,846	0.2	99,272	0.1	79,574	80.2
地方消費税交付金	3,654,413	4.1	2,954,060	4.6	700,353	23.7
ゴルフ場利用税交付金	26,606	0.1	30,788	0.1	△4,182	△13.6
自動車取得税交付金	409	0.1	85,328	0.1	△84,919	△99.5
自動車税環境性能割交付金	52,749	0.1	21,172	0.1	31,577	149.1
法人事業税交付金	109,716	0.1			109,716	皆増
地方特例交付金	191,719	0.2	422,973	0.7	△231,254	△54.7
地方交付税	7,157,774	8.2	7,354,043	11.5	△196,269	△2.7
普通交付税	6,811,350	7.8	7,002,655	11.0	△191,305	△2.7
特別交付税	346,424	0.4	351,388	0.5	△4,964	△1.4
交通安全対策特別交付金	22,653	0.1	21,812	0.1	841	3.9
分担金及び負担金	231,235	0.3	288,045	0.5	△56,810	△19.7
使用料	1,084,835	1.2	1,285,336	2.0	△200,501	△15.6
手数料	111,316	0.1	129,050	0.2	△17,734	△13.7
国庫支出金	34,728,215	39.8	12,299,638	19.4	22,428,577	182.4
国有提供施設等所在市町村 助成交付金	70,179	0.1	70,179	0.1	0	0.0
府支出金	5,402,413	6.2	5,157,413	8.1	245,000	4.8
財産収入	210,726	0.2	44,641	0.1	166,085	372.0
寄付金	190,823	0.2	121,188	0.2	69,635	57.5
繰入金	120,759	0.1	194,821	0.3	△74,062	△38.0
繰越金	756,005	0.9	471,758	0.7	284,247	60.3
諸収入	2,751,598	3.1	2,879,128	4.5	△127,530	△4.4
地方債	5,610,500	6.4	4,643,500	7.3	967,000	20.8
うち臨時財政対策債	2,103,500	2.4	2,248,300	3.5	△144,800	△6.4
歳入合計	87,287,467	100.0	63,527,046	100.0	23,760,421	37.4
うち一般財源等	42,079,726	48.2	39,707,247	62.5	2,372,479	6.0
うち経常一般財源等	34,427,532	39.4	34,339,402	54.1	88,130	0.3

イ 歳出決算状況

目的別決算状況

	2年度決算額 (千円)	構成比 (%)	元年度決算額 (千円)	構成比 (%)	増減額 (千円)	伸び率 (%)
議会費	430,738	0.5	428,308	0.7	2,430	0.6
総務費	24,704,814	28.6	5,383,649	8.5	19,321,165	358.9
民生費	30,388,310	35.1	29,116,874	46.4	1,271,436	4.4
衛生費	5,555,605	6.4	4,819,451	7.7	736,154	15.3
労働費	58,628	0.1	50,891	0.1	7,737	15.2
農林水産業費	310,240	0.4	309,410	0.5	830	0.3
商工費	2,597,235	3.0	2,130,519	3.4	466,716	21.9
土木費	7,645,134	8.8	6,776,260	10.8	868,874	12.8
消防費	2,255,229	2.6	2,202,355	3.5	52,874	2.4
教育費	7,404,603	8.6	6,135,529	9.7	1,269,074	20.7
災害復旧費			26,017	0.1	△26,017	皆減
公債費	5,093,972	5.9	5,391,778	8.6	△297,806	△5.5
歳出合計	86,444,508	100.0	62,771,041	100.0	23,673,467	37.7

性質別決算状況

	2年度決算額 (千円)	構成比 (%)	元年度決算額 (千円)	構成比 (%)	増減額 (千円)	伸び率 (%)
人件費	13,238,946	15.3	11,832,019	18.8	1,406,927	11.9
物件費	5,994,460	6.9	6,097,892	9.7	△103,432	△1.7
維持補修費	645,448	0.7	650,529	1.0	△5,081	△0.8
扶助費	19,774,653	22.9	19,240,554	30.7	534,099	2.8
補助費等	25,134,512	29.1	5,237,116	8.3	19,897,396	379.9
公債費	5,093,972	5.9	5,391,778	8.6	△297,806	△5.5
積立金	583,208	0.7	349,941	0.5	233,267	66.7
投資及び出資金	919,396	1.1	1,291,709	2.1	△372,313	△28.8
貸付金	2,311,813	2.7	2,429,922	3.9	△118,109	△4.9
繰出金	6,276,472	7.2	6,063,233	9.7	213,239	3.5
普通建設事業費	6,471,628	7.5	4,160,331	6.6	2,311,297	55.6
災害復旧事業費			26,017	0.1	△26,017	皆減
歳出合計	86,444,508	100.0	62,771,041	100.0	23,673,467	37.7
うち義務的経費	38,107,571	44.1	36,464,351	58.1	1,643,220	4.5
経常的経費	52,419,616	60.6	52,002,437	82.8	417,179	0.8

ウ 財政構造

令和2年度普通会計決算における各種財政指標は次のとおりである。

- ・財政の豊かさを計る財政力指数（過去3カ年平均）は0.750（元年度0.746）
- ・財政の堅実度を見る実質収支比率は1.9%（元年度1.4%）
- ・財政の弾力性を判断する経常収支比率は96.1%（元年度96.4%）
- ・一般財源の財政上のゆとりを見る経常一般財源等比率は95.3%（元年度96.4%）

エ 基金現在高

基金全体の令和2年度末現在高（普通会計）は、80億5,340万4千円で、前年度から4億8,951万4千円の増額となった。繰入については、公共施設等整備基金を2,950万3千円繰り入れた。一方、積立については、財政調整基金に3億7,149万2千円、将来のまちづくりのために宅地開発等協力寄付金等を原資とする公共施設等整備基金に8,130万円を積み立てた。なお、定額運用基金である土地開発基金の現在高は14億5,030万4千円となった。

基金繰入の状況

(単位：千円)

基金名	基金繰入額	充当事業	充当額
公共施設等整備基金	29,503	J R六地蔵駅改築事業	21,334
		排水路改良事業	5,346
		公園バリアフリー整備事業	2,823
文化事業基金	687	文化センター文化事業補助金	687
ふるさと創生基金	1,128	源氏物語ミュージアム企画展示	1,128
地域福祉振興基金	12,358	一人暮らし高齢者等給配食サービス補助金	1,595
		地域福祉センター再整備事業	10,763
社会福祉事業基金	426	在宅要援護老人対策事業	426
母子福祉基金	16	ひとり親家庭児童中学校卒業祝品支給補助金	16
玉井高齢者福祉事業基金	7	在宅要援護老人対策事業	7
高齢者活動基金	367	高齢者活動事業	184
		公民館活動事業	183
スポーツ振興基金	1,194	スポーツ教室開催	95
		スポーツ大会開催	240
		スポーツ振興基金活用事業	859
中小企業振興基金	240	中小企業振興対策事業	240
大気質測定基金	6,184	自動車排出ガス監視測定局運営事業	6,184
市有製茶機械購入基金	2,145	市有製茶機械貸与	2,145
交通安全事業基金	139	交通安全対策事業	139
火災予防等事業基金	160	火災予防等事業基金活用事業	160
ふるさと応援基金	41,584	東京しぶや連携交流事業	1,600
		源氏ろまん事業	9,300
		生活困窮者等学習支援事業	1,490
		奨学金返還支援事業	2,278
		妊娠・産後支援事業	2,007
		宇治茶商標関連対策事業	3,000
		お茶の京都DMO協議会負担金	12,800
		中学校給食準備事業	495
		文化的景観保護推進事業	2,714
		(仮) お茶と宇治のまち歴史公園史跡ゾーン整備事業	5,900
図書館図書等整備基金	1,500	図書館資料提供事業	1,500
豊かな森を育てる基金	7,920	中学校府内産木材備品等整備事業	7,920

福祉未来基金	7,508	防犯カメラ設置事業補助金	400
		地域共生社会推進事業補助金	900
		ひきこもり相談窓口設置事業	1,500
		障害者コミュニケーションツール整備事業	364
		手話奉仕員養成講座開設事業	81
		健康アライアンス事業	1,628
		妊婦面談事業	1,415
		産後ケア事業	1,220
合 計	113,066		

オ 地方債現在高

令和2年度末における地方債の現在高は441億7,380万5千円となり、前年度から7億2,040万7千円の増加となった。発行額は、一般債が32億7,170万円、減収補てん債が2億3,530万円、臨時財政対策債が21億350万円で、総額56億1,050万円となり、前年度から9億6,700万円の増額となった。

(3) 地方公共団体の財政の健全化に関する法律について

平成19年6月に制定された「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、平成19年度決算から、一般会計等の赤字額の標準財政規模に対する比率である「実質赤字比率」と、一般会計等だけでなく、水道事業や下水道事業など全会計を連結した実質赤字額（資金不足額）の標準財政規模に対する比率である「連結実質赤字比率」、さらに、一般会計等が負担する地方債の元利償還金やそれに準ずる元利償還金の標準財政規模に対する比率である「実質公債費比率」、一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率である「将来負担比率」の4つの健全化判断比率と、水道事業や下水道事業、簡易水道事業の公営企業の経営健全化を判断する指標として、公営企業ごとの資金不足額の事業の規模に対する比率である「資金不足比率」を算定している。

4つの健全化判断比率の数値が、早期健全化基準を超えた場合は、自主的な改善努力による財政健全化に取り組む「財政健全化団体」となり、さらに比率が悪化し、財政再生基準を超えた場合は、国などの関与により確実な財政再生を図る「財政再生団体」となる。

「財政健全化団体」は、議会の議決を経て「財政健全化計画」を定め、市民への公表と、総務大臣、知事への報告が必要となり、毎年度、その実施状況を議会に報告し、公表することが必要となる。

「財政再生団体」は、議会の議決を経て「財政再生計画」を定め、市民への公表を行わなければならない。また、災害復旧事業等を除いた起債が必要な場合は、「財政再生計画」を総務大臣に協議し、その同意を求める必要がある。「財政再生計画」に総務大臣の同意を得た「財政再生団体」は、収支不足額を振り替えるため、地方財政法第5条の特例として、総務大臣の許可を受けて、再生振替特例債を起すことができることとなった。

公営企業については、その資金不足比率が、経営健全化基準以上になった場合は、経営健全化計画を定める必要がある。

※ 標準財政規模：地方公共団体の一般財源の標準規模、標準的な財政規模

ア 健全化判断比率

健全化判断比率	2年度 決算	元年度 決算	早期健全 化基準	財政再生 基準	説明
実質赤字比率	—	—	11.57%	20.00%	一般会計等が黒字か赤字を判断する指標（一般会計等の赤字の標準財政規模に対する比率）
連結実質赤字 比率	—	—	16.57%	30.00%	一般会計だけでなく、国民健康保険や下水道、水道事業などすべての特別会計を対象として、赤字を判断する指標（全会計の赤字の標準財政規模に対する比率）
実質公債費比率	0.6%	1.1%	25.0%	35.0%	市債の元利償還金等の一般会計等に対する負担を判断する指標（一般会計等が、負担しなければならない元利償還金等の標準財政規模に対する比率）
将来負担比率	—	—	350.0%		一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の一般会計等に対する負担を判断する指標（一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率）

※ 実質赤字比率と連結実質赤字比率は、黒字のため「—」で表示している。

※ 将来負担比率は、充当可能財源等が将来負担額を上回り、算定されなかったため「—」で表示している。

イ 資金不足比率

特別会計の名称	2年度決算	元年度決算	経営健全化基準
水道事業会計	—	—	20.0%
公共下水道事業会計	—	—	20.0%

※ 資金不足比率は、各会計で不足額が生じていないため「—」で表示している。

(4) 都市計画税の使途

令和2年度に実施した都市計画税充当対象事業費 19 億 6,621 万 9 千円（下水道事業含む）に対して、都市計画税 16 億 7,910 万 7 千円を次のとおり充当した。

対 象 事 業		都市計画税充当額(千円)
街路事業	府営事業負担金	1,618
	六地蔵地区道路整備事業	55,673
下水道事業	下水道事業	515,365
その他事業	公園バリアフリー整備事業 他	1,502
公債費（下水道事業分含む）		1,104,949
合 計		1,679,107

(5) 全会計市債等現在高

	2 年度末 (千円)	元年度末 (千円)	増減額 (千円)	伸び率 (%)
全会計市債等現在高	94,406,974	92,761,797	1,645,177	1.8
一般会計	44,586,152	44,034,345	551,807	1.3
墓地公園事業特別会計	147,100	19,205	127,895	665.9
水道事業会計	7,581,783	6,709,584	872,199	13.0
公共下水道事業会計	42,091,939	41,998,663	93,276	0.2

(6) 地方消費税交付金（社会保障財源化分）が充てられる社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費

平成26年4月1日より消費税率が5%から8%へ引き上げられたことに伴い、地方消費税交付金の増収分については、その使途を明確化し、社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費に充てるものとされています。

令和2年度一般会計における社会保障施策経費への充当状況については、次のとおりです。

【歳入】地方消費税交付金（社会保障財源化分） 2,037,427千円

【歳出】社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費 20,243,001千円

＜社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費＞ (単位：千円)

事業名	事業費	財源内訳					
		特定財源			一般財源		
		国府支出金	市債	その他	地方消費税交付金 (社会保障財源化分)	その他	
社会福祉	生活保護事業	2,544,800	1,881,975	0	4,256	122,895	535,674
	児童福祉事業	8,952,347	5,056,361	0	415,145	649,559	2,831,282
	母子福祉事業	2,452	0	0	510	362	1,580
	高齢者福祉事業	319,901	5,837	0	25,782	53,796	234,486
	障害者福祉事業	379,897	121,405	0	600	48,125	209,767
	その他社会福祉事業	142,727	12,828	0	4,996	23,308	101,595
	小計	12,342,124	7,078,406	0	451,289	898,045	3,914,384
社会保険	国民健康保険事業	1,325,263	794,085	0	0	99,123	432,055
	後期高齢医療事業	2,681,884	363,984	0	0	432,543	1,885,357
	介護保険事業	2,020,985	0	0	0	377,136	1,643,849
	小計	6,028,132	1,158,069	0	0	908,802	3,961,261
保健衛生	母子保健事業	427,216	129,513	0	3,978	54,812	238,913
	高齢者医療事業	80,049	42,186	0	180	7,032	30,651
	障害者医療事業	746,748	425,389	0	7,463	58,577	255,319
	疾病予防対策事業	459,372	605	0	2,360	85,170	371,237
	健康増進対策事業	96,714	5,843	0	797	16,809	73,265
	その他保健事業	62,646	772	0	18,040	8,180	35,654
	小計	1,872,745	604,308	0	32,818	230,580	1,005,039
合計	20,243,001	8,840,783	0	484,107	2,037,427	8,880,684	

※ 地方消費税交付金（社会保障財源化分）は、各事業に要する一般財源の比率に応じて充当している。

(7) 令和2年度 普通会計決算状況調書

262048	宇治市			
市町村類型	IV - 3			
交付税種地	I - 5			
産業構造	区分	第1次	第2次	第3次
	27国調	574人	19,292人	55,354人
		0.8%	25.6%	73.6%
	22国調	496人	20,332人	55,538人
		0.6%	26.6%	72.7%

(単位:千円)

人口	国調	27年	184,678人	△2.6%	面積	67.54km ²		
		22年	189,609人	0.0%				
		17年	189,591人	0.3%				
	住基	R3.1.1	184,995人	△0.5%	人口集中地区人口	27国調	180,546人	
		R2.1.1	185,878人	△0.7%			22国調	185,499人
		H31.1.1	187,138人	△0.4%			世帯数	R3.1.1

区分		令和2年度	令和元年度	増減率	区分	令和2年度	令和元年度
歳入総額	A	87,287,467	63,527,046	37.4%	財政力指数(単年/3力年)	0.758	0.750
歳出総額	B	86,444,508	62,771,041	37.7%	歳出決算倍率	2.392	1.762
歳入歳出差引(A-B)	C	842,959	756,005	11.5%	実質収支比率	1.9 %	1.4 %
翌年度に繰り越すべき財源	D	173,859	240,470	△27.7%	経常一財等比率	95.3 %	96.4 %
実質収支(C-D)	E	669,100	515,535	29.8%	公債費負担比率	11.5 %	12.9 %
単年度収支	F	153,565	230,248	△33.3%	公債費比率(単年/3力年)	5.0%	5.8%
積立金	G	371,492	152,307	143.9%	起債制限比率(単年/3力年)	4.1%	4.9%
繰上償還金	H	10,301	0	皆増	地方債残高比率	122.3 %	121.9 %
積立金取崩し額	I	0	0	-	実質債務残高比率	132.4 %	133.4 %
実質単年度収支(F+G+H-I)	J	535,358	382,555	39.9%	経常収支比率	96.1 %	96.4 %
基準財政収入額		21,420,627	20,630,445	3.8%	経常収支比率(臨財・減収除)	102.3 %	102.7 %
基準財政需要額		28,246,408	27,645,991	2.2%	健全化判断比率	令和2年度	令和元年度
標準税収入額等		27,217,731	26,382,403	3.2%	実質赤字比率	-	-
標準財政規模		36,132,661	35,633,479	1.4%	連結実質赤字比率	-	-
地方債現在高		44,173,805	43,453,398	1.7%	実質公債費比率(単年/3力年)	0.4%	0.6%
債務負担行為翌年度以降支出予定額		3,676,414	4,083,309	△10.0%	将来負担比率	-	-

一般職の状況(R3.4.1)				特別職等の給料月額			収益事業収入:なし	
区分	平均年齢	職員数	平均給料月額	区分	1人あたり平均給料(報酬)	改定実施年月日	一部事務組合加入状況	
一般職員	40.00 歳	837 人	316,092 円	市長	967,500 円	H30.4.1より	一部事務組合加入状況	城南衛生管理組合
教育公務員	45.83 歳	27 人	353,973 円	副市長	823,400 円	〃		淀川・木津川水防事務組合
消防関係職員	40.92 歳	209 人	332,061 円	教育長	730,050 円	〃		京都府自治会館管理組合
技能労務職員	45.83 歳	184 人	339,947 円	議長	635,000 円	H15.12.1より		京都府住宅新築資金等貸付事業管理組合
会計年度任用職員	-	-	-	副議長	585,000 円	〃		京都府後期高齢者医療広域連合
合計	41.08 歳	1,257 人	323,053 円	議員	535,000 円	〃		京都府地方税機構
ラスパイレ指数(R2.4.1)			101.6					

地方債現在高			基金現在高		会計別決算状況(決算統計数値)			
政府資金(旧郵政公社)	機構(旧公庫)	市中銀行	財政調整	2,829,203	会計名	歳入総額	歳出総額	他会計繰入金
25,464,663	7,044,673	4,849,180	減債	1,811,640	国保特会	17,683,672	17,683,672	1,325,263
保険会社等	その他	合計	土地開発	1,450,304	後期高齢特会	3,131,624	3,123,258	629,252
0	6,815,289	44,173,805	退職手当	11,646	介護特会	16,038,811	15,424,626	2,318,272
減収補てん債		臨時財政対策債		その他	3,400,915			
発行額	235,300	発行額	2,103,500	合計	9,503,708			

(単位:千円・%)

歳入							歳出(性質別)					
区分	決算額	構成比	経常一財等	構成比	区分	決算額	構成比	充当一財等	経常一財等	経常 収支比率		
地方税	24,090,098	27.6	22,410,991	65.1	人件費	13,238,946	15.3	11,955,814	11,780,901	32.1		
地方譲与税	349,993	0.4	349,993	1.0	うち職員給	8,417,760	9.7	7,708,615	7,664,768	20.9		
利子割交付金	23,355	0.1	23,355	0.1	扶助費	19,774,653	22.9	5,669,632	5,654,437	15.4		
配当割交付金	160,532	0.1	160,532	0.4	公債費	5,093,972	5.9	4,828,402	4,828,402	13.2		
株式等譲渡所得割交付金	178,846	0.2	178,846	0.5	元利償還金	5,074,337	5.8	4,808,767	4,808,767	13.1		
地方消費税交付金	3,654,413	4.1	3,654,413	10.6	一借利子	19,635	0.1	19,635	19,635	0.1		
ゴルフ場利用税交付金	26,606	0.1	26,606	0.1	(義務的経費計)	38,107,571	44.1	22,453,848	22,263,740	60.7		
自動車取得税交付金	409	0.1	409	0.1	物件費	5,994,460	6.9	4,412,597	3,630,457	9.9		
自動車税環境性能割交付金	52,749	0.1	52,749	0.1	維持補修費	645,448	0.7	588,377	588,377	1.6		
法人事業税交付金	109,716	0.1	109,716	0.3	補助費等	25,134,512	29.1	6,104,864	3,696,853	10.1		
地方特例交付金	191,719	0.2	191,719	0.5	うち一組負担金	1,740,070	2.0	1,740,070	1,322,283	3.6		
地方交付税	7,157,774	8.2	6,811,350	19.8	積立金	583,208	0.7	464,859	-	-		
普通交付税	6,811,350	7.8	6,811,350	19.8	投資及び出資金	919,396	1.1	431,496	101,918	0.3		
特別交付税	346,424	0.4	-	-	貸付金	2,311,813	2.7	1,077	1,077	0.1		
小計	35,996,210	41.3	33,970,679	98.6	繰出金	6,276,472	7.2	4,963,394	4,939,091	13.4		
交通安全対策特別交付金	22,653	0.1	22,653	0.1	前年度繰上充用金	0	0.0	0	歳入一財等総額			
分担金及び負担金	231,235	0.3	0	0.0	投資的経費	6,471,628	7.5	1,816,255	42,079,726			
使用料	1,084,835	1.2	323,274	0.9	うち人件費	52,648	0.1	49,278	経常一般財源等			
手数料	111,316	0.1	0	0.0	普通建設	6,471,628	7.5	1,816,255	34,427,532			
国庫支出金	34,728,215	39.8	-	-	補助	3,563,192	4.1	150,570	臨時一般財源等			
国有提供施設等交付金	70,179	0.1	70,179	0.2	単独	2,894,164	3.3	1,663,913	7,652,194			
府支出金	5,402,413	6.2	-	-	府営事業負担金	14,272	0.1	1,772	経常経費充当一財等			
財産収入	210,726	0.2	31,866	0.1	災害復旧	0	0.0	0	35,221,513			
寄付金	190,823	0.2	-	-	歳出合計	86,444,508	100.0	41,236,767				
繰入金	120,759	0.1	-	-	歳出(目的別)							
繰越金	756,005	0.9	-	-	区分	決算額 A	構成比	うち普通建設	Aの充当一財等			
諸収入	2,751,598	3.1	8,881	0.1	議会費	430,738	0.5	0	429,629			
地方債	5,610,500	6.4	-	-	総務費	24,704,814	28.6	939,556	5,006,021			
歳入合計	87,287,467	100.0	34,427,532	100.0	民生費	30,388,310	35.1	516,331	14,412,185			
市町村税の状況							衛生費	5,555,605	6.4	267,417	4,388,010	
							労働費	58,628	0.1	0	28,091	
法定普通税	区分	収入済額	構成比	前年比	基準税額/0.75	超過課税分	農林水産業費	310,240	0.4	20,103	238,723	
	個人均等割	302,525	1.3	0.7	303,107	-	商工費	2,597,235	3.0	45,749	1,032,162	
	所得割	9,768,907	40.5	△ 0.1	10,297,039	-	土木費	7,645,134	8.8	2,702,027	4,233,213	
	法人均等割	379,347	1.6	△ 2.6	346,261	62,796	消防費	2,255,229	2.6	171,638	2,195,270	
	法人税割	1,084,219	4.5	△ 23.0	1,021,585	252,898	教育費	7,404,603	8.6	1,808,807	4,445,061	
	固定資産税	9,636,616	40.0	0.4	9,495,971	-	災害復旧費	0	0.0	-	0	
	うち純固定資産税	9,527,962	39.6	0.4	-	-	公債費	5,093,972	5.9	-	4,828,402	
	軽自動車税	336,289	1.4	5.0	340,019	-	諸支出金	0	0.0	0	0	
	市町村たばこ税	903,088	3.7	△ 2.4	954,868	-	前年度繰上充用金	0	0.0	-	0	
	特別土地保有税	-	-	-	-	-	合計	86,444,508	100.0	6,471,628	41,236,767	
	計	22,410,991	93.0	△ 1.4	22,758,850	315,694	市税収入率					
目的税	都市計画税	1,679,107	7.0	△ 0.0	-	-	うち市民税	うち資産税	合計			
計	1,679,107	7.0	△ 0.0	-	-	現年	99.13%	98.20%	98.70%			
合計	24,090,098	100.0	△ 1.3	22,758,850	315,694	合計	97.89%	96.73%	97.36%			

部門別決算成果概要

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち	危機管理室他
中分類	02 安全・安心なまちづくりへの対応	
小分類	01 安全・安心なまちづくり	

事務事業名	新型コロナウイルス感染症対策関連経費	所管課	危機管理室他	
		決算額	21,433,576千円	
事業内容	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、大きく影響を受けた市民・事業者等への支援や感染拡大防止に向けた「新たな生活様式」への対応等に取り組む。			
成果・実績	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う、市民・事業者等への支援や感染拡大を防止するための各種施策を実施した。 ◎市民・事業者等への主な支援事業一覧			
	事業	決算額 (千円)	課名	
	特別定額給付金給付事業費	18,617,300	危機管理室 生活支援課 こども福祉課	市民への給付金等の給付に要した費用
	新生児応援臨時特別給付金給付事業費	88,238		
	住居確保給付金給付費	56,039		
	子育て世帯臨時特別給付金給付事業費	230,319		
	ひとり親家庭臨時特別給付金給付事業費	268,575		
	傷病手当金	426		
	中小企業等感染防止対策強化支援事業費	79,987	産業振興課	事業者等に対する感染症拡大防止対策に要した費用
	入所施設等感染防止対策支援事業費	482	介護保険課	
	感染症対策専門家派遣事業費	190	障害福祉課 介護保険課	
	地域公共交通事業者支援補助金	5,422	交通政策課	
	農業者経営改善事業緊急支援補助金	2,900	農林茶業課 産業振興課	事業者等への経営状況改善支援や補助、給付金の給付等に要した費用
	農産物継続生産支援事業補助金	17,595		
	事業者おうえん給付金給付事業費	216,561		
	中小企業等事業継続支援金給付事業費	262,831		
	中小企業経営改善事業緊急支援補助金	47,692		
	商店街等販売促進事業支援補助金	6,372		
	中小企業振興対策事業緊急支援補助金	3,336		
	中小企業支援体制強化事業費	3,616		
	展示会出展支援助成事業費	6,489		
	障害福祉サービス事業所等支援事業費	3,000		
	障害福祉サービス事業所等利用者支援事業費	2,273		
	のりあい交通事業緊急支援補助金	3,000	交通政策課	
	ファミリー・サポート・センター利用者支援事業費	146	こども福祉課	学校等の臨時休業期間中の子どもの預かりや、居場所確保に関する利用者支援や事業者への支援に要した費用
	育成学級体制強化事業費	12,265		
	放課後児童健全育成事業補助金(体制強化分)	3,910		
	育成学級利用者支援事業費	79		
感染症対策事業返還金	22,869	保育支援課		
学校臨時休業対策事業費	7,981	学校管理課		

令和 2 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	02 安全・安心なまちづくりへの対応
小分類	01 安全・安心なまちづくり

所管部局
危機管理室他

事務事業名	新型コロナウイルス感染症対策関連経費	所管課	危機管理室他
		決算額	21,433,576千円

	◎市民・事業者等への主な支援事業一覧			
	事業	決算額 (千円)	課名	事業概要
成果・実績	障害福祉施設オンライン面会等導入支援事業費	769	障害福祉課	ICTを活用した「新しい生活様式」への対応やオンライン環境整備に要した費用
	介護保険施設オンライン面会等導入支援事業費	1,979	介護保険課	
	水道料金等減免事業補助金	361,651	財務課 (上下水道部)	水道料金免除等に要した費用
	文化芸術活動動画配信事業費	3,474	文化スポーツ課	安心して文化芸術活動やスポーツ活動を継続するための支援に要した費用
	スポーツ団体感染症対策支援補助金	2,485		
	観光情報発信事業費 (PR動画作成分)	1,320	観光振興課	ポストコロナ社会を見据えた観光振興に要した費用
	誘客多角化コンテンツ制作事業費	20,000		
	宇治のお店おうえんクーポン(プレミアム付デジタルクーポン発行)事業費	60,090	産業振興課	新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ消費喚起に要した費用
	男女共同参画施策推進費 (DV根絶のための啓発動画作成分)	275	男女共同参画課	DV等根絶のための啓発動画作成に要した費用
	高齢者フレイル予防対策事業費	27,071	長寿生きがい課	高齢者の健康状態把握及びフレイル予防に要した費用
	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費	32,633	健康づくり推進課	新型コロナウイルスワクチン接種準備に要した費用
	小学校コンピュータ教育充実事業費 (1人1台端末配備分)	592,537	学校教育課	GIGAスクール構想に基づくタブレット端末等整備に要した費用
	中学校コンピュータ教育充実事業費 (1人1台端末配備分)	312,069		
	まなび支援員設置費	25,974		
	電子図書館サービス事業費	9,579	中央図書館	来館を必要としない図書館サービスの提供に要した費用
	図書館感染症対策費等 (図書のお届けサービス分)	370		
図書館感染症対策費等 (館外返却ポスト設置分)	1,270			
図書館感染症対策費等 (図書除菌機設置分)	3,927	中央・東宇治・西宇治図書館	安心して図書館資料を利用するための環境整備に要した費用	
救急搬送体制強化事業費	6,210	警防救急課	救急搬送時における感染拡大防止対策に要した費用	

※一覧には消毒液等の消耗品購入や新型コロナウイルス感染症拡大防止のための公共施設等の改修・備品設置を目的とした事業を除き掲載

事業評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止や、市民・事業者等への支援に取り組んだ。引き続き、必要な支援に努めるとともに、ポストコロナ社会を見据えた対策に取り組む必要がある。
-------------	---


令和 2 年度決算成果説明書


総合計画の体系		所管部局
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち	危機管理室
中分類	02 安全・安心なまちづくりへの対応	
小分類	01 安全・安心なまちづくり	

事務事業名	防災事業費	所管課	危機管理室								
		決算額	13,079千円								
事業内容	市防災行政無線の適切な運用にかかる修繕や保守を実施する。また、防災資機材の購入・修繕を行い、市の防災力の維持向上を行う。「新しい宇治を切り拓く特別枠」で採用された可搬型給電器を購入する。										
成果・実績	<p>災害時の停電対策の一つとして、電気自動車から電気を給電する為の可搬型給電器を購入した。また、避難所での新型コロナウイルス感染症拡大防止の為のパーテーションやテント等を購入した。防災行政無線の五雲峰中継局の大規模修繕を実施し、防災行政無線の保守点検等しながら、健全に運用できた。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 70%;">◎新型コロナウイルス感染症拡大防止の為の資機材購入費</td> <td style="text-align: right;">4,111千円</td> </tr> <tr> <td>◎防災行政無線保守点検委託料</td> <td style="text-align: right;">5,245千円</td> </tr> <tr> <td>◎五雲峰基地局機器修繕業務</td> <td style="text-align: right;">1,716千円</td> </tr> <tr> <td>◎可搬型給電器2台購入費（付属品含む）</td> <td style="text-align: right;">1,500千円</td> </tr> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>可搬型給電器</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>電気自動車で使用中の可搬型給電器</p> </div> </div>			◎新型コロナウイルス感染症拡大防止の為の資機材購入費	4,111千円	◎防災行政無線保守点検委託料	5,245千円	◎五雲峰基地局機器修繕業務	1,716千円	◎可搬型給電器2台購入費（付属品含む）	1,500千円
◎新型コロナウイルス感染症拡大防止の為の資機材購入費	4,111千円										
◎防災行政無線保守点検委託料	5,245千円										
◎五雲峰基地局機器修繕業務	1,716千円										
◎可搬型給電器2台購入費（付属品含む）	1,500千円										
事業評価	災害時の避難所における感染症対策の資機材を購入し体制を整えた。また、山間部への防災行政無線を届けるための中継局の修繕が完了し、安定的に防災行政無線を運用できるようになった。今後も防災力を維持向上させるため、各種備品やシステムを十分に活用できるよう努める必要がある。										

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち	危機管理室
中分類	02 安全・安心なまちづくりへの対応	
小分類	01 安全・安心なまちづくり	

事務事業名	防災対策推進事業費	所管課	危機管理室
		決算額	1,571千円
事業内容	地域の防災力向上を図り、本市の防災対策を進めるため、市民参加の防災訓練を実施する。また、備蓄品等の計画的な更新整備を行うとともに、医療品等の点検、交換を行う。		
成果・実績	<p>毎年実施している宇治市防災訓練は新型コロナウイルス感染症の影響により開催を見送り、避難所での感染症対策を行うために購入したパーテーションやテント等を用いて避難所運営における新型コロナウイルス感染症対応訓練を実施した。</p> <p>自主防災リーダーフォローアップ研修はオンライン研修を他課と協同で1回開催し、令和3年2月及び3月に自主防災リーダー養成講習の実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、開催を見送った。</p> <p>また、備蓄食糧としてカンパン、アルファ米、要配慮者生活用品として粉ミルク、紙おむつの購入を行った。</p> <p>◎災害時用備蓄食糧及び要配慮者生活用品購入費 1,438千円</p>		
			
	避難所運営における新型コロナウイルス感染症対応訓練		
事業評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、オンラインで実施した自主防災リーダーフォローアップ研修により、地域の防災力向上を図ることができた。避難所運営における新型コロナウイルス感染症対応訓練を実施したことにより、受付からの流れや関係機関との連携等について確認することができた。今後も様々な訓練を通してさらなる地域の防災力の向上に努める必要がある。		

事務事業名	自主防災組織育成事業補助金	所管課	危機管理室						
		決算額	204千円						
事業内容	地域における自主的な防災訓練及び防災知識の啓発活動などを実施する町内会・自治会等に対して、防災訓練及び講演会などの取組に必要な事業費の2分の1（世帯数で上限を設定）を毎年助成する制度により、自主防災組織の育成を図る。								
成果・実績	<p>町内会・自治会等が実施する防災訓練等の経費に対し補助金を交付した。</p> <p>◎補助金交付実績</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">年度</th> <th style="width: 30%;">補助金交付額 (千円)</th> <th style="width: 20%;">交付団体数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">204</td> <td style="text-align: center;">6</td> </tr> </tbody> </table>			年度	補助金交付額 (千円)	交付団体数	2	204	6
年度	補助金交付額 (千円)	交付団体数							
2	204	6							
									
	町内会・自治会等の防災訓練								
事業評価	新型コロナウイルス感染症がまん延する中でも、自主的な防災訓練及び防災知識の啓発活動などを実施する町内会・自治会等に対して、補助金を交付することにより、地域防災力の向上を促進することができた。今後も引き続き、自主防災組織率の向上を図り、地域の継続的な自主防災活動及び避難行動要支援者の避難支援の促進に努める必要がある。								

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち	危機管理室
中分類	02 安全・安心なまちづくりへの対応	
小分類	01 安全・安心なまちづくり	

事務事業名	特別定額給付金給付事業費	所管課	危機管理室
		決算額	18,617,300千円
事業内容	<p>新型コロナウイルスの感染を防止しつつ、簡素な仕組みで迅速かつ確な家計への支援を行うため実施した。令和2年4月27日を基準日として、住民基本台帳に記載されている方に対して給付されるものであり、基準日現在宇治市に住民登録されている方について給付を行う。</p> <p>なお、給付にあたっては、原則、住民基本台帳上の世帯主が世帯員分をまとめて申請することとなり、世帯全員分をまとめて世帯主（受給権者）に給付する。</p>		
成果・実績	<p>1世帯ごとに世帯主を対象に給付金を給付した。</p> <p>◎給付金額 市民1人当たり100千円 ◎対象世帯数 84,743世帯 ◎給付世帯数 84,323世帯 ◎総給付額 18,526,800千円</p>		
事業評価	国制度に基づき、対象者に対して適正に審査・給付を行った。		

事務事業名	新生児応援臨時特別給付金給付事業費	所管課	危機管理室
		決算額	88,238千円
事業内容	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、様々な不安を抱えながら妊娠・出産をされたご家庭への経済的負担の軽減と、子どもの健やかな成長を応援するため、特別定額給付金の基準日（令和2年4月27日）の後に生まれた子どもを対象に給付する。</p>		
成果・実績	<p>令和2年4月28日～令和3年3月31日までに生まれ、かつ最初の住民登録地が宇治市である子どもの父または母（給付金の申請日まで引き続き住民登録がある）を対象に給付した。</p> <p>◎給付金額 新生児1人につき100千円 ◎給付件数 870件 ◎給付総額（令和2年度分） 87,900千円</p>		
事業評価	市の独自施策として実施し、対象者に対して適正に審査・給付を行った。		

令和2年度決算成果説明書


総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	市長公室
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実	
小分類	02 広報・広聴活動の充実	

事務事業名	広報活動費	所管課	秘書広報課
		決算額	3,195千円
事業内容	<p>広報活動の充実のために、報道機関に対する報道連絡、記者発表の開催、市ホームページ、SNSなどの運用を行う。また、市の施策をはじめ、文化、観光などに関する情報を、映像でわかりやすく発信する。</p>		
成果・実績	<p>宇治日刊記者クラブに対し、報道資料の提供及び市長記者会見をはじめとする記者発表を行った。</p> <p>市公式LINEについて、幅広い世代に向け、防災、子育てやイベント・催し、ごみの出し方などの総合的な市政情報を効果的に発信するため、既存のLINEアカウントを統合するとともに、機能を拡充しリニューアルを行った。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策にかかる情報発信として、市ホームページに情報の配信に特化した専用サイトを作成した。</p> <p>効果的な情報発信のために、SNSやインターネット動画サイトを活用した。</p>		
事業評価	<p>市ホームページ、リニューアルを行ったLINEを含めたSNS及び報道機関を通じた積極的な情報発信を図ることにより、市内外の多くの人への広報に努めることができた。引き続き、より効果的な市政情報の発信手法を検討する必要がある。</p>		



令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	市長公室
中分類	02 国際化の推進と平和への貢献	
小分類	01 国際化・広域交流活動の推進	

事務事業名	国際交流促進事業費	所管課	秘書広報課
		決算額	0千円
事業内容	友好都市盟約の趣旨に則り、相互の友好交流を促進する。		
成果・実績	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、公式訪問団の来訪や市民留学生の派遣などを行うことができず、事業費の支出はなかったものの、令和3年3月1日に宇治市役所にて実施した宇治市制施行70周年記念に関連した「表彰状並びに感謝状贈呈式」において、ご来場いただいた出席者向けに友好都市3市の写真展を開催し、過去に実施した交流事業のPRを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ヌワラエリヤ市交流促進費 0千円 ◎カムループス市交流促進費 0千円 <ul style="list-style-type: none"> ・カムループス市公式訪問団 中止 ・市中学生訪問団の派遣 中止 ・トンプソン・リバーズ大学市民留学生の派遣 中止 		
			
事業評価	<p>今までは公式訪問団の派遣や受入れなど人の往来が主な交流方法であったが、今後はオンラインを活用するなど新しい交流及び市民への情報発信の手法等についても検討する必要がある。</p>		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	市長公室
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進	
小分類	04 効果的な組織機構の確立と職員の人材育成	


事務事業名	職員研修費	所管課	人事課
		決算額	1,068千円
事業内容	宇治市職員の研修に関する規程に基づき、職務の遂行に必要な知識、技能の向上を図るとともに、職員としての資質と教養を高めるため、職員研修を実施する。		
成果・実績	<p>人口減少社会を迎えた今、市民ニーズを的確に把握する中で、時代の変化を敏感に察知し、活力にあふれ持続的に発展する魅力ある宇治市を築いていくため、「宇治市職員人材育成基本方針」に基づく研修を実施し、職員の育成に努めた。</p> <p>◎求められる職員像</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 「創造する職員」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 長期的かつ多面的な視野で新しい宇治市を創造【Create】 (2) 「ニーズや変化をキャッチする職員」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民ニーズを的確に把握、時代の変化を敏感に察知【Catch】 (3) 「チャレンジする職員」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 困難な状況や課題に対して前向きに挑戦【Challenge】 (4) 「コミュニケーション能力の高い職員」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民から信頼される誠実な対応、周囲との積極的な意思疎通【Communicate】 (5) 「市民と協働する職員」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の方々と連携し、市民参加・協働を促進【Collaborate】 <p>◎基本研修 新規採用職員研修、新任管理職研修</p> <p>◎特別研修 新規採用職員安全運転研修</p> <p>◎派遣研修 京都府市町村振興協会 全国市町村国際文化研修所など</p>		
事業評価	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、例年実施している職員研修は概ね中止としたが、京都府市町村振興協会や各種団体が実施するeラーニング、映像・テキスト研修などを活用し職員の人材育成を図った。令和3年度においては感染対策を講じた上で職員研修を実施し、計画的・効果的な人材育成に取り組む必要がある。</p>		



新規採用職員研修
(宇治茶について)の様子

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	市長公室
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進	
小分類	04 効果的な組織機構の確立と職員の人材育成	

事務事業名	政策形成プログラム推進事業費	所管課	人事課
		決算額	1,317千円
事業内容	<p>各部から選出された若手職員がチームを組み、チームごとに政策研究テーマを設定し、自ら課題を発見し、チームで共有、検討しながら課題解決につなげることができる能力の向上を図るワークショップ型の研修を実施。最終的に研修参加者が幹部職員の前で自ら立案した政策をプレゼンテーションする。</p>		
成果・実績	<p>◎令和2年度においては今後その機会が増加すると見込まれるオンラインによるコミュニケーションのノウハウを持った職員の育成を図る観点から、聴講やグループワークなど、最終発表会を除く全ての過程において、Web会議ツールであるZoomを用いて実施した。</p> <p>◎12名の参加者が3チームに分かれ、それぞれ①産官学民連携によるコミュニティの設立と市の魅力発信、②地域課題解決のためのプラットフォーム形成、③コンパクトシティについての政策研究を行った。</p> <p>◎組織横断的に職員が参加したことにより、職種間の新たな交流や、多様な価値観に触れる機会が生まれた。</p> <p>◎また参加者が、今後その機会が増加すると見込まれる“オンラインによる合意形成を行う”といった経験を得ることができた。</p> <p>◎市の課題を自ら発見する中で、より広い視野で市の現状を捉える機会が生まれた。</p>		
	 <p style="text-align: center;">プレゼンテーションの様子</p>		
事業評価	<p>従来の研修とは異なり、知識を吸収するだけでなく、市を取り巻く行政運営上の課題や重点施策について、解決や推進する方法をチーム単位で検討する中で、職員の政策立案能力の向上が図れた。</p> <p>また、オンラインにおけるコミュニケーション能力の向上には一定の効果があったが、「チームでコミュニケーションをとりながら課題解決策を検討する」という本研修の趣旨を鑑みると、対面式のグループワークの重要性等を改めて認識した。</p> <p>今後も効果的な手法を検討しながら、職員の自発性や積極性を向上させるべく、継続的に事業を実施する必要がある。</p>		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	市長公室
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進	
小分類	03 行政サービスの充実	

事務事業名	職員健康管理費	所管課	職員厚生課
		決算額	26,105千円
事業内容	<p>職員の健康管理、疾病予防のための各種健康診断業務及びメンタルヘルス対策を講じるための相談業務などを行う。</p>		
成果・実績	<p>労働安全衛生法に基づき、職員を対象に定期健康診断を実施した。受診後のフォロー及び職員の健康意識向上のため、生活習慣改善教室、産業医による個別指導などを行った。</p> <p>職場のメンタルヘルスケアを推進するため、「宇治市職員のメンタルヘルスケアプラン」に基づき、予防から再発防止までの対策として、産業医による相談事業、職場復帰訓練（試し出勤）などを実施した。</p> <p>長時間の労働による健康被害を予防するため、超過勤務者等に対して健康調査及び産業医による面接指導などを実施した。</p> <p>◎職員健康管理医師報酬 1,440千円 産業医2人（精神科医、内科医）による復職相談及び安全衛生管理業務など 産業医による面談 24回（月2回定期的に実施）</p> <p>◎「心の相談」医師等謝礼 997千円 相談事業の実施、メンタルヘルス対策の推進</p> <p>◎職員（嘱託含む）各種健診手数料 11,996千円 定期健康診断、B型肝炎血液検査、深夜業務健康診断など</p> <p>◎特殊健康診断等委託料 11,223千円 定期健康診断の有所見者のフォロー（二次健診、生活習慣改善教室等） 頸肩腕・腰痛健診やVDT作業従事者健診、職業病予防の健康教室 メンタル不調予防のためのストレスチェックなど</p>		
事業評価	<p>労働安全衛生法に基づき、事業者として実施する職員の定期健康診断をはじめ、各種健診等を実施し、健康状態の把握及び疾病防止を行い、メンタルヘルス対策について正しい情報を提供することにより、職員の心身の健康増進を図ることができた。今後も引き続き、職員の健康の保持・増進に努める。</p>		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進
小分類	01 地方分権への対応と計画的・効率的な行財政運営の確立と公共施設の適正化

所管部局
政策経営部

事務事業名	有料広告事業（歳入）	所管課	経営戦略課他		
		決算額	43,083千円		
事業内容	<p>新たな歳入の創出、財源の確保に関する取組の一環として、市広報媒体への有料広告の掲載を実施しており、広告媒体の拡充及び広告料収入を活用して新たなサービスツールを導入するなど、業務改善、市民サービスの向上に努めている。</p>				
成果・実績	◎広告料収入実績及び効果額				
	(千円)				
	媒体名	令和元年度		令和2年度	
		歳入	効果額 (歳出減相当)	歳入	効果額 (歳出減相当)
	ホームページバナー	1,287	-	550	-
	市政だより	5,868	-	3,962	-
	車両（公用車・ごみ収集車・水道）	1,044	-	1,089	-
	トイレ壁面・公共施設マップ	792	-	792	-
	窓口用封筒	-	300	-	300
	源氏物語ミュージアム事業案内リーフレット	140	-	140	-
	宇治子育て情報誌	-	5,000	-	5,000
	窓口案内システム	104	600	104	600
婚姻届及び記載例等冊子	-	120	-	120	
総合情報誌（くらしの便利帳）	-	-	-	30,000	
納税通知書送付用封筒	-	280	-	276	
空き家情報誌	-	150	-	150	
小計	9,235	6,450	6,637	36,446	
合計	15,685		43,083		
事業評価	<p>市広告媒体への有料広告の掲載により、歳入の確保及び市民サービスの向上を図ることができた。引き続き、広告媒体の拡充について検討し、新たな歳入の確保に努める必要がある。</p>				

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	政策経営部
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進	
小分類	01 地方分権への対応と計画的・効率的な行財政運営の確立と公共施設の適正化	

事務事業名	ふるさと応援寄付金（歳入）	所管課	経営戦略課																								
		決算額	103,057千円																								
事業内容	自治体に寄付をすると住民税等が控除となるふるさと納税制度について、本市では「ふるさと宇治のまちづくりの応援のお願い」の取組として、平成20年10月から実施している。																										
成果・実績	寄付受付ポータルサイトを拡充し、これまでのふるさとチョイスに加え、ふるなび、楽天ふるさと納税、さとふるの3つのサイトでの寄付受付を開始した。 寄付受付ポータルサイトの拡充、返礼品の追加などにより、寄付件数、寄付金額ともに増加した。																										
	◎ふるさと応援寄付金の推移																										
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #ffff00;">年度</th> <th style="background-color: #ffff00;">平成28年度</th> <th style="background-color: #ffff00;">平成29年度</th> <th style="background-color: #ffff00;">平成30年度</th> <th style="background-color: #ffff00;">令和元年度</th> <th style="background-color: #ffff00;">令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="background-color: #ffff00;">品目数</td> <td>109</td> <td>123</td> <td>138</td> <td>247</td> <td>315</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #ffff00;">件数</td> <td>2,607</td> <td>3,058</td> <td>3,410</td> <td>1,937</td> <td>4,765</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #ffff00;">金額(千円)</td> <td>63,095</td> <td>77,948</td> <td>70,080</td> <td>59,433</td> <td>103,057</td> </tr> </tbody> </table>			年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	品目数	109	123	138	247	315	件数	2,607	3,058	3,410	1,937	4,765	金額(千円)	63,095	77,948	70,080	59,433	103,057
	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度																					
品目数	109	123	138	247	315																						
件数	2,607	3,058	3,410	1,937	4,765																						
金額(千円)	63,095	77,948	70,080	59,433	103,057																						
※品目数は、各年度3月31日現在の数																											
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>																										
事業評価	市内外の方からの寄付を市政運営に役立てることができた。更なる内容の充実及び広報を図るとともに、地方創生の理念に沿い本市の活性化に寄与するよう努める必要がある。																										

事務事業名	総合計画関連事業費	所管課	経営戦略課
		決算額	551千円
事業内容	次期総合計画について、現在の「宇治市第5次総合計画第3期中期計画」の施策・事業を評価する中で、社会情勢に柔軟に対応した実現性の高い計画となるように策定する。		
成果・実績	令和4年度から令和15年度までを計画期間とする次期宇治市総合計画の策定に向けて、宇治市総合計画審議会を開催した。		
	◎宇治市総合計画審議会委員報酬 283 千円 ・宇治市総合計画審議会委員 31 人 ・宇治市総合計画審議会 全体会 1 回 ◎第5次総合計画及び中期計画事務費 268 千円		
事業評価	「宇治市第5次総合計画」の実現に向け、事業の進捗管理及び各事業担当課との調整など、計画期間中の主な施策・事業について評価を行い、事業の改善等を行うことができた。今後も引き続き、施策・事業の評価を行う中で、社会情勢に対応した取組を進めて行く必要がある。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	政策経営部
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進	
小分類	02 行政改革の推進	

事務事業名	政策形成プログラム推進事業費	所管課	経営戦略課												
		決算額	1,462千円												
事業内容	行政課題に対して、組織的に課題解決の手法を研究、提案、実施することで課題解決能力の向上及び政策立案能力の向上を図る。														
成果・実績	◎政策研究														
	<p>庁内で募集した研究課題の中から市民ニーズ等を踏まえて採択し、担当課において研究を行った。</p> <p>・採択事業一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">担当課</th> <th>研究テーマ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>IT推進課</td> <td>RPA(Robotic Process Automation)導入による事務の効率化について(AIOCRを含む)</td> </tr> <tr> <td>産業振興課</td> <td>産業振興センターあり方検討</td> </tr> <tr> <td>ごみ減量推進課</td> <td>ペットボトルの市民参加型回収スタイルの研究</td> </tr> <tr> <td>ごみ減量推進課</td> <td>廃棄自転車の輸出事業の研究</td> </tr> <tr> <td>建築指導課</td> <td>地震被災時の建築技師の初動について</td> </tr> </tbody> </table>			担当課	研究テーマ	IT推進課	RPA(Robotic Process Automation)導入による事務の効率化について(AIOCRを含む)	産業振興課	産業振興センターあり方検討	ごみ減量推進課	ペットボトルの市民参加型回収スタイルの研究	ごみ減量推進課	廃棄自転車の輸出事業の研究	建築指導課	地震被災時の建築技師の初動について
	担当課	研究テーマ													
	IT推進課	RPA(Robotic Process Automation)導入による事務の効率化について(AIOCRを含む)													
	産業振興課	産業振興センターあり方検討													
	ごみ減量推進課	ペットボトルの市民参加型回収スタイルの研究													
	ごみ減量推進課	廃棄自転車の輸出事業の研究													
	建築指導課	地震被災時の建築技師の初動について													
	・京都文教大学・短期大学との共同研究														
		健康生きがい課	高齢者が主体的に取り組む介護予防を目指した自立支援型ケア会議の試行的実施について												
・京都府立大学との共同研究															
	都市計画課	近鉄小倉駅周辺地区における市民との協働型まちづくり													
◎政策アイデア 7件（フリー部門2件、テーマ部門3件、事務提案アイデア2件）															
職員からのアイデア及び事務事業の改善に効果を発揮するアイデアの募集を行い、市政への参加意欲及び政策立案能力の向上を図った。															
◎優秀政策表彰															
市民サービスの向上等に効果を上げたと認められる優れた取組を表彰し周知することで、全庁的な取組への波及及び職員の企画立案の意欲向上の促進を図った。															
・市長奨励賞 3件															
	担当課	案件名													
	人事課	政策形成プログラム推進事業(チーム型研修)の実施について													
	産業振興課	宇治NEXT(うじネクスト)の開設について													
	健康生きがい課	健康アライアンス事業の実施について													
事業評価	行政課題を発見し、解決に向けた研究の実施、改善の提案などに取り組むことにより、職員の政策立案能力の向上に資することができた。また、大学との連携により、専門的な知識を活かした研究を行うことができた。引き続き、庁内での積極的な政策研究、政策提案の促進を図り、幅広い行政分野での課題解決に向けた取組を検討する必要がある。														


令和 2 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	政策経営部
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進	
小分類	05 まちの魅力を活用した地方創生の推進	

事務事業名	魅力発信プラットフォーム運営等事業費	所管課	経営戦略課
		決算額	24千円
事業内容	<p>少子高齢社会の進行及び地方分権の推進による自治体間競争の激化が予測される時代であっても、多くの人に選ばれ持続的に発展するまちとなるため、「宇治市魅力発信行動指針」に基づき、市民、事業者、関係団体との協働により、本市の様々な魅力について発信する仕組みづくりを構築するなど具体的な取組を実施する。</p>		
成果・実績	<p>◎高校生版宇治魅力発信プラットフォーム 新型コロナウイルス感染症の影響により各高校の授業カリキュラムや授業時間が変更となったことで、高校生の協力を得ながら取り組むことが困難となったため、高校生版宇治魅力発信プラットフォームの開催を見送った。 高校生に限定しない新たなプラットフォームのあり方について、京都文教大学や魅力発信大使と連携し、より効果的な魅力発信の検討を行った。</p> <p>◎宇治魅力発信大使の委嘱 「めっ茶、好きやねん!!～宇治に届け～」で活動していた高校生に、卒業後も宇治の魅力为全国に発信してもらうため、新たに2名を宇治魅力発信大使として委嘱した。</p>		
事業評価	<p>宇治魅力発信大使を通じて、全国に本市の魅力を発信することができた。新型コロナウイルス感染症の影響により、高校生による取組を見送る中で、高校生に限定しない新たなプラットフォームのあり方の検討等、新たな魅力発信の手法を確立するため、引き続き、より効果的な取組を検討する必要がある。</p>		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	政策経営部
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進	
小分類	05 まちの魅力を活用した地方創生の推進	

事務事業名	東京しぶや連携交流事業費	所管課	経営戦略課
		決算額	3,219千円
事業内容	<p>京都府山城地域の12市町村及び東京都渋谷区が連携し、「人」や「企業等」が、日本固有の「和文化」と国際的な「多文化」の融合を図り、それぞれの地域が一過性ではない「深い交流」を持続的に展開する環境を創り出すことにより、両地域の「関係人口」の創出・拡大を目指す。</p>		
成果・実績	<p>京都やましる地域×東京しぶや連携 ～和文化×多文化 関係人口創出プロジェクト～ <計画期間> 令和2年度から令和4年度まで</p> <p><令和2年度の取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ◎デジタルお茶会映像配信 「自宅でも美味しく飲める！～お茶の淹れ方・楽しみ方～」の動画を作成し、YouTube等で公開 <div style="display: flex; align-items: center;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> ◎SNSキャンペーン お茶の淹れ方・楽しみ方の動画配信に合わせ、視聴者に対し、アンケートや抽選によるプレゼント企画を実施 ◎渋谷区住民・就業者ニーズ調査 令和3年度以降の事業実施に向けて、渋谷区住民及び就業者のニーズを把握するため、アンケートを実施 		
事業評価	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、当初計画していた「交流」はできなかったものの、SNSなどを活用することで、それぞれの地域での「交流」を図ることができた。今後も引き続き、両地域の「関係人口」の創出・拡大を目指し、新たな価値を創出する取組を展開する。</p>		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	政策経営部
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進	
小分類	05 まちの魅力を活用した地方創生の推進	

事務事業名	地方創生推進交付金（歳入）	所管課	経営戦略課・財務課
		決算額	76,535千円
事業内容	<p>京都府全域において地域の文化資源を活用した観光振興や文化の国際発信力の向上を図り、京都府全域への周遊へつなげていくため、圏域内の観光・交流・集客等に関する事業を一元的・総合的に実施できる体制を整備する。</p> <p>また、産業戦略に基づき、市内企業の新商品の開発や販路拡大、生産性の向上などに資する事業を実施し、将来にわたって持続的に発展できる強い市内産業を創り、市民の豊かな暮らしを実現する。</p> <p>加えて、京都府山城地域と東京都渋谷区と連携し、企業間・住民間などの多様な繋がりの構築を進め、関係人口の創出と拡大を推進する。</p>		
成果・実績	◎地方創生推進交付金		
	・今だけ、ここだけ、貴方だけ観光推進事業		
	対象事業		充当事業費
	お茶の京都DMO負担金		7,764 千円
	宇治の魅力推進事業		27,810 千円
	宇治ブランド発信事業		14,192 千円
	宇治観光基盤整備事業		4,006 千円
	お茶の宇治魅力推進事業		480 千円
	合 計		54,252 千円
	・広がる、生まれる、進化する“産業交流都市・UJI”推進事業		
対象事業		充当事業費	
事業のしやすい環境づくり事業		4,165 千円	
市内企業の情報発信事業		1,176 千円	
市内企業の成長支援事業		1,314 千円	
人材不足への対応事業		1,925 千円	
事業の担い手確保事業		12,094 千円	
合 計		20,674 千円	
・「京都やましろ地域×東京しぶや連携～和文化×多文化 関係人口創出プロジェクト～」			
対象事業		充当事業費	
事業負担金		1,609 千円	
事業評価	<p>交付金を活用して、市の観光資源の整備及びまちの魅力の積極的な発信をはじめ、産業戦略に基づく市内企業の支援や人材確保策などの市内経済の活性化、広域連携による関係人口創出に資する施策を推進することができた。今後も、国の動向を注視し、各種事業の状況把握、効果などの分析に努め、実施事業を検討する必要がある。</p>		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち	政策経営部
中分類	02 安全・安心なまちづくりへの対応	
小分類	01 安全・安心なまちづくり	

事務事業名	水道料金等減免事業補助金	所管課	財務課
		決算額	361,651千円
事業内容	新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた市民及び事業者等の支援を目的とした水道料金の基本使用料、量水器使用料を免除する公営企業上下水道部に対して補助を行う。		
成果・実績	<p>公営企業上下水道部が実施した水道料金等減免事業により減収した給水収益等に対し、補助を行った。</p> <p>(参考) 水道料金等減免事業 水道料金の基本使用料、量水器使用料を2期(4ヵ月)分免除 ◎延べ免除件数 128,276件</p>		
事業評価	補助金の交付を行い、外出自粛や手洗い機会の増加などの生活環境や、経済活動支援を目的に、市民や事業者などの負担軽減を図った。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち	総務部
中分類	02 安全・安心なまちづくりへの対応	
小分類	01 安全・安心なまちづくり	

事務事業名	安全・安心まちづくり推進事業費	所管課	総務課
		決算額	1,994千円
事業内容	地域における犯罪の発生を未然に防止するため、「宇治市安全・安心まちづくり条例」に基づき、安全・安心なまちづくりの取組を展開する。		
成果・実績	<p>地域における自主的な防犯活動の支援に取り組むとともに、「宇治市第3次防犯推進計画」が計画期間の満了を迎えるにあたり、「宇治市第4次防犯推進計画」を策定した。</p> <p>◎安全・安心まちづくり補助金の交付 地域住民への防犯啓発、通学路の点検、児童生徒の登下校時の見守り活動、団体内部における防犯情報の共有、地域ぐるみの防犯パトロールの実施などに取り組む防犯推進団体に対して、活動を支援するための補助金を交付した。</p> <p>◎「宇治市第4次防犯推進計画」策定 令和3年度から令和7年度を計画期間とする「宇治市第4次防犯推進計画」を策定した。計画は、これまで積み重ねてきた地域防犯活動を引き続き推進するとともに、犯罪被害者支援の充実を図るほか、新たに再犯防止に関する取組を盛り込み地方再犯防止推進計画に位置づけるなど、現在の状況を踏まえた内容とした。</p>		
事業評価	防犯推進団体への活動支援等により、安全・安心なまちづくりに資する取組を推進できた。地域における自主的な防犯活動が一層推進されるよう、今後も引き続き「宇治市第4次防犯推進計画」に定める各種施策に着実に取り組む必要がある。		

事務事業名	防犯カメラ管理事業費	所管課	総務課
		決算額	601千円
事業内容	市民の安全で安心な暮らしの実現に向け、街頭における犯罪の防止と市民の体感治安の向上を目的として、防犯カメラの設置及び管理を行う。		
成果・実績	<p>市内の駅周辺を中心に防犯カメラ21台、防犯カメラ付き自動販売機1台を設置しており、適正な管理を行った。</p> <p>◎光熱費、点検費等 601千円</p>		
事業評価	路上犯罪の発生密度が高く、不特定多数の市民等が通行する駅周辺への防犯カメラの設置により、市民の体感治安の向上を図ることができた。引き続き、民間活力を活用した効果的な取組を進めるとともに、地域の自主的な設置についても支援しながら、市民の体感治安向上に努める必要がある。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち	総務部
中分類	02 安全・安心なまちづくりへの対応	
小分類	01 安全・安心なまちづくり	

事務事業名	防犯カメラ設置事業補助金	所管課	総務課
		決算額	400千円
事業内容	街頭での高齢者や子どもの見守り、犯罪発生を抑止及び体感治安の向上を図るため、福祉未来基金を活用し、自治会・町内会等を対象に防犯カメラの設置に係る費用のうち、補助対象経費の1/2（上限10万円/台）を補助する。		
成果・実績	2自治会に対し、計4台の防犯カメラ設置に対する補助金を交付した。 ◎防犯カメラ設置事業補助金 400千円		
事業評価	防犯推進組織の活動支援等の取組により、安全・安心なまちづくりを推進できた。今後は、新たに策定した、「宇治市第4次防犯推進計画」に基づき、地域における自主的な防犯活動の一層の推進に取り組む必要がある。		

事務事業名	防災・防犯カメラ設置事業費	所管課	総務課
		決算額	18,468千円
事業内容	防災面では大雨等により災害が発生している場合またはそのおそれがある場合にライブ画像を確認し状況監視や緊急対応等へ活用するとともに、平時は犯罪抑止と体感治安の向上を目的として地域の見守りを行う、防災・防犯カメラを設置する。		
成果・実績	防災・防犯カメラを14台設置し運用を開始した。 ◎設置等委託 17,610千円 ◎光熱費等 858千円		
事業評価	災害発生のおそれがある場合等に専用端末からライブ画像を確認することで緊急対応等の必要性の判断材料とすることが可能になったとともに、防犯面では体感治安の向上を図ることができた。今後も適切に維持管理しながら安定した運用に努める必要がある。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	総務部
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実	
小分類	01 市民参加機会の充実と情報公開の推進	

事務事業名	個人情報事務費	所管課	総務課																		
		決算額	95千円																		
事業内容	<p>「宇治市個人情報保護条例」は、行政の保有する個人情報に対するアクセス権及びコントロール権を具体的に保障し、個人の権利利益の保護を図るものである。情報公開制度とあわせ、制度の円滑な運用を行うことにより、より充実した豊かな市民生活を実現する。</p> <p>また、市政への積極的な市民参加と公正な市政を推進するため、「宇治市情報公開条例」に沿って、市が保有する公文書の閲覧または写しの交付を請求することができることにより、市民の知る権利を具体的に保障する。</p>																				
成果・実績	<p>個人情報の適正な取扱いを確保し、個人の権利利益の保護を図った。</p> <p>これまでの個人情報流出事案については、人事異動及び担当業務再編などに伴い、特に新年度当初の4月及び5月に発生する傾向がみられることから、年度当初に職員が個人情報保護についての正しい認識と、緊張感を持って個人情報の取扱いを行うよう徹底を図った。</p> <p>また、市が保有する情報を公開することにより、市政に対する市民の理解と信頼を深め、公正な市政を推進した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>◎個人情報開示請求 18件</p> <p>(件)</p> <table border="1" style="margin: auto;"> <tr><td>全部開示</td><td style="text-align: center;">3</td></tr> <tr><td>部分開示</td><td style="text-align: center;">8</td></tr> <tr><td>不開示 (うち不存在)</td><td style="text-align: center;">7 (7)</td></tr> <tr><td>審査請求</td><td style="text-align: center;">0</td></tr> </table> </div> <div style="text-align: center;"> <p>◎公文書公開請求 242件</p> <p>(件)</p> <table border="1" style="margin: auto;"> <tr><td>全部公開</td><td style="text-align: center;">174</td></tr> <tr><td>部分公開</td><td style="text-align: center;">58</td></tr> <tr><td>非公開 (うち不存在)</td><td style="text-align: center;">6 (4)</td></tr> <tr><td>取下げ</td><td style="text-align: center;">4</td></tr> <tr><td>審査請求</td><td style="text-align: center;">0</td></tr> </table> </div> </div> <p>◎市出資法人（宇治市土地開発公社等7法人）及び指定管理者に対する開示申出等 0件</p> <p>◎市出資法人（宇治市土地開発公社等7法人）及び指定管理者に対する公開申出 0件</p>			全部開示	3	部分開示	8	不開示 (うち不存在)	7 (7)	審査請求	0	全部公開	174	部分公開	58	非公開 (うち不存在)	6 (4)	取下げ	4	審査請求	0
全部開示	3																				
部分開示	8																				
不開示 (うち不存在)	7 (7)																				
審査請求	0																				
全部公開	174																				
部分公開	58																				
非公開 (うち不存在)	6 (4)																				
取下げ	4																				
審査請求	0																				
事業評価	<p>個人情報取扱事務登録簿の整備、個人情報開示事務など、個人情報の保護施策を実施するとともに、公文書公開請求に対しては公文書の閲覧等の事務を適正に行い、公正な市政を推進することができた。今後も制度の円滑な運用に努める。</p>																				

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	総務部
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実	
小分類	01 市民参加機会の充実と情報公開の推進	

事務事業名	文書管理事務費	所管課	総務課
		決算額	388千円
事業内容	<p>京都府下の市町村で共同利用する文書管理システムを使用し文書及び簿冊の管理を行う。</p> <p>個人情報保護及び資源の有効利用の観点から、庁内業務で使用した個人情報を含む廃棄文書をリサイクル施設で溶解し、紙への資源再生処理を行う。</p>		
成果・実績	<p>機密文書をリサイクル施設で溶解し、文書の復元が不可能な状態にしてから、紙への再生処理を行った。</p> <p>◎廃棄文書リサイクル委託料 318千円</p> <p>◎廃棄文書量 57.92 t</p>		
事業評価	<p>公文書を適正に管理するとともに、個人情報を含む廃棄文書を適正に処理し、個人情報の保護及び環境資源の有効活用を推進することができた。公文書管理の適正化・効率化を図るため、今後も引き続き実施する。</p>		

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	総務部
中分類	02 国際化の推進と平和への貢献	
小分類	02 平和への貢献	

事務事業名	平和のつどい事業費	所管課	総務課
		決算額	1,743千円
事業内容	<p>本市は核兵器廃絶平和都市宣言の自治体として、世界の恒久平和に向け、宇治市平和都市推進協議会を母体としながら啓発等の事業を行っており、毎年8月を中心に平和事業を実施する。</p>		
成果・実績	<p>核兵器廃絶平和都市宣言の理念に基づき、宇治市平和都市推進協議会が実施する、市民平和祈念集会を始め、市人権啓発課・市教育委員会との「平和☆ひゅうまん夏フェスタ」の共催、戦争体験アーカイブの作成などの平和啓発事業に対して、補助金を交付した。</p> <p>◎平和都市推進協議会補助金 1,743千円</p>		
事業評価	<p>啓発等の平和事業を実施したことにより、平和への市民意識の醸成を図ることができた。今後も引き続き、さらなる事業効果の向上のため、事業内容の工夫・検討により、平和事業への参加者増加を図るとともに、あらゆる機会を通して平和への啓発を実施する必要がある。</p>		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	総務部
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実	
小分類	03 行政情報化の推進	

事務事業名	ICT活用推進事業費	所管課	IT推進課
		決算額	8,340千円
事業内容	ICT活用推進の取り組みとしてタブレット端末を導入し、業務の効率化、充実化を図る。		
成果・実績	<p>タブレット端末（iPad）環境の整備を行い、アプリの導入による窓口での多言語対応への活用、ペーパーレス会議システムの導入による印刷事務の軽減及び災害時の災害対策本部と避難所との情報共有への活用を行った。</p> <p>◎タブレット端末導入経費 6,869 千円</p> <p>◎ペーパーレス会議システム関連経費 1,471 千円</p>		
事業評価	市民の利便性の向上と行財政運営の効率化を図るための環境整備ができた。今後も適切な維持管理に加え、更なる効果の向上のために新たな活用方法の検討を行う。		

事務事業名	情報システムセキュリティ強化費	所管課	IT推進課
		決算額	29,262千円
事業内容	本市が保有する情報資産を適正に管理するため、情報セキュリティ対策を講じる。		
成果・実績	<p>平成27年12月25日付け総務省通知に基づく自治体情報セキュリティ対策を講じたネットワーク上で社会保障・税番号連携が開始されたことを踏まえ、既存ネットワークを含めた情報ネットワーク全体での不正アクセスなど外部からの脅威への対策を行った。</p> <p>◎マイナンバーネットワーク保守業務委託料 15,587 千円</p> <p>◎個人認証システム保守業務委託料 3,432 千円</p>		
事業評価	情報セキュリティの強化と個人情報の適正管理を図ることができた。今後も国・京都府の動向を注視しながら、情報セキュリティの強靱化に努める必要がある。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	総務部
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進	
小分類	03 行政サービスの充実	

事務事業名	個人番号カード交付事務費	所管課	IT推進課																												
		決算額	123,623千円																												
事業内容	個人番号カードの交付を行うほか、電子証明書の発行・更新や暗証番号の再設定など個人番号カードに関連する諸手続を行う。																														
成果・実績	<p>◎個人番号カード交付状況</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>交付数 (件)</th> <th>交付数累計 (件)</th> <th>交付率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成27年度</td> <td>1,665</td> <td>1,665</td> <td>0.9</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>14,694</td> <td>16,359</td> <td>8.7</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>3,252</td> <td>19,611</td> <td>10.4</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>2,248</td> <td>21,859</td> <td>11.6</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>3,860</td> <td>25,719</td> <td>13.7</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>25,206</td> <td>50,925</td> <td>27.4</td> </tr> </tbody> </table>			年度	交付数 (件)	交付数累計 (件)	交付率 (%)	平成27年度	1,665	1,665	0.9	平成28年度	14,694	16,359	8.7	平成29年度	3,252	19,611	10.4	平成30年度	2,248	21,859	11.6	令和元年度	3,860	25,719	13.7	令和2年度	25,206	50,925	27.4
年度	交付数 (件)	交付数累計 (件)	交付率 (%)																												
平成27年度	1,665	1,665	0.9																												
平成28年度	14,694	16,359	8.7																												
平成29年度	3,252	19,611	10.4																												
平成30年度	2,248	21,859	11.6																												
令和元年度	3,860	25,719	13.7																												
令和2年度	25,206	50,925	27.4																												
事業評価	個人番号カード交付の推進に取り組んだ。令和2年12月には個人番号カード専用窓口を開設して円滑なカード交付を図り、カードの交付推進や個人番号カードの利用に関する支援に取り組んだ。																														

事務事業名	テレワーク環境整備事業費	所管課	IT推進課
		決算額	28,351千円
事業内容	既存ネットワーク外から接続（リモートアクセス）を可能とする仕組みを構築することにより、場所を限定せずに業務システムやインターネットへの接続を可能とし、職員の密集を避けながら、業務の継続性を維持する。		
成果・実績	<p>リモートアクセスを可能とする仕組みを構築し、専用端末を70台設置。テレワークの運用開始するにあたり、環境作りを行った。</p> <p>◎テレワークパソコン導入経費 28,351 千円</p>		
事業評価	職員の在宅勤務時に実施可能な業務の幅を広げるため、テレワーク専用端末で自宅等から本市ネットワークに接続することを可能とした。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進
小分類	03 行政サービスの充実

所管部局
総務部

事務事業名	庁舎環境整備事業費(臨時分)	所管課	管財課
		決算額	47,520千円
事業内容	<p>庁舎本館エレベーターについては、平成4年の竣工後、改修を行っていない。利用者の安全を確保するため令和2年度に東側エレベーターを改修し、令和3年度以降に西側のエレベーターも同様の改修を行う。</p>		
成果・実績	<p>利用者の安全を確保するために庁舎本館東側エレベーターの改修工事を行った。</p> <p>◎宇治市庁舎本館エレベーター改修工事 39,490千円</p>		
事業評価	<p>庁舎本館東側エレベーターについて、利用者の安全を確保することができた。</p>		

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進
小分類	03 行政サービスの充実

所管部局
総務部

事務事業名	庁舎西館耐震改修事業費	所管課	管財課
		決算額	4,285千円
事業内容	<p>庁舎西館について、平成12年に実施した耐震診断の結果、耐震基準を満たしていない状態であることが判明。令和元年度に改めて耐震診断を行い、第三者機関である判定委員会に判定を仰ぎ、最終的な補強計画を策定した。令和2年度に実施設計を行い、令和3年度以降に耐震工事を行う。</p>		
成果・実績	<p>庁舎西館に係る耐震補強計画に基づき、建築事務所に耐震設計の委託を行った。</p> <p>◎庁舎西館耐震改修実施設計業務委託料 4,213千円</p>		
事業評価	<p>庁舎西館の耐震工事を行うための実施設計書を作成した。</p>		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	産業地域振興部
中分類	01 住民自治の推進	
小分類	01 地域コミュニティの育成	

事務事業名	地域社会貢献者表彰費	所管課	自治振興課
		決算額	68千円
事業内容	<p>市制施行50周年を記念に創設した制度で、市民の主体的な活動を奨励するとともに、住民自治の精神に基づき、明るく住み良い心豊かな地域社会づくりを推進するため、自発的な善行及び優れた活動によって、地域社会に対し特に顕著な貢献を行った者を表彰する。</p>		
成果・実績	<p>◎地域社会貢献者 21回目となる令和2年度は、5件の受賞者であった。</p> <p>◎受賞者名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青木 弘一 氏 ・辻 辰巳 氏 ・香村 和子 氏 ・野口 正子 氏 ・藤田 佳廣 氏 		
事業評価	<p>自発的な善行及び優れた活動を表彰することにより、地域活動の活性化及び社会貢献に対する市民の意欲向上を図ることができた。今後も引き続き、明るく住み良い心豊かな地域社会づくりを推進するため、地域活動の活性化及び社会貢献に対する市民の意欲向上を図る必要がある。</p>		

事務事業名	ふれあいセンター運営費	所管課	自治振興課
		決算額	90,171千円
事業内容	<p>地域のコミュニティ形成の場として子どもから高齢者まで、地域住民の交流、趣味、娯楽、各種会合、講習会及びスポーツといった活動に利用されており、貸館業務を主とした管理運営を行う。</p>		
成果・実績	<p>菟道・平盛ふれあいセンターの利用人数は、年間延べ7,673人であった。</p> <p>伊勢田・平盛ふれあいセンターの解体工事を行い、菟道ふれあいセンターについては、耐震性能を有していない部分の解体工事に伴い、令和2年12月7日から令和3年3月31日までの間休館した。</p> <p>◎ふれあいセンター運営費 5,891千円</p> <p>◎ふれあいセンター解体撤去費 84,280千円</p>		
事業評価	<p>ふれあいセンターの適切な管理運営により、地域住民のコミュニティ活動を促進することができた。3館ともに施設の老朽化及び耐震の課題があったため、貸館機能を近隣の公共施設等へ機能移転した上で菟道ふれあいセンターを除き廃止した。あわせて、新たな「地域交流・市民交流を基盤としたコミュニティ活動の場」の創出を目的とした公募型プロポーザルによる伊勢田ふれあいセンター跡地の売却を行った。</p>		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	産業地域振興部
中分類	01 住民自治の推進	
小分類	01 地域コミュニティの育成	

事務事業名	コミュニティセンター運営費	所管課	自治振興課
		決算額	65,435千円
事業内容	平成18年度から地域住民で組織する地区コミュニティ推進協議会を指定管理者とし、住民自治の振興とコミュニティ活動の拠点となるコミュニティセンターの管理運営を行う。市民相互の交流と地域活動の振興、市民文化の向上、福祉の増進に寄与するとともに、住民自治意識の高揚と地域活性化に貢献する。		
成果・実績	西小倉・東宇治・南宇治・槇島の4つのコミュニティセンターで合わせて9,026件、延べ71,965人の利用があった。 ◎西小倉コミュニティセンター運営費 15,240千円 ◎東宇治コミュニティセンター運営費 17,918千円 ◎南宇治コミュニティセンター運営費 17,304千円 ◎槇島コミュニティセンター運営費 14,973千円		
事業評価	指定管理者によって、適切に管理運営できた。地域コミュニティの拠点施設として、今後も適切な施設の管理運営に努める必要がある。		

事務事業名	集会所維持管理費	所管課	自治振興課
		決算額	30,140千円
事業内容	住民相互の連帯と福祉・文化の向上を図るため、地域コミュニティづくりの拠点となる集会所の維持管理を行う。		
成果・実績	公立集会所について、適切な管理運営を行うとともに、必要に応じて改修・修繕を実施し環境整備を行った。		
事業評価	公立集会所の適切な管理運営により、地域住民の身近な活動の場としてコミュニティの活性化を図ることができた。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	産業地域振興部
中分類	01 住民自治の推進	
小分類	01 地域コミュニティの育成	

事務事業名	集会所耐震改修事業費	所管課	自治振興課
		決算額	94,640千円
事業内容	「宇治市地域コミュニティ再編計画」に基づき、耐震性能を有していない集会所について、耐震改修を行う。		
成果・実績	集会所10か所の耐震改修を行った。		
事業評価	地域コミュニティ再編計画に基づき、集会所について耐震改修を実施し、使用者の安全を確保することができた。		

事務事業名	民間集会所支援補助金	所管課	自治振興課									
		決算額	2,517千円									
事業内容	町内会・自治会等が自主的に管理運営する民間集会所の新築または修繕などについて補助を行う。											
成果・実績	<p>民間集会所の環境整備として、34件に補助金を交付した。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">◎建替え又は改修</td> <td style="padding-left: 20px;">4 件</td> <td style="padding-left: 20px;">336 千円</td> </tr> <tr> <td>◎耐震診断</td> <td>1 件</td> <td>1,000 千円</td> </tr> <tr> <td>◎電気料金等</td> <td>29 件</td> <td>1,181 千円</td> </tr> </table>			◎建替え又は改修	4 件	336 千円	◎耐震診断	1 件	1,000 千円	◎電気料金等	29 件	1,181 千円
◎建替え又は改修	4 件	336 千円										
◎耐震診断	1 件	1,000 千円										
◎電気料金等	29 件	1,181 千円										
事業評価	地域住民の身近な活動の場である民間集会所の改修等に補助することにより、地域コミュニティの活性化に寄与することができた。今後も継続的に地域のニーズに沿った効果的な補助制度の運用を検討する必要がある。											

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	産業地域振興部
中分類	01 住民自治の推進	
小分類	01 地域コミュニティの育成	

事務事業名	地域コミュニティ活動支援事業費	所管課	自治振興課
		決算額	177千円
事業内容	地域コミュニティの活性化に向けて、地域コミュニティ活動の支援に取り組み、その役割及び重要性について意識の浸透を図る。地域コミュニティのあり方及び協働の進め方について検討を行う。		
成果・実績	<p>地域コミュニティの活性化について、官民学が連携し、フューチャー・デザイン（未来の視点からの考え方）の手法を用い、シンポジウム及びワークショップをオンライン及び会場で行った。</p> <p>◎ シンポジウム「宇治の今と未来を地域からつくる」 日 時：令和2年11月3日（火・祝）13：30～16：00 内 容： 講演 「フューチャー・デザインで今と未来を考える」 取組紹介 岩手県矢巾町による取組紹介 フューチャー・デザイン宇治の取組紹介 等 パネルディスカッション「宇治の今と未来を考える」</p> <p>◎ 宇治の今と未来を地域からつくるワークショップ 日 時：令和2年11月21日（土）、令和2年12月13日（日） 令和3年1月16日（土） それぞれ14：00～16：00</p>		
事業評価	シンポジウムでは学術的な講演のみでなく、市民団体や自治体の取組紹介を行ったことにより、より地域コミュニティについて考えるきっかけに繋がった。ワークショップでは、未来視点でそれぞれの立場を超え、宇治の今と未来について考察することができた。今後もフューチャー・デザイン等の手法を用いた効果的な取組を行うことで、市民と共に地域コミュニティの活性化に繋げる必要がある。		

令和 2 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	産業地域振興部
中分類	01 住民自治の推進	
小分類	01 地域コミュニティの育成	

事務事業名	コミュニティ助成事業補助金	所管課	自治振興課
		決算額	1,500千円
事業内容	一般財団法人自治総合センターが行うコミュニティ助成を活用し、地域コミュニティ活動の充実・強化を目的に、募集等を行い、町内会・自治会等に補助金を交付する。		
成果・実績	◎ 一般コミュニティ助成事業 1 件 1,500 千円		
事業評価	一般財団法人自治総合センターが行うコミュニティ助成を活用し、町内会・自治会等に対して、制度の周知の上、補助金を交付することで、地域コミュニティの活性化に寄与することができた。		

事務事業名	地域コミュニティ再編計画推進費	所管課	自治振興課
		決算額	866千円
事業内容	地域コミュニティ再編計画に基づく、公立集会所の地域への無償譲渡を促進するため、地域の主体的な集会所運営の推進に向けた支援を行う。		
成果・実績	<p>地域コミュニティ再編計画の推進に向け、地域と調整を行った。 また、地域への無償譲渡を行った西浦東集会所について、登記手続き及び改修等に対し集会所地域移行支援補助金を交付した。</p> <p>◎登記手続き 1 件 174 千円</p> <p>◎改修等 1 件 692 千円</p>		
事業評価	改修等に対し補助することで、地域ニーズに応じた集会所運営に繋がり、地域コミュニティの活性化に寄与することができた。なお、今後も地域コミュニティ再編計画に基づき、地域への無償譲渡を進めるが、施設の適正配置の観点から、稼働率の低い集会所については、廃止等も視野に入れて検討する必要がある。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	産業地域振興部
中分類	05 勤労者福祉・消費生活の向上	
小分類	02 消費生活の充実	

事務事業名	消費者支援事業費	所管課	自治振興課																
		決算額	383千円																
事業内容	事業者と消費者との間の取り引きにおいて生じた困り事に対し、専門の消費生活相談員が助言・情報提供・あっせんなどを行う。また、市民の消費生活の向上を図るため、情報発信や啓発を行う。																		
成果・実績	<p>消費生活センターに相談員3名を配置し、1,195件の相談に応じた。 また、消費生活に関する出前講座や消費者月間ロビー展示・消費生活市民講座等を通じて、市民啓発や消費者団体の育成を図った。</p> <p>◎啓発事業</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">事業名</th> <th style="width: 15%;">実施時期</th> <th style="width: 35%;">成果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出前講座</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">通年</td> <td style="text-align: center;">31回実施 721人参加</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">うち、子育て世代向け出前講座</td> <td style="text-align: center;">3回実施 90人参加</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">見守り人材向け出前講座</td> <td style="text-align: center;">3回実施 36人参加</td> </tr> <tr> <td>消費者月間ロビー展示</td> <td style="text-align: center;">5月18～22日</td> <td style="text-align: center;">240人参加</td> </tr> <tr> <td>消費生活市民講座「老いる前の整理はじめます！」</td> <td style="text-align: center;">10月21日</td> <td style="text-align: center;">88人参加</td> </tr> </tbody> </table>			事業名	実施時期	成果	出前講座	通年	31回実施 721人参加	うち、子育て世代向け出前講座	3回実施 90人参加	見守り人材向け出前講座	3回実施 36人参加	消費者月間ロビー展示	5月18～22日	240人参加	消費生活市民講座「老いる前の整理はじめます！」	10月21日	88人参加
事業名	実施時期	成果																	
出前講座	通年	31回実施 721人参加																	
うち、子育て世代向け出前講座		3回実施 90人参加																	
見守り人材向け出前講座		3回実施 36人参加																	
消費者月間ロビー展示	5月18～22日	240人参加																	
消費生活市民講座「老いる前の整理はじめます！」	10月21日	88人参加																	
事業評価	専門の消費生活相談員が適切な助言、あっせんなどを行うことにより、消費生活の改善・向上に寄与することができた。今後も、広範な消費生活に関する苦情及び相談が想定されることから、様々な手法により市民啓発を図るとともに、各種研修会等への参加を通じて相談員の一層の資質向上に努める必要がある。																		


令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	産業地域振興部
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実	
小分類	02 広報・広聴活動の充実	

事務事業名	広聴事務費	所管課	自治振興課
		決算額	70千円
事業内容	市民の行政に対する苦情、要望及び困り事などについての相談機関として、関係各課及び他の行政機関に事案の解決を図るべく依頼要請を行うなどして市民の生活環境の向上を図る。		
成果・実績	<p>市民相談・行政懇談会などの内容を関係部課に伝え、適切な措置を求め、市政に反映するよう努めた。あわせて、総務省主催の行政相談への協力を行った。</p> <p>さらに、市役所、公民館、コミュニティセンターなどの公共施設26か所に設置している「市民の声」投書箱により、広い範囲から市政に対する意見、要望などを求めた。</p> <p>なお、市民相談では、近隣関係、相続、夫婦・親子、金銭貸借など市民の個々の悩み事、心配事など日常生活上での諸問題についても、専門的な相談機関を紹介するなどの対応を行い、市政への親しみと信頼感の向上に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民相談 1,649件 (市政相談1,292件、他の公共機関等77件、民事相談ほか280件) ・ 行政懇談会 9回 ・ 行政相談 7回 (毎月第3木曜日) 		
事業評価	市民相談・行政懇談会などを通じて市民ニーズを把握し、市民の要望を市政に反映することができた。今後も、市民に親しまれる身近な相談窓口として、より効果的な広聴手法を検討する必要がある。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	産業地域振興部
中分類	02 市民文化の創造	
小分類	01 市民文化の創造・発展	

事務事業名	源氏ろまん事業費	所管課	文化スポーツ課
		決算額	18,660千円
事業内容	<p>ふるさと創生事業として創設した「紫式部文学賞」「紫式部市民文化賞」及び両賞の贈呈式をはじめとした「源氏ろまん」事業を実施し、文化の振興とともに「源氏物語のまち宇治」としての本市のイメージアップを図る。</p>		
成果・実績	<p>◎第30回紫式部文学賞・紫式部市民文化賞 11月22日（日）に紫式部文学賞・市民文化賞贈呈式及び源氏ろまん30周年記念イベントを実施した。なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、受賞者招待者等関係者のみで開催し、後日、市公式YouTubeチャンネル「宇治市ちはや茶んねる」にて、当日の様子を動画配信している。</p> <p>第Ⅰ部 贈呈式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紫式部文学賞（全国から64作品の推薦） 中島 京子 氏 「夢見る帝国図書館」 ・紫式部市民文化賞（49作品の応募・推薦） 武智 由紀子 氏 「お福分け」 選考委員特別賞 さくら さち 氏 「りせっと」 宇治茶の花短歌会 「合同歌集 茶の花 第十四号」 <p style="text-align: right;">  紫式部文学賞贈呈式 </p> <p>第Ⅱ部 源氏ろまん30周年記念イベント</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 トークイベント 「令和時代に求められる女性文学」 赤坂 真理 氏（第23回紫式部文学賞受賞者） 森 まゆみ 氏（第24回紫式部文学賞受賞者） 平田 俊子 氏（第26回紫式部文学賞受賞者） 2 記念演奏 ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団による演奏 ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団と京都府立菟道高等学校吹奏楽部によるコラボ演奏 <p>◎宇治田楽まつり 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、10月17日（土）に宇治田楽まつり実行委員会の関係者のみで、太陽が丘にて動画撮影を行い、11月1日（日）より宇治田楽まつり公式YouTubeチャンネルで動画配信という形で実施した。</p> <p>◎宇治十帖スタンプラリー 新型コロナウイルス感染症の影響により、中止した。</p>		
事業評価	<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、YouTubeを活用した動画配信という形での実施としたことで、時間・場所を問わずに繰り返し鑑賞できる機会を提供できた。</p> <p>また、源氏物語をテーマとするイベントの開催により、市民の文化活動の活性化及び「源氏物語のまちづくり」の定着を図ることができた。今後もより効果的な手法を検討する中で、更なる「源氏物語のまちづくり」の推進に努める必要がある。</p>		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	産業地域振興部
中分類	02 市民文化の創造	
小分類	01 市民文化の創造・発展	

事務事業名	合唱団活動費	所管課	文化スポーツ課
		決算額	1,802千円
事業内容	合唱団活動を通して、自主的で情操豊かな児童・生徒を育成することを目的とし、昭和54年8月に、国際児童年を記念して結成した。毎週土曜日の定期練習及び定期演奏会の開催のほか、各種発表会・市の公式行事等に出演する。		
成果・実績	<p>団員は市内在住の小学2年生から中学3年生までの約40人で、土曜日午後の練習、コンサート出演、オリジナルソングの作成などの活動を行った。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していたコンサートの中止・延期や活動の休止があったが、感染症対策を取り入れながら練習を行い、延期していた令和元年度定期演奏会及び卒団式を10月末に開催した。</p>		
事業評価	合唱活動に取り組むことで、小・中学生の文化意識及び協調性などを育てることができた。緊急事態宣言中は合唱活動ができない中、自宅での練習やワークの実施により、モチベーションを保つ工夫をした。今後もさらなる活性化に向けて、市内小・中学校の協力を得ながら団員確保に努めるとともに、持続可能な運営手法について検討する必要がある。		



事務事業名	市民交流ロビーコンサート開催費	所管課	文化スポーツ課
		決算額	110千円
事業内容	昼休憩時間にミニコンサートを開催し、市庁舎を市民の気軽な音楽活動の発表の場にするにより、音楽文化の促進と市民相互の交流を図るとともに、市民にとって親しみやすい市役所にする。		
成果・実績	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、ロビーでの開催を中止し、予定していたコンサートの一部を無観客で撮影・編集のうえ、市公式YouTubeチャンネル「宇治市ちはや茶んねる」にて配信を行った。</p> <p>◎配信動画数 7本 ◎延べ再生回数 3,002回 (令和3年3月末時点)</p>		
事業評価	新しい取組としてYouTubeでの動画配信を行うことで、時間や場所を選ばずに繰り返し鑑賞できる機会を提供できた。しかしながら、コンサートを直接見る、聴くことにより生まれる相互交流が図りにくい点があり、感染症対策を取りながらの実施方法について引き続き検討する必要がある。		

「宇治市ちはや茶んねる」

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	産業地域振興部
中分類	02 市民文化の創造	
小分類	01 市民文化の創造・発展	

事務事業名	文化芸術活動動画配信事業費	所管課	文化スポーツ課
		決算額	3,474千円
事業内容	新型コロナウイルス感染症の影響により、様々な文化芸術のイベントが中止となったことから、オンラインによる活動発表の機会として、市内で活動している団体・個人の文化芸術作品を専用のYouTubeチャンネルにて配信を行う。		
成果・実績	<p>YouTube内に文化芸術に関する専用の「宇治市文化芸術活動おうえんチャンネル」を開設した。市内で文化芸術活動をされている個人・団体等が作成された動画と、文化センター大ホールで無観客で撮影した動画を配信した。</p> <p>配信動画数 29本 延べ視聴回数 16,145回（令和3年3月末時点）</p>		
事業評価	新しい生活様式に対応した文化芸術活動の発表の場を創出することができた。動画配信で市内外の多くの人に見ていただくことで、新型コロナウイルス感染症の中にあっても、文化芸術活動への契機とすることができた。		

事務事業名	文化センター改修事業費	所管課	文化スポーツ課
		決算額	24,522千円
事業内容	令和2年6月に策定した「宇治市文化センター改修実施方針」に基づき、施設の長寿命化のための改修等を実施する。		
成果・実績	老朽化していた文化センターのエレベーター2基のうち、令和2年度に1基の改修工事を行った。		
事業評価	改修により、利用者の安全、バリアフリー確保が図れた。長寿命化の観点から、適宜必要な改修について今後も検討していく必要がある。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	04 商工業・観光の振興
小分類	04 観光の振興

所管部局
産業地域振興部

事務事業名	ワールドマスターズゲームズ開催事業費	所管課	文化スポーツ課
		決算額	0千円
事業内容	ワールドマスターズゲームズ2021関西において宇治市がフライングディスク（アルティメット）競技の開催会場となるため、実行委員会形式で開催に向けた準備を行う。		
成果・実績	新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年10月28日のワールドマスターズゲームズ2021関西組織委員会理事会で令和4年への延期が決定。同年11月4日の国際マスターズゲームズ協会総会で令和4年への延期について承認を得た。		
事業評価	ワールドマスターズゲームズ2021関西の実施に向けて、実行委員会と連携し、準備を進めることができた。国際的なスポーツイベントの開催によりスポーツの機運が高まっていることから、本市のスポーツ振興等に資するものとなるよう引き続き取り組む。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	産業地域振興部
中分類	02 生涯学習の充実	
小分類	02 スポーツ・レクリエーションの普及	

事務事業名	スポーツ振興基金活用事業費	所管課	文化スポーツ課
		決算額	859千円
事業内容	市民の健康・体力の増進、競技力の向上、地域コミュニティの形成、競技人口の拡大を図るため、スポーツ振興基金を活用した諸事業を実施する。		
成果・実績	<p>基金を活用し、市民レベルのスポーツ交流の促進、競技力の向上、競技人口の拡大を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎府民総体選手派遣費 383千円 <ul style="list-style-type: none"> ・参加団体数 10団体 ◎世界大会等参加者激励金 120千円 <ul style="list-style-type: none"> ・交付件数 14件 交付人数 51人 ◎生涯スポーツ育成事業 195千円 <ul style="list-style-type: none"> ・（一財）宇治市スポーツ協会に委託 参加団体数 8団体 ◎ジュニア技術講習会 150千円 <ul style="list-style-type: none"> ・宇治市中学校体育連盟に委託 参加者数 267人 ◎第28回宇部市・宇治市スポーツ交流大会 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 		
事業評価	基金を活用して各種事業を実施し、市民スポーツの水準向上とスポーツ人口の拡大を図った。今後も引き続き、基金の有効活用に努めるとともに、最大の効果を挙げられるよう事業内容を精査し、スポーツ交流の促進等に取り組む必要がある。		

事務事業名	各種大会事業補助金	所管課	文化スポーツ課
		決算額	2,866千円
事業内容	地域に根ざした市民スポーツの推進と競技力の向上を目的に、各種大会等の体育団体の事業を助成し、自主活動の促進と団体育成を図る。		
成果・実績	<p>大会等に助成を行い、自主活動の促進及び団体育成に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎市長杯等各種競技大会補助金 605千円 <ul style="list-style-type: none"> ・参加者数 5,094人 ◎地域体育振興事業補助金 1,500千円 <ul style="list-style-type: none"> ・加盟数 32,848世帯 ◎スポーツ少年団育成事業補助金 561千円 <ul style="list-style-type: none"> ・団体数 58団体 ◎障害者スポーツ大会補助金 0千円 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 ◎宇治川マラソン大会事業補助金 200千円 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 		
事業評価	各種団体が主催する大会を支援し、本市の競技レベルの向上及び市民スポーツの推進を図った。市民ニーズを把握し、今後も本市のスポーツ推進に寄与するため、より効果的な支援に努める必要がある。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	産業地域振興部
中分類	02 生涯学習の充実	
小分類	02 スポーツ・レクリエーションの普及	

事務事業名	スポーツ団体感染症対策支援補助金	所管課	文化スポーツ課
		決算額	2,485千円
事業内容	1団体あたり10万円を上限とし、各競技団体等の大会や、地域イベントの実施に向け、安全に練習等の準備活動に取り組むことや、安心して大会等を開催することができるよう感染症対策の取組を支援し、スポーツの場づくりを促進する。		
成果・実績	感染症防止対策に取り組むことで安心してスポーツ活動を継続することができた。		
	<ul style="list-style-type: none"> ◎ (一財) 宇治市スポーツ協会 1,705千円 <ul style="list-style-type: none"> ・加盟団体 24団体 ◎ 宇治市体育振興会連合会 780千円 <ul style="list-style-type: none"> ・加盟体振 19体振 		
事業評価	スポーツ団体において、適切に新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで、安全・安心にスポーツを実施できる「場づくり」に資することができた。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	産業地域振興部
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進	
小分類	03 行政サービスの充実	

事務事業名	行政サービスコーナー運営費	所管課	市民課
		決算額	57,326千円
事業内容	小倉、木幡など市内6か所の行政サービスコーナーにおいて、住民票の写し、戸籍全部事項証明書などの市民課の諸証明及び税関係の諸証明の発行業務等を行う。		
成果・実績	諸証明及び税関係証明書の取扱い、他課業務の申請書等の受付を行った。		
	◎市民課業務の年間取扱い件数（公用請求を除く）		
	名称	件数	
	小倉行政サービスコーナー	10,249	
	木幡行政サービスコーナー	12,116	
	南宇治行政サービスコーナー	7,468	
榎島行政サービスコーナー	6,499		
東宇治行政サービスコーナー	5,539		
開行政サービスコーナー	4,610		
事業評価	諸証明の発行業務を市内6か所で実施することにより、地域住民の利便性向上に努めた。今後も市民ニーズを踏まえて、サービスの充実・改善に努める必要がある。		

事務事業名	受付証明等事務費	所管課	市民課
		決算額	2,737千円
事業内容	住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍全部事項証明書などの諸証明発行業務を行う。		
成果・実績	◎住民票等諸証明発行数（行政サービスコーナー取扱い分を含む）		
	（通）		
	印鑑登録証明書交付数	47,853	
	住民票の写し交付数	70,078	
	戸籍全部事項証明書等交付数	16,239	
	戸籍個人事項証明書等交付数	3,636	
	除かれた戸籍全部事項証明書等交付数	7,408	
	除かれた戸籍個人事項証明書等交付数	140	
	戸籍附票交付数	2,379	
	閲覧件数	8	
	諸証明交付数	7,092	
印鑑登録証交付数	5,735		
※は件数			
事業評価	各種証明書の発行等の事務を適正に執行した。今後も市民ニーズを踏まえて、オンライン申請の導入等サービスの充実・改善に努める。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	03 農林漁業・茶業の振興
小分類	01 農業の振興

所管部局
産業地域振興部

事務事業名	新規就農者確保事業費	所管課	農林茶業課
		決算額	5,801千円
事業内容	農業者の高齢化が急速に進展する中、農業を持続させるためには新規就農者を確保する必要があるため、経営確立に資する資金の交付等により、就農意欲の喚起と就農後の定着を図る。		
成果・実績	新規就農者5組6人（1組2人は夫婦型、4人は個人型）に対し、農業次世代人材投資資金（経営開始型）を交付した。		
事業評価	新規就農者に対し農業次世代人材投資資金を交付することにより、農業の持続と振興を図ることができた。農業者の高齢化に対応する取組が必要であるため、今後も国・京都府の動向を注視し、引き続き就農意欲の喚起と就農後の定着を図る。		

事務事業名	巨椋池排水機場管理協議会負担金	所管課	農林茶業課
		決算額	26,890千円
事業内容	国営総合農地防災事業で整備された巨椋池排水機場を管理するため、本市、京都市、久御山町で管理協議会を組織し、排水機場の管理を行う。		
成果・実績	巨椋池排水機場管理協議会への負担を通して、排水機場の適正な管理及び運転を行い、水害の防止に寄与した。		
事業評価	関係団体と巨椋池排水機場管理協議会を組織し、排水機場の維持管理を行ったことにより、災害の未然防止を図ることができた。今後も関係団体と連携し、排水機場の適切な施設管理に努める必要がある。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	産業地域振興部
中分類	03 農林漁業・茶業の振興	
小分類	02 茶業の振興	

事務事業名	優良茶園振興事業補助金	所管課	農林茶業課															
		決算額	959千円															
事業内容	市内産宇治茶の名声を維持し、さらに高めるためには、優良茶園の整備が不可欠であり、茶園拡大・新植及び改植事業への支援を通じ、品質及び生産力の向上を図る。																	
成果・実績	茶園拡大及び改植事業に補助金を交付し、優良茶園の拡大を図った。																	
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>事業実施件数</th> <th>面積(a)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>茶園拡大</td> <td>0</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>新植</td> <td>0</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>改植</td> <td>7</td> <td>66.4</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>7</td> <td>66.4</td> </tr> </tbody> </table>				事業実施件数	面積(a)	茶園拡大	0	-	新植	0	-	改植	7	66.4	合計	7	66.4
	事業実施件数	面積(a)																
茶園拡大	0	-																
新植	0	-																
改植	7	66.4																
合計	7	66.4																
事業評価	改植事業に対し助成することにより、宇治茶の生産振興を図ることができた。今後も、優良茶園の整備による質の高い宇治茶の生産に努める中で、より効果的・効率的な補助実施について検討する必要がある。改植事業に対し助成することにより、宇治茶の生産振興を図ることができた。																	

事務事業名	茶・茶園品評会出品奨励費	所管課	農林茶業課																																
		決算額	4,617千円																																
事業内容	市内産宇治茶の名声を維持し、さらに高めるためには、生産者の高い意欲と品評会での上位入賞、評価結果に基づく絶え間ない生産技術の改善と品質向上が不可欠であることから、品評会への出品を奨励するとともに、成績優秀者には報奨金等を交付する。																																		
成果・実績	全国茶品評会、関西茶品評会など各種品評会への出品を奨励し、出品奨励金及び入賞報奨金などを交付した。																																		
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>第74回全国 茶品評会</th> <th>第73回関西 茶品評会</th> <th>第53回宇治市 茶品評会</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出品数</td> <td>63</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>優等数</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>1等賞</td> <td>5</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>2等賞</td> <td>10</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>3等賞</td> <td>19</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>農林水産大臣賞</td> <td>受賞</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> <tr> <td>産地賞</td> <td>受賞</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> </tbody> </table>				第74回全国 茶品評会	第73回関西 茶品評会	第53回宇治市 茶品評会	出品数	63	/	38	優等数	/	/	2	1等賞	5	/	4	2等賞	10	/	4	3等賞	19	/	4	農林水産大臣賞	受賞	/	/	産地賞	受賞	/	/
	第74回全国 茶品評会	第73回関西 茶品評会	第53回宇治市 茶品評会																																
出品数	63	/	38																																
優等数	/	/	2																																
1等賞	5	/	4																																
2等賞	10	/	4																																
3等賞	19	/	4																																
農林水産大臣賞	受賞	/	/																																
産地賞	受賞	/	/																																
	※関西茶品評会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止																																		
事業評価	全国茶品評会等、各種品評会への出品を奨励することにより、生産者の生産意欲を高めるとともにブランド力の向上につなげることができた。今後も引き続き、質の高い宇治茶が生産されるよう、より効果的な支援に努める必要がある。																																		

令和 2 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	産業地域振興部
中分類	03 農林漁業・茶業の振興	
小分類	02 茶業の振興	

事務事業名	宇治茶おもてなし推進事業費	所管課	農林茶業課
		決算額	354千円
事業内容	「宇治茶の普及とおもてなしの心の醸成に関する条例」に基づき、おもてなしの心を醸成するために必要な事業を実施する。		
成果・実績	<p>各種イベントにて市内産宇治茶の普及啓発を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市主催の会議等の際に用意する飲み物について市内産玉露かりがねを使用（319袋）。 ・ 4月 新規採用職員向けにお茶の淹れ方研修を実施。 		
事業評価	「宇治茶の普及とおもてなしの心の醸成に関する条例」に基づき各種事業を実施することにより、宇治茶の伝統及び茶業の情報発信を図ることができた。今後も引き続き、効果的・効率的な普及啓発に努める必要がある。		

事務事業名	高品質茶推進事業補助金	所管課	農林茶業課																																		
		決算額	3,327千円																																		
事業内容	市内産宇治茶の名声を維持し、さらに高めるために、品質の改善及び生産性の向上につながる農家の幅広い対策を支援する。																																				
成果・実績	<p>環境にやさしい茶づくり及び寒冷紗等による茶園管理の省力化などへの支援を行うとともに、本ず茶園及び手摘みによる高品質茶の生産には欠かせない市内産宇治茶の伝統の継承を図る農家の取組にも支援を行った。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;"></th> <th style="width: 20%;">事業実施件数</th> <th style="width: 20%;">面積(a)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>環境にやさしい茶生産対策</td> <td style="text-align: center;">21</td> <td style="text-align: center;">1,672.5</td> </tr> <tr> <td>手摘み茶推進対策</td> <td></td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>凍霜害対策</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>伝統技術継承対策</td> <td style="text-align: center;">17</td> <td style="text-align: center;">274.3</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center;">生産省力化対策</td> <td>寒冷紗二重式</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">22.2</td> </tr> <tr> <td>寒冷紗一重式</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>棚整備(永久棚)</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">10.0</td> </tr> <tr> <td>被覆張替え</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">35.0</td> </tr> <tr> <td>点滴灌水</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">19.6</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: center;">45</td> <td style="text-align: center;">2,033.6</td> </tr> </tbody> </table>				事業実施件数	面積(a)	環境にやさしい茶生産対策	21	1,672.5	手摘み茶推進対策		-	凍霜害対策	0	-	伝統技術継承対策	17	274.3	生産省力化対策	寒冷紗二重式	2	22.2	寒冷紗一重式	0	-	棚整備(永久棚)	1	10.0	被覆張替え	2	35.0	点滴灌水	2	19.6	合計	45	2,033.6
	事業実施件数	面積(a)																																			
環境にやさしい茶生産対策	21	1,672.5																																			
手摘み茶推進対策		-																																			
凍霜害対策	0	-																																			
伝統技術継承対策	17	274.3																																			
生産省力化対策	寒冷紗二重式	2	22.2																																		
	寒冷紗一重式	0	-																																		
	棚整備(永久棚)	1	10.0																																		
	被覆張替え	2	35.0																																		
	点滴灌水	2	19.6																																		
合計	45	2,033.6																																			
事業評価	本ず茶園及び手摘みなどによる生産を支援することにより、より高品質な宇治茶の生産を促進できた。継続して宇治茶、とりわけ市内産茶の名声を維持するとともに、今後も質の高い宇治茶の生産を行うため、より効果的な支援に努める必要がある。																																				

令和 2 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	産業地域振興部
中分類	03 農林漁業・茶業の振興	
小分類	02 茶業の振興	

事務事業名	宇治茶商標関連対策事業費	所管課	農林茶業課
		決算額	3,000千円
事業内容	<p>中国において「宇治」が著名な地名であることを証明する資料やデータを集積するとともに、中国本土及び日本を訪れる中国人に対し、「宇治」が日本の著名な地名であり、「宇治茶」の生産地であることを発信し、中国における「宇治」「宇治茶」などの冒認商標が認められないよう取組を行う京都府茶協同組合に対し補助金を交付する。</p>		
成果・実績	<p>中国における「宇治」「宇治茶」などの冒認商標が認められないよう取組を行う京都府茶協同組合に対し補助金の交付を行った。</p> <p>認知度調査：中国在住者へのネットアンケートを行った。</p> <p>認知度向上：中国本土へインターネットを通じた宇治茶PR動画配信を行った。</p>		
事業評価	<p>京都府茶協同組合に対し補助金を交付することにより、中国本土において地名「宇治」の認知度調査や認知度向上のための宇治茶PR動画の配信を行い、効果的に認知度向上を図ることができた。引き続き、地名「宇治」の冒認商標が認められないよう関係機関と連携を図る。</p>		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	産業地域振興部
中分類	03 農林漁業・茶業の振興	
小分類	03 林業・漁業の振興	

事務事業名	鳥獣捕獲飼養対策費	所管課	農林茶業課
		決算額	3,006千円
事業内容	鳥獣による農林業生産物への被害を防止するため、シカ及びイノシシの捕獲を進める。		
成果・実績	<p>東部山間地を中心に、農林業被害防止を目的に宇治猟友会に委託して捕獲事業を実施したほか、被害防止のための捕獲及び狩猟によるシカ捕獲に対して捕獲奨励金を交付した。</p> <p>【捕獲事業】</p> <p style="padding-left: 20px;">◎宇治猟友会への委託による捕獲頭数 154頭</p> <p>【奨励金事業】</p> <p style="padding-left: 20px;">(被害防止捕獲)</p> <p style="padding-left: 40px;">◎鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業対象捕獲頭数 159頭</p> <p style="padding-left: 40px;">(狩猟)</p> <p style="padding-left: 40px;">◎猟期中のシカ捕獲強化事業による捕獲頭数 147頭</p> <p style="padding-left: 80px;">(内、奨励金対象捕獲頭数 111頭)</p>		
事業評価	有害鳥獣捕獲業務の委託及び捕獲奨励金を交付することなどにより、農林産物の被害の軽減を図ることができた。今後も国・京都府の動向を注視し、引き続き事業の効果を検証しながら、農作物被害の軽減等に努める必要がある。		

事務事業名	河川種苗放流事業補助金	所管課	農林茶業課
		決算額	1,270千円
事業内容	稚魚の放流による水産資源の増殖を通して、快適な水辺空間及び良好な漁場を地域住民及び観光客に提供し、魚の棲めるきれいな川づくりへの気運を高める。		
成果・実績	<p>宇治川・志津川・笠取川等で行われた、あゆ(5万尾)、ふな(5千尾)、うなぎ(4千尾)、あまご(1千6百尾)の稚魚放流に対して助成を行い、水産資源の増殖に努めた。</p> <p>はえの種苗は入手困難のため、代替措置として産卵床の造成が行われた。コイヘルペスの蔓延防止のため、こいの放流は自粛となった。</p>		
事業評価	京都府制度に基づき、種苗放流事業に助成することにより、水産資源の増殖及び河川の環境改善などを行うことができた。宇治川の快適な水辺空間の創出は観光にも寄与するため、今後もより効果的な支援に努める必要がある。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	03 農林漁業・茶業の振興
小分類	03 林業・漁業の振興

所管部局
産業地域振興部他

事務事業名	豊かな森を育てる府民税市町村交付金を活用した事業	所管課	農林茶業課他
		決算額	14,142千円
事業内容	本市における森林の持つ多面的機能を守り育て、より豊かなものとして次世代に伝えていくため、森林の整備や保全、森林資源の循環利用、森林の多様な重要性について、市民理解の促進に取り組む。		
成果・実績	◎森林の整備及び保全 (千円)		
	事業	課名	事業概要
	豊かな森を育てる事業費	農林茶業課	<ul style="list-style-type: none"> ・天ヶ瀬森林公園内の危険木等の伐倒（133本） ・森林施業路に係る補助（1箇所400m）
			事業費
			1,526
◎府内産木材の利用促進事業 (千円)			
事業	課名	事業概要	
豊かな森を育てる事業費	農林茶業課	<ul style="list-style-type: none"> ・天ヶ瀬森林公園の木製備品（ベンチ8基、縁台2基、野外卓1基） ・林道内木製看板（3基） 	
地域子育て支援基幹センター「キッズスペース」整備事業費	こども福祉課	<ul style="list-style-type: none"> ・地域子育て支援基幹センター「キッズスペース」の木製備品（絵本棚、下駄箱等15基） 	
中学校府内産木材備品等整備事業費	学校管理課	<ul style="list-style-type: none"> ・市立中学校理科室用角椅子（10校×40脚） 	
		事業費	
		5,301	
		1,331	
		5,984	
事業評価	京都府豊かな森を育てる府民税市町村交付金を活用し、森林の整備及び保全などを行うことができた。今後も交付金事業の趣旨を踏まえ、より効果的・効率的に森林整備及び保全などに取り組む必要がある。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	産業地域振興部
中分類	04 商工業・観光の振興	
小分類	04 観光の振興	

事務事業名	観光センター管理運営費	所管課	観光振興課								
		決算額	10,407千円								
事業内容	観光情報サービスの拠点として、市内の観光案内のほか観光パンフレットの配布を行っている。センターの管理運営については（公社）宇治市観光協会を指定管理者としている。										
成果・実績	◎入館者数：46,297人										
	◎観光案内件数：12,219件										
	◎貸館状況										
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;"></th> <th style="width: 35%;">利用件数</th> <th style="width: 35%;">施設使用料（円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>展示会場</td> <td>52（うち有料件数4）</td> <td>25,000</td> </tr> <tr> <td>和室</td> <td>0（うち有料件数0）</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>				利用件数	施設使用料（円）	展示会場	52（うち有料件数4）	25,000	和室	0（うち有料件数0）
	利用件数	施設使用料（円）									
展示会場	52（うち有料件数4）	25,000									
和室	0（うち有料件数0）	0									
	※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止及び緊急事態宣言の発出に伴い、4月10日から5月31日まで閉館										
事業評価	指定管理者により適切に管理運営ができた。宇治観光の拠点施設として、より効果的な施設の運営に努める必要がある。										

事務事業名	市営茶室管理運営費	所管課	観光振興課				
		決算額	10,076千円				
事業内容	宇治茶及び茶道の普及並びに観光の振興を図るために、市営茶室「対鳳庵」を設置している。宇治を訪れる観光客が本場の宇治茶を気軽に味わうことができるようになっており、茶室の管理運営については（公社）宇治市観光協会を指定管理者としている。						
成果・実績	◎入席者数：1,908人						
	うち有料券数：1,820人						
	うち招待券数：88人						
	◎専用利用状況						
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">件数</th> <th style="width: 60%;">専用使用料（円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0（うち有料件数0）</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>			件数	専用使用料（円）	0（うち有料件数0）	0
件数	専用使用料（円）						
0（うち有料件数0）	0						
	※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止及び緊急事態宣言の発出に伴い、令和2年3月1日から6月30日までと令和3年1月16日から3月7日まで休席						
事業評価	指定管理者による適切な管理運営を通じて、観光客等に宇治茶を提供し、宇治茶の普及及び観光の振興に努めた。ポストコロナ社会を見据えて、引き続き国内外に対して施設のPR強化に努めるとともに、より効果的・効率的な宇治茶の普及及び観光の振興を図る必要がある。						

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	産業地域振興部
中分類	04 商工業・観光の振興	
小分類	04 観光の振興	

事務事業名	観光案内所管理運営事業費	所管課	観光振興課
		決算額	7,758千円
事業内容	宇治市観光案内所（JR宇治駅前・近鉄大久保駅・京阪宇治駅前（H29～））を運営し、宇治を訪れる観光客への案内業務を行う。（公社）宇治市観光協会を管理運営者として いる。		
成果・実績	<p>◎観光案内所での案内業務件数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JR宇治駅前観光案内所 件数：51,399人（内、インバウンド：309人） ・近鉄大久保駅観光案内所 件数：4,406人（内、インバウンド：4人） ・京阪宇治駅前観光案内所 件数：19,326人（内、インバウンド：100人） <p>※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止及び緊急事態宣言の発出に伴い、JR宇治駅前観光案内所及び京阪宇治駅前観光案内所は4月10日から5月31日まで休業</p>		
事業評価	宇治観光の玄関口となる各駅前の観光案内所において、必要とされる観光情報を案内することができた。今後も観光客の視点に立った案内業務に努め、おもてなし力を極める必要がある。		

事務事業名	宇治茶巡りガイドツアー事業費	所管課	観光振興課
		決算額	51千円
事業内容	観光客に宇治茶への興味を持ってもらい、より多くの宇治の魅力を感じてもらうために、宇治観光ボランティアガイドクラブの案内による宇治茶関連施設の無料ツアーを行う。		
成果・実績	<p>◎ツアー開催日数：58日（1日につき、午前の1回開催）</p> <p>◎ツアー参加者数：167人</p> <p>緊急事態宣言の発出に伴って開催できない時期があったものの、参加者からは観光客が個人で宇治市内を巡るだけでは知ることのできない宇治茶のルーツを知ることができると好評であった。</p> <p>※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止及び緊急事態宣言の発出に伴い、4月及び5月のツアーは中止。6月以降のツアーについては、参加人数を概ね半分にする等の対策をした上で実施</p>		
事業評価	観光客に対し宇治茶に関する情報提供及び施設見学を行うことにより、宇治茶のブランド力の強化と宇治の魅力発信に努めることができた。今後も宇治の魅力を伝える取組として、より効果的な手法を検討する必要がある。		

令和 2 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	産業地域振興部
中分類	04 商工業・観光の振興	
小分類	04 観光の振興	

事務事業名	観光インバウンド推進事業費	所管課	観光振興課
		決算額	9,000千円
事業内容	海外からの観光客誘客のために、様々なメディアによる海外向けの情報発信を行う。香港、台湾、タイへの効果的なPRを行うため、宇治の情報を情報誌に掲載する。		
成果・実績	◎ジャパンウォーカーWeb記事及び動画作成 ・作成部数：Web記事2本、動画2本 ◎香港、台湾、タイをはじめとする東アジアのポストコロナ社会における観光動向について調査・分析を行い、海外の旅行代理店及び国内の観光事業者に対して継続的な情報発信を行った。		
事業評価	海外に向けて宇治の情報発信を継続して行うことにより、ポストコロナ社会における海外からの観光誘客につなげる取組ができた。今後も外国人観光客のさらなる誘客のため、様々なメディアを利用し効果的な情報発信に努める必要がある。		


事務事業名	観光関連補助事業費	所管課	観光振興課										
		決算額	4,473千円										
事業内容	宇治の観光振興に係るイベント及び放ち鶺鴒プロジェクトの検討等に対して（公社）宇治市観光協会等へ助成を行う。												
成果・実績	◎補助金の内訳 <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 5px;"> <tbody> <tr> <td>観光活性化事業補助金（観光宣伝事業）</td> <td style="text-align: right;">722千円</td> </tr> <tr> <td>観光活性化事業補助金（鶺鴒事業）</td> <td style="text-align: right;">576千円</td> </tr> <tr> <td>観光活性化事業補助金（観光ボランティアガイド運営事業）</td> <td style="text-align: right;">151千円</td> </tr> <tr> <td>観光活性化事業補助金（県祭り安全対策事業）</td> <td style="text-align: right;">134千円</td> </tr> <tr> <td>放ち鶺鴒プロジェクト検討事業補助金</td> <td style="text-align: right;">2,890千円</td> </tr> </tbody> </table>			観光活性化事業補助金（観光宣伝事業）	722千円	観光活性化事業補助金（鶺鴒事業）	576千円	観光活性化事業補助金（観光ボランティアガイド運営事業）	151千円	観光活性化事業補助金（県祭り安全対策事業）	134千円	放ち鶺鴒プロジェクト検討事業補助金	2,890千円
観光活性化事業補助金（観光宣伝事業）	722千円												
観光活性化事業補助金（鶺鴒事業）	576千円												
観光活性化事業補助金（観光ボランティアガイド運営事業）	151千円												
観光活性化事業補助金（県祭り安全対策事業）	134千円												
放ち鶺鴒プロジェクト検討事業補助金	2,890千円												
事業評価	観光振興に係る諸事業への補助を通じ、宇治観光のイメージアップを図る取組に努めた。今後も引き続き、（公社）宇治市観光協会との協働により、さらなる観光振興に努めるとともに、各種観光事業に対するより効果的な補助の手法について検討し、宇治らしさを極める必要がある。												

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	04 商工業・観光の振興
小分類	04 観光の振興

所管部局
産業地域振興部

事務事業名	観光情報発信事業費	所管課	観光振興課
		決算額	20,704千円
事業内容	宇治市の観光資源の情報発信として、各地での観光プロモーションの実施、パンフレット等の発行、広報物への観光情報の掲載を行う。また、新たな観光資源であるアニメーションを活用し他団体との連携業務を行う。		
成果・実績	<ul style="list-style-type: none"> ◎日本語版パンフレット「京都・宇治」増刷 ◎宇治市観光PR動画（夏・秋・冬編）制作 ◎京都市認定通訳ガイドの育成 ◎宇治市観光PRポスター増刷とサイネージ用データ制作 ◎宇治市・亀岡市・舞鶴市連携ドライブスタンプラリー事業 ◎宇治市×響け！ユーフォニアム 宇治ウィンターフェスタ広告物制作 		
事業評価	宇治の観光情報発信として様々な取組を取り入れることにより、宇治の認知度及び宇治への訪問意欲の向上に努めることができた。今後も本市の観光資源の情報をより効果的に国内外に発信するため、情報発信力を極める必要がある。		

事務事業名	観光案内サイン整備事業費	所管課	観光振興課
		決算額	9,909千円
事業内容	平成28年4月に策定した「宇治市観光案内サイン整備ガイドライン」に基づき、計画的に観光案内サインの整備を行う。		
成果・実績	<p>◎令和2年度サイン整備実施分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あがた通り～観光センター周辺 新設：3基 撤去：7基 リノベーション：1基 ・源氏タウン周辺 新設：2基 撤去：7基 リノベーション：3基 		
			
事業評価	観光動向調査において課題の一つとなっている観光案内サイン整備に取り組むことにより、観光客に対するおもてなし力の向上に努めた。今後も多様な観光客により長く滞在してもらい、リピーターとして訪問してもらうため、観光客に対するおもてなし力を極める必要がある。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	産業地域振興部
中分類	04 商工業・観光の振興	
小分類	04 観光の振興	

事務事業名	「京都・花灯路」連携周遊事業費	所管課	観光振興課
		決算額	4,000千円
事業内容	「京都・花灯路」と連携し、塔の島を中心とした中宇治地域の観光ルートに行灯を設置し、まちのにぎわいを創出する。		
成果・実績	<p>◎令和元年度の灯り絵巻を新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため延期としていたが、令和2年11月21日から12月6日までの16日間に塔の島周辺をライトアップする「灯りのみち」として延期分を実施した。</p> <p>◎令和2年度の灯り絵巻について、3月19日から21日を予定していたが、緊急事態宣言の発出に伴い次年度に延期となった。</p>		
事業評価	推進協議会の構成員である各関係機関により実施計画の作成及び当日に向けての準備を行った。令和3年度の実施に向け、引き続き各関係機関との調整を進める。		



事務事業名	市営茶室改修事業費	所管課	観光振興課
		決算額	7,700千円
事業内容	平成5年3月にリニューアルオープンした対鳳庵は、リニューアルから27年の期間が経過しており、各所に破損や劣化が見られるため屋根の改修をおこなう。		
成果・実績	<p>◎正門屋根・腰掛待合屋根葺替改修工事 4月25日から6月20日まで改修工事をおこなった。</p>		
事業評価	早期に改修工事を終わられた。工事期間は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休席していたが、7月1日から再開し、宇治茶及び茶道の普及並びに観光の振興を図ることができた。		



令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	産業地域振興部
中分類	04 商工業・観光の振興	
小分類	04 観光の振興	

事務事業名	誘客多角化コンテンツ制作事業費	所管課	観光振興課
		決算額	20,000千円
事業内容	観光庁の「誘客多角化等のための魅力的なコンテンツ造成」実証事業に採択された事業で、「響け！ユーフォニアム」新しい生活様式の吹奏楽祭とデジタルスタンプラリー事業」を実施した。		
成果・実績	<p>◎サウンドフェスタ 宇治市内を主とした中学、高校の吹奏楽部による吹奏楽演奏を動画収録の上、配信した。その他「響け！ユーフォニアム」の原作者である武田綾乃さんの特別対談やアニメの舞台になった学校を探訪する様子を配信した。</p> <p>◎デジタルスタンプラリー スマートフォンアプリ“舞台めぐり”を活用し、駅や市内のアニメにまつわるスポットを周遊してもらうことができた。</p> <p>◎商店街フェスタ 中宇治エリアの4商店街にて事業の応援店舗にはステッカーを配布し、お店で受けられる特典やオリジナルメニューを提供していただくことができた。</p>		
事業評価	新たに商店街と連携した取組により、本イベントでの市内滞在時間を増やすことができた。またYouTubeによる動画配信により、より多くの方に宇治の認知度の向上及び宇治への訪問意欲の向上に努めることができた。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	産業地域振興部
中分類	04 商工業・観光の振興	
小分類	01 戦略的な産業活性化の推進	

事務事業名	中小企業創業支援事業費	所管課	産業振興課
		決算額	5,970千円
事業内容	創業初期の経営安定化及び地域経済の活性化等を目的として、新たに創業する者や第二創業を行う者に対して、その創業等に要する経費の一部を助成する。		
成果・実績	<p>◎宇治市創業支援補助金 新たに創業する者に対して、その創業等に要する経費の一部を補助した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 交付件数 6 件 ・ 交付金額 5,600 千円 (空き家活用2件) <p>◎起業家掘り出し業務 創業セミナーの開催や起業家の情報交換の場を提供するための交流会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ うじらぼナイトキックオフ 令和2年11月19日 		
事業評価	「宇治チャレンジスクエア」との連携により、「宇治市産業戦略」の中で目標としている補助金を活用した創業を5件以上支援することができた。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、当初計画していた回数(6回)は実施できなかったものの、宇治商工会議所と連携した起業家同士の情報交流の場を設けることができた。今後も引き続き効果の検証をしつつ、創業等の支援に努める必要がある。		



事務事業名	中小企業雇用拡大推進事業費	所管課	産業振興課
		決算額	1,926千円
事業内容	市内中小企業の大きな課題となっている人材確保を支援するため、インターネットを活用した人材募集サイトと連携し、企業と求職者のマッチング機会を提供する。		
成果・実績	<p>宇治市求人特集ページの開設及び求人掲載を開始し、求人掲載のためのセミナーを2回開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度掲載企業数：20社 令和2年度掲載求人数：38件 セミナー開催数：1回(令和2年9月23日) 		
事業評価	宇治市求人特集ページを開設することにより、宇治市内企業の求人情報の発信を行うことで、求職者とのマッチング支援を行うことができた。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	産業地域振興部
中分類	04 商工業・観光の振興	
小分類	01 戦略的な産業活性化の推進	

事務事業名	中小企業セミナー開催費	所管課	産業振興課
		決算額	3,246千円
事業内容	販路拡大や付加価値の増加、新分野への進出や人材不足への対応に関するセミナー、AI、IoT業務等に関する販路拡大に向けたプロモーション動画作成に関するセミナーを開催する。		
成果・実績	<p>市内中小企業の課題となっているテーマについて、セミナーを11回開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロモーション動画作成セミナー（4回） ・お客様と信頼関係を築くコミュニケーションセミナー ・女性起業家セミナー ・SNS活用セミナー ・うじらぼLIVE（4回） 		
事業評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、当初計画していた回数（全12回）は実施できなかったものの、市内中小企業の課題となっているテーマについて、知識や情報の共有を図ることができた。今後も引き続き、各種セミナーを開催することで、市内中小企業の交流を図る必要がある。		

事務事業名	産業交流拠点整備事業	所管課	産業振興課				
		決算額	7,390千円				
事業内容	産業会館1階の産業情報コーナーを改修し、起業家、事業者等が訪れたいくなる新たな交流・起業拠点の整備を行う。また、宇治NEXT（宇治市・宇治商工会議所）が運営を行い、市内企業や事業者間のマッチングや交流を後押しし、新たな価値の創出に繋げる。						
成果・実績	<p>時代のニーズに合わせた起業家の輩出やオープンイノベーションを促進するため、産業会館に起業支援や異業種交流のための新たな拠点の整備を行った。</p> <p>（名称）産業交流拠点「うじらぼ」 令和2年11月19日オープン</p> <p>①コワーキングスペース②イベントスペース③情報発信スペースの3つの機能を有し、様々な人との交流を通し、アイデアや事業・商品等、新しい価値を生み出す場の創出に努めた。</p> <p>◎コワーキング利用状況</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">会員登録者数</td> <td style="padding: 2px; text-align: center;">229人</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">利用者数</td> <td style="padding: 2px; text-align: center;">450人</td> </tr> </table> <p style="margin-left: 20px;">（R2. 11. 19～R3. 3. 31）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div>			会員登録者数	229人	利用者数	450人
会員登録者数	229人						
利用者数	450人						
事業評価	産業交流拠点「うじらぼ」の開設により、これから起業を目指す方、既に起業した方等、あらゆる層が交流できる機会を創出した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、異業種交流会は思うように実施できなかったものの、オンラインやSNSを活用し各種イベントを実施した。今後、うじらぼの運営体制を強化し、利用者のニーズに応じた交流拠点を構築する。						

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	04 商工業・観光の振興
小分類	02 商業の振興

所管部局
産業地域振興部

事務事業名	産業会館管理運営費	所管課	産業振興課																					
		決算額	12,963千円																					
事業内容	<p>宇治市産業会館は、商工業の振興の中核施設として、各種情報交換の場、会議・研修の場、地場産品の展示・紹介の場など、幅広く利用されている。地域経済を担う商工業者等が有効に活用することにより、産業の振興と発展につながっている。会館の管理運営については宇治商工会議所を指定管理者としている。</p>																							
成果・実績	<p>◎施設利用状況</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; width: 80%;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">件数</th> <th style="text-align: center;">人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>産業情報コーナー</td> <td style="text-align: center;">7</td> <td style="text-align: center;">90</td> </tr> <tr> <td>多目的ホール</td> <td style="text-align: center;">142</td> <td style="text-align: center;">2,513</td> </tr> <tr> <td>第一研修室</td> <td style="text-align: center;">108</td> <td style="text-align: center;">1,408</td> </tr> <tr> <td>第二研修室</td> <td style="text-align: center;">180</td> <td style="text-align: center;">2,106</td> </tr> <tr> <td>茶室</td> <td style="text-align: center;">99</td> <td style="text-align: center;">1,037</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: center;">536</td> <td style="text-align: center;">7,154</td> </tr> </tbody> </table>				件数	人数	産業情報コーナー	7	90	多目的ホール	142	2,513	第一研修室	108	1,408	第二研修室	180	2,106	茶室	99	1,037	合計	536	7,154
	件数	人数																						
産業情報コーナー	7	90																						
多目的ホール	142	2,513																						
第一研修室	108	1,408																						
第二研修室	180	2,106																						
茶室	99	1,037																						
合計	536	7,154																						
事業評価	<p>指定管理者により適切に管理運営ができた。民間企業の研修、商工会議所の活動などに幅広く利用されており、今後もさらなる商工業の振興に向けて、新たな交流・起業拠点とするなど、施設の有効活用を図る必要がある。</p>																							

事務事業名	宇治市中小企業低利融資事業費	所管課	産業振興課															
		決算額	1,497,757千円															
事業内容	<p>市内の中小企業者に対して、事業資金を低利・無担保で融資し、その経営の安定を図る。市内に引き続き1年以上住所を有し、市税に滞納がなく京都信用保証協会の保証対象業種であることを条件に融資する。なお、原則として法人代表者以外の連帯保証人は不要としている。また、当該融資利用者に対し、支払った保証料及び利子の一部に相当する額を補給する。</p>																	
成果・実績	<p>◎宇治市中小企業低利融資</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; width: 80%;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">件数</th> <th style="text-align: center;">金額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保証料補給</td> <td style="text-align: center;">229</td> <td style="text-align: center;">14,850</td> </tr> <tr> <td>利子補給</td> <td style="text-align: center;">1,007</td> <td style="text-align: center;">89,130</td> </tr> <tr> <td>損失補償</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">5,777</td> </tr> <tr> <td>預託金</td> <td style="text-align: center;">5金融機関</td> <td style="text-align: center;">1,388,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>融資実行は221件、融資金額は2,759,550千円</p>				件数	金額(千円)	保証料補給	229	14,850	利子補給	1,007	89,130	損失補償	4	5,777	預託金	5金融機関	1,388,000
	件数	金額(千円)																
保証料補給	229	14,850																
利子補給	1,007	89,130																
損失補償	4	5,777																
預託金	5金融機関	1,388,000																
事業評価	<p>市内の中小企業者に対し、事業資金の低利融資や保証料・利子の補給等の補助を行うことにより、中小企業経営の安定化に努めることができた。今後も健全な事業資金供給を行うため、効果的な融資及び補給などの支援に努める。</p>																	

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	産業地域振興部
中分類	04 商工業・観光の振興	
小分類	02 商業の振興	

事務事業名	中小企業振興対策事業費	所管課	産業振興課									
		決算額	1,179千円									
事業内容	商店街・小売市場が行う商店街施設（アーケード・街路灯・防犯カメラ等）を設置する事業及び商工業団体の行う活性化対策事業、情報化対策事業に対して補助し、商店街等の振興を図る。											
成果・実績	商店街等が実施する活性化・情報化対策事業等に対して、3件2団体に対し補助を行い、中小企業の振興に努めた。											
	<table border="1" style="margin: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>件数</th> <th>金額（千円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>活性化対策事業</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">1,179</td> </tr> <tr> <td>情報化対策事業</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> </tbody> </table>				件数	金額（千円）	活性化対策事業	3	1,179	情報化対策事業	-	0
	件数	金額（千円）										
活性化対策事業	3	1,179										
情報化対策事業	-	0										
事業評価	商店街等が行う活性化対策事業等に補助することにより、商店街等の振興に努めることができた。今後も、各商店街等の特性を活かして自立・自主性を高めるとともに、商店街等の活性化に繋がるためのより効果的な支援に努める必要がある。											

事務事業名	宇治のお店おうえんクーポン（プレミアム付デジタルクーポン発行）事業費	所管課	産業振興課
		決算額	60,090千円
事業内容	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、大きな影響を受ける市内事業者の売上回復を支援、下支えするため、「宇治のお店おうえんクーポン（プレミアム付デジタルクーポン発行）事業」を実施。		
成果・実績	<p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販売冊数：20,000冊（1冊あたり5,000円（500円券×13枚）） ・販売金額：100,000,000円 ・換金枚数：257,939枚（1枚あたり500円） ・換金金額：128,969,500円 <ul style="list-style-type: none"> ・販売方法：デジタル（支払方法：クレジットor銀行振込） ・取扱店舗：436店舗 ・販売期間：令和2年10月1日～令和3年2月14日（先着順） ・使用期間：令和2年10月1日～令和3年2月28日 		
事業評価	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、市内事業者が大きな影響を受ける中、スピード感をもって売上回復を支えることができた。デジタルクーポンの導入当初は市内事業者から戸惑いの声も聞かれたが、最終的には次回も参加したいという声が多数を占める結果となった。今後も市内事業者のニーズの把握に努め、事業を実施していく。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	産業地域振興部
中分類	04 商工業・観光の振興	
小分類	02 商業の振興	

事務事業名	新型コロナウイルス感染症対策事業	所管課	産業振興課
		決算額	620,395千円
事業内容	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う、市内事業者の感染拡大防止や売上向上のための取組などに対する支援を実施する。		
成果・実績	【事業概要】		
	①事業者おうえん給付金給付事業費	216,561千円	
	(概要)卸売・小売・飲食業、認定農業者等を支援するため支援金を給付 (給付額)個人事業主10万円、中小企業・団体20万円 (交付件数等) 1,587件 213,900千円		
	②中小企業等事業継続支援金給付事業費	262,831千円	
	(概要)事業継続及び売上回復・向上を支援するため支援金を給付 (対象)売上高が15%以上減少している市内事業者(おうえん給付金除く) (給付額)1事業者につき10万円 (交付件数等) 2,623件 262,300千円		
	③中小企業経営改善事業緊急支援補助金	47,692千円	
	(概要)中小企業の経営状況を改善するため、経営改善に係る取組に補助 (補助率等)小規模事業者:補助率2/3・上限額20万円、 中小企業:補助率1/2、上限額30万円 (交付件数等) 273件 47,692千円		
	④中小企業等感染防止対策強化支援事業費	79,987千円	
(概要)中小企業等の安全・安心な事業継続のため、感染防止対策強化を目的とした取組への補助 (補助率等)補助率2/3・上限額10万円 (交付件数等) 990件 77,657千円			
⑤商店街等販売促進事業支援補助金	6,372千円		
(概要)商店街等が実施する消費喚起セールや商品券発行等の販売促進事業補助 (給付額)補助率:3/4、上限額1,500千円 (交付件数等) 8件 6,372千円			
⑥中小企業振興対策事業緊急支援補助金	3,336千円		
(概要)中小企業等及び商店街団体が行う活性化対策事業等への補助 (給付額)補助率:2/3、上限額1,000千円 (交付件数等) 11件 3,336千円			
⑦中小企業支援体制強化事業費	3,616千円		
(概要)保証認定業務・経営支援業務等への対応のため、人員体制強化を実施			
事業評価	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、市内事業者が大きな影響を受ける中、各種施策により、スピード感をもって事業者支援を実施できた。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	産業地域振興部
中分類	04 商工業・観光の振興	
小分類	03 工業の振興	

事務事業名	企業立地促進助成事業費	所管課	産業振興課
		決算額	25,422千円
事業内容	「宇治市企業立地促進条例」に基づき、地域経済の活性化と産業振興の促進を図るため、市内に事業場等の設置、拡張を図る企業に助成金を交付する。		
成果・実績	<p>市内に工場、事業所などを新設または増設した企業に対して操業支援助成金等を交付した。</p> <p>◎交付社数 5社</p>		
事業評価	市内において工場等を新設または増設した企業に対して操業支援助成金等を交付することにより、市内への企業の立地を促進し、地域経済の活性化を図った。本事業は企業の市内立地への動機づけの一つであり、今後は、新たな事業用地の確保や良質な物件の整備誘導に努める必要がある。		

事務事業名	ベンチャー企業育成支援事業費	所管課	産業振興課								
		決算額	14,972千円								
事業内容	インキュベーションマネージャーを配置し、VIF（宇治ベンチャー企業育成工場）入居企業及び市内の既存企業の育成支援のための諸施策を実施する。										
成果・実績	<p><VIF入居企業支援> 入居企業のニーズに合わせた多様な育成支援活動を展開している（事業計画策定、販路開拓、技術開発、資金調達、業務改善、知財・法務、人事労務など）。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <tr> <td rowspan="2" style="width: 20%;">令和2年度</td> <td style="width: 30%;">支援件数</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">39件</td> </tr> <tr> <td>マッチング件数</td> <td style="text-align: center;">15件</td> </tr> </table> <p><市内企業支援> 令和元年6月1日に宇治NEXTが開設。コーディネータの常駐日数を週2日から週4日とし、市内企業支援に重点を置いた。新型コロナウイルスの影響によりアポイント以外の企業訪問は自粛したため令和2年度はメールやWeb会議による企業フォローに転換。新型コロナウイルス感染症の事業への影響に関するヒアリングや資金調達、新規事業に関する支援を実施した。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">令和2年度</td> <td style="width: 30%;">対応件数</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">195件</td> </tr> </table>			令和2年度	支援件数	39件	マッチング件数	15件	令和2年度	対応件数	195件
令和2年度	支援件数	39件									
	マッチング件数	15件									
令和2年度	対応件数	195件									
事業評価	ベンチャー企業育成工場入居企業だけではなく、市内全体の企業へも支援を拡大することで、市内経済の活性化につながっている。コロナ禍において公的機関の補助金制度等の周知や申請支援も積極的に行えた。市内経済活性化のため、今後も引き続き効果的な支援に努める必要がある。										

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	産業地域振興部
中分類	04 商工業・観光の振興	
小分類	03 工業の振興	

事務事業名	展示会出展支援助成事業費	所管課	産業振興課
		決算額	6,489千円
事業内容	市内の中小企業者（製造業及び情報系産業など）が開発・製作した製品を公的機関等の開催する展示会に出展することにより、当該製品に関心がある企業との会合を契機として、見積書の提出、新規取引へとマーケティング拡大に向けて取り組む。本市が出展経費の一部を助成することにより、産業振興を図る。		
成果・実績	<p>企業の新規取引の促進を図るため、開発・製作した製品を公的機関等が開催する展示会に出展した市内の中小企業に対し、その経費の一部を助成した。令和2年6月からは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた企業の販路拡大支援のため、助成率を1/2から4/5に、助成上限額を年間40万円から60万円に拡充した。</p> <p>◎助成社数 19社</p>		
事業評価	助成を受けた企業からの評価も高く、市内企業の活性化に有効な施策である。また、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を緩和するため、助成率・助成上限額の引き上げを行い、例年より多くの企業に対して助成することができた。企業の新規取引先の開拓による市内企業の活性化を図るため、今後もより効果的な助成に努める必要がある。		

事務事業名	産業振興センター運営費	所管課	産業振興課
		決算額	8,249千円
事業内容	産業に関する情報の収集・提供及び企業の育成・支援を行うため設置された産業振興センターの管理・運営を行う。		
成果・実績	<p>同一敷地内にあるベンチャー企業育成工場のサポートを行うとともに、産業振興を推進する中核施設として、産業振興センターの円滑な管理・運営に努めた。</p> <p>令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症に対する国の事業者支援策の申請サポート会場としての貸し出しも行った。</p>		
事業評価	市内企業への支援については産業支援拠点宇治NEXTに機能移転を行う中、貸館業務をはじめとする産業振興の中核施設として円滑な運営に努めている。今後は、令和元年度～2年度に実施した産業振興センターのあり方検討に基づき、産業振興センターの役割の見直し及び貸館利用率向上に向けた具体的な施策を実施していく必要がある。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	04 商工業・観光の振興
小分類	03 工業の振興

所管部局
産業地域振興部

事務事業名	中小企業人材確保支援事業費	所管課	産業振興課
		決算額	1,953千円
事業内容	宇治市内中小企業（製造業）の多くが抱える課題である人材確保を支援するため、宇治市の主催により、市内企業が出展する合同企業説明会を実施し、求職者とのマッチング機会の提供を行う。		
成果・実績	令和3年3月4日にメルパルク京都（京都市下京区）において、「宇治市ものづくり企業合同企業説明会」を宇治市内企業11社の出展により開催し、求職者48名の参加があった。		
事業評価	全国的に企業の人材確保が困難な状況の中、合同企業説明会に参加した企業の中には、実際に採用につながった企業もあり、一定の成果が上がっている。今後も企業等のニーズを把握する中で、引き続き効果的な支援に努める必要がある。		

事務事業名	中小企業情報発信事業費	所管課	産業振興課
		決算額	1,000千円
事業内容	市内製造業をPRするため、顧客創出、雇用の確保、魅力的な市内企業情報の発信を目的とした工場見学ツアーを実施する。		
成果・実績	<p>宇治市内の製造業11社が、京都の様々なモノづくりの現場をオープンするイベント「Design Week Kyoto」に参加し、オンラインによる宇治市主催の工場見学ツアーを6日間実施した。</p> <p>◎参加者数 延べ61人</p>		
事業評価	新型コロナウイルス感染症の影響により、オンラインにて工場見学ツアーを実施。小学生、中学生のほか、大学生の参加もあり、若い世代層に対して市内製造業をPRすることができた。 今後も引き続き効果的な情報発信事業を実施する必要がある。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	産業地域振興部
中分類	05 勤労者福祉・消費生活の向上	
小分類	01 勤労者福祉の向上	

事務事業名	城南地域職業訓練協会運営補助金	所管課	産業振興課
		決算額	2,432千円
事業内容	技能労働者の養成と在職労働者の職業能力の向上を図るため、職業訓練法人城南地域職業訓練協会が実施する職業訓練事業に対して補助する。		
成果・実績	<p>求職者及び在職者に対し、パソコン・ビジネス英会話・簿記講座等を開催した。</p> <p>◎講座数 32 講座 ◎受講人数 160 人</p>		
事業評価	職業訓練事業に補助し、求職者及び在職者の職業能力開発向上等を図ることができた。新たに開講したIoT講座は好評であったが、今後も利用者ニーズの把握・分析に努め、さらなる効果発現に向けて検討される必要がある。		

事務事業名	技能功労者表彰費	所管課	産業振興課								
		決算額	169千円								
事業内容	永く同一の職業に従事し優れた技能を持つ方の功労を称えることによって、技能水準の一層の向上と技能尊重の気運を高めることを目的に実施する。										
成果・実績	<p>◎技能功労者 3人 (内訳)</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">職種</th> <th style="width: 50%;">表彰人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>左官職</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td>大工職</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td>調理職</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> </tbody> </table>			職種	表彰人数	左官職	1	大工職	1	調理職	1
職種	表彰人数										
左官職	1										
大工職	1										
調理職	1										
事業評価	技能功労者を表彰することにより、技能水準の一層の向上及び技能尊重の気運の高揚を図ることができた。技能継承等の状況を把握する中で、今後も引き続き実施する必要がある。										


令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	06 人権尊重社会の実現
小分類	01 人権教育・啓発の推進

所管部局
人権環境部

事務事業名	人権啓発事業費	所管課	人権啓発課
		決算額	2,842千円

事業内容	人権尊重理念を普及し、様々な人権問題の解決に対する市民の理解を深めるため、「宇治市第2次人権教育・啓発推進計画」に基づき、各種の広報・啓発事業に取り組んでいる。
------	--

成果・実績	◎人権強調月間（8月）の取組	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>実施場所</th> <th>成果等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平和・ひゅうまん夏フェスタ</td> <td>文化センター</td> <td>271人参加</td> </tr> <tr> <td>人権啓発スポットCM放送</td> <td>エフエム宇治放送</td> <td>1日3回放送</td> </tr> <tr> <td>人権啓発懸垂幕掲示</td> <td>市役所庁舎</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>人権啓発パネル展示</td> <td>市役所市民ギャラリー</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	実施場所	成果等	平和・ひゅうまん夏フェスタ	文化センター	271人参加	人権啓発スポットCM放送	エフエム宇治放送	1日3回放送	人権啓発懸垂幕掲示	市役所庁舎	—	人権啓発パネル展示	市役所市民ギャラリー	—																				
	事業名	実施場所	成果等																																		
	平和・ひゅうまん夏フェスタ	文化センター	271人参加																																		
	人権啓発スポットCM放送	エフエム宇治放送	1日3回放送																																		
人権啓発懸垂幕掲示	市役所庁舎	—																																			
人権啓発パネル展示	市役所市民ギャラリー	—																																			
◎人権週間（12/4～12/10）の取組	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>実施場所</th> <th>成果等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ひゅうまんフェスタ</td> <td>生涯学習センター周辺一帯</td> <td>100人参加</td> </tr> <tr> <td>人権啓発スポットCM放送</td> <td>エフエム宇治放送</td> <td>1日3回放送</td> </tr> <tr> <td>人権啓発懸垂幕掲示</td> <td>市役所庁舎</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>人権啓発パネル展示</td> <td>市役所市民交流ロビー</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>図書館でホットとハート展</td> <td>西宇治図書館</td> <td>人権擁護委員による読み聞かせ パネル展示</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	実施場所	成果等	ひゅうまんフェスタ	生涯学習センター周辺一帯	100人参加	人権啓発スポットCM放送	エフエム宇治放送	1日3回放送	人権啓発懸垂幕掲示	市役所庁舎	—	人権啓発パネル展示	市役所市民交流ロビー	—	図書館でホットとハート展	西宇治図書館	人権擁護委員による読み聞かせ パネル展示																		
事業名	実施場所	成果等																																			
ひゅうまんフェスタ	生涯学習センター周辺一帯	100人参加																																			
人権啓発スポットCM放送	エフエム宇治放送	1日3回放送																																			
人権啓発懸垂幕掲示	市役所庁舎	—																																			
人権啓発パネル展示	市役所市民交流ロビー	—																																			
図書館でホットとハート展	西宇治図書館	人権擁護委員による読み聞かせ パネル展示																																			
◎その他の取組	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>実施時期</th> <th>実施場所</th> <th>成果等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>情報紙「jinken」配布</td> <td>8月・1月</td> <td>—</td> <td>各号約8万部</td> </tr> <tr> <td>身近に感じる人権講座</td> <td>2月～3月</td> <td>生涯学習センター他</td> <td>224人参加</td> </tr> <tr> <td>人権の花運動</td> <td>10月～3月</td> <td>市内小学校</td> <td>3校で実施</td> </tr> <tr> <td>人権啓発物品配布</td> <td>年間</td> <td>各種催し</td> <td>5,110個配布</td> </tr> <tr> <td>啓発教材（DVD等）貸出</td> <td>年間</td> <td>—</td> <td>年29本貸出</td> </tr> <tr> <td>市政だよりによる広報・啓発</td> <td>年間</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>人権啓発懸垂幕掲示</td> <td>5月</td> <td>市役所庁舎</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>人権オンライン講座</td> <td>3月</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	実施時期	実施場所	成果等	情報紙「jinken」配布	8月・1月	—	各号約8万部	身近に感じる人権講座	2月～3月	生涯学習センター他	224人参加	人権の花運動	10月～3月	市内小学校	3校で実施	人権啓発物品配布	年間	各種催し	5,110個配布	啓発教材（DVD等）貸出	年間	—	年29本貸出	市政だよりによる広報・啓発	年間	—	—	人権啓発懸垂幕掲示	5月	市役所庁舎	—	人権オンライン講座	3月	—	—
事業名	実施時期	実施場所	成果等																																		
情報紙「jinken」配布	8月・1月	—	各号約8万部																																		
身近に感じる人権講座	2月～3月	生涯学習センター他	224人参加																																		
人権の花運動	10月～3月	市内小学校	3校で実施																																		
人権啓発物品配布	年間	各種催し	5,110個配布																																		
啓発教材（DVD等）貸出	年間	—	年29本貸出																																		
市政だよりによる広報・啓発	年間	—	—																																		
人権啓発懸垂幕掲示	5月	市役所庁舎	—																																		
人権オンライン講座	3月	—	—																																		
◎山城地区広域連携事業	<p>山城人権ネットワーク推進協議会（ひゅうまんねっとやましる）を通じて、広域連携・市民連携の啓発活動に取り組んだ。</p>  <p>人権擁護委員の取組への活動支援 （人権の花運動）</p>																																				

事業評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、定員を制限するなどの対策を行ったことにより、参加人数等が減少したものの、各種の広報・啓発事業を実施することにより、人権尊重理念を普及し、様々な人権問題の解決に対する市民の理解を深めることができた。今後も、ニーズの把握・分析に努めるとともに、さらに啓発効果を高めるため、市民自らが実践できる効果的な取組を検討する必要がある。
------	---

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち		
中分類	06 人権尊重社会の実現		人権環境部
小分類	01 人権教育・啓発の推進		

事務事業名	コミュニティワークうじ館・こはた館運営事業費	所管課	人権啓発課
		決算額	14,134千円
事業内容	福祉の向上と人権啓発のための市民活動・市民交流促進に向けた、地域福祉の推進を図るための事業及び各種人権啓発交流事業に取り組んでいる。		
成果・実績	<p>◎コミュニティワークうじ館・こはた館地域福祉活動推進事業費 10,872千円 地域福祉の推進を図るため、相談事業及び学習講座開催事業、隣保館デイサービス事業を実施した。</p> <p>◎コミュニティワークうじ館・こはた館啓発交流活動推進事業費 3,262千円 「人権尊重理念の普及」及び「様々な人権問題の解決」に向け、交流講座の開催及び人権啓発事業を実施した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>人権問題講演会（うじ館）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>人権問題講演会（こはた館）</p> </div> </div>		
事業評価	新型コロナウイルス感染症対策を十分に行った上で、各種人権啓発交流事業等に取り組むことにより、市民活動及び市民交流の促進を図ることができた。さらなる利用者増を含め、今後も人権教育・啓発のために効果的な取組を検討する必要がある。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	人権環境部
中分類	07 男女共同参画社会の形成	
小分類	01 男女共同参画の推進	

事務事業名	男女共同参画施策推進費	所管課	男女共同参画課
		決算額	5,321千円

事業内容 男女の人権の確立と地域に根ざした男女共同参画社会を実現するため、「宇治市男女生き生きまちづくり条例」（平成16年10月制定）及び宇治市男女共同参画計画「UJIあさぎりプラン」に基づき、広報・啓発事業並びに学習機会の提供、市民活動支援を行う。

成果・実績	◎広報・啓発			
	事業名	実施時期	実施場所	成果
	男女共同参画情報誌「リズム」発行	6・9・11・2月	—	各2,000部
	市政だよりによる広報・啓発	年間	—	年32回掲載
	男女共同参画UJIのつどい講演会	12月12日	男女共同参画支援センター	84人参加 (オンライン含む)
◎学習機会の提供・市民活動支援				
	事業名	実施時期	実施場所	成果
	各種セミナー（全6セミナー）	年間	男女共同参画支援センターほか	延べ319人参加 (オンライン含む)
	ここからチャレンジ相談 (全24回のうち1回出前相談)			延べ99人参加
	市民企画事業奨励事業（2件）			延べ370人参加
	市民企画サポート事業（2件）			
◎DV対策				
	宇治市DV対策ネットワーク会議を開催し、DV被害に関する情報共有を図るとともに、事例の研究等を通じて、DV防止及び被害者の保護・支援に係る関係機関・団体の相互連携に努めた。			
◎DV防止に向けた啓発				
	子どもへの虐待・女性に対する暴力の根絶を目指し、それぞれのシンボルマークである「オレンジリボン」と「パープルリボン」の啓発を一体化し、「オレンジリボン・パープルリボンキャンペーン」として、こども福祉課と共催で広報・啓発活動を実施した。			
◎DV根絶のための啓発動画作成				
	新型コロナウイルス感染症対策による外出自粛等により、DV等の深刻化が懸念されたため、自宅にいる時間を利用して視聴できるよう、暴力に対する意識を高めるための啓発動画を作成、配信した。			
◎男女共同参画ハンドブック〈中学生編〉を作成				
	教育関係者や中学生の男女共同参画社会の形成に向けた理解を深めるため、市立中学校3年生全員と担当教員等に配布した。（2,000部作成）			



オレンジリボン・パープルリボンキャンペーン展示

事業評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンラインによるセミナーも実施し、男女の人権の確立と地域に根ざした男女共同参画社会の推進に努めることができた。今後も市民・事業者等と協働・連携し、より効果的な事業を検討する必要がある。

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	人権環境部
中分類	07 男女共同参画社会の形成	
小分類	01 男女共同参画の推進	

事務事業名	男女共同参画支援センター運営費	所管課	男女共同参画課
		決算額	12,492千円
事業内容	男女共同参画のための市民活動・市民交流の拠点施設として、市民利用の促進に努めるとともに、女性のための相談事業・男性のための相談事業及び女性問題アドバイザー派遣事業を行う。		
成果・実績	◎センター年間利用者数 27,377人		
	◎女性問題アドバイザー派遣実績 10件 行政2件、民間8件		
	◎女性のための相談事業実績		
	相談区分		件数 (うちDVIに関するもの)
	一般相談	来館相談	111 (41)
		電話相談	104 (6)
合計		215 (47)	
専門相談	フェミニスト・カウンセリング	67	
	こころとからだの相談	3	
	法律相談	34	
	合計	104	
	◎男性のための相談事業実績 42件		
事業評価	女性のための相談事業に加え男性のための相談事業も行い、オンラインによる相談も開始（女性のための相談）し、男女それぞれのセンター利用促進を図ることができた。今後も利用状況及びニーズの把握・分析に努め、利用者にとってより効果的な取組を検討する必要がある。		

令和2年度決算成果説明書


総合計画の体系		所管部局
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち	人権環境部
中分類	01 環境保全対策の推進	
小分類	01 地球環境対策・省エネルギーの推進	

事務事業名	二酸化炭素排出抑制対策事業費	所管課	環境企画課
		決算額	3,144千円
事業内容	<p>「宇治市第2次地球温暖化対策地域推進計画」等に基づき、市民・事業者へ温室効果ガス排出削減の効果的な取組の普及啓発を行う。</p> <p>環境省の「二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金」を活用し、「COOL CHOICE（賢い選択）」など、イベント等を通じて周知を図る。</p>		
成果・実績	<p>◎緑のカーテン推進費 238千円 小学校（4校）、中学校（4校）、幼稚園（2園）、その他公共施設（9か所）が緑のカーテンに取り組んだ。緑のカーテンを設置した施設においては、冷房の使用頻度が減少するとともに、市民への啓発に寄与した。</p> <p>◎二酸化炭素排出抑制対策事業委託料 2,906千円 温室効果ガスの排出量削減目標達成のために省エネ・低炭素型製品・サービス・行動など温暖化対策に資する国民運動である「COOL CHOICE（賢い選択）」の普及啓発について、COOL CHOICE推進リーダーであるecoット宇治などと連携したイベント等により普及啓発に努めた。</p>		
事業評価	<p>緑のカーテンの設置及び普及啓発事業を実施することにより、市域の温室効果ガス排出量の削減等地球温暖化対策を推進することができた。</p> <p>「二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金」を活用した事業では、特に民生家庭部門に対して効果的な普及啓発が実施できた。</p>		

事務事業名	家庭用雨水タンク設置事業費補助金	所管課	環境企画課				
		決算額	332千円				
事業内容	<p>雨水利用を通じた環境意識及び防災意識の向上を図るため、雨水タンクを設置する者に対し購入費用の一部を補助する。</p>						
成果・実績	<p>補助対象となる雨水タンク設置費に対して、費用の一部を補助した。 府補助1/4 市補助1/2 上限20,000円</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">補助件数</th> <th style="width: 10%;">交付金額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">20件</td> <td style="text-align: center;">332</td> </tr> </tbody> </table>			補助件数	交付金額 (千円)	20件	332
補助件数	交付金額 (千円)						
20件	332						
事業評価	<p>雨水タンクの設置費用の一部を補助することにより、雨水タンクの設置を促進し雨水利用を通じた環境意識及び防災意識の向上を図ることができた。今後も京都府の動向等を注視し、より効果的な補助の手法について検討する必要がある。</p>						


令和2年度決算成果説明書


総合計画の体系			所管部局					
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち		人権環境部					
中分類	01 環境保全対策の推進							
小分類	01 地球環境対策・省エネルギーの推進							
事務事業名	家庭向け自立型再生可能エネルギー導入事業費補助金	所管課	環境企画課					
		決算額	8,923千円					
事業内容	家庭におけるエネルギー自立化を促進するため、住居に太陽光発電・蓄電設備を同時設置した者に対し設置費用の一部を補助する。							
成果・実績	補助対象となる太陽光発電・蓄電設備設置費に対して、設置費用の一部を補助した。 太陽光発電量 1kWあたり1万円（上限4万円） 蓄電容量 1kWhあたり4万円（上限24万円）							
	<table border="1" style="margin: auto;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">補助件数</th> <th style="width: 15%;">交付額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">33件</td> <td style="text-align: center;">8,923</td> </tr> </tbody> </table>				補助件数	交付額 (千円)	33件	8,923
補助件数	交付額 (千円)							
33件	8,923							
事業評価	家庭におけるエネルギー自立化を促進するため、設備の設置費用に対し補助を行うことにより、市内の温室効果ガス排出量の低減に努めた。今後も京都府の動向等を注視し、より効果的な補助の手法について検討する必要がある。							

総合計画の体系			所管部局							
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち		人権環境部							
中分類	01 環境保全対策の推進									
小分類	02 地域における環境保全・環境美化の推進									
事務事業名	環境保全関連事業費	所管課	環境企画課							
		決算額	9,396千円							
事業内容	市内における生活環境の状況把握を行うため、大気、水質、騒音などの監視測定を実施する。また、京滋バイパスを走行する車両の排気ガスによる大気汚染の状況把握を行うため、自動車排出ガス測定局を設置するとともに大気汚染物質の常時監視を実施する。									
成果・実績	市内において自動車排出ガス等の大気測定、市内河川・事業場の水質測定、道路・鉄道等の騒音測定を行い、監視結果はいずれも概ね良好であった。									
	<table style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">◎環境監視費</td> <td style="text-align: right;">2,464 千円</td> </tr> <tr> <td>◎発生源監視費</td> <td style="text-align: right;">748 千円</td> </tr> <tr> <td>◎自動車排出ガス監視測定局運営費</td> <td style="text-align: right;">6,184 千円</td> </tr> </table>				◎環境監視費	2,464 千円	◎発生源監視費	748 千円	◎自動車排出ガス監視測定局運営費	6,184 千円
◎環境監視費	2,464 千円									
◎発生源監視費	748 千円									
◎自動車排出ガス監視測定局運営費	6,184 千円									
										
事業評価	市内における大気、水質、騒音などの監視測定を適正に実施することにより、生活環境保全に努めることができた。測定結果を公表し周知するとともに、今後も引き続き安定的な環境測定及び発生源監視測定を行い、環境保全の推進に努める必要がある。									

令和2年度決算成果説明書


総合計画の体系		所管部局
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち	人権環境部
中分類	01 環境保全対策の推進	
小分類	02 地域における環境保全・環境美化の推進	

事務事業名	狂犬病予防費	所管課	環境企画課												
		決算額	2,100千円												
事業内容	狂犬病の発生予防、まん延防止及び撲滅のため、狂犬病予防注射接種を推進するとともに、犬の登録及び鑑札の交付、狂犬病事業の予防注射済票の交付など事務を行う。														
成果・実績	市内公共施設を中心に計24か所で集合注射接種会場を設け、743頭に対し狂犬病予防注射を実施した。また、犬の登録業務では、新たに654頭の登録を行い、総登録数8,806頭となった。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <table border="1" style="border-collapse: collapse;"> <caption>犬の総登録数</caption> <tr><td>H30</td><td style="text-align: right;">9,178 頭</td></tr> <tr><td>R元</td><td style="text-align: right;">8,856 頭</td></tr> <tr><td>R2</td><td style="text-align: right;">8,806 頭</td></tr> </table> <table border="1" style="border-collapse: collapse;"> <caption>集合注射利用数</caption> <tr><td>H30</td><td style="text-align: right;">758 頭</td></tr> <tr><td>R元</td><td style="text-align: right;">706 頭</td></tr> <tr><td>R2</td><td style="text-align: right;">743 頭</td></tr> </table> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div>			H30	9,178 頭	R元	8,856 頭	R2	8,806 頭	H30	758 頭	R元	706 頭	R2	743 頭
H30	9,178 頭														
R元	8,856 頭														
R2	8,806 頭														
H30	758 頭														
R元	706 頭														
R2	743 頭														
事業評価	狂犬病予防のため、集合注射及び犬の登録事務などを適正に実施することにより、狂犬病の発生予防に寄与することができた。今後も公衆衛生の更なる向上を図るため、引き続き効果的・効率的な啓発を行う必要がある。														

事務事業名	環境衛生対策関連事業費	所管課	環境企画課
		決算額	1,204千円
事業内容	良好な生活環境を保全するため、「宇治市環境保全基本条例」「宇治市あき地の雑草等の除去に関する条例」などに基づき、各種の環境衛生対策を行う。		
成果・実績	◎そ族及び衛生害虫対策費 846 千円 ・トビケラ駆除薬剤散布 年 1 回（宇治川兩岸） ◎あき地雑草等除去費 358 千円 ・通知件数 47 件 （うち処理済件数 46 件 ） （うち未処理件数 1 件 ） ・指導件数 17 件 （通知後処理されなかったあき地に指導） <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div>		
事業評価	衛生害虫対策、あき地の適正管理に関する指導などを実施することにより、生活環境の保全を図ることができた。住宅周辺的生活環境を改善するため、今後も引き続き環境衛生対策に努める必要がある。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち	人権環境部
中分類	01 環境保全対策の推進	
小分類	02 地域における環境保全・環境美化の推進	

事務事業名	齋場施設運営費	所管課	環境企画課								
		決算額	71,356千円								
事業内容	利用者の宗教的感情を意識した火葬・葬祭等の利便を供するため、厳粛な環境の整備に努めるとともに、公共の福祉に資する事業を行い、効率的で安全性が高く衛生的な施設運営を図る。										
成果・実績	日本管財・五輪グループを令和2年度から指定管理者として指定するとともに、葬祭場・有料待合室・安置室については、利用料金制を導入し運営した。 ◎齋場利用実績 <table border="1" style="margin-left: 20px; margin-top: 10px;"> <tr><td>火葬場</td><td style="text-align: right;">3,291 件</td></tr> <tr><td>葬祭場</td><td style="text-align: right;">113 件</td></tr> <tr><td>待合室</td><td style="text-align: right;">166 件</td></tr> <tr><td>安置室</td><td style="text-align: right;">244 件</td></tr> </table> <div style="margin-left: 100px; margin-top: 10px;">  </div>			火葬場	3,291 件	葬祭場	113 件	待合室	166 件	安置室	244 件
火葬場	3,291 件										
葬祭場	113 件										
待合室	166 件										
安置室	244 件										
事業評価	指定管理者により適切に管理運営ができた。民間事業者の実績や専門性を活かし、今後も適切な施設管理に努める必要がある。										

事務事業名	齋場施設改修費	所管課	環境企画課
		決算額	93,781千円
事業内容	宇治市齋場は、宇治市民のみならず近隣市町村からも広く利用されており、年間を通じて施設利用率が高い施設となっている。施設が一部老朽化しており、特に火葬炉の劣化が激しいため、令和元年度から令和3年度にかけて火葬炉等の改修工事を行う。		
成果・実績	◎齋場施設改修費 93,781 千円 ・ 齋場火葬炉設備改修工事（1号炉～4号炉）		
事業評価	火葬炉等の設備を改修することにより、施設の安全性を高めることができた。今後も引き続き、施設の安全性を高めるため、計画的に改修を実施する。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち	人権環境部
中分類	01 環境保全対策の推進	
小分類	02 地域における環境保全・環境美化の推進	

事務事業名	墓地公園管理費	所管課	環境企画課								
		決算額	22,260千円								
事業内容	<p>市民福祉の向上に寄与するため、公園と一体となった墓地として宇治市墓地公園を設置し、墓地使用者の利便だけではなく墓地公園を利用する全ての人が癒えるくつろぎの場を提供する。</p> <p>また、公営の墓地として公平性・持続性を踏まえた墓地運営を行い、使用者が永代にわたって安心して墓参できる墓園環境を保持する。</p>										
成果・実績	<p>日本管財・五輪グループを指定管理者として指定し、円滑な墓地公園事業を実施した。また、墓所使用者を年1回募集し、新たに使用を許可した。これにより総使用区画数は、2,968区画となった。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>新規使用許可数</caption> <tr> <td style="text-align: center;">2㎡</td> <td style="text-align: center;">6件</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3㎡</td> <td style="text-align: center;">0件</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">4㎡</td> <td style="text-align: center;">2件</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: center;">8件</td> </tr> </table>			2㎡	6件	3㎡	0件	4㎡	2件	合計	8件
2㎡	6件										
3㎡	0件										
4㎡	2件										
合計	8件										
事業評価	<p>指定管理者によって適切に管理運営できた。今後も引き続き、適切な墓地公園管理に努めるとともに、墓地に関する市民意識を踏まえた運用を検討する必要がある。</p>										

事務事業名	合葬墓整備事業費	所管課	環境企画課								
		決算額	134,408千円								
事業内容	<p>少子高齢化の更なる進展や核家族化等による家族形態の変化に伴い、祭祀承継者の不在、祭祀財産の相続に対する経済的・心理的不安感等による今般の墳墓に対する考え方の変化に対応するため、墓地公園内に合葬墓を整備する。</p>										
成果・実績	<p>天ヶ瀬墓地公園の今後の在り方検討委員会より提言を受けて、墳墓に対し多様化する市民ニーズ等を踏まえ、令和元年度に作成した設計を基に合葬式墓地の建築工事を行った。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>スケジュール</caption> <tr> <td style="text-align: center;">H30</td> <td style="text-align: center;">基本計画</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R元</td> <td style="text-align: center;">各種調査、設計</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R2</td> <td style="text-align: center;">建築工事</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R3</td> <td style="text-align: center;">供用開始</td> </tr> </table>			H30	基本計画	R元	各種調査、設計	R2	建築工事	R3	供用開始
H30	基本計画										
R元	各種調査、設計										
R2	建築工事										
R3	供用開始										
事業評価	<p>令和元年度の各種調査及び詳細設計に基づき建築工事を行った。</p>										

令和 2 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち	人権環境部
中分類	01 環境保全対策の推進	
小分類	03 ごみ・し尿の適正処理の推進	

事務事業名	浄化槽設置整備事業費補助金	所管課	環境企画課
		決算額	341千円
事業内容	生活排水による河川の水質汚濁を防止するため、浄化槽設置費用の一部を助成することにより、浄化槽の設置を促進する。		
成果・実績	下水道事業計画区域外等の地域において補助対象の住宅に、浄化槽設置費用の一部を補助した。		
	人槽	設置数	補助単価 (千円)
	5	1	332
	7	0	0
	10	0	0
事業評価	浄化槽設置費用の一部を補助することにより、浄化槽設置を促進し、河川・水路等の水質改善に寄与した。今後も国の動向を注視し、より効果的な補助の手法について検討する必要がある。		

令和 2 年度決算成果説明書

総合計画の体系			所管部局	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち		人権環境部	
中分類	01 環境保全対策の推進			
小分類	02 地域における環境保全・環境美化の推進			

事務事業名	不法投棄防止対策事業費	所管課	ごみ減量推進課
		決算額	1,978千円
事業内容	不法投棄の抑止及び不法投棄されたごみ等の回収のため、特に不法投棄が多い市内山間地について、地域住民にパトロールを委託する。		
成果・実績	◎不法投棄監視業務委託費 1,978千円 延べ 565人、310日		
事業評価	不法投棄されたごみ等を早期発見し回収することにより、不法投棄の連鎖的な発生を抑止することができた。今後も不法投棄の発生を抑止するため、効果的な手法について検討する必要がある。		

総合計画の体系			所管部局	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち		人権環境部	
中分類	01 環境保全対策の推進			
小分類	03 ごみ・し尿の適正処理の推進			

事務事業名	廃家電運搬委託費	所管課	ごみ減量推進課	
		決算額	400千円	
事業内容	不法投棄された廃家電及びパソコンを「特定家庭用機器再商品化法」及び「使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律」に基づき、製造業者等が指定した引取場所や国の認定を受けた事業者の再資源化施設に運搬し、適切な処理を図る。			
成果・実績	◎廃家電運搬処理委託費 400千円			
	不法投棄分処理台数 (台)			
	年度	H30	R1	R2
	品目			
	テレビ	43	89	92
	冷蔵庫（冷凍庫含む）	32	19	12
	洗濯機・衣類乾燥機	17	26	19
エアコン	2	4	1	
パソコン	7	2	0	
その他	11	0	4	
合計	112	140	128	
事業評価	「特定家庭用機器再商品化法」及び「使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律」に基づき、不法投棄された廃家電及びパソコンについて、適切に処理することができた。今後は、不法投棄の減少に向け、発生の抑止に向けた効果的な手法を検討する必要がある。			

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち	人権環境部
中分類	01 環境保全対策の推進	
小分類	03 ごみ・し尿の適正処理の推進	

事務事業名	一般廃棄物収集運搬事業費	所管課	ごみ減量推進課		
		決算額	332,392千円		
事業内容	一般家庭から排出される可燃性・不燃性一般廃棄物の収集運搬業務及び資源ごみの収集運搬業務、また町内会等が側溝を清掃する際に必要な容器の貸出、回収業務を民間委託を活用しながら実施する。				
成果・実績	◎可燃物等収集運搬委託費	197,462千円			
	◎不燃物収集運搬委託費	92,675千円			
	◎びん・ペットボトル収集運搬委託費	37,366千円			
	◎溝土収集運搬委託費	4,889千円			
	家庭系ごみ等収集実績				
		各年度の収集量 (t)			
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	収集方法等
	可燃ごみ	23,277	23,212	24,169	直営 (一部委託)
	不燃ごみ	6,533	6,511	6,884	委託 (一部地域除く)
	プラマーク	1,631	1,585	1,698	直営
	缶	338	343	381	直営 (一部委託)
	びん	1,027	1,037	1,085	委託 (一部地域除く)
	ペットボトル	516	558	583	委託 (一部地域除く)
	紙パック	26	15	17	直営
	溝土	37	38	27	委託
家電リサイクル法 対象家電製品	172台	293台	300台	直営	
死獣	1,158頭	1,078頭	1,096頭	直営 (一部委託)	
小型家電	8	7	8	直営	
	ごみ出しが困難な高齢者世帯等に対して、ふれあい収集(戸別収集)を実施 ふれあい収集 総世帯数437世帯(令和2年度末現在)				
事業評価	一般家庭から排出される廃棄物について、民間委託を活用しながら適切に収集することにより、快適な市民生活を支えることができた。なお、新型コロナウイルス感染症対策に係る外出自粛等の影響により、令和2年度は収集量が増加した。今後も適切な収集に努める中で、ごみの減量化に向けた効果的な手法を検討する必要がある。				

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系			所管部局																								
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち		人権環境部																								
中分類	01 環境保全対策の推進																										
小分類	04 ごみの減量化の推進																										
事務事業名	古紙回収事業費	所管課	ごみ減量推進課																								
		決算額	32,306千円																								
事業内容	本市と協定を締結した古紙類の集団回収に取り組む町内会・自治会等に対し、民間再生事業者に引き渡した古紙類の量に応じて報償金を交付する。																										
成果・実績	<p>引き渡した古紙類の量に応じて、1kgあたり5円の報償金を交付した。</p> <p>◎古紙回収報償金 31,950千円</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="width: 15%;">種別</th> <th colspan="3" style="width: 65%;">各年度の古紙類回収量(t)</th> </tr> <tr> <th style="width: 15%;">年度</th> <th style="width: 15%;">H30</th> <th style="width: 15%;">R1</th> <th style="width: 15%;">R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>集団回収</td> <td></td> <td>7,882</td> <td>7,371</td> <td>6,390</td> </tr> <tr> <td>直営回収</td> <td></td> <td>224</td> <td>223</td> <td>232</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>8,106</td> <td>7,594</td> <td>6,622</td> </tr> </tbody> </table>				種別	各年度の古紙類回収量(t)			年度	H30	R1	R2	集団回収		7,882	7,371	6,390	直営回収		224	223	232	合計		8,106	7,594	6,622
種別	各年度の古紙類回収量(t)																										
	年度	H30	R1	R2																							
集団回収		7,882	7,371	6,390																							
直営回収		224	223	232																							
合計		8,106	7,594	6,622																							
事業評価	当該事業により、市民のリサイクルに対する意識を高め、ごみの減量化と資源のリサイクルを促進することができた。なお、新型コロナウイルス感染症による古布の海外輸出制限等の影響により、回収量が減少傾向にある。集団回収の状況を把握・分析に努める中で、より効果的な手法について検討する必要がある。																										

総合計画の体系			所管部局	
大分類	06 信頼される都市経営のまち		人権環境部	
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進			
小分類	03 行政サービスの充実			

事務事業名	ごみ処理手数料キャッシュレス決済推進費	所管課	ごみ減量推進課										
		決算額	89千円										
事業内容	市民サービス向上及びごみの有料収集業務の効率化を図るため、ごみ処理手数料の収受にスマートフォンを用いたキャッシュレス決済を実施する。												
成果・実績	<p>令和元年6月からごみ処理手数料のキャッシュレス決済を導入した。</p> <p>◎利用実績</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">年度</th> <th style="width: 20%;">令和元年度</th> <th style="width: 20%;">令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用件数</td> <td>25件</td> <td>53件</td> </tr> <tr> <td>手数料歳入合計</td> <td>123千円</td> <td>137千円</td> </tr> </tbody> </table>				年度	令和元年度	令和2年度	利用件数	25件	53件	手数料歳入合計	123千円	137千円
年度	令和元年度	令和2年度											
利用件数	25件	53件											
手数料歳入合計	123千円	137千円											
事業評価	キャッシュレス決済の導入により、利用者の利便性の向上及び業務の効率化を図ることができた。今後も引き続き利用率の向上に努める。												

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち	人権環境部
中分類	01 環境保全対策の推進	
小分類	04 ごみの減量化の推進	

事務事業名	リサイクル事業費	所管課	ごみ減量推進課																		
		決算額	3,531千円																		
事業内容	<p>第5次総合計画で掲げる「ごみの減量化の推進」として、ごみの発生抑制ならびに再使用を市民と協働で取り組むため、使わなくなった状態の良い「かばん、くつ、ぬいぐるみ、衣類等」を集め、海外で再使用してもらう取組である「海外リユース事業」を実施する。</p>																				
成果・実績	<p>◎リサイクル事業費 3,531千円の内、570千円（海外リユース事業分）</p> <p>・海外リユース事業 より多くの市民に使いやすいよう環境を整備するため、市役所の回収ボックスの設置位置を正面玄関横へ変更し、回収拠点の増設（木幡公民館）を図った。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>実績</th> <th>回収量</th> <th>売却収入</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和元年度</td> <td>約14 t</td> <td>68千円</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>約58 t</td> <td>289千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>新型コロナウイルス感染症対策を行いながら多くの市民に参加いただける啓発事業として、ドライブスルーによるリサイクル・リユース品を回収するイベントを考案・実施した。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>実績</th> <th>回収量</th> <th>来場台数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回(R2.9.22)</td> <td>約14 t</td> <td>710台</td> </tr> <tr> <td>第2回(R3.2.13)</td> <td>約17 t</td> <td>1,019台</td> </tr> </tbody> </table> <p>回収した海外リユースの品物は単にリユース業者へ提供するだけでなく、1kg当り5円で売却することで新たな収入を創出。</p>			実績	回収量	売却収入	令和元年度	約14 t	68千円	令和2年度	約58 t	289千円	実績	回収量	来場台数	第1回(R2.9.22)	約14 t	710台	第2回(R3.2.13)	約17 t	1,019台
実績	回収量	売却収入																			
令和元年度	約14 t	68千円																			
令和2年度	約58 t	289千円																			
実績	回収量	来場台数																			
第1回(R2.9.22)	約14 t	710台																			
第2回(R3.2.13)	約17 t	1,019台																			
事業評価	<p>ごみの発生抑制ならびに再使用を市民と協働で取り組み、ごみ処理費の抑制につながるとともに、新たな収入の確保にもつながった。今後も本事業を市民と協働して取組を進めるため、引き続き広報を行い、市民周知を図り、回収量の増加に努める。</p>																				

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	01 地域福祉の推進	
小分類	01 地域福祉活動の推進	

事務事業名	地域福祉推進事業費	所管課	地域福祉課
		決算額	572千円
事業内容	<p>「宇治市地域福祉計画」及び「宇治市自殺対策計画」に基づき、福祉のまちづくりを進めるため実施する各事業の進行管理を行う。</p> <p>現行の「第2期宇治市地域福祉計画」が令和4年3月で終了することに伴い、次期計画の策定準備を行う。</p>		
成果・実績	<p>地域福祉推進委員会において、次期計画策定に向けた策定準備および平成22年度に策定した「第2期宇治市地域福祉計画」に掲げた事業の進行管理を行うなど、地域福祉の推進を図った。</p> <p>◎地域福祉推進委員会開催数 3回</p>		
事業評価	<p>地域福祉推進委員会を開催し、「第2期宇治市地域福祉計画」の目標達成に向け、計画に位置付けられた各事業の進行管理及び令和4年3月の「第3期宇治市地域福祉計画」の策定に向けたアンケート調査等について議論を行った。</p> <p>今後も地域福祉を推進するため、「宇治市地域福祉活動計画」との連携を図りつつ、「第3期宇治市地域福祉計画」の策定に向けた取組の検討を進める。</p>		

事務事業名	宇治市社会福祉協議会活動助成金	所管課	地域福祉課
		決算額	64,343千円
事業内容	<p>地域福祉推進の中核的役割を担っている（福）宇治市社会福祉協議会の独自事業及び人件費に対して財政的援助を行うことにより、地域福祉の充実強化を図る。</p>		
成果・実績	<p>（福）宇治市社会福祉協議会に対し、次に掲げる補助を行い、財政的援助と事業の充実を図った。</p> <p>◎宇治市社会福祉協議会事務所運営事業補助金 53,336千円</p> <p>◎福祉活動専門員設置事業補助金 2,535千円</p> <p>◎福祉サービス利用援助事業専門員設置事業補助金 980千円</p> <p>◎ボランティアコーディネーター設置事業補助金 1,959千円</p> <p>◎ふれあい福祉センター事業補助金 3,600千円</p> <p>◎学区福祉委員会活動事業補助金 1,783千円</p> <p>◎災害ボランティアセンター体制整備補助金 150千円</p>		
事業評価	<p>民間組織の自主性と法に基づく公共性を持つ社会福祉協議会の活動を支援し、地域住民が主体となった地域福祉の推進を図った。少子高齢化の進展に伴い、福祉ニーズが複雑・多様化する中で、今後も引き続き、連携・協働して地域福祉の推進に取り組む必要がある。</p>		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	01 地域福祉の推進	
小分類	01 地域福祉活動の推進	

事務事業名	民生児童委員活動助成費	所管課	地域福祉課						
		決算額	39,205千円						
事業内容	<p>「民生委員法」・「児童福祉法」に定められた民生児童委員の職務を遂行するために必要な活動費を助成し、地域における福祉活動を推進するとともにその向上を図る。民生児童委員は、高齢者等世帯、ひとり親世帯、児童・子育て支援世帯、障害児・者世帯、生活困難者世帯などの福祉向上及び公的社会福祉施策への協力など、地域福祉の担い手として広範な社会福祉活動を担っている。</p>								
成果・実績	<p>民生児童委員に対して次に掲げる補助を行い、委員活動の一層の充実を図った。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">◎民生児童委員活動費補助金</td> <td style="text-align: right;">36,441千円</td> </tr> <tr> <td>◎民生児童委員協議会会長活動費補助金</td> <td style="text-align: right;">360千円</td> </tr> <tr> <td>◎民生児童委員地域福祉活動促進費補助金</td> <td style="text-align: right;">2,404千円</td> </tr> </table>			◎民生児童委員活動費補助金	36,441千円	◎民生児童委員協議会会長活動費補助金	360千円	◎民生児童委員地域福祉活動促進費補助金	2,404千円
◎民生児童委員活動費補助金	36,441千円								
◎民生児童委員協議会会長活動費補助金	360千円								
◎民生児童委員地域福祉活動促進費補助金	2,404千円								
事業評価	<p>民生児童委員の活動を助成し、地域福祉の推進を図った。少子高齢化の進展により、老老介護や8050問題など、社会状況が変化していることに伴い、その活動は複雑・多様化している中で、民生児童委員の確保と、相談等に的確に対処するための研修活動及び委員相互の連携強化に努める必要がある。</p>								

事務事業名	総合福社会館管理運営費	所管課	地域福祉課								
		決算額	46,923千円								
事業内容	<p>(福) 宇治市社会福祉協議会を指定管理者として、地域福祉推進の拠点施設である宇治市総合福社会館（昭和58年1月開館）を管理・運営する。</p>										
成果・実績	<p>宇治市総合福社会館を指定管理者によって管理・運営し、必要な修繕等を行った。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">◎総合福社会館指定管理料</td> <td style="text-align: right;">26,940千円</td> </tr> <tr> <td>◎総合福社会館修繕費等</td> <td style="text-align: right;">388千円</td> </tr> <tr> <td>◎総合福社会館ボイラー他改修工事</td> <td style="text-align: right;">19,556千円</td> </tr> <tr> <td>◎総合福社会館ボイラー改修工事に伴う石綿含有分析調査</td> <td style="text-align: right;">39千円</td> </tr> </table>			◎総合福社会館指定管理料	26,940千円	◎総合福社会館修繕費等	388千円	◎総合福社会館ボイラー他改修工事	19,556千円	◎総合福社会館ボイラー改修工事に伴う石綿含有分析調査	39千円
◎総合福社会館指定管理料	26,940千円										
◎総合福社会館修繕費等	388千円										
◎総合福社会館ボイラー他改修工事	19,556千円										
◎総合福社会館ボイラー改修工事に伴う石綿含有分析調査	39千円										
事業評価	<p>指定管理者により適正に管理運営が執行された。施設の経年劣化や利用者ニーズの多様化に対応するため、引き続き指定管理者と連携して必要な改修等を実施するなど、本市の福祉拠点施設としての役割を果たせるよう、管理運営に努める。</p>										

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	01 地域福祉の推進	
小分類	01 地域福祉活動の推進	

事務事業名	地域共生社会推進事業補助金	所管課	地域福祉課
		決算額	1,800千円
事業内容	<p>子どもの貧困、引きこもり、地域福祉の担い手確保等の今日的課題の解決並びに地域共生社会の実現を目指し、地域における主体的な取組を行う団体等の支援及び地域資源のネットワーク化を促進し、協働による地域福祉の推進を図る。</p>		
成果・実績	<p>(福) 宇治市社会福祉協議会に対し、次に掲げる補助を行い、地域共生社会の推進を図った。</p> <p>◎地域共生社会推進事業補助金 1,800千円</p> <p style="padding-left: 20px;">地域共生パイロット事業 1,500千円</p> <p style="padding-left: 20px;">公募型地域福祉活動支援事業 300千円</p>		
事業評価	<p>子どもの貧困、引きこもり、地域福祉の担い手確保などの課題解決に向けて、主体的な取組を行う団体等の活動に対して支援を行うとともに、地域資源のネットワーク化に向けたパイロット事業を実施することで、引き続き団体との協働による地域福祉の推進を図る必要がある。</p>		

事務事業名	地域共生社会実現サポート事業補助金	所管課	地域福祉課
		決算額	2,144千円
事業内容	<p>地域において社会福祉法人等が実施する社会貢献活動並びに福祉サービスの質の向上を促進し、共に生き、共に支え合う社会の実現を図るため、京都府が実施する「地域共生社会実現サポート事業」と協調して実施する。</p>		
成果・実績	<p>社会福祉法人に対し補助を行い、小規模法人の処遇改善、災害時の対応力向上を図った。</p> <p>◎地域共生社会実現サポート事業補助金 2,144千円</p> <p style="padding-left: 20px;">補助実績： 10法人 25事業所</p>		
事業評価	<p>京都府と連携し、社会福祉法人等が行う地域課題の解消に向けた取組等の支援を実施した。今後も地域共生社会の実現に向け、社会福祉法人等と連携し、地域福祉の推進を図る必要がある。</p>		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	01 地域福祉の推進	
小分類	01 地域福祉活動の推進	

事務事業名	ひきこもり相談窓口設置事業費	所管課	地域福祉課
		決算額	3,000千円
事業内容	ひきこもりに関する身近な相談窓口の設置をはじめ、支援団体等のネットワークの構築及び啓発事業等を通して、ひきこもりの悩みを抱える人が相談しやすい環境を作り、専門の窓口や必要な支援に繋がるとともに、ひきこもりについて市民や福祉関係者の理解を深める。		
成果・実績	<p>ひきこもり相談窓口を令和2年10月1日に開設。事業の委託を行い、ひきこもり状態にある人や家族等に対する相談、支援や居場所づくり等を行った。</p> <p>◎ひきこもり相談窓口設置等委託料 3,000千円</p> <p>相談回数：107回 相談人数：42人 居場所活動：6回（参加者24人） 研修・会議：3回</p>		
事業評価	ひきこもり相談窓口を設置し、悩みを抱える本人や家族にとって相談しやすい環境整備を行った。今後も引き続き、ひきこもり支援のネットワーク強化・窓口周知等に取り組む必要がある。		

事務事業名	自殺対策計画推進事業	所管課	地域福祉課
		決算額	116千円
事業内容	平成28年4月に改正された「自殺対策基本法」に基づき、本市において「宇治市自殺対策計画」を策定し、「自殺者ゼロ」を目標に誰も自殺に追い込まれることのないまちの実現を目指す。		
成果・実績	<p>○自殺対策関連セミナーの開催</p> <p>①令和2年度自殺対策強化月間関連セミナー 日時：令和3年3月14日 参加人数：41人 講師：宇治おうばく病院 臨床心理士・公認心理師 伊東 優 氏 テーマ：「ひとりぼっちにならない・させないコミュニケーションの心理学」</p> <p>②宇治市民生児童委員協議会全員研修会 日時：令和3年3月22日 参加人数：303人 講師：龍谷大学名誉教授 加藤 博史 氏 テーマ：「自殺対策について」</p> <p>③宇治市ゲートキーパー入門講座 参加人数：26人 日時：令和3年2月6日 場所：宇治市生涯学習センター 第2ホール 講師：NPO法人ゲートキーパー支援センター 理事長 竹内 志津香 氏 テーマ：「ゲートキーパーとは」</p>		
事業評価	各種研修・講座を通じて、市民や民生児童委員等に対して、自殺に悩む人を1人でも救うために重要な”気づき”について等、理解を深めることができた。今後も引き続き、目標に向けて取組を行う必要がある。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	06 低所得者福祉の充実	
小分類	01 低所得者福祉の充実	

事務事業名	くらしの資金貸付事業費	所管課	地域福祉課																																												
		決算額	4,550千円																																												
事業内容	生活保護（生活扶助）基準の1.8倍以下の収入世帯に対し、その経済的安定と生活意欲の向上を図るため、（福）宇治市社会福祉協議会へ事務委託し、生活維持に必要な資金を年2回（夏期、冬期）、貸付限度額10万円（夏期・冬期の合計）、償還期間最長20カ月返済で貸し付ける。																																														
成果・実績	<p>厳しい生活状況に置かれた市民に対して、本事業により生活の安定を図った。令和2年度は件数、金額ともに前年度を上回った。</p> <p>◎くらしの資金貸付実績</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">平成29年度</th> <th colspan="2">平成30年度</th> <th colspan="2">令和元年度</th> <th colspan="2">令和2年度</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>貸付金額 (千円)</th> <th>件数</th> <th>貸付金額 (千円)</th> <th>件数</th> <th>貸付金額 (千円)</th> <th>件数</th> <th>貸付金額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夏期</td> <td>8</td> <td>750</td> <td>8</td> <td>730</td> <td>6</td> <td>600</td> <td>14</td> <td>1,400</td> </tr> <tr> <td>冬期</td> <td>14</td> <td>1,400</td> <td>14</td> <td>1,350</td> <td>9</td> <td>880</td> <td>23</td> <td>2,250</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>22</td> <td>2,150</td> <td>22</td> <td>2,080</td> <td>15</td> <td>1,480</td> <td>37</td> <td>3,650</td> </tr> </tbody> </table>				平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		件数	貸付金額 (千円)	件数	貸付金額 (千円)	件数	貸付金額 (千円)	件数	貸付金額 (千円)	夏期	8	750	8	730	6	600	14	1,400	冬期	14	1,400	14	1,350	9	880	23	2,250	合計	22	2,150	22	2,080	15	1,480	37	3,650
	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度																																								
	件数	貸付金額 (千円)	件数	貸付金額 (千円)	件数	貸付金額 (千円)	件数	貸付金額 (千円)																																							
夏期	8	750	8	730	6	600	14	1,400																																							
冬期	14	1,400	14	1,350	9	880	23	2,250																																							
合計	22	2,150	22	2,080	15	1,480	37	3,650																																							
事業評価	資金貸付により、低所得者等の生活意欲の向上と自立助成に一定の効果を上げることができた。新型コロナウイルス感染症の影響により、前年度より貸付件数が増加しており、今後も引き続き、動向を注視し、必要な支援に努める必要がある。																																														

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	06 低所得者福祉の充実	
小分類	01 低所得者福祉の充実	

事務事業名	住居確保給付金給付費	所管課	生活支援課
		決算額	56,039千円
事業内容	離職・廃業後2年以内、または自己の責や都合によらない理由で収入が減少し、離職や廃業と同程度の状況にある者のうち、住宅を喪失するおそれのある者に対して、家賃相当額の住居確保給付金を支給する。		
成果・実績	◎支給状況等 ・支給対象者数 200人 ・支給額合計 56,039千円 ・支給決定者数 200人 ・不支給決定者数 0人		
事業評価	「生活困窮者自立支援法」に基づき、失業者に対する住居確保のセーフティネットとして適正に支援を実施した。新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、申請件数が増加したため、今後も引き続き国、京都府の動向に注視し、受給者の就労につなげられるよう、ハローワーク及び京都府との連携により、生活困窮者自立支援制度の周知拡大とあわせて、取組をより一層推進する必要がある。		

事務事業名	中国残留邦人生活支援事業費	所管課	生活支援課														
		決算額	34,495千円														
事業内容	「中国残留邦人等の円滑な帰国の促進並びに永住帰国した中国残留邦人等及び特定配偶者の自立の支援に関する法律」の一部が改正されたことにより、平成20年4月1日より国からの法定受託事務として支援給付事業を行うこととされたもの。支援給付の内容はこれまでの生活保護費に代わるものである。																
成果・実績	中国残留邦人等帰国者に対し、支援給付費の支給及び日本語教室の開催などの支援を行った。 ◎中国残留邦人等支援給付費 30,913千円 (対象：9世帯、13人) ◎中国残留邦人等支援事務費 1,612千円 ◎中国残留邦人日本語教室等委託料 1,970千円 ◎支援給付費決算額 (千円) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">支援の種類</th> <th style="width: 12.5%;">生活</th> <th style="width: 12.5%;">住宅</th> <th style="width: 12.5%;">介護</th> <th style="width: 12.5%;">医療</th> <th style="width: 12.5%;">その他</th> <th style="width: 12.5%;">合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支援給付費</td> <td style="text-align: right;">10,412</td> <td style="text-align: right;">2,004</td> <td style="text-align: right;">687</td> <td style="text-align: right;">17,810</td> <td style="text-align: right;">0</td> <td style="text-align: right;">30,913</td> </tr> </tbody> </table>			支援の種類	生活	住宅	介護	医療	その他	合計	支援給付費	10,412	2,004	687	17,810	0	30,913
支援の種類	生活	住宅	介護	医療	その他	合計											
支援給付費	10,412	2,004	687	17,810	0	30,913											
事業評価	国制度に基づき、対象者の生活支援を実施した。今後も引き続き適正な事務執行に努める。																

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	06 低所得者福祉の充実	
小分類	01 低所得者福祉の充実	

事務事業名	生活保護	所管課	生活支援課																										
		決算額	4,912,667千円																										
事業内容	「日本国憲法」第25条に基づき、生活困窮者に対し健康で文化的な最低限度の生活を保障するとともに、その自立を助長することを目的とする。国が示す生活保護基準により扶助費を支給する。																												
成果・実績	<p>生活困窮者の困窮の程度に応じて必要な保護を行い、生活、住宅、教育、介護、医療、出産、生業及び葬祭など扶助を実施した。被保護世帯は令和2年度中の月平均で2,130世帯、被保護人員は2,965人であった。</p> <p>◎令和2年度生活保護扶助費決算額 (千円)</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; width: 80%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">扶助の種類</th> <th style="text-align: center;">扶助費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td style="text-align: center;">生活</td><td style="text-align: right;">1,490,607</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">住宅</td><td style="text-align: right;">790,472</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">教育</td><td style="text-align: right;">19,103</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">介護</td><td style="text-align: right;">93,411</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">医療</td><td style="text-align: right;">2,443,896</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">出産</td><td style="text-align: right;">108</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">生業</td><td style="text-align: right;">19,333</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">葬祭</td><td style="text-align: right;">14,151</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">施設事務費</td><td style="text-align: right;">37,931</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">就労自立給付金</td><td style="text-align: right;">1,555</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">進学準備給付金</td><td style="text-align: right;">2,100</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">合計</td><td style="text-align: right;">4,912,667</td></tr> </tbody> </table>			扶助の種類	扶助費	生活	1,490,607	住宅	790,472	教育	19,103	介護	93,411	医療	2,443,896	出産	108	生業	19,333	葬祭	14,151	施設事務費	37,931	就労自立給付金	1,555	進学準備給付金	2,100	合計	4,912,667
扶助の種類	扶助費																												
生活	1,490,607																												
住宅	790,472																												
教育	19,103																												
介護	93,411																												
医療	2,443,896																												
出産	108																												
生業	19,333																												
葬祭	14,151																												
施設事務費	37,931																												
就労自立給付金	1,555																												
進学準備給付金	2,100																												
合計	4,912,667																												
事業評価	国制度に基づき適正に執行し、対象世帯の経済的な生活支援と自立助長を図った。今後も濫給・漏給の防止等、法令遵守を徹底した生活保護運営に努めるとともに、受給者の自立に向けた支援を実施する。																												

事務事業名	生活保護申請者つなぎ立替金貸付事業費	所管課	生活支援課
		決算額	1,683千円
事業内容	平成15年度に発足した制度であり、生活保護の申請から決定までの期間、生活困窮者のつなぎ資金として、3万円を限度として生活費の貸付を行う。		
成果・実績	<p>◎貸付件数 122件</p> <p>◎貸付額合計 1,683千円</p>		
事業評価	適正に貸付を実施し、対象者の生活安定を図ることができた。今後も、申請者の状況に応じた一時的な支援として、関連施策との連携を図りながら、適正な実施手法を検討する。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	06 低所得者福祉の充実
小分類	01 低所得者福祉の充実

所管部局
福祉こども部

事務事業名	生活困窮世帯等の子どもの学習支援事業	所管課	生活支援課
		決算額	2,979千円
事業内容	生活困窮世帯等の子どもとその保護者に対して、個々の世帯の置かれている生活環境の状況を踏まえ学習支援、その他養育に関する相談支援等を行う。		
成果・実績	◎支援状況等		
	実施拠点	事業回数	事業利用者数
	総合福祉会館	105	中学1年生 3人 中学2年生 4人 中学3年生 5人 合計 12人 ※
	大久保青少年センター (8月より開設)	65	中学1年生 8人 中学2年生 4人 中学3年生 3人 合計 15人
	※うち3人は年度途中で支援終了		
	◎進学状況 令和2年度末時点で事業利用していた中学3年生6人中6人（100%）が進学した。		
事業評価	学習支援を行うことにより、学習習慣の定着、家庭の教育力の醸成を進めることができた。また、2か所目の拠点を開設したことにより、幅広く支援を行うことができた。今後も、交通手段がない等の理由により参加できない生徒への対応等の課題を踏まえ、より効果の高い実施手法を検討する必要がある。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	05 障害者福祉の推進	
小分類	01 障害者福祉の充実	

事務事業名	障害者自立支援医療費	所管課	障害福祉課
		決算額	262,296千円
事業内容	身体障害者手帳の交付を受けた18歳以上の人に対し、身体の機能障害を除去または軽減する医療を指定の医療機関で受ける場合にその医療費の一部を支給する。		
成果・実績	◎自立支援医療費（更生医療）事業 身体の機能障害を除去または軽減し、日常生活及び職業生活に適応するように改善するため、医療費の一部を支給した。 <ul style="list-style-type: none"> ・入院 484 人 ・入院外 628 人 ◎自立支援医療特別対策事業 自立支援医療費（更生医療）の対象にならない、在宅酸素療法、ストマ周辺の感染防止等のための治療、及びぼうこう・直腸の機能障害の原因疾患の治療を受けている該当障害3級の手帳所持者に対し、医療費の一部を支給した。 <ul style="list-style-type: none"> ・支給人数延べ 22 人 		
事業評価	国・京都府制度に基づき、適正に執行し、身体の機能障害を除去または軽減させる治療を促進することができた。今後も安心して医療が受けられるよう引き続き実施する。		

事務事業名	特別障害者手当等給付費	所管課	障害福祉課
		決算額	147,270千円
事業内容	在宅の重度障害児・者の福祉の向上を図るため、特別障害者手当、障害児福祉手当、経過的福祉手当を支給する。		
成果・実績	在宅の重度障害児・者に対し手当を支給し、経済的負担の軽減を図った。 <ul style="list-style-type: none"> ◎特別障害者手当延べ支給人数 4,059 人 ◎障害児福祉手当延べ支給人数 2,407 人 ◎経過的福祉手当延べ支給人数 36 人 		
事業評価	国制度に基づき、適正に執行し、在宅の重度障害児・者の経済的負担の軽減を図った。今後も適正な事業運営に努め、引き続き実施する。		

令和 2 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	05 障害者福祉の推進	
小分類	01 障害者福祉の充実	

事務事業名	障害者介護給付費	所管課	障害福祉課
		決算額	2,747,564千円
事業内容	<p>「障害者総合支援法」に基づく障害福祉サービスの利用に対し、介護給付費等の給付を行う。障害福祉サービスの支給決定を受けた障害児・者が、都道府県の指定を受けた事業所と契約し、自立生活に必要な支援を受けることにより、障害児・者が基本的人権を共有する個人としての尊厳にふさわしい日常生活または社会生活を営むことができるようにすることを目的とする。</p>		
成果・実績	<p>「障害者総合支援法」に基づく障害福祉サービスの利用に対し、介護給付費等の給付を行った。</p> <p>◎障害者介護給付利用延べ人数 25,214 人</p>		
事業評価	<p>国制度に基づき、適正に執行し、個々の障害の状況に応じた給付により、障害児・者の福祉の推進を図った。今後も適正な事業運営に努め、引き続き実施する。</p>		

事務事業名	障害者訓練等給付費	所管課	障害福祉課
		決算額	1,198,257千円
事業内容	<p>「障害者総合支援法」に基づく障害福祉サービスの利用に対し、訓練等給付費等の給付を行う。障害福祉サービスの支給決定を受けた障害者が、都道府県の指定を受けた事業所と契約し、自立生活に必要な就労訓練等を行うことにより、障害者が基本的人権を共有する個人としての尊厳にふさわしい日常生活または社会生活を営むことができるようにすることを目的とする。</p>		
成果・実績	<p>「障害者総合支援法」に基づく障害福祉サービスの利用に対し、訓練等給付費等の給付を行った。</p> <p>◎障害者訓練等給付利用延べ人数 8,459 人</p>		
事業評価	<p>国制度に基づき、適正に執行し、個々の障害の状況に応じた給付により、障害児・者の福祉の推進を図った。今後も適正な事業運営に努め、引き続き実施する。</p>		

令和 2 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	05 障害者福祉の推進	
小分類	01 障害者福祉の充実	

事務事業名	障害者日常生活用具費	所管課	障害福祉課
		決算額	55,564千円
事業内容	在宅の重度障害児・者に対し、日常生活の便宜を図るため、介護・訓練支援用具、自立生活支援用具、在宅療養等支援用具、情報・意思疎通支援用具、排泄管理支援用具などの日常生活用具を給付または貸与する。		
成果・実績	在宅の重度障害児・者に対し、日常生活用具を給付・貸与した。 ◎給付件数 4,635 件		
事業評価	在宅の重度障害児・者に対し、日常生活用具を給付・貸与し、障害児・者が在宅で日常生活を送れるよう支援した。今後も適正な事業運営に努め、引き続き実施する。		

事務事業名	障害者補装具費	所管課	障害福祉課
		決算額	50,584千円
事業内容	障害児・者の失われた身体機能を補完・代替するために用いられる用具である補装具の購入または修理に要する費用の一部または全部を支給する。		
成果・実績	義肢・装具・車いす等の補装具の購入及び修理に要する費用を支給した。 ◎延べ支給件数 536 件		
事業評価	国制度に基づき適正に事務を執行し、引き続き障害児・者の福祉の推進に努める。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	05 障害者福祉の推進	
小分類	01 障害者福祉の充実	

事務事業名	障害者移動支援事業費	所管課	障害福祉課
		決算額	66,058千円
事業内容	屋外での移動が困難な障害者等に対し、地域における自立生活及び社会参加を促すことを目的に外出のための支援を行う。		
成果・実績	屋外での移動が困難な障害者等に対して、外出を支援した。 ◎利用時間 24,203 時間		
事業評価	屋外での移動が困難な障害者等に対して外出のための支援を実施し、障害者等の地域における自立生活及び社会参加を促進した。利用者ニーズの把握・分析等に努め、今後も実施する。		

事務事業名	障害者日中一時支援事業費	所管課	障害福祉課
		決算額	104,081千円
事業内容	障害者等の家族の就労支援及び障害者等を日常的に介護している家族の一時的な休息を目的に障害者等に活動の場を提供し、社会に適応するための日常的な訓練等の支援を行う。		
成果・実績	日中に障害者等の活動の場を提供し、障害者等の家族の就労支援及び一時的な休息を図った。 ◎利用時間 98,533 時間		
事業評価	障害者等に活動の場を提供し、社会に適応するための日常的な訓練等の支援を行うことで、家族の就労支援及び介護者の負担軽減を図った。利用者ニーズの把握・分析等に努め、今後も実施する。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	05 障害者福祉の推進	
小分類	01 障害者福祉の充実	

事務事業名	福祉タクシー・ガソリン料金助成事業費	所管課	障害福祉課
		決算額	28,085千円
事業内容	外出困難な重度心身障害者の日常生活の利便を図り、生活行動範囲の拡大及び社会参加の促進を図るため、タクシー料金及び自動車の燃料費の一部を助成する。		
成果・実績	1か月あたり1,000円の福祉タクシー利用券又は1か月あたり700円の福祉ガソリン利用券を交付し、タクシー料金及び自動車の燃料費の一部助成を行った。 ◎交付件数 3,558 件		
事業評価	対象者に福祉タクシー利用券及び令和2年度より福祉ガソリン券を交付し、外出困難な重度心身障害者の社会参加の促進を図った。今後も引き続き、効果的な取組となるよう検討する必要がある。		

事務事業名	各種自己負担助成金	所管課	障害福祉課
		決算額	2,154千円
事業内容	身体障害者手帳及び精神障害者保健福祉手帳を交付（新規、再交付）申請する際に要する医師の診断書料の全部または一部を助成することで、障害者の経済的負担を軽減する。		
成果・実績	手帳の交付申請等に要する診断書料の自己負担に対して助成を行った。 ◎診断書料の自己負担に対する延べ助成件数 ・身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付申請時 1,062 件		
事業評価	手帳の交付申請に要する診断書料を助成し、障害者の経済的な負担の軽減を図った。障害者の社会参加や負担軽減に向けた事例研究を行い、実施手法等について検討する必要がある。		

令和 2 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	05 障害者福祉の推進	
小分類	01 障害者福祉の充実	

事務事業名	障害者生活支援事業費	所管課	障害福祉課
		決算額	2,815千円
事業内容	障害者等に対し、日常生活上必要な訓練・指導等、本人活動支援などを行うことにより、生活の質的向上を図り、社会復帰を促進する。		
成果・実績	宇治市視覚障害者協会に委託し、中途失明者を対象に点字講習会を行った。また、精神障害者を対象に、創作及びゲームなどのプログラムを通して、作業能力及び生活能力を高め、社会生活への適応を図ることができるように、うじ安心館等において精神障害者社会復帰集団指導事業を開催した。		
	◎中途失明者点字講習会開催数	48 回	
	◎精神障害者社会復帰集団指導事業開催数	26 回	
	◎精神障害者社会復帰集団指導事業延べ参加者数	120 人	
事業評価	さまざまな生活支援事業を実施し、障害者の社会生活への適応を図った。社会的な交流の場としての役割を有する一方、社会復帰に向けた他事業へのつながりが課題となっており、より一層効果的な事業実施となるよう手法を検討する必要がある。		

事務事業名	地域活動支援センター等事業費	所管課	障害福祉課
		決算額	16,052千円
事業内容	地域活動支援センターにおいて、創作的活動または生産活動の機会の提供、社会との交流の促進など、障害者が自立した日常生活及び社会生活を営むために必要な支援を行う。		
成果・実績	4カ所の地域活動支援センターに通う延べ653人の障害者に対し支援を行った。		
事業評価	地域活動支援センターにおける社会交流等の事業を実施し、障害者の自立した社会生活及び社会参加を促進した。利用状況等を的確に把握する中で、今後の実施手法を検討する必要がある。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	05 障害者福祉の推進	
小分類	01 障害者福祉の充実	

事務事業名	音訊ボランティア養成事業補助金	所管課	障害福祉課
		決算額	100千円
事業内容	視覚障害者への情報提供のために、支援を行う音訊ボランティアを養成する講座に対して補助する。		
成果・実績	視覚障害者への情報提供のために、支援を行う音訊ボランティアを養成する初級講座に対して補助を実施した。 ◎受講者数 21人		
事業評価	講座を実施することにより、音訊ボランティアの養成及び音訊技術の向上などの支援を図ることができた。音訊ボランティアが継続して活動できるよう、今後も引き続き、実施手法の検討が必要である。		

事務事業名	感染症対策専門家派遣事業費	所管課	障害福祉課
		決算額	60千円
事業内容	障害福祉施設の職員等に対し、専門家を講師として派遣し、施設運営における感染予防対策の徹底及び感染発生時の処置に関する実地研修を実施する。		
成果・実績	衛生管理について専門性を有する看護師を講師として施設に派遣し、居住型の施設において実地研修を実施した。 ◎研修実施施設 6施設		
事業評価	施設運営における衛生管理の徹底等に関して、施設職員が多くの情報を得ることができ、以降の感染予防の強化につなげることができた。今後も有効な研修手法について検討し、支援に努める。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	05 障害者福祉の推進	
小分類	01 障害者福祉の充実	

事務事業名	新型コロナウイルス感染症対策費	所管課	障害福祉課
		決算額	1,872千円
事業内容	介護保険・障害福祉施設等を運営する法人に対し、施設・法人の規模に応じた上限額の範囲内で、新型コロナウイルス感染症の感染防止のための費用（消耗品・備品購入費その他の関連経費）を助成する。		
成果・実績	申請のあった法人に対し、感染防止経費に係る助成金を交付した。 ◎助成対象法人 20法人		
事業評価	市内の施設運営法人に対する助成金の交付により、施設における感染防止対策を支援することができた。今後も引き続き、感染の状況等を踏まえて、必要な支援に努める。		

事務事業名	新型コロナウイルス感染症対策強化費	所管課	障害福祉課
		決算額	1,000千円
事業内容	新型コロナウイルス感染症の集団感染が発生した障害福祉施設を運営する法人に対し、発生以降の感染拡大防止及び再発生の予防のため、50万円を上限に、対策強化に係る費用を補助する。		
成果・実績	集団感染が発生した施設の運営法人に対し、補助金を交付した。 ◎補助対象法人 2法人		
事業評価	集団感染の発生に伴って多額の対応費用が発生した施設に対し、支援を行うことで安全・安心な施設の運営を図ることができた。今後も引き続き、新型コロナウイルス感染症の動向に注視し、必要な支援に努める。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	05 障害者福祉の推進	
小分類	01 障害者福祉の充実	

事務事業名	障害福祉サービス事業所等支援事業費	所管課	障害福祉課
		決算額	3,000千円
事業内容	就労支援事業所等が製造する自主製品を市が購入し、事業所の運営を支援するとともに、購入した自主製品を市のイベント等で参加者に配布する際に、障害者施設の取組等を案内するチラシを同封し、広く障害理解の促進を図る。		
成果・実績	市内の事業所から自主製品を購入し、宇治市の主催イベント等での配布を行った。 ◎自主製品の購入対象事業所数 16事業所		
事業評価	新型コロナウイルス感染症での各種イベント等の中止により、自主製品の販売機会が減少している状況に対し、事業所運営の支援及び事業所の取組の周知・啓発を図ることができた。今後も引き続き、感染の状況等を踏まえて、必要な支援に努める。		

事務事業名	障害福祉サービス事業所等利用者支援事業費	所管課	障害福祉課
		決算額	2,273千円
事業内容	就労移行支援・生活介護・地域生活支援センターの事業所での自主製品販売等の収入減により、利用者への工賃が減額された場合に、減収分を補填し、利用者の工賃収入の回復を図る。		
成果・実績	自主製品の販売収入等が減少した事業所に対し、補助金を交付した。 ◎補助対象事業所 6事業所		
事業評価	利用者への工賃支払いの原資となる補助金の交付により、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている就労支援事業所の利用者の支援を行った。今後も引き続き、就労支援事業所の運営への影響を注視し、必要な支援に努める。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	05 障害者福祉の推進	
小分類	01 障害者福祉の充実	

事務事業名	障害福祉施設オンライン面会等導入支援事業費	所管課	障害福祉課
		決算額	769千円
事業内容	入居型の介護保険施設又は障害福祉施設において、入居者とその家族等との間でオンライン面会を導入する場合に、使用するタブレット端末・Wi-Fiルーターの購入費用を補助する。		
成果・実績	<p>入所・入居者と家族間でのオンライン面会を導入する施設の運営法人に対し、使用機器の購入補助を行った。</p> <p>◎補助対象法人 4法人</p>		
事業評価	入居型施設の運営法人に対する補助金の交付により、施設における感染防止対策を支援することができた。今後も引き続き、感染の状況等を踏まえて、必要な支援に努める。		

事務事業名	障害福祉計画策定費	所管課	障害福祉課
		決算額	1,024千円
事業内容	障害のある人の生活支援にかかわるサービスの提供体制整備について定めた「第6期宇治市障害福祉計画・第2期宇治市障害児福祉計画」を策定する。		
成果・実績	<p>障害のある人を対象としたアンケート調査を令和2年9月に実施し、「第6期宇治市障害福祉計画・第2期宇治市障害児福祉計画」（計画期間：令和3年度～令和5年度）を令和3年3月に策定した。</p> <p>◎アンケート調査の回答数 2,065件</p> <p>◎計画冊子の製本部数 300部</p>		
事業評価	「障害者総合支援法」及び「児童福祉法」に基づき、「第6期宇治市障害福祉計画・第2期宇治市障害児福祉計画」を策定した。今後は計画の進捗管理を行い、障害福祉施策の推進に努める。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	04 少子化社会への対応	
小分類	01 安心して子育てのできる環境づくりの推進	

事務事業名	児童虐待防止対策事業費	所管課	こども福祉課
		決算額	3,825千円
事業内容	<p>児童虐待の未然防止と早期発見のために、「児童福祉法」に基づき要保護児童対策地域協議会を設置している。要保護児童対策地域協議会代表者会議を年2回、要保護児童対策地域協議会調整会議を年6回開催している。</p>		
成果・実績	<p>代表者会議（年2回）では、関係機関等の代表者らの出席のもと、児童虐待の現状とケースの報告を行うとともに、関係機関等の連携を深めた。 調整会議（年6回）には、関係機関等の実務担当者が出席し、市と児童相談所の児童虐待ケースの情報を共有し、援助方針を話し合い、連携を深めた。 また、児童相談所と市関係課の実務者による支援内容の検討会議を年5回実施し、関係機関との情報共有に努めた。</p> <p>◎代表者会議開催日 令和2年8月20日、令和3年3月12日 ◎調整会議開催日 奇数月の第3金曜日 ◎児童虐待ケースの延べ対応件数 702件</p>		
事業評価	<p>「児童福祉法」に基づき要保護児童対策地域協議会を設置し、児童虐待の未然防止と早期発見に努めた。ケースの深刻化に対応するため、より一層の関係機関との情報共有及び密接な連携に努める必要がある。</p>		

事務事業名	児童虐待防止対策緊急強化事業費	所管課	こども福祉課
		決算額	12,969千円
事業内容	<p>児童虐待の未然防止と早期発見のために、こども家庭相談（児童虐待担当）の体制を強化し、児童相談所との連携強化及び相談ケースへの対応力の向上を図るとともに、啓発及び研修など様々な取組を実施し、児童虐待防止対策の緊急的な強化を図る。</p>		
成果・実績	<p>平成29年4月にこども家庭相談を本庁に移転、専門職員を継続して配置し、児童相談所及び関係機関との連携を強化するとともに、相談ケースへの対応力のさらなる強化を図った。また、要保護児童対策地域協議会の関係機関等を対象に、研修会を開催した。 広報・啓発活動としては、子どもへの虐待・女性に対する暴力の根絶を目指し、それぞれのシンボルマークである「オレンジリボン」と「パープルリボン」の啓発を一体化し、「オレンジリボン・パープルリボンキャンペーン」を、男女共同参画課と共催で実施した。</p> <p>◎非常勤職員配置 専門職員を継続配置 ◎研修会開催日 11月12日 ◎キャンペーン実施内容 街頭啓発・パネル展示・関連図書展示等</p>		
事業評価	<p>専門職員を配置し、児童相談所及び関係機関との連携を強化するとともに、研修会の開催及び広報・啓発活動などを通じ、児童虐待の緊急的な防止対策の強化を図った。ケースの深刻化に対応するため、体制を強化し、子ども家庭総合支援拠点として児童虐待防止対策の充実に努める必要がある。</p>		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	04 少子化社会への対応	
小分類	01 安心して子育てのできる環境づくりの推進	

事務事業名	子ども・子育て情報発信事業費	所管課	こども福祉課
		決算額	712千円
事業内容	子育て世帯への情報発信の充実を図るため、宇治子育て情報誌やSNS等の多様な媒体による子育て支援事業等の広報を実施する。		
成果・実績	<p>宇治子育て情報誌については、平成28年度から有料広告事業を活用してフルカラー化を行うとともに紙面内容の充実を図った。また、子育て家庭に幅広く活用していただけるように、未就学児のいる全家庭に郵送による配布を行った。併せて、平成30年度版から電子書籍版を作成し、スマートフォンやパソコンなどでも閲覧できるようにした。</p> <p>◎情報誌送付世帯数 6,032世帯</p>		
事業評価	宇治子育て情報誌を未就学児のいる全家庭に配布するとともに、LINEを活用した子育て情報を発信し、子育て世帯に幅広く周知した。今後も、利用状況及び子育て家庭のニーズなどを踏まえ、より効果的な情報発信に向けて検討する必要がある。		

令和2年度決算成果説明書


総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	04 少子化社会への対応	
小分類	01 安心して子育てのできる環境づくりの推進	

事務事業名	地域子育て支援拠点事業費	所管課	こども福祉課																																				
		決算額	73,277千円																																				
事業内容	<p>地域における子育ての交流等を促進する子育て支援拠点を設置し、地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安等を緩和することにより、子どもの健やかな育ちを促進することを目的とする。</p> <p>地域子育て支援拠点では、子育て家庭の親とその子どもが気軽に集い、相互に交流を図る場を提供するとともに、子育てについての相談及び情報の提供、講習等の実施を行う。また地域子育て支援基幹センターでは、子育て支援の総合的なコーディネートを行い、子育て支援施策を総合的に推進する。</p>																																						
成果・実績	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 45%;">名称</th> <th style="width: 15%;">運営方法</th> <th style="width: 20%;">子育てひろば 延べ利用者数(人)</th> <th style="width: 20%;">相談件数 (件)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 西部地域子育て支援センター</td> <td>直営</td> <td>3,550</td> <td>149</td> </tr> <tr> <td>2. げんきひろば</td> <td rowspan="8">委託</td> <td>7,407</td> <td>129</td> </tr> <tr> <td>3. 南部地域子育て支援センター</td> <td>1,632</td> <td>137</td> </tr> <tr> <td>4. 東部地域子育て支援センター</td> <td>3,482</td> <td>76</td> </tr> <tr> <td>5. 北部地域子育て支援センター</td> <td>2,825</td> <td>71</td> </tr> <tr> <td>6. りぼん</td> <td>6,764</td> <td>414</td> </tr> <tr> <td>7. ぶんきょうにこにこルーム</td> <td>2,308</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>8. ひあ にしおぐら</td> <td>1,372</td> <td>330</td> </tr> <tr> <td>9. toridori (とりどり)</td> <td>4,884</td> <td>362</td> </tr> <tr> <td>10. ぼけっと</td> <td>2,294</td> <td>112</td> </tr> </tbody> </table> <p>「2. げんきひろば」は令和2年10月より社会福祉法人宇治福祉園へ委託</p>			名称	運営方法	子育てひろば 延べ利用者数(人)	相談件数 (件)	1. 西部地域子育て支援センター	直営	3,550	149	2. げんきひろば	委託	7,407	129	3. 南部地域子育て支援センター	1,632	137	4. 東部地域子育て支援センター	3,482	76	5. 北部地域子育て支援センター	2,825	71	6. りぼん	6,764	414	7. ぶんきょうにこにこルーム	2,308	38	8. ひあ にしおぐら	1,372	330	9. toridori (とりどり)	4,884	362	10. ぼけっと	2,294	112
名称	運営方法	子育てひろば 延べ利用者数(人)	相談件数 (件)																																				
1. 西部地域子育て支援センター	直営	3,550	149																																				
2. げんきひろば	委託	7,407	129																																				
3. 南部地域子育て支援センター		1,632	137																																				
4. 東部地域子育て支援センター		3,482	76																																				
5. 北部地域子育て支援センター		2,825	71																																				
6. りぼん		6,764	414																																				
7. ぶんきょうにこにこルーム		2,308	38																																				
8. ひあ にしおぐら		1,372	330																																				
9. toridori (とりどり)		4,884	362																																				
10. ぼけっと	2,294	112																																					
事業評価	<p>地域子育て支援基幹センター等において、地域における子育ての交流等を目的として各種事業を実施することにより、子育ての不安等の緩和を図り、子どもの健やかな育ちを促進することができた。令和元年度の「ぼけっと」開設に伴い全中学校区に1か所ずつの整備が完了するとともに、令和2年度については「げんきひろば」の事業委託を行った。今後も民間のノウハウを活用し、引き続き拠点機能の充実、子育て支援施策の推進に努める。</p>																																						

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	04 少子化社会への対応	
小分類	01 安心して子育てのできる環境づくりの推進	

事務事業名	ファミリー・サポート・センター利用者支援事業費	所管課	こども福祉課
		決算額	146千円
事業内容	<p>保護者の就労と子育て等の両立を支援し、安心して働くことのできる環境をつくるため、子育て等の援助を行いたい人と受けたい人で構成される会員組織であるファミリー・サポート・センターにおいて、新型コロナウイルス感染症対策に伴う利用に対して支援を行う。</p>		
成果・実績	<p>新型コロナウイルス感染症対策に伴う小学校の臨時休業等によりファミリー・サポート・センター事業を利用する場合において、利用料相当額（1日上限6,400円）を助成。4～5月の学校臨時休業期間中の利用は「子ども・子育て支援交付金」を活用し、6月以降の利用については市独自施策として支援を継続した。</p> <p>◎ 利用実績 115件（146,350円） (内訳) 交付金対象 17件（20,200円） ※学校臨時休業期間 市独自支援 98件（126,150円）</p>		
事業評価	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、ファミリー・サポート・センターの利用が必要な子育て世帯への支援をすることができた。</p>		

事務事業名	地域子育て支援基幹センター「キッズスペース」整備事業費	所管課	こども福祉課
		決算額	1,331千円
事業内容	<p>「JR宇治駅前市民交流プラザゆめりあうじ」3階にある情報ライブラリーの一角に「キッズスペース」を新設。京都府産木材を使用したステージ・本棚等を設置した。</p>		
成果・実績	<p>◎整備概要 京都府産木材を使用したステージ、下駄箱、本棚及び円形棚の整備を行った。</p> <div style="text-align: center;">  </div>		
事業評価	<p>専門書等が多く、大人向けのイメージのあったライブラリーをキッズスペースに整備することで、親子で楽しめる親しみやすい空間づくりを行うことができた。</p>		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	04 少子化社会への対応	
小分類	01 安心して子育てのできる環境づくりの推進	

事務事業名	奨学金返還支援事業費	所管課	こども福祉課
		決算額	4,478千円
事業内容	<p>未来の地域基盤を支える若年層の宇治市への定住促進、「子育てしやすいまちづくり」を目的に、日本学生支援機構等の奨学金の返還に対する支援金を最長5年間交付する。(定員50人) 子育て世帯を優先とし、対象年度に結婚や出産のライフイベントがあった年度は支援額を増額する。</p>		
成果・実績	<p>対象者(申請年度の4月1日時点で満30歳未満で今後5年以上宇治市に在住予定、正社員などであること、本市に納付すべき市税等を滞納していないことなどの要件をすべて満たす者)に支援金を交付した。</p> <p>◎返還支援額 前年度10月から1年間の奨学金返還額の1/2(85,000円上限) ライフイベント時は返還額の3/4(130,000円上限)</p> <p>◎支援者数 50人(うち子育て世帯15人・ライフイベント該当者12人)</p> <p>◎令和2年度支援総額 4,478,353円</p>		
事業評価	<p>奨学金の返還支援事業により、若年層の本市への定住促進を図るとともに、子育て世帯を優先とし、結婚や出産のライフイベントがあった年度は増額することで「子育てしやすいまちづくり」の実現に努めた。今後も引き続き、効果的な取組となるよう検討を行う必要がある。</p>		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	04 少子化社会への対応	
小分類	02 健やかな成長・発達への支援の充実	

事務事業名	子育て支援総合コーディネーター事業費	所管課	こども福祉課
		決算額	6,494千円
事業内容	子育て家庭への支援の充実を図るため、「来庁者子育て支援コーナー」に子育て支援総合コーディネーター（専門相談員）と保育士を配置し、来庁者の子どもの一時預かり及び子育て支援全般に関する相談を実施する。		
成果・実績	<p>市役所1階市民交流ロビーにおいて、「来庁者子育て支援コーナー」を開設し、通年運営した。</p> <p>◎職員配置 保育士2人 子育て支援総合コーディネーター（専門相談員）1人（週2日） ※こども家庭相談（児童虐待担当）にも週1日配置</p> <p>◎利用人数 預かり 1,080人 相談 1,070人</p>		
事業評価	来庁者の子どもの一時預かり及び子ども・子育て支援新制度に基づいた利用者支援事業として子育て全般に関する相談を実施し、子育て家庭への支援の充実を図った。今後は利用状況の分析に努めながら、気軽に相談しやすい環境づくりを行うなど、事業展開について検討する必要がある。		



事務事業名	子ども・子育て会議運営費	所管課	こども福祉課
		決算額	215千円
事業内容	「子ども・子育て支援法」に定める事務のほか、本市の子ども・子育て支援に関して必要な事項を調査・審議するため、宇治市子ども・子育て会議を設置し、運営する。		
成果・実績	<p>「子ども・子育て支援法」に基づく「宇治市子ども・子育て支援事業計画」の進捗状況の管理・評価等を行うため、会議を開催した。</p> <p>◎子ども・子育て会議 委員数 24人 開催日 7月28日</p>		
事業評価	「子ども・子育て支援法」に基づき、「宇治市子ども・子育て会議」を開催し、令和2年度の実績報告、令和元年度の実績報告の進捗状況の報告等を行った。今後も本市の子育て支援全般に対する意見を各種施策に反映できるよう、引き続き実施する。		

令和 2 年度決算成果説明書

総合計画の体系			所管部局	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち		福祉こども部	
中分類	04 少子化社会への対応			
小分類	02 健やかな成長・発達への支援の充実			

事務事業名	ひとり親家庭自立支援給付事業費	所管課	こども福祉課	
		決算額	20,011千円	
事業内容	ひとり親家庭の親の自主的な能力開発と資格取得を支援し、自立の促進を図るため、養成機関等において資格の取得を目的とした講座を受講した場合に給付金を支給し、就職に有利で生活の安定に資する資格の取得を促進する。			
成果・実績	ひとり親家庭の親が養成機関等において資格の取得のため、講座を受講した場合に給付金を支給した。			
	◎高等職業訓練促進給付金支給件数	訓練促進給付金	15件	
		修了支援給付金	5件	
	◎自立支援教育訓練給付金支給件数		10件	
	◎高等学校卒業程度認定試験合格支援事業支給件数		0件	
事業評価	高等職業訓練促進給付金等の支給により資格取得を支援し、ひとり親家庭の就業の促進と自立支援を図った。国の制度改正に対応して引き続き実施しながら、利用者拡大に向けて一層の周知と相談体制の充実を検討する必要がある。			

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	04 少子化社会への対応	
小分類	02 健やかな成長・発達への支援の充実	

事務事業名	児童扶養手当費	所管課	こども福祉課
		決算額	719,628千円
事業内容	離婚等の理由により父または母のいない（父または母が重度障害の状態である場合を含む）児童を養育する母または父などに対して手当を支給することにより、児童の福祉の増進を図る。		
成果・実績	<p>児童等の健やかな成長に資するため、児童扶養手当を支給した。</p> <p>◎受給資格世帯 1,589世帯 （うち 受給世帯 1,353世帯）</p> <p>◎支給対象児童数 2,104人</p> <p>◎児童扶養手当扶助費 719,040千円</p>		
事業評価	国制度に基づき、手当受給申請に対して適正に審査・支給を行い、ひとり親家庭の生活の安定と自立を促進し、児童福祉の増進を図った。国の制度改正に対応しつつ、今後も市民への制度の周知及び適切な支給事務の遂行に努める。		

事務事業名	児童手当費	所管課	こども福祉課
		決算額	2,657,483千円
事業内容	家庭等における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することを目的に児童手当を支給する。		
成果・実績	<p>中学校修了前の児童を養育している人に児童1人につき月額10,000円もしくは15,000円（児童数、児童の年齢によって異なる）を支給した。ただし、所得制限限度額を超過している世帯には、特例給付として児童1人につき月額5,000円（一律）を支給した。</p> <p>◎受給世帯 11,917世帯</p> <p>◎支給対象児童数 20,328人</p> <p>◎児童手当扶助費 2,655,670千円</p>		
事業評価	国制度に基づき適正に支給を行い、子育て家庭における生活支援に努めた。今後も市民への制度の周知及び適切な支給事務の遂行に努める。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	04 少子化社会への対応	
小分類	02 健やかな成長・発達への支援の充実	

事務事業名	子育て世帯臨時特別給付金給付事業費	所管課	こども福祉課
		決算額	230,319千円
事業内容	小学校等の臨時休業等により新型コロナウイルス感染症の影響を受けた子育て世帯を支援する取組として、児童手当受給世帯に臨時・特別の一時金を支給する。		
成果・実績	<p>児童手当支給世帯を対象に給付金を支給した。</p> <p>◎支給金額 児童1人当たり10,000円 ◎支給件数 13,467世帯 ◎対象児童 22,689人 ◎総支給額 226,890千円</p>		
事業評価	国制度に基づき、対象者に対して適正に審査・支給を行い、小学校等の臨時休業等により新型コロナウイルス感染症の影響を受けた子育て世帯への支援を図った。今後も感染状況等を踏まえ、適切な支援に努める。		

事務事業名	ひとり親家庭臨時特別給付金給付事業費	所管課	こども福祉課
		決算額	268,575千円
事業内容	新型コロナウイルス感染症の影響により、子育てと仕事を一人で担う低所得のひとり親家庭については、子育てに対する負担の増加や収入の減少などにより特に大きな困難が心身等に生じていることを踏まえ、給付金を支給する。		
成果・実績	<p>児童扶養手当受給者及び新型コロナウイルス感染症の影響を受けて児童扶養手当を受給できる水準になったひとり親家庭を対象に給付金を支給した。</p> <p>◎支給金額 基本給付：1世帯5万円、第2子以降1人につき3万円 追加給付：1世帯5万円 再支給 ：基本給付と同額</p> <p>◎支給件数 基本給付：1,630世帯 追加給付： 970世帯 再支給 ：1,630世帯</p> <p>◎支給総額 266,700千円</p>		
事業評価	国制度に基づき、対象者に対して適正に審査・支給を行い、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたひとり親家庭への支援を図った。今後も感染状況等を踏まえ、適切な支援に努める。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち		
中分類	04 少子化社会への対応		福祉こども部
小分類	03 保育サービスの充実		

事務事業名	乳幼児健康支援一時預かり事業費	所管課	こども福祉課
		決算額	19,655千円
事業内容	病気回復期等で集団保育が困難であり、保護者の勤務の都合等により家庭での保育が困難な児童に対して保育と看護を行う。平成14年11月から浅妻医院、平成27年7月から宇治徳洲会病院の2カ所で実施している。		
成果・実績	児童の病気回復期等における保護者の就労を支援するため、市内の医療機関で病児保育を実施した。		
	実施施設		延べ利用者数 (人)
	浅妻医院パピールーム（浅妻医院）		102
	宇治徳洲会病院ひまわりルーム（宇治徳洲会病院）		97
	合計		199
事業評価	医療機関での病児保育を実施し、児童の病気回復期等における保護者の就労を支援した。緊急時に対応する子育て支援施策として、今後も国の制度改正に対応しつつ適正に実施する。新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数は大きく減少した。また、令和2年度から実施機関が減少しており、今後も引き続き、新たな事業者の選定等に努める必要がある。		

総合計画の体系		所管部局	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち		
中分類	04 少子化社会への対応		福祉こども部
小分類	04 放課後児童育成の充実		

事務事業名	育成学級運営費	所管課	こども福祉課
		決算額	339,303千円
事業内容	宇治市立小学校に就学する児童であって、下校しても保護者の就労及び疾病などの理由により保護に欠ける児童を組織的に指導し、危険防止と心身の健全な育成を図る。		
成果・実績	放課後留守家庭児童の健全育成のため育成学級を運営した。		
	◎開設学校数	20校	
	◎学級数	20学級（42クラス）※令和2年5月1日現在	
	◎入級児童数	2,090人 ※令和2年5月1日現在	
事業評価	育成学級の運営により、放課後に保護者が不在である児童の健全な育成を図ることができた。子ども・子育て支援新制度を踏まえ、教育部と連携した総合的な放課後児童対策を引き続き検討する必要がある。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	04 少子化社会への対応	
小分類	04 放課後児童育成の充実	

事務事業名	育成学級緊急安全対策事業費	所管課	こども福祉課
		決算額	3,497千円
事業内容	安全・安心な育成学級運営のため、学校休業日である土曜日及び夏季休業日などに各学級に安全対策支援員等を配置し、児童の安全確保を図る。		
成果・実績	安全対策支援員等（1日4時間程度）を学校休業日に配置し、校内への不審者侵入を防ぐため、巡視及び来校者の確認などを行った。		
事業評価	安全対策支援員等の配置により、学校休業日における児童の安全確保を図り、安全・安心な学級運営に努めた。引き続き安全確保を図りつつ、今後の実施手法について検討する必要がある。		

事務事業名	育成学級体制強化事業費	所管課	こども福祉課
		決算額	12,265千円
事業内容	令和2年4月及び5月の小学校臨時休業期間における育成学級の1日開設に必要な人員体制を確保し、安定した育成学級運営を行う。		
成果・実績	育成学級指導員（非常勤職員・アルバイト）の勤務時間の延長等により、すべての育成学級での1日開設を行った。		
事業評価	育成学級を1日開設することにより、保護者が急に仕事を休めない等、日中に保護者が不在となる児童を保育し、臨時的な保護者の要請に応えることができた。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	04 少子化社会への対応	
小分類	04 放課後児童育成の充実	

事務事業名	放課後児童健全育成事業補助金	所管課	こども福祉課
		決算額	16,555千円
事業内容	育成学級の定員を超える児童を受け入れる民間事業者に補助を行い、総合的な放課後児童対策の充実を図る。		
成果・実績	<p>1人あたりの面積などの条例基準を満たし、放課後児童健全育成事業の届出をしている民間事業者に対し、補助を行った。</p> <p>◎補助対象民間事業者数 3法人 ◎補助対象児童数 延べ3,311人</p>		
事業評価	民間事業者の放課後児童健全育成事業への補助を行い、待機児童の解消と放課後の児童の健全育成を図った。利用ニーズの把握に努め、今後の事業実施を検討する。		

事務事業名	放課後児童健全育成事業補助金（体制強化分）	所管課	こども福祉課
		決算額	3,910千円
事業内容	令和2年4月及び5月の小学校臨時休業期間において、1日開設を行う放課後児童クラブへの補助金を交付する。		
成果・実績	<p>放課後児童健全育成事業の届出をしている民間事業者のうち、1日開設を行った事業者に対し、補助を行った。</p> <p>◎補助対象民間事業者数 4法人</p>		
事業評価	放課後児童クラブを1日開設することにより、保護者が急に仕事を休めない等、日中に保護者が不在となる児童を保育し、臨時的な保護者の要請に応えることができた。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	04 少子化社会への対応	
小分類	04 放課後児童育成の充実	

事務事業名	育成学級利用者支援事業費	所管課	こども福祉課
		決算額	79千円
事業内容	育成学級を利用している人が、新型コロナウイルス感染症対応により、出勤時間が変更等となり、他の放課後児童クラブ等を利用した人への補助を行い、臨時的な学童保育の利用負担を軽減する。		
成果・実績	育成学級協力金と他の放課後児童クラブ等に掛かった費用の低い方の2分の1の補助を行った。 ◎申請件数 21件		
事業評価	新型コロナウイルス感染症の影響により、学童保育の負担が増加した世帯への支援を図った。		

事務事業名	育成学級施設整備費	所管課	こども福祉課
		決算額	118,102千円
事業内容	入級児童数の増加に対応し、待機児童の解消と放課後児童の安全と健全育成に資するため、育成学級施設の整備を実施する。		
成果・実績	菟道第二育成学級の入級児童数の増加に対応するため、新たに専用プレハブ施設の新設工事を実施した（令和2年9月～令和3年3月） ◎菟道第二育成学級：定員 120名 ⇒ 180名		
事業評価	入級児童数の増加に対応した育成学級施設の整備を行うことにより、待機児童の解消と放課後の児童の安全と健全育成を図ることができた。今後も引き続き利用ニーズを見極めながら、市教育委員会と連携して、計画的な施設整備に努める。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	04 少子化社会への対応	
小分類	03 保育サービスの充実	

事務事業名	公立保育所運営経費	所管課	保育支援課																																								
		決算額	1,425,104千円																																								
事業内容	子育て支援を進め、児童の健全な心身の発達を図るため、公立保育所7園における児童の安全と良好な保育環境を確保する。																																										
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">◎公立保育所数</td> <td style="width: 20%;">7園</td> <td style="width: 30%;">延べ入所数</td> <td style="width: 20%;">10,969人</td> </tr> <tr> <td>・定員</td> <td>940人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>◎保育所運営費</td> <td colspan="3" style="text-align: right;">45,780千円</td> </tr> <tr> <td>◎保育所維持修繕費</td> <td colspan="3" style="text-align: right;">10,143千円</td> </tr> <tr> <td>◎会計年度任用職員費</td> <td colspan="3" style="text-align: right;">196,353千円</td> </tr> <tr> <td>◎保育所児童健康管理費</td> <td colspan="3" style="text-align: right;">6,552千円</td> </tr> <tr> <td>◎保育所給食費</td> <td colspan="3" style="text-align: right;">72,698千円</td> </tr> <tr> <td>◎パート保育士設置費</td> <td colspan="3" style="text-align: right;">113,927千円</td> </tr> <tr> <td>◎障害児特別保育費（報酬・旅費）</td> <td colspan="3" style="text-align: right;">52,546千円</td> </tr> <tr> <td>◎保育士等職員給</td> <td colspan="3" style="text-align: right;">927,105千円</td> </tr> </table>			◎公立保育所数	7園	延べ入所数	10,969人	・定員	940人			◎保育所運営費	45,780千円			◎保育所維持修繕費	10,143千円			◎会計年度任用職員費	196,353千円			◎保育所児童健康管理費	6,552千円			◎保育所給食費	72,698千円			◎パート保育士設置費	113,927千円			◎障害児特別保育費（報酬・旅費）	52,546千円			◎保育士等職員給	927,105千円		
◎公立保育所数	7園	延べ入所数	10,969人																																								
・定員	940人																																										
◎保育所運営費	45,780千円																																										
◎保育所維持修繕費	10,143千円																																										
◎会計年度任用職員費	196,353千円																																										
◎保育所児童健康管理費	6,552千円																																										
◎保育所給食費	72,698千円																																										
◎パート保育士設置費	113,927千円																																										
◎障害児特別保育費（報酬・旅費）	52,546千円																																										
◎保育士等職員給	927,105千円																																										
事業評価	公立保育所7園の運営に関する経費を適正に執行し、児童の安全と良好な保育環境などを確保したことにより、子育て支援を進め、児童の健全な心身の発達を図ることができた。今後も引き続き、保育ニーズに対応した適正な運営に努める。																																										

事務事業名	保育所等緊急安全対策事業費	所管課	保育支援課								
		決算額	33,115千円								
事業内容	安全・安心な保育所等の運営のため、各公立保育所に保育所等安全運営支援員を配置するとともに、民間保育所（園）・民間認定こども園においても保育所等安全運営支援員の配置等に対して補助を行う。										
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">◎公立保育所</td> <td style="width: 20%;">8,566千円</td> <td style="width: 30%;">◎民間保育所（園）・民間認定こども園</td> <td style="width: 20%;">24,549千円</td> </tr> <tr> <td>保育所等安全運営支援員（有償ボランティア）の配置等を行った。</td> <td></td> <td>保育所等安全運営支援員（有償ボランティア）の配置</td> <td></td> </tr> </table>			◎公立保育所	8,566千円	◎民間保育所（園）・民間認定こども園	24,549千円	保育所等安全運営支援員（有償ボランティア）の配置等を行った。		保育所等安全運営支援員（有償ボランティア）の配置	
◎公立保育所	8,566千円	◎民間保育所（園）・民間認定こども園	24,549千円								
保育所等安全運営支援員（有償ボランティア）の配置等を行った。		保育所等安全運営支援員（有償ボランティア）の配置									
事業評価	保育所等安全運営支援員の配置等により、安全・安心な保育所等の運営を図ることができた。今後も引き続き安全確保に努めるとともに、効果的な安全対策の実施方法について検討する必要がある。										

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	04 少子化社会への対応	
小分類	03 保育サービスの充実	

事務事業名	家庭の保育事業費	所管課	保育支援課
		決算額	85,258千円
事業内容	喫緊の課題である待機児童対策として、3歳未満の児童を対象に、「児童福祉法」に位置付けられた家庭的保育事業を実施する。また、開設にあたり、保育環境整備のための改修等に対して補助を行う。		
成果・実績	◎開設場所 <ul style="list-style-type: none"> ・ 木幡花揃 (福) あけぼの会 (登りこども園) 定員5人 ・ 神明石塚 (福) 心華会 (ひいらぎこども園) 定員5人 ・ 木幡赤塚 (福) あけぼの会 (登りこども園) 定員5人 ・ 開町 (福) 心華会 (ひいらぎこども園) 定員5人 ・ 木幡陣ノ内 (福) あけぼの会 (登りこども園) 定員5人 ・ 伊勢田町ウトロ (福) かおり福祉会 (伊勢田こども園) 定員5人 		
事業評価	児童福祉法に位置付けられた家庭的保育事業を実施することにより、待機児童対策を図ることができた。子ども・子育て支援新制度の枠組みの中で、有効性について小規模保育事業との比較検討の必要がある。待機児童の状況を見ながら、今後も引き続き実施する。		

事務事業名	小規模保育事業費	所管課	保育支援課
		決算額	113,759千円
事業内容	喫緊の課題である待機児童対策として、3歳未満の児童を対象に、「児童福祉法」に位置付けられた小規模保育事業を実施する。また、開設にあたり、保育環境整備のための改修等に対して補助を行う。		
成果・実績	◎開設場所 <ul style="list-style-type: none"> ・ 六地藏奈良町 (福) あけぼの会 (登りこども園、第2登りこども園) 定員15人 ・ 広野町西裏 (福) 同胞会 (同胞こども園) 定員18人 ・ 五ヶ庄梅林官有地 (福) 白菊福祉会 (いずみこども園) 定員15人 ・ 伊勢田町若林 (福) かおり福祉会 (伊勢田こども園) 定員15人 ・ 榎島町南落合 (福) 同胞会 (こひつじこども園) 定員15人 ・ 広野町西裏 (福) 同胞会 (同胞こども園) 定員9人 		
事業評価	児童福祉法に位置付けられた小規模保育事業を実施することにより、待機児童対策を図ることができた。子ども・子育て支援新制度の枠組みの中で、有効性について家庭的保育事業との比較検討の必要がある。待機児童の状況を見ながら、今後も引き続き実施する。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	04 少子化社会への対応	
小分類	03 保育サービスの充実	

事務事業名	子育て支援施設等利用給付費補助金	所管課	保育支援課
		決算額	24,335千円
事業内容	令和元年10月から開始された幼児教育・保育の無償化により、保育要件のある世帯に対し、幼保連携型認定こども園の預かり保育、また、認可外保育施設や一時預かり事業（一般型）、ファミリーサポート事業を利用した際に、各種基準額を上限として、給付を行う。		
成果・実績	◎子育て支援施設等利用給付費補助金 延べ申請件数 638件 幼保連携型認定こども園 預かり保育事業 441件 6,873千円 認可外保育事業 175件 17,068千円 一時預かり保育事業（一般型） 20件 369千円 ファミリーサポート事業 2件 25千円		
事業評価	幼児教育・保育の無償化の対象施設を利用した際に、補助を実施し、各施設に通う保護者負担の軽減を図った。今後も国制度を活用し、様々な保育ニーズに対応しながら実施する。		

事務事業名	感染症対策事業返還金	所管課	保育支援課																																																								
		決算額	22,869千円																																																								
事業内容	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、保育施設を利用せず、家庭での保育に協力した保護者に対し、令和2年4月・5月分の保育料・給食費（主食費・副食費）の助成または減免を行う。																																																										
成果・実績	◎感染症対策事業返還金 令和2年4月分 助成件数： <table style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-right: 10px;">保育料</td> <td style="padding-right: 10px;">583件</td> <td style="padding-right: 10px;">7,545千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>給食費</td> <td>1,042件</td> <td>2,126千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="padding: 5px 0 0 20px;">〔 減免件数： <table style="margin-left: 10px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-right: 10px;">保育料</td> <td style="padding-right: 10px;">331件</td> <td style="padding-right: 10px;">3,860千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>給食費</td> <td>326件</td> <td>640千円</td> <td></td> </tr> </table> 〕</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="padding: 5px 0 0 20px;"></td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="padding: 5px 0 0 20px;">令和2年5月分</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="padding: 5px 0 0 20px;">助成件数： <table style="margin-left: 10px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-right: 10px;">保育料</td> <td style="padding-right: 10px;">530件</td> <td style="padding-right: 10px;">10,558千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>給食費</td> <td>952件</td> <td>2,640千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="padding: 5px 0 0 20px;">〔 減免件数： <table style="margin-left: 10px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-right: 10px;">保育料</td> <td style="padding-right: 10px;">296件</td> <td style="padding-right: 10px;">5,817千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>給食費</td> <td>303件</td> <td>933千円</td> <td></td> </tr> </table> 〕</td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>事業評価</td> <td colspan="3">今後も登園自粛の要請を行った場合など必要に応じて、保育施設を利用せず、家庭での保育に協力した保護者に対し、保育料・給食費（主食費・副食費）の助成または減免を行い、各保育施設において安全・安心な保育・教育の提供に努める。</td> </tr> </table>			保育料	583件	7,545千円		給食費	1,042件	2,126千円		〔 減免件数： <table style="margin-left: 10px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-right: 10px;">保育料</td> <td style="padding-right: 10px;">331件</td> <td style="padding-right: 10px;">3,860千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>給食費</td> <td>326件</td> <td>640千円</td> <td></td> </tr> </table> 〕				保育料	331件	3,860千円		給食費	326件	640千円						令和2年5月分				助成件数： <table style="margin-left: 10px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-right: 10px;">保育料</td> <td style="padding-right: 10px;">530件</td> <td style="padding-right: 10px;">10,558千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>給食費</td> <td>952件</td> <td>2,640千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="padding: 5px 0 0 20px;">〔 減免件数： <table style="margin-left: 10px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-right: 10px;">保育料</td> <td style="padding-right: 10px;">296件</td> <td style="padding-right: 10px;">5,817千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>給食費</td> <td>303件</td> <td>933千円</td> <td></td> </tr> </table> 〕</td> </tr> </table>				保育料	530件	10,558千円		給食費	952件	2,640千円		〔 減免件数： <table style="margin-left: 10px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-right: 10px;">保育料</td> <td style="padding-right: 10px;">296件</td> <td style="padding-right: 10px;">5,817千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>給食費</td> <td>303件</td> <td>933千円</td> <td></td> </tr> </table> 〕				保育料	296件	5,817千円		給食費	303件	933千円		事業評価	今後も登園自粛の要請を行った場合など必要に応じて、保育施設を利用せず、家庭での保育に協力した保護者に対し、保育料・給食費（主食費・副食費）の助成または減免を行い、各保育施設において安全・安心な保育・教育の提供に努める。		
保育料	583件	7,545千円																																																									
給食費	1,042件	2,126千円																																																									
〔 減免件数： <table style="margin-left: 10px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-right: 10px;">保育料</td> <td style="padding-right: 10px;">331件</td> <td style="padding-right: 10px;">3,860千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>給食費</td> <td>326件</td> <td>640千円</td> <td></td> </tr> </table> 〕				保育料	331件	3,860千円		給食費	326件	640千円																																																	
保育料	331件	3,860千円																																																									
給食費	326件	640千円																																																									
令和2年5月分																																																											
助成件数： <table style="margin-left: 10px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-right: 10px;">保育料</td> <td style="padding-right: 10px;">530件</td> <td style="padding-right: 10px;">10,558千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>給食費</td> <td>952件</td> <td>2,640千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="padding: 5px 0 0 20px;">〔 減免件数： <table style="margin-left: 10px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-right: 10px;">保育料</td> <td style="padding-right: 10px;">296件</td> <td style="padding-right: 10px;">5,817千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>給食費</td> <td>303件</td> <td>933千円</td> <td></td> </tr> </table> 〕</td> </tr> </table>				保育料	530件	10,558千円		給食費	952件	2,640千円		〔 減免件数： <table style="margin-left: 10px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-right: 10px;">保育料</td> <td style="padding-right: 10px;">296件</td> <td style="padding-right: 10px;">5,817千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>給食費</td> <td>303件</td> <td>933千円</td> <td></td> </tr> </table> 〕				保育料	296件	5,817千円		給食費	303件	933千円																																					
保育料	530件	10,558千円																																																									
給食費	952件	2,640千円																																																									
〔 減免件数： <table style="margin-left: 10px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-right: 10px;">保育料</td> <td style="padding-right: 10px;">296件</td> <td style="padding-right: 10px;">5,817千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>給食費</td> <td>303件</td> <td>933千円</td> <td></td> </tr> </table> 〕				保育料	296件	5,817千円		給食費	303件	933千円																																																	
保育料	296件	5,817千円																																																									
給食費	303件	933千円																																																									
事業評価	今後も登園自粛の要請を行った場合など必要に応じて、保育施設を利用せず、家庭での保育に協力した保護者に対し、保育料・給食費（主食費・副食費）の助成または減免を行い、各保育施設において安全・安心な保育・教育の提供に努める。																																																										

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	04 少子化社会への対応	
小分類	03 保育サービスの充実	

事務事業名	新型コロナウイルス感染症対策費	所管課	保育支援課
		決算額	41,982千円
事業内容	各施設において安全・安心な保育・教育の提供を行うため、新型コロナウイルス感染症対策として必要な備品・消耗品の購入などに対して、各施設50万円を上限として補助を行う。		
成果・実績	<p>◎感染症対策事業補助金（令和元年度繰越分） 実績件数 35施設 合計：13,519千円 （公立保育所7施設、民間保育園・認定こども園15施設、地域型保育9施設 認可外保育施設4施設）</p> <p>◎感染症対策事業補助金（令和2年度現年分） 実績件数 31施設 合計：5,807千円 （公立保育所7施設、民間保育園・認定こども園12施設、地域型保育5施設 認可外保育施設7施設）</p> <p>◎感染拡大防止対策事業補助金（令和2年度事業） 実績件数 46施設 合計：22,656千円 （公立保育所7施設、民間保育園・認定こども園22施設、地域型保育10施設 認可外保育施設7施設）</p>		
事業評価	今後も必要に応じて、各保育施設での備品等の購入に対して補助を行うことにより、安全・安心な保育・教育の提供に努める。		

事務事業名	乳児安全対策事業費	所管課	保育支援課
		決算額	9,355千円
事業内容	保育所・認定こども園・地域型保育施設において、乳児の安全対策や感染症対策を図るために必要な措置を講ずる施設に対して、必要経費の補助を行う。		
成果・実績	<p>◎乳児安全対策事業費 実績件数 37施設 補助額：2,047千円（公立） 7,308千円（民間） （公立保育所7施設、民間保育園・認定こども園19施設、地域型保育11施設）</p>		
事業評価	乳児の安全対策として各保育施設の備品等に対して補助を行うことにより、感染症対策が図られ、安心して利用できる環境整備を図った。今後も引き続き、感染状況を踏まえ、必要な対策を検討する。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	04 少子化社会への対応	
小分類	02 保育サービスの充実	

事務事業名	民間保育所等施設整備費	所管課	保育支援課
		決算額	201,548千円
事業内容	社会福祉法人が運営する保育所等の施設整備を行う場合、民間保育所等施設整備補助金を交付し、社会福祉法人の負担軽減を図る。		
成果・実績	<p>待機児童対策として、民間保育所の施設整備に要した費用に対して補助金を交付した。</p> <p>◎事業概要（令和2年度・3年度の2か年事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象施設 南浦幼保連携型認定こども園 ・運営法人 社会福祉法人黎明会 ・施設整備概要 園舎を増築して、定員を10名拡大予定（145名→155名） ・補助金交付額 201,548千円 		
事業評価	民間保育所の増改築等に係る補助金を執行することで、施設整備法人の負担軽減を図り、保育需要への対応に取り組んだ。引き続き、来年度の工事完了による定員増加へ向けて、適切な執行に努める。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉子ども部 健康長寿部
中分類	02 健康づくりの推進	
小分類	02 保健・医療の推進	

事務事業名	各種予防接種事業費	所管課	保健推進課・健康づくり推進課
		決算額	480,712千円
事業内容	「予防接種法」に基づき、予防接種を実施することにより、発病及び感染を予防する。		
成果・実績	「予防接種法」に基づく予防接種は、健やかセンターと協力医療機関等で実施し、法改正に対応して適切な疾病予防に努めた。また、各種健診時、市政だより、ホームページなどで幅広く広報することにより、接種率の向上を図った。		
	予防接種名	接種者数	実施場所
	BCG	824	健やかセンター（うじ安心館内）
	不活化ポリオ	0	協力医療機関等
	4種混合	4,588	
	3種混合	1	
	2種混合	1,235	
	麻しん風しん混合	2,489	
	麻しん	0	
	風しん	0	
	日本脳炎	6,434	
	子宮頸がん	590	
	ヒブ	4,537	
	小児用肺炎球菌	4,464	
	水痘	2,310	
	B型肝炎	3,272	
	ロタ	1,119	
	BCG	379	
	高齢者インフルエンザ	33,782	
	高齢者肺炎球菌	1,914	
風しん（成人）	抗体検査 2,029 予防接種 328		
	<p>※ヒブ及び小児用肺炎球菌は平成25年4月、水痘は平成26年10月、B型肝炎は平成28年10月、ロタは令和2年10月から定期接種化</p> <p>※子宮頸がんは、国通知により積極的な接種勧奨は差し控えており希望者のみ接種実施</p> <p>※風しん（成人）は接種機会がなかった世代（昭和37～53年度生まれの男性）を対象に平成31年4月～令和4年3月31日までの3か年で実施</p> <p>※健やかセンターで実施のBCGは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和2年3月に引き続き4月～7月前半まで中止（中止期間中の対象者は協力医療機関で令和2年5月25日～9月30日の間に個別接種を実施）</p>		
事業評価	「予防接種法」に基づき適正に感染症予防対策を実施し、市民の健康保持を図った。今後も、国の措置に対応し、適切な疾病予防の実施と市民への周知・啓発に努める。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	04 少子化社会への対応	
小分類	02 健やかな成長・発達への支援の充実	

事務事業名	妊婦健康診査費	所管課	保健推進課
		決算額	93,778千円
事業内容	健やかな母体と胎児の保健管理の向上を図るため、受診券を交付し、妊婦の経済的負担の軽減及び妊娠・出産に支障を及ぼす疾病の早期発見・早期治療を推進する。		
成果・実績	<p>妊娠・出産に支障を及ぼす疾病の早期発見・早期治療を推進するため、健診費用の助成を行った。また、令和2年4月から多胎妊婦健康診査支援を開始し、基準回数を超える健康診査に助成を行った。</p> <p>◎母子健康手帳交付件数 1,131件 ◎多胎妊婦健診受診券交付件数 19件 ◎助成金額 92,640千円</p>		
事業評価	妊娠早期に母子健康手帳の発行と合わせ、健診費用の助成を行うことにより、妊婦の健康管理の促進と経済的負担の軽減を図った。今後も引き続き実施し、健やかな母体と胎児の保健管理に努める。		

事務事業名	不妊治療助成事業費	所管課	保健推進課
		決算額	7,239千円
事業内容	不妊治療を受けている夫婦に対し、その治療費の一部を助成し、経済的負担の軽減を図る。		
成果・実績	<p>不妊治療の保険診療分及び人工授精について、年間6万円（人工授精を含む場合は10万円）を限度に、治療に要した医療費の自己負担の2分の1を助成した。 不育治療は1回の妊娠につき10万円までを限度に治療等に要した医療費の自己負担額の2分の1を助成した。</p> <p>◎助成件数 351件</p>		
事業評価	不妊治療等経費を助成することにより、対象者の経済的負担の軽減と少子化対策の推進に努めた。今後も京都府との連携により、引き続き助成を実施する。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	04 少子化社会への対応	
小分類	02 健やかな成長・発達への支援の充実	

事務事業名	乳幼児健康診査費	所管課	保健推進課																						
		決算額	23,492千円																						
事業内容	内科（小児科）健診、身体計測、保健・栄養指導などを実施し、必要に応じて個別の発達相談及び栄養相談を行う。総合的な判断と指導により、乳幼児期の疾病及び問題の早期発見をし、健やかな成長・発達を図る。また、育児不安の解消、子育て支援をする。																								
成果・実績	<p>乳幼児期の健康の保持・増進を図った。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">健診名</th> <th style="width: 25%;">受診数（人）</th> <th style="width: 25%;">受診率（%）</th> <th style="width: 25%;"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3か月児健診</td> <td style="text-align: center;">1,129</td> <td style="text-align: center;">94.4</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">健やかセンター 月3～4回</td> </tr> <tr> <td>1歳8か月児健診</td> <td style="text-align: center;">1,119</td> <td style="text-align: center;">95.2</td> </tr> <tr> <td>3歳児健診</td> <td style="text-align: center;">1,230</td> <td style="text-align: center;">95.3</td> </tr> <tr> <td>10か月児健診</td> <td style="text-align: center;">1,025</td> <td style="text-align: center;">94.3</td> <td style="text-align: center;">（一社）宇治久世医師会委託</td> </tr> <tr> <td>10か月児経過健診</td> <td style="text-align: center;">62</td> <td style="text-align: center;"></td> <td style="text-align: center;">健やかセンター月1回</td> </tr> </tbody> </table> <p>※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、1歳8か月児健診及び3歳児健診は令和2年4月～7月、10か月児経過健診は令和2年5月 それぞれ中止 ※3か月児健診（集団）は、令和2年4月～7月中止。令和2年6月～8月は協力医療機関で個別健診を実施</p>			健診名	受診数（人）	受診率（%）		3か月児健診	1,129	94.4	健やかセンター 月3～4回	1歳8か月児健診	1,119	95.2	3歳児健診	1,230	95.3	10か月児健診	1,025	94.3	（一社）宇治久世医師会委託	10か月児経過健診	62		健やかセンター月1回
健診名	受診数（人）	受診率（%）																							
3か月児健診	1,129	94.4	健やかセンター 月3～4回																						
1歳8か月児健診	1,119	95.2																							
3歳児健診	1,230	95.3																							
10か月児健診	1,025	94.3	（一社）宇治久世医師会委託																						
10か月児経過健診	62		健やかセンター月1回																						
事業評価	子どもの発達段階に合わせた健診を実施し、子どもの健康保持・増進、疾患の早期発見、親の育児支援などにつながることができた。また、3歳児健診において、「フォトスクリーナー（スポットビジョンスクリーナー）」を活用した精度の高い視覚検査を実施し、幼児の視覚異常の早期発見・早期治療に努めた。																								

事務事業名	離乳食教室開催費	所管課	保健推進課
		決算額	407千円
事業内容	親が初めての離乳食を調理体験することにより、安心して適切な離乳食作りを家庭で実践するとともに、母子・親子関係の形成を促し、育児不安を緩和する。また、子どもの健康を維持し、成長・発達を促すとともに、生活リズムを身に付け、食べる楽しさを体験させることで「食べる力」を育む。		
成果・実績	<p>親が子どもの食生活についての知識を深め、自宅で安全に離乳食を実践できるよう促した。</p> <p>◎開催回数 18回 ◎参加者数 86人</p> <p>※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年4月～6月中止 令和2年7月から第一子の保護者のみ各回定員5人、教室内容を一部変更して月2回実施</p>		
事業評価	教室の開催やYouTubeによる動画配信により、子どもの健康づくりの促進を図った。今後も引き続き、発達年齢に応じた支援を行う必要があるため、子どもの食生活に関する知識の普及について、効率的な手法を検討する必要がある。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	04 少子化社会への対応	
小分類	02 健やかな成長・発達への支援の充実	

事務事業名	親子あそびの教室運営費	所管課	保健推進課
		決算額	2,574千円
事業内容	1歳8か月児健康診査の中で、発達面で経過観察の必要があるとされた子どものフォローの場として、遊びの場を提供し、保護者への指導を行う。教室は、発達相談員、保健師及び保育士が運営する。		
成果・実績	<p>親子で具体的な遊びを体験することにより、子どもの発達を促した。また、子どもとの関わりに不安を持っている保護者に対し、自信を持って子どもと関われる親になってもらうきっかけづくりを行った。</p> <p>◎開催数 1クール全10回を3クラス 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため1クラス中止 1クール全7回を1クラス 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため4回中止 1クール全11回を1クラス</p> <p>◎処遇児数 60人</p>		
事業評価	教室の開催により、子どもの発達段階に応じた健やかな成長支援を図った。発達支援が必要な子どもの数は増加傾向であり、利用ニーズの把握・分析に努め、より効果的な運営方法を検討する必要がある。		

事務事業名	風しん予防接種助成事業費	所管課	保健推進課
		決算額	564千円
事業内容	妊婦と生まれてくる子どもの健康を守るため、京都府の助成制度を活用し、風しん予防接種にかかる費用を助成する。		
成果・実績	<p>風しん（R）ワクチン及び麻しん風しん混合（MR）ワクチンを全額自己負担にて接種した後に、1人1回を限度に費用の2/3程度を助成した。</p> <p>◎助成者数 91人 ◎助成額 564千円</p>		
事業評価	京都府が実施する抗体検査等で抗体価が低いと診断された対象者の風しん予防接種にかかる費用の助成を行い、ワクチン接種を促進した。今後も国や京都府の制度に対応し実施する。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉子ども部 健康長寿部
中分類	04 少子化社会への対応	
小分類	02 健やかな成長・発達への支援の充実	

事務事業名	未熟児養育医療費給付費	所管課	保健推進課・年金医療課
		決算額	10,928千円
事業内容	未熟児の養育に必要な医療の給付を行う。		
成果・実績	<p>入院養育にかかる「医療費（医療保険各法の適用範囲内）の患者負担額」及び「食事療養費の患者負担額」について、その自己負担額（食事療養費については標準負担額）の一部を助成した。</p> <p>◎給付決定児数 36人 ◎給付延べ件数 102件 ◎給付延べ日数 1,871日</p>		
事業評価	国制度に基づき、適正に医療給付を行った。今後も国の制度改正等に対応し、適切な支給事務の遂行に努める。		

事務事業名	妊婦歯科健診費	所管課	保健推進課
		決算額	1,194千円
事業内容	妊娠中の口腔の健康状態を確保し、健康な妊娠及び安全な分娩と健康な子の出産を支援するため、歯科健診にかかる費用を助成することで、健診の受診を推進する。		
成果・実績	<p>妊婦と胎児の健康を保ち、早産や低体重児出産のリスクを抑えるため、歯科健診にかかる費用の助成を行った。</p> <p>◎助成件数 322件</p>		
事業評価	妊婦の歯科健診にかかる費用助成により、受診を促進し、妊婦及び胎児の健康保持を支援した。助成件数は伸びているが、依然として受診率の低さが課題となっていることから、今後も引き続き制度の周知に努める必要がある。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	04 少子化社会への対応	
小分類	02 健やかな成長・発達への支援の充実	

事務事業名	乳児家庭全戸訪問事業費	所管課	保健推進課
		決算額	5,202千円
事業内容	<p>生後4か月になるまでの子どもがいる家庭を対象に訪問し、子育てに関する悩み及び不安を聞き、子育て支援に関する情報提供を行うとともに、子ども及びその保護者の心身の状況並びに養育環境等の把握を行い、支援が必要な家庭に対し、適切なサービスにつなげる。</p>		
成果・実績	<p>親の育児不安の軽減と、子育て支援に関する必要な情報提供を行い、支援が必要な家庭に対しては適切なサービスにつなげる。</p> <p>◎訪問件数 339件</p>		
事業評価	<p>生後4か月未満の子どもがいる家庭を訪問することで、子育ての孤立化を防ぐとともに、子育て支援に関する情報提供を行い、適切な支援の提供を図った。今後も、関係機関等との連携に努めつつ、訪問事業全体の効率的な実施手法について検討する必要がある。</p>		

事務事業名	妊婦面談事業費	所管課	保健推進課
		決算額	3,185千円
事業内容	<p>子育て世代包括支援センターの設置に伴い、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のないサポートを行うにあたり、行政とのファーストタッチとして保健推進課の地区担当保健師を知り、安心して相談できる場を提供する。</p>		
成果・実績	<p>母子健康手帳の交付時に、保健師による面談を行い、必要に応じて子育て支援サービスが利用しやすいように、支援プランを作成し、利用の手助けを行う。また、子育て用品（ネウボラセット）を配付することで、子どもとのふれあいの大切さを理解してもらうとともに、行政との今後の関わりへのきっかけづくりとする。</p> <p>◎面談等件数 1,195件</p> <p style="padding-left: 20px;">※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、郵送で母子健康手帳を交付した妊婦には電話で体調確認等を実施</p>		
事業評価	<p>母子健康手帳交付時に、保健師による面談を行うことで安心して相談でき、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のないサポートができるよう、関係性の構築を図った。令和元年度から開始した産後ケア事業により、妊婦面談後の関わりも増えているが、引き続き、切れ目のない子育て支援を展開できるよう努める。</p>		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	04 少子化社会への対応	
小分類	02 健やかな成長・発達への支援の充実	

事務事業名	妊娠・産後支援事業費	所管課	保健推進課
		決算額	3,192千円
事業内容	子育て世代包括支援センターの設置に伴い、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のないサポートを行うにあたり、妊娠・出産・子育てに関する悩み等の相談支援を行い、不安及び困りごと等の軽減並びに孤立感の解消を図る。		
成果・実績	<p>妊娠、出産及び子育てに関する悩みを専門職が傾聴し、妊娠期から母親に寄り添った相談支援を行えるよう、これまでの乳幼児相談事業及びパパママスタート事業を再編し、「講座・指導」形式から、一部事業に「交流」形式を取り入れ、母親の孤立感の軽減・解消を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ プレママひろば～ストレッチでボディケア～ 3回開催 参加人数 3人 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年4月～12月中止 ◎ 産後のママのための育児相談会 20回開催 参加人数 150人 (うち2回は予約なく中止) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年4月～6月中止 ◎ お世話体験 6回開催 参加人数 97人 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年4月～6月中止 ◎ クッキング 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年4月～12月中止 令和3年1月～3月は教室内容を変更して3回開催予定だったが予約なく中止 ◎ 沐浴 9回開催 参加人数 131人 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年4月～6月中止 ◎ 妊婦訪問 訪問人数 61人 ◎ 乳幼児相談 19回開催 参加人数 405人 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、うじ安心館は令和2年5月中止、 地域会場は4月～12月中止 ◎ ママのためのおはなし会 産後のママのための育児相談会へ再編 ◎ あんしんかんDEお話タイム 5回開催 参加人数 127人 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年4月～10月中止 <p>※参加人数には、妊産婦以外の配偶者やその他家族等を含む</p>		
事業評価	これまで実施してきた事業を再編し、講座・指導による形式から交流形式を取り入れることで、今まで以上に育児不安などの解消に向けた取組を推進した。今後もより効果的な事業実施となるよう、利用状況等の把握に努め、適切な事業実施に努める。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	04 少子化社会への対応	
小分類	02 健やかな成長・発達への支援の充実	

事務事業名	産後ケア事業費	所管課	保健推進課
		決算額	2,631千円
事業内容	産後において家族等の援助が受けられず支援を必要とする母子に対して、心身のケア、育児の支援その他母子の健康・増進に必要な支援を実施し、母親の身体的回復及び心理的な安定を促進するとともに、母親自身がセルフケア能力を育み、母親及びその家族が健やかな育児ができるように支援する。		
成果・実績	<p>妊娠期から申請ができるため、妊婦は産後の支援体制を具体的に考えることができ、妊娠期から不安の軽減を図った。また、事業の利用により、産婦の心身の安定を図った。</p> <p>◎利用実人数 42人</p> <p>（再掲）利用実人数 宿泊型 8人（延べ 38日）</p> <p style="padding-left: 20px;">訪問型（助産師） 21人（延べ 29日）</p> <p style="padding-left: 20px;">訪問型（介護福祉士） 18人（延べ 95日）</p> <p style="padding-left: 20px;">日帰り型 20人（延べ 32日）</p>		
事業評価	妊婦面談及び訪問などを通して妊産婦の状態を把握することにより、必要な方への適切な支援に努めた。今後も関係機関等と連携し、健やかな育児につながるよう支援する。		

事務事業名	新型コロナウイルス感染症対策費	所管課	保健推進課
		決算額	8,262千円
事業内容	新型コロナウイルス感染症拡大防止のための衛生用品及び備品などを購入するほか、乳児家庭全戸訪問事業、養育支援訪問事業、産後ケア事業を行う事業者の感染拡大防止に資する備品等の購入に対して補助を行う。		
成果・実績	<p>安心・安全に事業を継続するため、新型コロナウイルス感染症対策を実施した。</p> <p>◎補助事業者数 8事業者</p> <p>◎妊娠末期の方へのマスク配付 501人</p>		
事業評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止に必要な衛生用品及び備品などを購入、または事業者への補助を行うことで安全安心な環境で事業を継続することができた。今後も引き続き、国等の動向に応じて、必要な感染拡大防止の対策を講じ、市民が安心して利用できるよう努める。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	03 長寿社会への対応	
小分類	01 生きがいつくりの充実	

事務事業名	老人園芸ひろば管理費	所管課	長寿生きがい課																
		決算額	4,056千円																
事業内容	<p>高齢者の生きがい対策と地域コミュニティ活動の一つとして、高齢者の社会交流、心身の健康保持のために、趣味を活かして園芸を楽しみ、自然の恵沢と長寿の喜びを味わってもらうことにより、高齢者福祉の増進を図る。 また、全利用者を対象に園芸教室を開催する。</p>																		
成果・実績	<p>7カ所550区画を管理し、60歳以上の者に1世帯約10㎡を1区画として貸与した。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">園芸ひろば名称</th> <th style="width: 50%;">区画数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>芝ノ東</td><td style="text-align: center;">95</td></tr> <tr><td>大久保</td><td style="text-align: center;">88</td></tr> <tr><td>伊勢田第2</td><td style="text-align: center;">55</td></tr> <tr><td>羽戸山</td><td style="text-align: center;">55</td></tr> <tr><td>槇島</td><td style="text-align: center;">117</td></tr> <tr><td>木幡</td><td style="text-align: center;">80</td></tr> <tr><td>小倉寺内</td><td style="text-align: center;">60</td></tr> </tbody> </table>			園芸ひろば名称	区画数	芝ノ東	95	大久保	88	伊勢田第2	55	羽戸山	55	槇島	117	木幡	80	小倉寺内	60
園芸ひろば名称	区画数																		
芝ノ東	95																		
大久保	88																		
伊勢田第2	55																		
羽戸山	55																		
槇島	117																		
木幡	80																		
小倉寺内	60																		
事業評価	<p>市内7カ所の園芸ひろばの管理・運営を行い、高齢者の社会交流、心身の健康の増進に努めた。園芸教室等の内容を充実させ、より一層の高齢者福祉の増進に努める。</p>																		

事務事業名	高齢者アカデミー運営費	所管課	長寿生きがい課																		
		決算額	2,760千円																		
事業内容	<p>京都文教大学・京都文教短期大学にて、65歳以上の市民を対象に、「高齢者アカデミー」を開校する。プログラムは2年制（1年＝秋期・春期）で、受講生は週1回の科目履修と月1回のアカデミーアワーを受講する。</p>																				
成果・実績	<p>高齢者アカデミーを開校し、高齢者の社会参加、生きがいつくりに寄与するとともに、地域社会に貢献する人材養成を行った。</p> <p>◎入学者数</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>1期生</th> <th>2期生</th> <th>3期生</th> <th>4期生</th> <th>5期生</th> <th>6期生</th> <th>7期生</th> <th>8期生</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">22人</td> <td style="text-align: center;">21人</td> <td style="text-align: center;">14人</td> <td style="text-align: center;">23人</td> <td style="text-align: center;">37人</td> <td style="text-align: center;">13人</td> <td style="text-align: center;">15人</td> <td style="text-align: center;">12人</td> <td style="text-align: center;">157人</td> </tr> </tbody> </table>			1期生	2期生	3期生	4期生	5期生	6期生	7期生	8期生	合計	22人	21人	14人	23人	37人	13人	15人	12人	157人
1期生	2期生	3期生	4期生	5期生	6期生	7期生	8期生	合計													
22人	21人	14人	23人	37人	13人	15人	12人	157人													
事業評価	<p>高齢者の交流機会の創出と生きがいつくりの促進を図った。今後も京都文教大学・京都文教短期大学と連携し、卒業生の地域貢献の状況等を分析する中で、より効果的な運営手法等について検討する必要がある。</p>																				

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	03 長寿社会への対応	
小分類	01 生きがいづくりの充実	

事務事業名	地域福祉センター管理運営費	所管課	長寿生きがい課																																																				
		決算額	77,365千円																																																				
事業内容	<p>地域住民の福祉ニーズに応じた事業を総合的に行うとともに、地域住民の福祉の増進及び福祉意識の高揚を図り、地域の実情に応じた各種事業を実施する。また、高齢者が健康づくり及び生きがいづくりなど様々な活動に気軽に利用でき、集会所機能も持たせた多目的活用によって、世代間交流及び地域交流を促進する複合施設である地域福祉センターの管理・運営を行う。</p>																																																						
成果・実績	<p>市内6カ所の地域福祉センターを管理・運営した。木幡・開については直営で管理し、その他4カ所は管理者を指定し、管理運営した。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">◎榎島地域福祉センター管理運営費</td> <td style="text-align: right;">5,806千円</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>・指定管理者：(福)山城福祉会</td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>◎木幡地域福祉センター管理運営費</td> <td style="text-align: right;">6,167千円</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>・直営</td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>◎開地域福祉センター管理運営費</td> <td style="text-align: right;">5,987千円</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>・直営</td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>◎西小倉地域福祉センター管理運営費</td> <td style="text-align: right;">16,094千円</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>・指定管理者：(一財)宇治市福祉サービス公社</td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>◎東宇治地域福祉センター管理運営費</td> <td style="text-align: right;">6,851千円</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>・指定管理者：(一財)宇治市福祉サービス公社</td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>◎広野地域福祉センター管理運営費</td> <td style="text-align: right;">6,564千円</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>・指定管理者：(一財)宇治市福祉サービス公社</td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>◎地域福祉センター再整備事業費</td> <td style="text-align: right;">29,896千円</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table>			◎榎島地域福祉センター管理運営費	5,806千円			・指定管理者：(福)山城福祉会				◎木幡地域福祉センター管理運営費	6,167千円			・直営				◎開地域福祉センター管理運営費	5,987千円			・直営				◎西小倉地域福祉センター管理運営費	16,094千円			・指定管理者：(一財)宇治市福祉サービス公社				◎東宇治地域福祉センター管理運営費	6,851千円			・指定管理者：(一財)宇治市福祉サービス公社				◎広野地域福祉センター管理運営費	6,564千円			・指定管理者：(一財)宇治市福祉サービス公社				◎地域福祉センター再整備事業費	29,896千円		
◎榎島地域福祉センター管理運営費	5,806千円																																																						
・指定管理者：(福)山城福祉会																																																							
◎木幡地域福祉センター管理運営費	6,167千円																																																						
・直営																																																							
◎開地域福祉センター管理運営費	5,987千円																																																						
・直営																																																							
◎西小倉地域福祉センター管理運営費	16,094千円																																																						
・指定管理者：(一財)宇治市福祉サービス公社																																																							
◎東宇治地域福祉センター管理運営費	6,851千円																																																						
・指定管理者：(一財)宇治市福祉サービス公社																																																							
◎広野地域福祉センター管理運営費	6,564千円																																																						
・指定管理者：(一財)宇治市福祉サービス公社																																																							
◎地域福祉センター再整備事業費	29,896千円																																																						
事業評価	<p>各センターの管理・運営を適正に実施し、地域住民の福祉ニーズに応じた事業を行うなど、高齢者福祉の向上を図った。地域福祉の拠点としての役割及び利用効果など、状況の把握・分析に努め、今後の施設の運用方法等について検討する必要がある。</p>																																																						

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	03 長寿社会への対応	
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実	

事務事業名	老人保護措置費等	所管課	長寿生きがい課
		決算額	109,129千円
事業内容	環境上及び経済的な理由により居宅において養護を受けることが困難と認める65歳以上の高齢者等について、養護老人ホームへの入所措置を行う。		
成果・実績	<p>対象者について養護老人ホームに入所措置を行った。</p> <p>◎措置延べ人数 608人</p> <p>◎措置人数 48人（令和2年度末現在）</p>		
事業評価	「老人福祉法」に基づき養護老人ホームへの入所措置を適正に実施した。今後も引き続き高齢者福祉の推進に向け、適正な事務運営に努める。		

事務事業名	老人クラブ助成金	所管課	長寿生きがい課
		決算額	4,959千円
事業内容	高齢者の心身の健康保持、社会参加を促進するため、老人クラブが自主的に行う教養講座、レクリエーション、社会奉仕、スポーツなどを年間を通じて恒常的かつ計画的な活動に向け助成・育成を行う。老人クラブ活動の充実と発展を図り、老後の生きがいを高め、その生活を健康で豊かなものとする。		
成果・実績	<p>老人クラブの活動に対して助成し、育成に努めた。</p> <p>◎会員数 2,538人（令和2年4月現在）</p> <p>◎クラブ数 58団体</p>		
事業評価	宇治市連合喜老会への活動助成等を適正に執行し、高齢者の生きがい活動を促進した。老人クラブの状況や助成の効果等の分析に努め、今後の施策展開について検討する必要がある。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	03 長寿社会への対応	
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実	

事務事業名	在宅要援護老人対策費	所管課	長寿生きがい課
		決算額	2,831千円
事業内容	<p>高齢化の進行により、寝たきり・一人暮らし高齢者、高齢者世帯の要援護者が増加しており、日常生活で手助けが必要な部分について、類型に応じたサービスを提供し、地域社会での日常生活を送れるように援助する。老人福祉電話の設置、訪問活動事業への助成などを行う。</p>		
成果・実績	<p>在宅で援護が必要である高齢者等に対して、各種事業を行った。</p> <p>◎一人暮らし高齢者等訪問活動事業 1,669千円 おおむね65歳以上の一人暮らし高齢者を対象に自宅への訪問等を月1回以上行い、一人暮らし高齢者の安否確認及び不安解消を行った。 ・対象者数 1,669人</p> <p>◎福祉電話の設置費・基本通話料の助成 1,153千円 所得税非課税の65歳以上の一人暮らし及び高齢者世帯で電話のない高齢者に貸与、設置した福祉電話の設置費及び基本料金等を助成した。 ・年度末助成対象者数 44人</p> <p>◎家具等転倒防止金具等購入の助成 9千円 家具等転倒防止金具等を設置する高齢者(65歳以上の市民税非課税世帯)に、その金具等の費用を助成した ・助成件数 2件</p>		
事業評価	<p>(福)宇治市社会福祉協議会への補助により、社会的支援が必要な高齢者の見守りを行うなど在宅生活を支援した。今後も市民ニーズや社会情勢の把握・分析に努め、地域・他団体と連携しながら、支援内容の改善を図る必要がある。</p>		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	03 長寿社会への対応	
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実	

事務事業名	一人暮らし高齢者等給配食サービス補助金	所管課	長寿生きがい課
		決算額	1,595千円
事業内容	一人暮らし高齢者等の不安と孤独感の解消と社会参加のため、地区社会福祉協議会と学区福祉委員会が実施している一人暮らし高齢者等給配食サービスに対し、補助することによって、在宅福祉の充実に向け、行政、地域住民などの連携及びボランティアの育成、地区社会福祉協議会、学区福祉委員会の充実を図る。		
成果・実績	給配食サービスへの助成を行い、一人暮らし高齢者等の福祉の向上を図った。 ◎延べ給配食数 4,558食		
事業評価	(福) 宇治市社会福祉協議会への助成を通じ、社会的支援が必要な一人暮らし高齢者等への給配食サービスを実施し、在宅福祉の向上を図った。今後も引き続き地域・他団体との連携等を強化し、効果分析や改善に努める。		

事務事業名	デイホーム管理運営費	所管課	長寿生きがい課
		決算額	6,880千円
事業内容	平成5年に国の地方分権特例制度の適用市町村(パイロット自治体)第1号の指定を受け、全国初の試みとして小倉小学校・平盛小学校の空き教室を改築し、デイサービスセンター・在宅介護支援センター・デイホームといった高齢者福祉施設を開設しており、高齢者施策の充実と、世代間・地域交流を促進するデイホームの管理・運営を行う。		
成果・実績	市内2カ所のデイホームについて、管理者を指定し、管理運営を行った。 ◎小倉デイホーム管理運営費 3,561千円 ・指定管理者：(福) 宇治明星園 ◎平盛デイホーム管理運営費 3,319千円 ・指定管理者：(福) 不動園		
事業評価	小学校との複合施設である各デイホームの管理・運営を適正に実施し、地域住民の福祉ニーズに応じた事業を行い、高齢者福祉の向上だけでなく、世代間・地域交流の促進を図った。地域福祉の拠点としての役割及び利用効果など状況の把握、分析に努め、今後の施設の運用方法等について検討する必要がある。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	03 長寿社会への対応	
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実	

事務事業名	特別養護老人ホーム等建設費補助金	所管課	長寿生きがい課
		決算額	6,875千円
事業内容	在宅介護が困難な寝たきり等の要介護高齢者の増加に伴い、「宇治市高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画」に基づき整備された特別養護老人ホーム等の建設費に対し、補助金を交付する。		
成果・実績	<p>整備法人 (社福) 宇治明星園</p> <p>施設名称 宇治明星園特別養護老人ホーム</p> <p>整備内容 多床室からユニット型個室への改修 建替にあわせて10床追加整備（整備後60床）</p> <p>整備場所 宇治市菟道岡谷16-3</p>		
事業評価	「宇治市高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画」に基づき整備された特別養護老人ホーム等の建設費に対し補助金を交付したことにより、要介護高齢者増加の対応に努めることができた。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	03 長寿社会への対応	
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実	

事務事業名	認知症の人にやさしいまち・うじ推進事業費	所管課	長寿生きがい課
		決算額	896千円
事業内容	平成27年3月に宣言した「認知症の人にやさしいまち・うじ」の実現のために、認知症を「自分のこと」と捉え、市民一人ひとりが認知症を正しく理解し、やさしいまちづくりを目指して自分のできる行動を起こしていく「宇治市認知症アクションアライアンス」通称“れもねいど”活動を広める。		
成果・実績	◎れもねいど新規加盟企業 8団体（累計72団体） ◎れもねいだー（ボランティア）新規登録者数 6人（累計128人） ◎認知症等により行方不明になる恐れのある高齢者等の情報を事前に登録し、事前登録者に対して「身元確認シール」を交付する 新規登録者数 89人（更新登録者10人含む）		
事業評価	「認知症の人にやさしいまち・うじ」の実現に向け、全国に先駆けて一般企業や団体との連携を通じた施策を実施したことにより、認知症の正しい理解の普及・啓発に努めることができた。今後も一般企業や市民との連携に努め、より一層の施策推進を図る必要がある。		

事務事業名	認知症総合センター機能強化事業費	所管課	長寿生きがい課
		決算額	4,000千円
事業内容	包括的な医療・介護サービスを提供する「京都認知症総合センター」が運営を開始し、地域資源との連携体制を強化し、認知症に係る初期から看取り期までの課題に対応できる機能を持つモデルを完成させるとともに、京都認知症総合センターの初期支援プログラム等の他地域への普及を推進する。		
成果・実績	◎認知症医療・介護連携の枠組み構築のためのモデル事業 ・連携の充実・強化（推進協議会） 2回 ・介護施設等への専門医療支援体制の構築 8回 ・一般市民等への認知症の正しい理解の普及啓発 2回 ◎本人の活動を重視する認知症カフェ推進事業 ・初期支援プログラムの開発 6種類 合計47回 ・認知症カフェ運営者・スタッフ研修 5回 ◎『認知症の人の声を社会に！』推進事業 ・認知症の人や家族が自らの思いを発信できる場づくり 2回 ・認知症当事者によるピアサポート事業 36回 ・認知症の人の家族による講演会の実施 0回		
事業評価	「京都認知症総合センター」の運営を通じ、認知症に係る医療・介護連携の枠組みの構築をはじめとする各種施策を推進した。より発展的な施策展開となるよう事業内容を検討する必要がある。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	03 長寿社会への対応	
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実	

事務事業名	介護予防把握事業費	所管課	長寿生きがい課
		決算額	1,743千円
事業内容	<p>閉じこもり等の何らかの支援を要する者を早期に把握し、住民主体の介護予防活動へつなげるため、75歳の高齢者（ただし、介護認定を持つ者等は除く）を対象に、訪問時に介護が必要な状況となるリスクについて判断し、必要に応じて保健指導や相談、関係機関への連携などの支援を行う。</p>		
成果・実績	<p>居宅を訪問し、対象者の状況に合わせて相談、指導などを行ったり、必要に応じて関係機関への支援につないだ。</p> <p>◎訪問実人数 1,176人 ◎訪問延べ人数 1,518人</p>		
事業評価	<p>閉じこもり等により要介護状態になるリスクがある高齢者を早期に把握し、一般介護予防事業等につなげることで、生活機能の維持を図った。今後も引き続き、必要な支援を適切な時期に提供できるよう地域包括支援センターと連携を図り、取り組む。</p>		

事務事業名	地域支援型介護予防教室開催費	所管課	長寿生きがい課
		決算額	24,060千円
事業内容	<p>65歳以上の市民に対し、介護予防の三本柱である運動、栄養、口腔及び認知症予防について複合的に学ぶことで生活機能全般の改善を図る。また、教室終了後も運動の継続や仲間づくりを目的に教室を実施する。</p>		
成果・実績	<p>通所により介護予防を目的とした地域支援型介護予防教室を市内12会場で行った。</p> <p>◎実人数 420人 ◎延べ人数 4,082人 ◎自主グループの立ち上げ 5団体</p>		
事業評価	<p>複合型プログラムを実施し、対象者の生活機能の改善を図った。教室終了後も地域において自主的な介護予防活動ができるよう取組を続ける。</p>		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	03 長寿社会への対応	
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実	

事務事業名	機能訓練事業費	所管課	長寿生きがい課																									
		決算額	44,978千円																									
事業内容	<p>一般介護予防事業による機能訓練事業</p> <p>◎パワリハトレーニング教室：心身の機能の維持・向上のため、マシンを利用した軽度な負荷での運動及びストレッチ体操などを行う。</p> <p>◎スロートレーニング教室：生活機能の維持・改善のため、自重運動及び体操を中心としたトレーニングを行う。</p> <p>◎スロートレーニング教室（ミックス）：介護予防の三本柱である運動、栄養、口腔及び認知症予防について複合的に学ぶことで生活機能全般の改善を図る。</p> <p>◎セルフパワリハ：医療制限を受けていない自力でトレーニング可能な人を対象に、心身の機能の維持・向上のため、マシンを利用した軽度な負荷での運動等を行う。</p> <p>◎B型リハビリ教室：疾病等により閉じこもり傾向にある高齢者などを対象に、閉じこもりを防止し、地域参加を促すとともに、心身機能の維持・改善を図るため、地域の人と交流をしながら、ゲーム及び体操を行う。</p>																											
成果・実績	<p>65歳以上の市民が、通所により介護予防を目的とした運動器の機能向上プログラムを実施した。スロートレーニング教室（ミックス）については、運動器の機能向上、栄養改善、口腔機能改善、認知症予防を中心としたプログラムを実施した。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">◎パワリハトレーニング教室参加者数</td> <td style="width: 10%;">(実人数)</td> <td style="width: 10%;">153人</td> <td style="width: 10%;">(延べ人数)</td> <td style="width: 10%;">1,588人</td> </tr> <tr> <td>◎スロートレーニング教室参加者数</td> <td>(実人数)</td> <td>122人</td> <td>(延べ人数)</td> <td>1,377人</td> </tr> <tr> <td>◎スロートレーニング教室（ミックス）参加者数</td> <td>(実人数)</td> <td>50人</td> <td>(延べ人数)</td> <td>487人</td> </tr> <tr> <td>◎セルフパワリハ参加者数</td> <td>(実人数)</td> <td>206人</td> <td>(延べ人数)</td> <td>5,959人</td> </tr> <tr> <td>◎B型リハビリ教室参加者数</td> <td>(実人数)</td> <td>143人</td> <td>(延べ人数)</td> <td>3,163人</td> </tr> </table>			◎パワリハトレーニング教室参加者数	(実人数)	153人	(延べ人数)	1,588人	◎スロートレーニング教室参加者数	(実人数)	122人	(延べ人数)	1,377人	◎スロートレーニング教室（ミックス）参加者数	(実人数)	50人	(延べ人数)	487人	◎セルフパワリハ参加者数	(実人数)	206人	(延べ人数)	5,959人	◎B型リハビリ教室参加者数	(実人数)	143人	(延べ人数)	3,163人
◎パワリハトレーニング教室参加者数	(実人数)	153人	(延べ人数)	1,588人																								
◎スロートレーニング教室参加者数	(実人数)	122人	(延べ人数)	1,377人																								
◎スロートレーニング教室（ミックス）参加者数	(実人数)	50人	(延べ人数)	487人																								
◎セルフパワリハ参加者数	(実人数)	206人	(延べ人数)	5,959人																								
◎B型リハビリ教室参加者数	(実人数)	143人	(延べ人数)	3,163人																								
事業評価	<p>それぞれの段階に応じた心身の機能維持・回復を図るために必要な訓練を実施し、日常生活の自立の促進を図った。今後もプログラム構成の改善及び他事業との連携など、より効果的な事業実施とするための手法の検討に努める必要がある。</p>																											

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	03 長寿社会への対応	
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実	

事務事業名	認知症地域支援事業費	所管課	長寿生きがい課								
		決算額	11,374千円								
事業内容	<p>高齢者が地域で心身ともにいきいきと暮らすことができるように、予防可能な段階である初期認知症高齢者を早期に発見し、認知症の改善と進行、悪化の防止のための教室を行う。</p>										
成果・実績	<p>認知症予防を目的とした教室及び認知症の正しい理解の普及・啓発（認知症あんしんサポーター養成講座）を行った。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 80%;">◎認知症予防教室参加者数（実人数）</td> <td style="text-align: right;">115人</td> </tr> <tr> <td>◎脳活性化教室参加者数（延べ人数）</td> <td style="text-align: right;">2,421人</td> </tr> <tr> <td>◎認知症あんしんサポーター養成講座（延べ人数）</td> <td style="text-align: right;">730人</td> </tr> <tr> <td>◎キャラバン・メイト養成フォローアップ講座（延べ人数）</td> <td style="text-align: right;">24人</td> </tr> </table>			◎認知症予防教室参加者数（実人数）	115人	◎脳活性化教室参加者数（延べ人数）	2,421人	◎認知症あんしんサポーター養成講座（延べ人数）	730人	◎キャラバン・メイト養成フォローアップ講座（延べ人数）	24人
◎認知症予防教室参加者数（実人数）	115人										
◎脳活性化教室参加者数（延べ人数）	2,421人										
◎認知症あんしんサポーター養成講座（延べ人数）	730人										
◎キャラバン・メイト養成フォローアップ講座（延べ人数）	24人										
事業評価	<p>認知症の改善や進行の防止を図るための教室及び認知症の正しい理解の普及・啓発を行うための講座を開催し、認知症関連施策の推進を図った。他事業との連携を深め、より効果的な事業実施となるよう、引き続き手法を検討する必要がある。</p>										

事務事業名	地域包括支援センター運営事業費	所管課	長寿生きがい課				
		決算額	136,846千円				
事業内容	<p>介護、福祉、医療、保健などのサービスを包括的・継続的に提供するために、地域包括支援センターを市内8カ所の日常生活圏域に設置。高齢者が可能な限り居宅において自立した日常生活を営むことができるように、総合相談、権利擁護、包括的・継続的ケアマネジメント、第一号介護予防支援を実施する。また、地域包括支援センター運営協議会を設置する。</p>						
成果・実績	<p>3職種（保健師、社会福祉士及び主任介護支援専門員）の専門職を配置し、圏域内の高齢者の心身の状況に応じた介護予防ケアプランの作成、高齢者及びその家族に対する相談支援、高齢者の権利擁護、包括的・継続的なケア体制の構築などを行った。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 80%;">◎新規相談者数（実人数）</td> <td style="text-align: right;">3,489人</td> </tr> <tr> <td>◎地域包括支援センター運営協議会</td> <td style="text-align: right;">年2回開催</td> </tr> </table>			◎新規相談者数（実人数）	3,489人	◎地域包括支援センター運営協議会	年2回開催
◎新規相談者数（実人数）	3,489人						
◎地域包括支援センター運営協議会	年2回開催						
事業評価	<p>国の指針に基づき日常生活圏域ごとに専門職を配置し、地域の中で高齢者の生活を支援した。高齢者数が増加している状況において、包括的支援の充実に向け、引き続き地域包括ケアの推進に努める。</p>						

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	03 長寿社会への対応	
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実	


事務事業名	地域包括ケア体制推進事業費	所管課	長寿生きがい課						
		決算額	216千円						
事業内容	地域の高齢者が安心していきいきと暮らせるまちづくりを行うことを目的として「地域包括ケア会議」及び「小地域包括ケア会議」を開催し、地域ネットワークの構築を図る。講義、事例検討を通して地域包括支援センター及びケアマネジャーの資質向上を図る。								
成果・実績	地域ネットワークの構築を図るとともに、地域包括支援センター及びケアマネジャーへ資質向上のための研修を実施した。 ◎延べ人数 <table style="margin-left: 20px; border: none;"> <tr> <td>・ 宇治市地域包括ケア会議</td> <td style="text-align: right;">105人</td> </tr> <tr> <td>・ 小地域包括ケア会議</td> <td style="text-align: right;">197人</td> </tr> <tr> <td>・ 資質向上研修</td> <td style="text-align: right;">64人</td> </tr> </table>			・ 宇治市地域包括ケア会議	105人	・ 小地域包括ケア会議	197人	・ 資質向上研修	64人
・ 宇治市地域包括ケア会議	105人								
・ 小地域包括ケア会議	197人								
・ 資質向上研修	64人								
事業評価	地域包括ケア会議を開催して地域ネットワークの構築を図るとともに、ケアマネジャー等の資質向上研修を実施し地域包括ケアの推進を図った。今後も効果的な会議のあり方を検討し、関係団体等との連携強化に努める。								

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	03 長寿社会への対応	
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実	

事務事業名	家族介護者支援事業費	所管課	長寿生きがい課
		決算額	4,282千円

事業内容	<p>要介護の高齢者等を介護する家族を支援するため、以下の事業を行う。</p> <p>◎紙おむつ等給付事業：要介護4・5の在宅高齢者の家族等に紙おむつ等を給付する。 （月額購入費の2分の1相当の額の紙おむつ等を5千円を上限に給付する。本人及び本人を扶養する親族が市民税非課税）</p> <p>◎介護者リフレッシュ事業：要支援・要介護認定を受けた高齢者を在宅にて介護する家族等の交流事業を行う。</p> <p>◎介護知識・技術習得教室：要支援・要介護認定を受けた高齢者を在宅にて介護する家族等を対象に、適切な介護知識・技術の習得や、外部サービスの適切な利用方法の習得等を内容とした教室を開催する。</p> <p>◎家族介護慰労事業：要介護4・5の市民税非課税世帯の高齢者で1年間介護サービスを受けずに介護した家族に慰労金を支給する。</p> <p>◎認知症等高齢者家族安心事業：認知症等により行方不明となるおそれがある高齢者及びその家族に、GPS機能を備えた機器の貸与費用等を助成する。</p>		
-------------	--	--	--

成果・実績	◎紙おむつ等給付事業	2,047千円	 <p style="text-align: center;">介護者リフレッシュ事業</p>
	・給付件数	656件	
	◎介護者リフレッシュ事業	1,025千円	
	・参加者数	34人	
	◎介護知識・技術習得教室	600千円	
・参加者数	62人		
◎家族介護慰労事業	0千円		
・支給者数	0人		
(対象者がいなかったため、令和2年度は実績なし)			
◎認知症等高齢者家族安心事業	610千円		
・年度末利用者数	65人		

事業評価	<p>介護者同士の交流やGPS機器の貸与など、ソフト・ハード両面の支援により、高齢者の介護を行う家族の精神的・経済的負担の軽減を図った。高齢者数の増加に伴う要介護・要支援者数が増えている状況において、在宅生活を支える家族への支援も重要となっており、今後も利用状況の把握及び事業の啓発に努め、効果的な支援を検討する必要がある。</p>
-------------	--

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	03 長寿社会への対応	
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実	

事務事業名	地域介護予防活動支援事業費	所管課	長寿生きがい課
		決算額	81千円
事業内容	住民が運営する通いの場を充実させ、人と人とのつながりを通じて、通いの場が継続的に拡大していくような地域づくりを推進するとともに、要介護状態となることの予防や生きがい・役割をもって生活できる地域を構築することを目的として、「介護予防に資する通いの場活動支援事業」を実施する団体に対して、その活動を支援するための補助金を交付する。		
成果・実績	「介護予防に資する通いの場活動支援事業」を実施した団体に対して、会場使用料などの活動を支援するための補助金を交付した。 ◎補助金交付団体数 2団体		
事業評価	地域における介護予防活動を推進するため、活動団体への支援を図った。今後も引き続き、関連事業との連携を図りながら、効果的な事業実施に向けて検討する必要がある。		

事務事業名	地域リハビリテーション活動支援事業	所管課	長寿生きがい課
		決算額	301千円
事業内容	介護予防に資する通いの場を運営する地域団体（サロンや自主活動グループ等）から専門職派遣の要請を受け、1団体につき年間2回まで専門職（作業療法士、理学療法士、保健師、看護師、栄養士、歯科衛生士等）を派遣する。		
成果・実績	介護予防に資する通いの場を運営する地域団体からの派遣要請に対し、作業療法士、理学療法士等の専門職の派遣を実施した。 ◎派遣延べ回数 30回		
事業評価	地域における介護予防活動を推進するため、活動団体への支援を図った。人と人とのつながりを通じて、通いの場が継続的に拡大していく取組を推進するため、今後も引き続き、効果的な事業実施について検討する必要がある。		

令和 2 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	03 長寿社会への対応	
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実	

事務事業名	生活支援体制整備事業	所管課	長寿生きがい課
		決算額	13,510千円
事業内容	<p>生活支援コーディネーターを配置し、身近な地域で、多様な生活支援のニーズに対応できる支援体制の整備や、地域における支え合い・助け合いの支援体制の充実を図る。</p>		
成果・実績	<p>地域の支え合い仕組みづくり会議を開催し、構成メンバーである関係団体と、事業の進捗状況や各地の地域活動などの情報共有を行った。</p> <p>◎開催数 2回</p> <p>地域住民を中心とした、地域の支え合い仕組みづくり会議（地域版）を立ち上げ、地域課題の解決に向けて勉強会や意見交換を行った。</p> <p>◎立ち上げ 2団体（累計 5団体）</p> <p>健康長寿サポーターを担い手とした住民主体型通いの場の立ち上げ支援及び継続的な運営支援に取り組むとともに、住民主体型生活支援の立ち上げに向けてモデル実施を行った。</p> <p>◎通いの場立ち上げ支援 1団体 ◎通いの場継続運営支援 6団体 ◎住民主体型生活支援団体立ち上げ支援 1団体</p> <p>住民主体型サービスや地域活動の担い手となる人材を養成するため、健康長寿サポーター養成講座（宇治源輝人講座）を開催した。</p> <p>◎養成講座開催数 2回 ◎健康長寿サポーター新規登録者数 25人（累計 170人）</p> <p>サロンや自治会等に出向き、地域の支え合いやつながりの大切さについて意識醸成を図った。</p> <p>◎気にかける地域づくり勉強会（出前講座） 7回 ◎参加人数 延べ 145人</p>		
事業評価	<p>第2層生活支援コーディネーターの配置を強化し、各地域包括支援センターと情報共有・連携しながら、地域住民を中心とした話し合いの場や勉強会を設けることができた。各地域から生活支援コーディネーターへの相談も増加しており、地域課題を自分事とする意識や主体性が向上している。一方で、新型コロナウイルス感染症の影響により地域への展開が計画通りいかず、サポーター養成講座の参加者、登録者も伸び悩んでおり、今後の地域展開や講座の内容等について検討する必要がある。</p>		

令和 2 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	03 長寿社会への対応	
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実	

事務事業名	高齢者フレイル予防対策事業費	所管課	長寿生きがい課
		決算額	27,071千円
事業内容	新型コロナウイルス感染症の影響により、高齢者の外出機会の減少や運動不足等による健康状態の悪化（フレイルの進行）が懸念されるため、健康状態を把握するためのチェックリストを各個人に送付し回答内容に基づき、評価結果とフレイル予防対策を通知することにより、予防・改善の取組を促す。		
成果・実績	70歳以上の高齢者にチェックリストを送付し、回答に基づいた結果とフレイル予防に関するパンフレットを送付し、健康状態の把握とフレイル予防の取組を促した。 ◎チェックリスト送付人数 42,469人 ◎回答人数 29,339人（回答率69.1%）		
事業評価	チェックリストの回答により結果通知を行うことで、フレイル予防に関する周知と予防・改善の行動を促した。今後も引き続き、新型コロナウイルス感染症の動向に注視し、必要な支援に努める。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	02 健康づくりの推進	
小分類	01 健康づくりの推進	

事務事業名	健康づくり・食育推進事業費	所管課	健康づくり推進課
		決算額	312千円
事業内容	「健康づくり推進プラン」と「食育推進計画」を一体化した「宇治市健康づくり・食育推進計画」を策定し、「健康長寿日本一」の実現に向けて健康づくりと食育を一体的に推進する。		
成果・実績	<p>「宇治市健康づくり・食育推進計画」を策定し、「健康長寿日本一」の実現に向けて、市民の健康づくりと食育の推進に関して協議・検討を行った。</p> <p>◎協議会開催回数 2回</p>		
事業評価	「宇治市健康づくり・食育推進計画」に基づき、「健康長寿日本一」の実現に向け、健康づくりと食育を一体的に推進した。協議結果を各種施策に反映できるよう、引き続き取り組む必要がある。		

事務事業名	食生活改善推進員地区組織活動費	所管課	健康づくり推進課				
		決算額	365千円				
事業内容	市民の健康づくり及び生活習慣病予防のために食生活改善を進める宇治市食生活改善推進員協議会「若葉の会」の活動を支援する。						
成果・実績	<p>食生活改善推進員の地域での活動に対して支援を行い、行政研修会を実施した。</p> <p>◎（65歳未満） 決算額：171千円</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・「若葉の会」活動状況 支援活動回数 18回 参加者数 190人 </td> <td style="width: 50%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・「若葉の会」に対する行政研修会の実施 実施回数 2回 参加会員数 75人 </td> </tr> </table> <p>◎（65歳以上） 決算額：194千円</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・「若葉の会」活動状況 支援活動回数 23回 参加者数 168人 </td> <td style="width: 50%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・「若葉の会」に対する行政研修会の実施 実施回数 2回 参加会員数 75人 </td> </tr> </table>			<ul style="list-style-type: none"> ・「若葉の会」活動状況 支援活動回数 18回 参加者数 190人 	<ul style="list-style-type: none"> ・「若葉の会」に対する行政研修会の実施 実施回数 2回 参加会員数 75人 	<ul style="list-style-type: none"> ・「若葉の会」活動状況 支援活動回数 23回 参加者数 168人 	<ul style="list-style-type: none"> ・「若葉の会」に対する行政研修会の実施 実施回数 2回 参加会員数 75人
<ul style="list-style-type: none"> ・「若葉の会」活動状況 支援活動回数 18回 参加者数 190人 	<ul style="list-style-type: none"> ・「若葉の会」に対する行政研修会の実施 実施回数 2回 参加会員数 75人 						
<ul style="list-style-type: none"> ・「若葉の会」活動状況 支援活動回数 23回 参加者数 168人 	<ul style="list-style-type: none"> ・「若葉の会」に対する行政研修会の実施 実施回数 2回 参加会員数 75人 						
事業評価	ボランティアの活動を支援し、地域での健康増進活動を推進した。会員の高齢化及び会員数の減少などの課題を踏まえ、支援内容を検討する必要がある。						

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	02 健康づくりの推進	
小分類	01 健康づくりの推進	

事務事業名	健康教育費	所管課	健康づくり推進課
		決算額	859千円
事業内容	生活習慣病の予防及び健康増進、介護予防など健康に関する正しい知識の普及により、健康の保持増進を図る。市内各会場において、知識・経験を有する各専門職を講師とし、広く市民に対し各種健康教室等を行う。		
成果・実績	<p>各種健康教室等を各教室の目的に応じて専門職が実施した。生活習慣病の予防及び健康増進、介護予防など健康に関する正しい知識を普及するほか、家庭で継続しやすい内容の紹介に努めた。また、地域からの依頼及びイベントなどの機会を利用して広く市民へ普及することに努めた。</p> <p>◎ (65歳未満) 決算額：452千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施回数 39回 ・実施人数 314人 <p>◎ (65歳以上) 決算額：407千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施回数 53回 ・実施人数 738人 		
事業評価	各種健康教室を開催し、健康に関する正しい知識の普及と健康の保持増進を図った。今後も市民ニーズの把握に努め、より多くの市民に広く知識を普及するための手法を検討する必要がある。		

事務事業名	健康相談費	所管課	健康づくり推進課
		決算額	177千円
事業内容	市民の心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導及び助言を行い、家庭における健康管理に資することを目的とする。うじ安心館を拠点に、気軽に幅広く相談できるように実施する。		
成果・実績	<p>市民に対し、個別に健康相談を実施した。</p> <p>◎ (65歳未満) 決算額：57千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施回数 33回 ・実施人数 33人 <p>◎ (65歳以上) 決算額：120千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施回数 42回 ・実施人数 42人 		
事業評価	健康に関する市民の相談に個別対応し、健康管理の促進を図った。今後はより多くの市民の健康増進に向け、広報の見直し及び実施手法の改善に努める必要がある。		

令和２年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	02 健康づくりの推進
小分類	01 健康づくりの推進

所管部局
健康長寿部

事務事業名	各種がん検診等事業費	所管課	健康づくり推進課																																	
		決算額	92,745千円																																	
事業内容	各種がん検診等を実施することにより、がんによる死亡率等を減少させることを目的とし、検診等を実施する。																																			
成果・実績	<p>対象者に個別検診及び集団検診を実施した。</p> <p style="text-align: right;">(人)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th>検診名</th> <th>受診者数</th> <th>要精検者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>健康診査</td><td style="text-align: center;">168</td><td style="text-align: center;">-</td></tr> <tr><td>胃がん検診</td><td style="text-align: center;">1,157</td><td style="text-align: center;">74</td></tr> <tr><td>子宮頸がん検診</td><td style="text-align: center;">2,894</td><td style="text-align: center;">46</td></tr> <tr><td>乳がん検診</td><td style="text-align: center;">2,972</td><td style="text-align: center;">210</td></tr> <tr><td>肺がん検診</td><td style="text-align: center;">2,239</td><td style="text-align: center;">98</td></tr> <tr><td>大腸がん検診</td><td style="text-align: center;">8,208</td><td style="text-align: center;">801</td></tr> <tr><td>成人歯科健診</td><td style="text-align: center;">228</td><td style="text-align: center;">200</td></tr> <tr><td>肝炎ウイルス検診</td><td style="text-align: center;">1,275</td><td style="text-align: center;">4</td></tr> <tr><td>結核検診</td><td style="text-align: center;">1,769</td><td style="text-align: center;">0</td></tr> <tr><td>前立腺がん検診</td><td style="text-align: center;">1,610</td><td style="text-align: center;">164</td></tr> </tbody> </table>			検診名	受診者数	要精検者数	健康診査	168	-	胃がん検診	1,157	74	子宮頸がん検診	2,894	46	乳がん検診	2,972	210	肺がん検診	2,239	98	大腸がん検診	8,208	801	成人歯科健診	228	200	肝炎ウイルス検診	1,275	4	結核検診	1,769	0	前立腺がん検診	1,610	164
検診名	受診者数	要精検者数																																		
健康診査	168	-																																		
胃がん検診	1,157	74																																		
子宮頸がん検診	2,894	46																																		
乳がん検診	2,972	210																																		
肺がん検診	2,239	98																																		
大腸がん検診	8,208	801																																		
成人歯科健診	228	200																																		
肝炎ウイルス検診	1,275	4																																		
結核検診	1,769	0																																		
前立腺がん検診	1,610	164																																		
事業評価	検診等を実施し、疾病等の早期発見・治療につなげるとともに、健康意識の醸成を図った。今後も市民ニーズの把握に努め、市民の意識啓発・周知活動等の効果的な事業実施手法を検討する必要がある。																																			

事務事業名	骨粗しょう症予防対策費	所管課	健康づくり推進課
		決算額	237千円
事業内容	骨粗しょう症予防を目的に、骨密度測定及び骨の健康に関する学習をすることにより、現在の骨及び体の状態を把握するとともに、市民自らが生活習慣病予防及び健康づくりを実践する動機付けとなるように実施する。		
成果・実績	<p>骨密度の測定後、生活・栄養の講習と運動実技の体験を行った。</p> <p>◎ (65歳未満) 決算額：237千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施回数 3回 ・実施人数 54人 		
事業評価	教室の実施により、市民の運動・食・生活習慣の改善等を図るための動機付けを行った。市民全体に向けた普及・動機付けが課題であり、引き続き効果的な実施手法について検討する必要がある。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	02 健康づくりの推進	
小分類	01 健康づくりの推進	

事務事業名	病院群輪番制病院運営事業費補助金	所管課	健康づくり推進課
		決算額	10,434千円
事業内容	山城北医療圏内において、第二次救急医療体制の整備に要する経費を補助し、休日（昼・夜）における初期医療を受けた救急患者（入院等を要する重傷患者）搬送の円滑化及び医療の確保を目的とする。		
成果・実績	4市3町で構成する山城北医療圏において専用病床を2床確保し、休日における二次救急医療体制を確立している。本市が事務局となり、10病院等へ補助を行った。		
事業評価	他自治体と広域的に連携し、休日における二次救急医療体制の確立に努めた。今後も医療機関と協力・連携しながら引き続き医療の確保に努める。		

事務事業名	障害者歯科治療事業費	所管課	健康づくり推進課
		決算額	7,117千円
事業内容	市内に居住する身体障害者手帳、療育手帳及び特別児童扶養手当証書の交付を受けた者に、毎週水曜日（年末年始除く）に、歯科サービスセンター（うじ安心館内）で口腔衛生指導、処置、歯科治療並びに歯科相談を行う。		
成果・実績	歯科サービスセンターにおいて、京都府宇治久世歯科医師会及び（公社）京都府歯科衛生士会の協力を得て、歯科治療等を行った。 ◎診療日数 52日 ◎受診者数 316人		
事業評価	歯科サービスセンターにおける歯科治療等により、障害者の健康維持・増進を図った。利用者ニーズを把握し、より効果的な事業実施手法を検討する必要がある。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	02 健康づくりの推進	
小分類	01 健康づくりの推進	

事務事業名	健康アライアンス事業	所管課	健康づくり推進課
		決算額	3,229千円
事業内容	地域での健康づくり・食育活動を活性化させ、健康づくり・食育の普及を図るため、地域で個々に健康づくり・食育活動に取り組む団体同士を結びつけ、団体同士の交流を深める新たなネットワーク「宇治市健康づくり・食育アライアンス U-CHA」を構築する。		
成果・実績	◎総会の開催（5月） ※新型コロナウイルス感染症の影響により書面開催 ◎ホームページやFacebook等での広報 ◎市民会議（加入団体交流会）の開催（計7回） ◎役員会議の開催（計5回） ◎コラボ事業（小学生の親子向け講座 うーちゃ学校）の開催（計4回） ◎コラボ事業（YouTubeチャンネル うーちゃんねる）による広報（計5本） ◎食育ラジオリレーへの出演（計7回） ◎市役所食堂での適塩ランチ・お弁当の提供（毎月19日） ◎市役所食堂での適塩クリスマスランチの提供（12月）（文教短大協力） ◎アライアンスへの加入促進 加入団体数 健康づくり31団体 食育32団体 ⇒合計63団体（R3.3.31時点）		
事業評価	健康長寿日本一の実現に向けて「宇治市健康づくり・食育アライアンス U-CHA」の活動を通じて、市民の健康意識の醸成をはじめ、健康行動の変容促進を図るとともに、加入団体相互の有機的な連携を目的とした交流支援を行った。今後も引き続き、効果的な支援を図れるよう、事業実施の手法について検討する必要がある。		

令和 2 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	03 長寿社会への対応
小分類	01 生きがいつくりの充実

所管部局
健康長寿部

事務事業名	休日急病診療所運営費	所管課	健康づくり推進課									
		決算額	31,883千円									
事業内容	日曜、祝日、国民の休日及び年末年始において、急病で医療を望む市民に対し応急的な診療を、内科・小児科・歯科について行う。保健・消防センター（うじ安心館内）に開設している。											
成果・実績	<p>（一社）宇治久世医師会・京都府宇治久世歯科医師会・宇治久世薬剤師会並びに（公社）京都府歯科衛生士会の協力を得て、休日に内科・小児科・歯科の応急診療を行った。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>受診者数(人)</th> <th>診療日数(日)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内科・小児科</td> <td style="text-align: center;">622</td> <td style="text-align: center;">70</td> </tr> <tr> <td>歯科</td> <td style="text-align: center;">420</td> <td style="text-align: center;">72</td> </tr> </tbody> </table>				受診者数(人)	診療日数(日)	内科・小児科	622	70	歯科	420	72
	受診者数(人)	診療日数(日)										
内科・小児科	622	70										
歯科	420	72										
事業評価	休日急病診療所において休日、年末年始における応急診療を行い、市民の健康保持に努めた。第一次救急医療機関として感染症の流行等、緊急的な事態にも対応できる体制の維持に努める。											

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	07 年金・保険制度の運営	
小分類	01 年金・各種医療制度の運営	

事務事業名	健康診査費	所管課	健康づくり推進課
		決算額	88,406千円
事業内容	疾病の早期発見・治療及び医療費の抑制を図るため、健診及び歯科健診を実施する。健診事業は後期高齢者医療制度において努力目標として明記されているもので、保険者である京都府後期高齢者医療広域連合と連携して行う。		
成果・実績	7月1日～10月31日に（一社）宇治久世医師会及び宇治久世歯科医師会に委託して実施した ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、1か月延期（例年6月実施）		
	◎健康診査 ・受診者数 8,610人 ・健診委託料 87,884千円	◎歯科健診 ・受診者数 33人 ・健診委託料 122千円	
事業評価	後期高齢者を対象に健康診査及び歯科健診を実施し、被保険者の健康の保持増進を図った。今後も高齢者人口の増加及び医療費の増加が見込まれるため、疾病の早期発見・治療につなぐための制度周知等に努める。		

事務事業名	人間ドック受診補助金	所管課	健康づくり推進課
		決算額	10,337千円
事業内容	後期高齢者医療制度被保険者を対象に、生活習慣病の早期発見・治療を図るために半日人間ドックに係る健診料の7割を後期高齢者医療事業特別会計から補助する。		
成果・実績	◎受診者数 348人 ◎人間ドック健診料補助金 10,337千円		
事業評価	半日人間ドックに対する受診補助を実施し、被保険者の健康保持を図った。今後、利用状況等の把握に努める。また、健康長寿のための効果的な健診を推進していくため、財源を確保しながら、市民ニーズに対応できるよう事業内容の見直しを図っていく予定である。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	07 年金・保険制度の運営	
小分類	02 国民健康保険の運営	

事務事業名	特定健康診査等事業費	所管課	健康づくり推進課		
		決算額	114,794千円		
事業内容	生活習慣病の予防による医療費削減を目的として、40歳以上75歳未満の被保険者を対象に、メタボリックシンドロームに着目した特定健康診査・特定保健指導を実施し、メタボリックシンドローム該当者・予備群の減少を図る。				
成果・実績	特定健康診査は、7月1日～10月31日に（一社）宇治久世医師会に委託して実施した。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため1か月延期（例年6月実施）				
	◎特定健康診査委託の支払件数と支払額				
	年度	H28	H29	H30	H31 (R1)
件数	9,919	9,680	9,560	10,568	9,970
支払額(千円)	98,258	95,766	95,067	106,282	102,173
事業評価	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、実施にあたり宇治久世医師会、近隣市町の関係部署と協議を行い、7月1日開始とした。令和元年度と同様に、はがきによる受診勧奨通知の送付と電話による受診勧奨を実施した。今後も引き続き、受診率の向上に取り組み、メタボリックシンドローム該当者・予備軍の減少に努める。				

事務事業名	人間ドック受診補助金	所管課	健康づくり推進課		
		決算額	53,071千円		
事業内容	35歳以上75歳未満の被保険者を対象に、疾病の早期発見・治療により、健康管理に対する自覚を深めて医療費の適正化を図ることを目的として、半日人間ドック・脳ドックの健診料の7割を国民健康保険事業特別会計から補助する。				
成果・実績	半日人間ドック・脳ドックに対する受診補助事業を行った。				
	◎ドック受診者数と決算額				
	年度	H28	H29	H30	H31 (R1)
人間ドック(人)	1,435	1,603	1,575	1,582	1,306
脳ドック(人)	672	755	740	747	684
決算額(千円)	56,758	63,112	61,583	62,514	53,071
事業評価	半日人間ドック・脳ドックに対する受診補助を実施し、受診者の健康保持と経済的負担の軽減を図った。新型コロナウイルス感染症の影響により、一部医療機関ではドック健診を一時中断や検査項目を縮小しており、両ドックとも受診者数が減少した。今後も受診ニーズの把握に努め、引き続き実施する。				

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	03 長寿社会への対応	
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実	

事務事業名	保険給付費	所管課	介護保険課
		決算額	14,075,390千円
事業内容	要介護・要支援認定者が介護サービス・介護予防サービス等を受けた時、その費用の一部を負担する。		
成果・実績	(千円)		
		令和2年度	令和元年度
	介護サービス等諸費	13,742,163	13,365,006
	居宅介護サービス	5,534,927	5,382,162
	地域密着型介護サービス	2,084,428	1,984,822
	施設介護サービス	4,437,063	4,348,901
	特定入所者介護サービス	393,161	382,456
	その他	1,292,584	1,266,665
	介護予防サービス等諸費	317,380	291,840
	介護予防サービス	218,944	196,861
	地域密着型介護予防サービス	1,146	818
	特定入所者介護予防サービス	532	711
	その他	96,758	93,450
	その他諸費	15,847	15,142
	審査支払手数料	15,847	15,142
事業評価	国制度に基づき適正に給付した。今後も高齢者数の増加に伴い、認定者数及びサービス利用者数が増加する見込みであることから、持続可能な事業運営のため、適正な執行に努めるとともに、ニーズを的確に把握し、事業計画に反映する必要がある。		

事務事業名	介護相談員派遣事業費	所管課	介護保険課
		決算額	1,076千円
事業内容	申し出のあったサービス事業者に相談員の派遣を行うことにより、利用者の疑問及び不満、不安の解消を図るとともに、相談等を通してサービスの現状を把握し、派遣先事業者の介護サービスの質的な向上を図る。また、苦情に至る事態を未然に防止すること及び利用者・家族の日常的な不満・疑問に対応して改善を図る事前的な対応を行う。		
成果・実績	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、介護相談員の事業所への訪問は中止し、文書及びオンラインでの活動を行った。		
	派遣事業所種別	派遣事業所数 (カ所)	派遣人数 (人)
	特別養護老人ホーム	8	19
	介護老人保健施設	3	7
	グループホーム	18	18
	地域密着型特別養護老人ホーム	1	2
	※文書での活動は全30事業所、オンラインでの活動は2事業所で行った		
事業評価	施設利用者の疑問及び不安を解消するとともに、サービスの質の向上を図った。相談員は利用者との施設をつなぐ役割を担っているため、今後も相談員の資質の向上に努める。		

令和 2 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	03 長寿社会への対応	
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実	

事務事業名	福祉人材研修事業費	所管課	介護保険課																																	
		決算額	815千円																																	
事業内容	<p>介護保険制度創設後、要介護・要支援認定者数及び介護サービス利用者数は年々増加しており、介護サービスの質の向上・確保が課題となっている。ケアマネジャー及び介護サービス事業所職員を対象にサービスの質の向上・確保を目的とした研修を行い、介護サービス事業者が利用者の自立支援につながる質の高いサービスを提供できる環境を整備する。</p>																																			
成果・実績	<p>（一財）宇治市福祉サービス公社に委託し、ケアマネジャー及び介護サービス事業所職員を対象に研修を行った。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">研修名</th> <th style="width: 15%;">参加者数(人) 視聴者数(人)</th> <th style="width: 25%;">対象者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宇治市の行政施策とインフォーマルサービスについて※1</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td>ケアマネジャー</td> </tr> <tr> <td>今さら聞けない?!「ケアプランの基本」</td> <td style="text-align: center;">29</td> <td>ケアマネジャー</td> </tr> <tr> <td>「介護予防ケアプラン」を学ぼう!</td> <td style="text-align: center;">27</td> <td>ケアマネジャー</td> </tr> <tr> <td>ケアの実践における対人援助の方法について考える</td> <td style="text-align: center;">15</td> <td>介護サービス事業所職員</td> </tr> <tr> <td>医療知識シリーズ① 変化している在宅療養の姿 ～介護サービス事業所ができること～</td> <td style="text-align: center;">28</td> <td>介護サービス事業所職員</td> </tr> <tr> <td>医療知識シリーズ② 1. 薬の知識と正しい使い方 2. 介護に重要な観察とケア・感染予防のポイント</td> <td style="text-align: center;">29</td> <td>介護サービス事業所職員</td> </tr> <tr> <td>看取りを学ぶ「誰もが望む生活と望む最期を」 ～ACPを通じて～</td> <td style="text-align: center;">30</td> <td>介護サービス事業所職員</td> </tr> <tr> <td>精神疾患の理解とそのケア ～地域で支えるということ～</td> <td style="text-align: center;">25</td> <td>介護サービス事業所職員</td> </tr> <tr> <td>介護現場に求められる災害への備え ～命を守る～※2</td> <td style="text-align: center;">104</td> <td>介護サービス事業所職員</td> </tr> <tr> <td>地域!在宅!を支える ～支援のカギは?～※2</td> <td style="text-align: center;">60</td> <td>介護サービス事業所職員</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-top: 10px;">新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部を下記方式にて実施 ※1 書面研修 ※2 オンライン研修</p>			研修名	参加者数(人) 視聴者数(人)	対象者	宇治市の行政施策とインフォーマルサービスについて※1	—	ケアマネジャー	今さら聞けない?!「ケアプランの基本」	29	ケアマネジャー	「介護予防ケアプラン」を学ぼう!	27	ケアマネジャー	ケアの実践における対人援助の方法について考える	15	介護サービス事業所職員	医療知識シリーズ① 変化している在宅療養の姿 ～介護サービス事業所ができること～	28	介護サービス事業所職員	医療知識シリーズ② 1. 薬の知識と正しい使い方 2. 介護に重要な観察とケア・感染予防のポイント	29	介護サービス事業所職員	看取りを学ぶ「誰もが望む生活と望む最期を」 ～ACPを通じて～	30	介護サービス事業所職員	精神疾患の理解とそのケア ～地域で支えるということ～	25	介護サービス事業所職員	介護現場に求められる災害への備え ～命を守る～※2	104	介護サービス事業所職員	地域!在宅!を支える ～支援のカギは?～※2	60	介護サービス事業所職員
研修名	参加者数(人) 視聴者数(人)	対象者																																		
宇治市の行政施策とインフォーマルサービスについて※1	—	ケアマネジャー																																		
今さら聞けない?!「ケアプランの基本」	29	ケアマネジャー																																		
「介護予防ケアプラン」を学ぼう!	27	ケアマネジャー																																		
ケアの実践における対人援助の方法について考える	15	介護サービス事業所職員																																		
医療知識シリーズ① 変化している在宅療養の姿 ～介護サービス事業所ができること～	28	介護サービス事業所職員																																		
医療知識シリーズ② 1. 薬の知識と正しい使い方 2. 介護に重要な観察とケア・感染予防のポイント	29	介護サービス事業所職員																																		
看取りを学ぶ「誰もが望む生活と望む最期を」 ～ACPを通じて～	30	介護サービス事業所職員																																		
精神疾患の理解とそのケア ～地域で支えるということ～	25	介護サービス事業所職員																																		
介護現場に求められる災害への備え ～命を守る～※2	104	介護サービス事業所職員																																		
地域!在宅!を支える ～支援のカギは?～※2	60	介護サービス事業所職員																																		
事業評価	<p>ケアマネジャー及び介護サービス事業所職員に対して研修を実施し、介護サービス事業者が提供するサービスの質の向上・確保を図った。今後も介護サービス事業所の質をより高めるための支援・指導の手法について、引き続き検討する必要がある。</p>																																			

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	03 長寿社会への対応	
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実	

事務事業名	在宅医療・介護連携推進事業	所管課	介護保険課
		決算額	3,476千円
事業内容	医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、包括的かつ継続的な在宅医療・介護を提供するため、地域における医療、介護の関係機関の連携体制を構築する。		
成果・実績	<ul style="list-style-type: none"> (ア) 地域の医療・介護サービス資源の把握 <ul style="list-style-type: none"> ・ココカラまるごとねっとの情報把握 (イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討会議 (ウ) 切れ目のない在宅医療と介護サービスの提供体制の構築推進 } (13回) <ul style="list-style-type: none"> ・医療介護連携センター運営委員会 (エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ココカラまるごとねっとの情報発信 (オ) 在宅医療・介護連携に関する相談支援 (15回) <ul style="list-style-type: none"> ・在宅サポート医制度勉強会、地域包括支援センターからの各種困難支援事例の相談対応、在宅医の意見交換会 (カ) 医療・介護関係者の研修 (9回) <ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護ステーション合同勉強会、多職種事例検討会、訪問診療医との同行訪問 (キ) 地域住民への普及啓発 (0回) <ul style="list-style-type: none"> ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止 (ク) 在宅医療・介護連携に関する関係市町との連携 (3回) <ul style="list-style-type: none"> ・運営協議会等 		
事業評価	医療と介護の両方を必要とする高齢者が、住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、地域における医療・介護の関係機関との連携体制の構築に努めた。今後も関係機関との連携を図り、地域における支援の手法について引き続き検討する必要がある。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	03 長寿社会への対応	
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実	

事務事業名	介護保険料（歳入）	所管課	介護保険課	
		決算額	3,125,302千円	
事業内容	平成30年度から令和2年度までの第1号被保険者の保険料は、第7期介護保険事業計画期間の介護保険サービス見込み量等をもとに算出し、15の段階の設定としている。			
成果・実績	◎第1号被保険者数	54,459人	（令和2年度末現在）	
	◎保険料収納率	現年度分	99.46%	
		滞納繰越分	12.48%	
		合計	98.01%	
	【令和2年度の保険料段階別年間保険料額】			
		保険料段階	年間保険料額(円)	
		第1段階	15,600	
		第2段階	21,840	※
		第3段階	40,550	※
		第4段階	49,910	
		第5段階	62,380	（基準額）
		第6段階	68,620	
		第7段階	81,100	
		第8段階	102,930	
		第9段階	121,650	
	第10段階	131,000		
	第11段階	140,360		
	第12段階	149,720		
	第13段階	159,070		
	第14段階	168,430		
	第15段階	184,030		
	※ 保険料段階が第2段階または第3段階の者のうち、特に低所得である者については申請により保険料の減額を行っている			
事業評価	第7期介護保険事業計画期間における保険給付費等を見通し、保険料収入を確保する原則に基づき適切な事業運営を行った。今後もケースに応じた納付指導等により収納率の向上を図り、安定的な事業運営に努める。			

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	03 長寿社会への対応	
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実	

事務事業名	新型コロナウイルス感染症対策費	所管課	介護保険課
		決算額	5,246千円
事業内容	介護保険施設等を運営する法人に対し、施設・法人の規模に応じた上限額の範囲内で、新型コロナウイルス感染症の感染防止のための費用（消耗品・備品購入費その他の関連経費）を助成する。		
成果・実績	申請のあった法人に対し、感染防止経費に係る助成金を交付した。 ◎助成対象法人 52法人		
事業評価	市内の施設運営法人に対する助成金の交付により、施設における感染防止対策を支援することができた。今後も引き続き、感染の状況等を踏まえて、必要な支援に努める。		

事務事業名	入所施設等感染防止対策支援事業費	所管課	介護保険課
		決算額	482千円
事業内容	介護保険施設等における新型コロナウイルス感染症のクラスター発生を未然に防ぐため、施設新規入所者を実施するPCR検査の費用を入所する施設が負担した場合、その費用を当該施設に補助する。		
成果・実績	新規入所者が実施したPCR検査の費用について、施設の運営法人に対し補助金を交付した。 ◎補助対象法人 6法人		
事業評価	施設の運営法人に対する補助金の交付により、施設における感染防止対策を支援することができた。今後も引き続き、感染の状況等を踏まえて、必要な支援に努める。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	03 長寿社会への対応	
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実	

事務事業名	感染症対策専門家派遣事業費	所管課	介護保険課
		決算額	130千円
事業内容	介護サービス事業所の職員等に対し、専門家を講師として派遣し、介護サービス運営における感染予防対策の徹底及び感染発生時の処置に関する実地研修を実施する。		
成果・実績	<p>衛生管理について専門性を有する看護師を講師として事業所に派遣し、感染予防の具体的な取組について実地研修を実施した。</p> <p>◎研修実施施設 13施設</p>		
事業評価	介護サービス運営における衛生管理の徹底等に関して、介護サービス事業所の職員が多くの情報を得ることができ、以降の感染予防の強化につなげることができた。今後も有効な研修手法について検討し、支援に努める。		

事務事業名	新型コロナウイルス感染症対策強化費	所管課	介護保険課
		決算額	236千円
事業内容	新型コロナウイルス感染症の集団感染が発生した介護保険施設等を運営する法人に対し、発生以降の感染拡大防止及び再発生の予防のため、50万円を上限に、対策強化に係る費用を補助する。		
成果・実績	<p>集団感染が発生した施設の運営法人に対し、補助金を交付した。</p> <p>◎補助対象法人 1法人</p>		
事業評価	集団感染の発生に伴って多額の対応費用が発生した施設に対し、支援を行うことで安全・安心な施設の運営を図ることができた。今後も引き続き、新型コロナウイルス感染症の動向に注視し、必要な支援に努める。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	03 長寿社会への対応	
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実	

事務事業名	介護保険施設オンライン面会等導入支援事業費	所管課	介護保険課
		決算額	1,979千円
事業内容	介護保険施設等において、入所者とその家族等との間でオンライン面会を導入する場合に、使用するタブレット端末・Wi-Fiルーターの購入費用を補助する。		
成果・実績	<p>入所者と家族間でのオンライン面会を導入する施設の運営法人に対し、使用機器の購入補助を行った。</p> <p>◎補助対象法人 9法人</p>		
事業評価	施設の運営法人に対する補助金の交付により、施設における感染防止対策を支援することができた。今後も引き続き、感染の状況等を踏まえて、必要な支援に努める。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	04 少子化社会への対応	
小分類	02 健やかな成長・発達への支援の充実	

事務事業名	子育て支援医療費支給費	所管課	年金医療課																											
		決算額	432,463千円																											
事業内容	乳幼児の健康保持増進と子育て支援を図ることを目的に、平成5年10月1日から乳幼児医療助成事業を実施している。子育て家庭の経済的負担を軽減するため、保険診療における自己負担分から一部負担金を控除した額を助成しており、申請に基づいて乳幼児、小学生及び中学生の保護者に京都子育て支援医療費受給者証を交付し、現物給付方式または償還給付方式で助成を行う。																													
成果・実績	子育て支援の観点から子育て家庭の経済的負担を軽減するため、保険診療における自己負担分のうち一部負担金を除いて助成を行った。 ◎受給者数 21,581人 ◎扶助費 419,741千円 一部負担金（1医療機関 月200円負担） <table border="1" style="margin-left: 20px; width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;">0歳</td> <td style="width: 10%;">1歳</td> <td style="width: 10%;">2歳</td> <td style="width: 10%;">3歳</td> <td style="width: 10%;">4歳</td> <td style="width: 10%;">5歳</td> <td style="width: 10%;">小学校卒業まで</td> <td style="width: 10%;">中学校卒業まで</td> </tr> <tr> <td>入院</td> <td colspan="8" style="text-align: center;">市独自</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td colspan="8" style="text-align: center;">市独自</td> </tr> </table>				0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	小学校卒業まで	中学校卒業まで	入院	市独自								外来	市独自							
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	小学校卒業まで	中学校卒業まで																						
入院	市独自																													
外来	市独自																													
事業評価	京都府制度と市独自制度を適正に執行し、対象者の健康の保持と子育て家庭の経済的負担の軽減を図った。子育てに要する経済的負担の軽減については、引き続き国等に要望する。																													

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	07 年金・保険制度の運営	
小分類	01 年金・各種医療制度の運営	

事務事業名	老人医療費支給費	所管課	年金医療課
		決算額	80,049千円
事業内容	安心して医療を受けられるように、65歳から69歳までの医療保険加入者で一定の条件に該当する者に対して、保険診療の自己負担分のうち、高齢者の医療の確保に関する法律に規定する一部負担金相当額（自己負担限度額の区分が、一般と市民税非課税世帯は2割負担、現役並み所得者は3割負担）を除いた額を助成する。		
成果・実績	対象となる医療費について助成を行った。 ◎受給者数 2,069人 ◎扶助費 77,025千円		
事業評価	京都府制度に基づき適正に執行し、対象となる高齢者の経済的負担の軽減を図った。今後も国・京都府の動向を注視し、引き続き適正な支給事務の遂行に努める。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	07 年金・保険制度の運営	
小分類	01 年金・各種医療制度の運営	

事務事業名	後期高齢者医療保険料（歳入）	所管課	年金医療課										
		決算額	2,420,140千円										
事業内容	平成20年度から施行された後期高齢者医療制度の保険料を徴収する。2年ごとに保険料の見直しが行われ、令和2・3年度保険料については、均等割額が53,110円に、所得割率が9.98%に改定された。												
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">◎被保険者数</td> <td colspan="2">27,073人</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">◎保険料収納率</td> <td>現年度分</td> <td style="text-align: right;">99.86%</td> </tr> <tr> <td>滞納繰越分</td> <td style="text-align: right;">26.40%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">99.01%</td> </tr> </table>			◎被保険者数	27,073人		◎保険料収納率	現年度分	99.86%	滞納繰越分	26.40%	合計	99.01%
	◎被保険者数	27,073人											
◎保険料収納率	現年度分	99.86%											
	滞納繰越分	26.40%											
	合計	99.01%											
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; text-align: center;"> 保険料 (限度額64万円) </td> <td style="width: 10%; text-align: center;">=</td> <td style="width: 33%; text-align: center;"> 均等割額 (被保険者一人あたり) 53,110円 </td> <td style="width: 10%; text-align: center;">+</td> <td style="width: 14%; text-align: center;"> 所得割額 (総所得金額等－ 基礎控除額(33万円)) × 9.98% </td> </tr> </table>			保険料 (限度額64万円)	=	均等割額 (被保険者一人あたり) 53,110円	+	所得割額 (総所得金額等－ 基礎控除額(33万円)) × 9.98%						
保険料 (限度額64万円)	=	均等割額 (被保険者一人あたり) 53,110円	+	所得割額 (総所得金額等－ 基礎控除額(33万円)) × 9.98%									
◎保険料軽減 世帯（被保険者全員と世帯主）の所得に応じて、保険料の均等割額が軽減される。 また、制度加入の前日まで会社の健康保険や協会けんぽ、共済組合の被扶養者である場合も、資格取得から2年間に限り保険料の均等割額が軽減される。													
事業評価	京都府後期高齢者医療広域連合と協力して後期高齢者医療制度の適切な運営に努めた。今後も安定した事業運営のため、制度周知や収納事務の適正化に努める必要がある。												

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	07 年金・保険制度の運営	
小分類	01 年金・各種医療制度の運営	

事務事業名	福祉医療費支給費	所管課	年金医療課		
		決算額	429,464千円		
事業内容	一定の障害のある重度心身障害者並びにひとり親家庭児及びその親等に対し、健康の保持と福祉の向上を図るため、疾病に係る医療保険各法による医療費のうち自己負担分を支給し、経済的負担の軽減を図る。				
成果・実績	<p>対象者へ助成を行い、経済的負担の軽減を図った。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>◎ひとり親家庭・重度障害者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 重度障害者 1,751人 ・ ひとり親家庭児 2,230人 ・ ひとり親家庭児の親 1,477人 ・ 扶助費 408,446千円 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>◎療育手帳Bのみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 療育手帳Bのみ 214人 ・ 扶助費 15,049千円 </td> </tr> </table>			<p>◎ひとり親家庭・重度障害者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 重度障害者 1,751人 ・ ひとり親家庭児 2,230人 ・ ひとり親家庭児の親 1,477人 ・ 扶助費 408,446千円 	<p>◎療育手帳Bのみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 療育手帳Bのみ 214人 ・ 扶助費 15,049千円
<p>◎ひとり親家庭・重度障害者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 重度障害者 1,751人 ・ ひとり親家庭児 2,230人 ・ ひとり親家庭児の親 1,477人 ・ 扶助費 408,446千円 	<p>◎療育手帳Bのみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 療育手帳Bのみ 214人 ・ 扶助費 15,049千円 				
事業評価	京都府制度と市独自制度を適正に執行し、対象者の健康の保持と経済的負担の軽減を図った。今後も引き続き適正な支給事務の遂行に努めるとともに、京都府の動向を注視しながら制度対象の拡大等について要望等を行う必要がある。				

事務事業名	重度心身障害老人健康管理費	所管課	年金医療課		
		決算額	153,014千円		
事業内容	後期高齢者医療制度の被保険者である重度心身障害老人等に対し、一部負担金に相当する額を健康管理費として給付する。				
成果・実績	<p>対象者に健康管理に要する費用を給付し、健康の保持と障害者福祉の向上を図った。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>◎重度障害者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 受給者数 1,599人 ・ 扶助費 151,516千円 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>◎療育手帳Bのみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 受給者数 2人 ・ 扶助費 66千円 </td> </tr> </table>			<p>◎重度障害者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 受給者数 1,599人 ・ 扶助費 151,516千円 	<p>◎療育手帳Bのみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 受給者数 2人 ・ 扶助費 66千円
<p>◎重度障害者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 受給者数 1,599人 ・ 扶助費 151,516千円 	<p>◎療育手帳Bのみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 受給者数 2人 ・ 扶助費 66千円 				
事業評価	京都府制度と市独自制度を適正に執行し、対象者の健康の保持と経済的負担の軽減を図った。今後も引き続き適正な支給事務の遂行に努めるとともに、京都府の動向を注視しながら制度対象の拡大等について要望等を行う必要がある。				

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	07 年金・保険制度の運営	
小分類	02 国民健康保険の運営	

事務事業名	国民健康保険料（歳入）	所管課	国民健康保険課
		決算額	3,284,194千円
事業内容	本市の国民健康保険料については、制度改革に伴い、京都府が示す標準保険料率に基づき設定することを基本としつつ、宇治市国民健康保険運営協議会への諮問に対する答申をふまえて設定する。		
成果・実績	◎加入世帯数 24,332世帯（一般24,332世帯、退職0世帯）		
	◎被保険者数 37,493人（一般37,493人、退職0人） （令和2年度末現在）		
	◎保険料収納率	現年度分	95.22%
		滞納繰越分	23.82%
	◎令和2年度 国民健康保険料率		
		医療給付費分	後期高齢者支援金分
	所得割(%)	7.56	2.75
	均等割(円)	25,400	9,100
	平等割(円)	17,500	6,300
	賦課限度額(円)	630,000	170,000
事業評価	国民健康保険事業特別会計においては、単年度において収支均衡を図るものであり、当該年度の保険給付費等を見通して保険料収入を確保するという原則に基づき、京都府と連携しながら適切な事業運営を行った。		

事務事業名	傷病手当金	所管課	国民健康保険課
		決算額	426千円
事業内容	国民健康保険の被保険者で被用者のうち、新型コロナウイルス感染症の感染等により、労務に服することができなくなった日から起算して3日を経過した日から労務に服することができない期間について、直近3か月間の平均日額の3分の2の額に就労を予定していた日数を乗じた額を支給する。		
成果・実績	◎令和2年度実績		
	・支給件数	9件	
	・支給金額	425,820円	
	※ 事業主から給与等の全部、または一部を受けることができなかった場合に支給する		
事業評価	傷病手当金の支給を実施することで、新型コロナウイルス感染症に感染したこと、または発熱等の症状があり、感染が疑われることにより、就労ができず給与を受けられない国民健康保険に加入している被用者に対し、仕事を休むことができる環境の整備を行い、被用者の支援を図るとともに感染の拡大防止に努めた。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	建設部
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備	
小分類	02 道路の整備	

事務事業名	地籍調査事業費	所管課	建設総務課
		決算額	9,605千円
事業内容	土地の地目・面積・所有者など、土地の実態を正確に把握することを目的とし、地権者立会いのもと、官民境界および民民境界を決める「一筆地調査」を行う。これにより災害復旧の迅速化・土地の有効活用の促進・課税の適正化などの効用が期待できる。		
成果・実績	平尾台において、地籍調査を実施した。 ◎調査実施箇所 平尾台一丁目の一部（0.03平方km） ◎地籍調査にかかる委託料 6,578千円		
事業評価	一筆地調査の実施により、土地の実態を正確に把握し、地籍図、地籍簿を作成することができた。今後も、災害復旧の迅速化・土地の有効活用の促進等に資するため、調査を継続していく必要がある。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	建設部	
中分類	02 歴史と景観が調和したまちづくり		
小分類	01 歴史と調和したまちづくりと景観の形成		

事務事業名	宇治橋周辺地区道路整備事業費	所管課	道路建設課
		決算額	63,958千円
事業内容	宇治来訪者が歴史に触れながら安心して散策でき、回遊性の向上につながるよう、宇治市歴史的風致維持向上計画に基づき、快適な歩行空間の確保を行う。		
成果・実績	電気、通信等の占用予定者と調整を図りながら、宇治228号線において無電柱化工事（管路工事）を実施した。		
	宇治228号線		
			
	着工前	完成後	
事業評価	歴史的風致維持向上計画に基づき、歴史的なまち並みが広がるエリアにおいて、景観へ配慮した無電柱化の取組を進めることができた。引き続き来訪者の快適な歩行空間の確保に向けた整備を進める。		



令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	建設部	
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備		
小分類	02 道路の整備		

事務事業名	JR六地蔵駅前広場整備事業費	所管課	道路建設課
		決算額	45,996千円
事業内容	JR奈良線の高速化・複線化第二期事業に合わせて行うJR六地蔵駅の改良に伴い、駅前広場の再整備を行う。		
成果・実績	駅前広場の整備に伴い、水路の暗渠化工事を実施した。また、駅前広場の測量及び詳細設計業務に着手した。		
	 <p>着工前</p>	 <p>完成後</p>	
事業評価	JR奈良線の高速化・複線化第二期事業と調整を行い、駅前広場の再整備に向け水路の暗渠化工事を実施した。引き続き関係機関や地域等との調整を図りながら、駅前広場の再整備に向けた取組を進める。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	建設部
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備	
小分類	02 道路の整備	

事務事業名	交通安全施設整備事業費	所管課	道路建設課
		決算額	18,394千円
事業内容	歩行者等の交通安全対策として、ガードレール、カーブミラー、防護柵、歩道の設置、段差解消などを実施する。		
成果・実績	交通安全施設の設置を行い、歩行者等の安全を確保した。 城南荘地区の安全対策事業及び市内全域を対象として安全施設を設置した。また、2路線の測量・調査業務等を実施した。		
	<p>◎安全施設設置 15,657千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路反射鏡設置 14基 ・防護柵設置 46m ・薄層カラー舗装 193㎡ ・区画線設置 1,670m <p>◎安全対策事業 1,528千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・城南荘地区桜植替え整備工事 <p>◎測量・設計委託等 1,209千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・五ヶ庄63号線ほか1路線 		
	安全施設設置（防護柵） 伊勢田町69号線		
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>着工前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>完成後</p> </div> </div>		
事業評価	道路の安全対策に係る施設整備を実施したことにより、歩行者等の安全確保を図ることができた。今後も各地域の歩行者等の交通安全対策を実施するとともに、宇治市通学路交通安全プログラムの取組を継続して進める。		

令和2年度決算成果説明書



総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	建設部
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備	
小分類	02 道路の整備	

事務事業名	一般道路改良事業費	所管課	道路建設課
		決算額	23,017千円
事業内容	市内生活道路等の整備を図り、安全で安心な道路網を確保する。		
成果・実績	地元町内会等からの要望を受け、小倉町南堀池市管理道路ほか11件の道路改良工事及び6件の測量等業務委託を実施した。 小倉町南堀池市管理道路		
	 <p style="text-align: center;">着工前</p>	 <p style="text-align: center;">完成後</p>	
事業評価	市民の要望等を受け、道路改良工事を実施したことにより、安全で安心な道路網を確保できた。要望等が多くあることから、今後も事業箇所を精査し、道路整備を実施する。		

事務事業名	辺地整備事業費	所管課	道路建設課
		決算額	34,720千円
事業内容	「辺地に係る公共的施設の総合整備計画」に基づき、笠取地区、炭山地区、二尾・池尾地区における道路で、幅員狭隘で通行が危険な箇所の道路改良を実施し、山間地における市民の生活環境の改善を図る。		
成果・実績	平出中畑線の一部区間で、道路拡幅に向けた東笠取川の護岸工事が完成した。		
	 <p style="text-align: center;">着工前</p>	 <p style="text-align: center;">完成後</p>	平出中畑線
事業評価	道路改良工事によって、幅員狭隘で危険な箇所の改善に効果を上げることができるよう、引き続き「辺地に係る公共的施設の総合整備計画」に基づき事業を進め、山間部の生活環境の改善を図る取組を進める。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	建設部	
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備		
小分類	02 道路の整備		


事務事業名	菟道志津川線道路改良事業費	所管課	道路建設課
		決算額	35,836千円
事業内容	JR奈良線の高速化・複線化第二期事業に併せて、大鳳寺踏切の拡幅改良を行うとともに歩道拡幅整備を行い、歩行者の安全を確保する。また、門前工区では、狭隘箇所交通安全対策として道路拡幅整備及び交差点改良を実施する。		
成果・実績	谷下り工区では、JRとの協定を締結し、踏切拡幅工事に着手した。また、門前工区では新たに1件の用地売買契約を締結した。		
	 <p>菟道志津川線（谷下り工区現況）</p>	 <p>菟道志津川線（門前工区現況）</p>	
事業評価	鉄道事業者や関係者との調整等を図り道路拡幅に向けた取組を進めることができた。今後もJR奈良線の高速化・複線化第二期事業と連携を図るなど、歩行者の安全確保に向けた取組を進める。		

令和 2 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	建設部	
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備		
小分類	02 道路の整備		
事務事業名	黄檗駅周辺地区人にやさしい道づくり事業費	所管課	道路建設課
事業内容	黄檗駅周辺地区交通バリアフリー基本構想に基づき、高齢者・障害者などに配慮したやさしい歩行空間の整備を行う。	決算額	9,926千円
成果・実績	<p>新開三番割線の北側歩道に点字ブロックを設置した。</p> <p style="text-align: center;">新開三番割線</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>着工前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>完成後</p> </div> </div>		
事業評価	黄檗駅周辺地区交通バリアフリー基本構想に基づき、点字ブロックの設置等を行う事により、高齢者・障害者などに配慮したやさしい歩行空間を整備することができた。引き続き基本構想に基づいた整備を進める。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち	建設部	
中分類	01 環境保全対策の推進		
小分類	01 地球環境対策・省エネルギーの推進		

事務事業名	街灯LED化事業費	所管課	維持課
		決算額	27,150千円
事業内容	宇治市内に存する防犯灯をLED灯に器具交換することで、省電力化並びに温室効果ガス及び維持管理費・電気料金等の軽減を図る。		
成果・実績	<p>宇治市内に存する防犯灯（蛍光灯）について、平成27年度から事業を開始し、令和元年度で特殊な器具を除いてLED灯への交換が完了した。新たに令和元年度から道路照明の水銀灯などLED灯へ器具交換を行い、令和2年度については道路照明灯約210灯の交換が完了した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>施工後</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>施工後（点灯状況）</p> </div> </div>		
事業評価	市内防犯灯のLED化を実施したことにより、維持管理費の低減、節電及び温室効果ガス排出量を削減することができた。今後も引き続き、道路照明・歩道照明のLED灯への器具交換を実施する。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	建設部
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備	
小分類	02 道路の整備	

事務事業名	道路インフラ長寿命化事業費	所管課	維持課
		決算額	160,890千円
事業内容	道路（舗装、小規模付属物）、橋梁、トンネル等の道路施設について長寿命化を図るため、計画的な点検や修繕等を実施する。		
成果・実績	道路（舗装、小規模付属物）、橋梁、トンネル等の長寿命化計画に基づき、橋梁定期点検や大納言橋の修繕設計、木幡橋の修繕工事、宇治白川線等の舗装修繕工事などを実施した。		
事業評価	道路の定期的な点検や老朽化対策の実施により事故の未然防止を図るため、長寿命化計画を随時更新し、点検や修繕等を実施した。引き続き道路インフラの長寿命化に向けて計画的に取り組む。		

事務事業名	私道改良事業費	所管課	維持課
		決算額	11,970千円
事業内容	私道に係る舗装新設・補修工事、排水設備の改良・補修工事を実施する自治会等に対して、その対象工事費の80%を補助する。（平成21年度より横断側溝は90%）		
成果・実績	<p>◎実施数 3件 ◎補助金額 11,970千円</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>着工前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>完成後</p> </div> </div>		
事業評価	自治会等に対して工事費を補助したことにより、私道の安全な通行確保を図ることができた。市民の身近な道路整備に対応している事業であり、要望に応えつつ、適正な運営に努める必要がある。		

令和 2 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	建設部
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備	
小分類	02 道路の整備	

事務事業名	道路等維持修繕関連事業費	所管課	維持課
		決算額	590,356千円

事業内容	道路を常に安全な状態に維持するため、市民要望等に基づき道路の修繕並びに清掃、側溝改修、舗装補修、橋梁及び街灯の維持管理などを行い、安全安心なまちづくりを推進するほか、草刈り、街路樹の剪定・補植などを実施する。また、市民要望に即応するため、緊急を要する維持修繕については直営により機動修理班が対応する。
-------------	--

成果・実績	<p>地元要望による側溝改修（2,325m）及び舗装補修（5,583㎡）工事を実施するとともに、道路区画線の敷設及び道路側溝などの清掃のほか、街灯の新設、街路樹の剪定・補植などの道路全般に係る維持管理を実施した。</p> <p>緊急を要する維持修繕については、2班体制の機動修理班によって対処した。</p> <p>本年度の機動修理班による対処件数は、道路側溝修繕218件、道路保全312件、交通安全施設の補修等122件、防災関係90件、溶接関係46件で、全体では1,150件であった。このうち特に緊急対応が必要な出動回数は13件であり、いずれも応急処置等を行い、事故・災害の未然防止を行った。</p>
--------------	--

◎道路維持修繕事業費	541,918 千円
◎街灯設置保全事業費	48,438 千円



機動修理班による作業状況



大久保町 6 号線（歩道改修工事）

事業評価	道路の修繕並びに清掃、側溝改修、舗装補修、橋梁及び街灯の維持管理などを実施するとともに、即時、緊急対応を行ったことにより、着実に道路等の環境整備及び事故の未然防止、安全な通行の確保を図ることができた。一方、町内会等からの側溝改修等の要望は年々増加しており、安全で快適な道路管理を今後も引き続き実施する。
-------------	---

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	所管課	雨水対策課
中分類	04 商工業・観光の振興	決算額	2,819千円
小分類	04 観光の振興		

事務事業名	かわまちづくり環境整備費	所管課	雨水対策課
		決算額	2,819千円
事業内容	<p>宇治市観光振興計画後期アクションプランに基づき、市の魅力向上に資する新たな観光コンテンツの開発、強化に向け、天ヶ瀬ダムを観光基盤として活用する施設整備を、国の「かわまちづくり支援制度」を活用した国土交通省との連携事業として実施する。</p>		
成果・実績	<p>天ヶ瀬ダムを観光資源として有効的に活用するため、天ヶ瀬ダム直下に広場等を整備するハード施策と観光振興の促進を図るソフト施策を目的に平成31年3月に「宇治市天ヶ瀬ダムかわまちづくり計画」として国のかわまちづくり支援制度へ登録された。 このハード施策における広場整備等の詳細設計を行った。</p> <p style="text-align: right;">◎宇治市天ヶ瀬ダムかわまちづくり計画詳細設計業務委託 2,819千円</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>現 況</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>整備後（イメージ図）</p> </div> </div>		
事業評価	<p>「宇治市天ヶ瀬ダムかわまちづくり計画」に基づき、広場整備の詳細設計を行った。引き続き、国土交通省と連携のもと調整を図り、適切な時期に広場整備の工事を実施する必要がある。</p>		



令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	建設部
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備	
小分類	03 河川・排水路の整備	

事務事業名	排水路改良事業費	所管課	雨水対策課
		決算額	167,981千円
事業内容	都市化の進行に伴う保水機能の低下及び近年多発している局地的豪雨による著しい雨水量の増加に対応し、水害防除と安全快適な都市基盤の整備を図るため、排水路の改良工事を実施する。		
成果・実績	排水路の流下能力の向上を図るため、老朽化施設（排水路）の改良工事や調査、測量設計業務を行った。		
	◎承水溝3号(槇島0号排水路)改良工事 ・工事延長 L= 41.2m 布製型枠工	6,843千円	
	◎宮谷調整池改良工事 ・工事箇所 N= 1箇所 張りコンクリート工	10,546千円	
	◎槇島町落合地区排水路改良工事 ・工事延長 L= 123.2m 排水構造物工 (U600x600mm)	2,811千円	
	◎小倉2号排水路(その2)改良工事 ・工事延長 L= 58.6m ブロック積護岸工	9,713千円	
	◎木幡10号系統排水路改良工事 ・工事延長 L= 21.0m 排水構造物工 (U500x600mm)	2,228千円	
	◎宇治5号排水路(分水ゲート)撤去工事	1,297千円	
	◎宇治7号排水路詳細設計業務委託	5,858千円	
	◎木幡347号線ほか排水路詳細設計業務委託	2,332千円	
	◎宇治半白調整池詳細設計業務委託	5,940千円	
	◎木幡10号排水路改良工事委託	118,552千円	
	◎他委託 3件	1,042千円	
	◎移設補償 工事に伴い、支障となるガス管の移設	605千円	
事業評価	排水路の流下能力の向上及び老朽箇所の補強改良工事を実施したことにより、各所で発生している浸水被害の軽減に向けた安全快適な都市基盤の整備を図ることができた。引き続き、治水能力の向上に向け、計画的に実施する。		



令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	建設部
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備	
小分類	03 河川・排水路の整備	

事務事業名	河川改修事業費	所管課	雨水対策課																		
		決算額	13,975千円																		
事業内容	都市化の進行に伴う雨水流出量の増加と護岸等の老朽化に対応した水害防除と安全快適な都市基盤の整備を図るため、河川の機能増強等の改修整備を実施する。特に市街地において緊急な対策を要する河川については重点整備を行う。																				
成果・実績	<p>河川の機能増強を図り、浸水被害を軽減するため、河川の改修工事を実施した。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">◎谷山川改修工事</td> <td style="width: 65%;"></td> <td style="width: 10%; text-align: right;">1,770千円</td> </tr> <tr> <td>・工事延長 L= 24.0m</td> <td style="text-align: center;">河床コンクリート工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>◎新田川改修工事</td> <td></td> <td style="text-align: right;">966千円</td> </tr> <tr> <td>・工事延長 L= 10.0m</td> <td style="text-align: center;">河床コンクリート工</td> <td></td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">新 田 川</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>着工前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>完成後</p> </div> </div> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 15%;">◎池ノ尾川詳細設計業務委託</td> <td style="width: 65%;"></td> <td style="width: 10%; text-align: right;">4,719千円</td> </tr> <tr> <td>◎志津川詳細設計業務委託</td> <td></td> <td style="text-align: right;">5,532千円</td> </tr> </table>			◎谷山川改修工事		1,770千円	・工事延長 L= 24.0m	河床コンクリート工		◎新田川改修工事		966千円	・工事延長 L= 10.0m	河床コンクリート工		◎池ノ尾川詳細設計業務委託		4,719千円	◎志津川詳細設計業務委託		5,532千円
◎谷山川改修工事		1,770千円																			
・工事延長 L= 24.0m	河床コンクリート工																				
◎新田川改修工事		966千円																			
・工事延長 L= 10.0m	河床コンクリート工																				
◎池ノ尾川詳細設計業務委託		4,719千円																			
◎志津川詳細設計業務委託		5,532千円																			
事業評価	河川の機能増強等を実施したことにより、雨水流出量の増加と護岸等の老朽化に対応した水害防除と安全快適な都市基盤の整備を図ることができた。																				

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	建設部
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備	
小分類	03 河川・排水路の整備	

事務事業名	河川維持管理費	所管課	雨水対策課
		決算額	7,073千円
事業内容	河川施設等の機能の維持・向上に努め、流域の水害防除と沿川の環境整備を図る。		
成果・実績	河川（排水路）の底版や頂版の修繕工事等を行った。		
	◎小倉11号排水路（その2）補修工事		1,197千円
	・工事延長 L= 40.6m	張りコンクリート工	
	小倉11号排水路		
			
	着工前	完成後	
◎伊勢田12号排水路修繕工事		4,418千円	
・工事延長 L=151.3m	底版コンクリート工		
◎宇治2号排水路修繕工事		1,363千円	
・工事延長 L= 3.2m	頂版コンクリート工		
◎榎島16号系統排水路スクリーン設置工事		96千円	
事業評価	河川施設等の適正な維持管理を実施したことにより、排水機能の向上を図ることができた。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち	建設部
中分類	02 安全・安心なまちづくりへの対応	
小分類	01 安全・安心なまちづくり	

事務事業名	空き家等対策関連事業	所管課	住宅課
		決算額	3,250千円
事業内容	<p>「宇治市空き家等対策計画」に基づき、管理が行われていない空き家等の発生を抑止し、地域住民の生活環境の保全を図るとともに、併せて空き家等の利活用に取り組み、空き家等に関する施策を総合的かつ計画的に推進する。</p>		
成果・実績	<ul style="list-style-type: none"> ◎管理不全な空き家等への対応 <ul style="list-style-type: none"> ・管理不全な空き家等の解決件数 17件 ◎管理不全な空き家等の発生抑止 <ul style="list-style-type: none"> ・空き家等アドバイザーの派遣 11件 ・空き家情報誌（ハンドブック）の作成 1,000部 ・固定資産税納税通知への啓発チラシの同封 約70,000通 ◎流通・利活用の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・空き家再生・利活用コンペの実施 ・宇治市居住支援協議会の開催 		
事業評価	<p>空き家再生・利活用コンペの開催等により空き家の流通・利活用に対する市民理解と啓発につながった。また、関係各課で取り組んでいる関連事業も利用件数等が増加傾向にあり、引き続き空き家等対策に取り組むとともに、より効果的な事業実施について検証を進める必要がある。</p>		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系			所管部局																					
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち		建設部																					
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備																							
小分類	01 良好な市街地の形成																							
事務事業名	ウトロ地区住環境改善事業費		所管課	住宅課他																				
			決算額	228,993千円																				
事業内容	ウトロ地区の住環境を改善するため、平成26年度に策定したウトロ地区小規模住宅地区改良事業計画に基づき、国・府・市の三者の連携のもとウトロ地区小規模住宅地区改良事業を推進する。																							
成果・実績	ウトロ地区小規模住宅地区改良事業計画に基づき、各事業を実施した。																							
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">事業名</th> <th style="width: 20%;">担当課</th> <th style="width: 30%;">事業費（千円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地区周辺道路 用地測量業務等</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">道路建設課</td> <td style="text-align: right;">2,401</td> </tr> <tr> <td>地区内道路 整備工事</td> <td style="text-align: right;">30,224</td> </tr> <tr> <td>伊勢田8号排水路 整備工事</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">雨水対策課</td> <td style="text-align: right;">147,276</td> </tr> <tr> <td>伊勢田8号排水路 水位計設置工事</td> <td style="text-align: right;">7,789</td> </tr> <tr> <td>旧伊勢田8号排水路 境界確定測量業務</td> <td style="text-align: right;">1,653</td> </tr> <tr> <td>公的住宅 第2期棟設計業務</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">住宅課</td> <td style="text-align: right;">18,149</td> </tr> <tr> <td>配水管他 移転補償</td> <td style="text-align: right;">20,022</td> </tr> </tbody> </table>				事業名	担当課	事業費（千円）	地区周辺道路 用地測量業務等	道路建設課	2,401	地区内道路 整備工事	30,224	伊勢田8号排水路 整備工事	雨水対策課	147,276	伊勢田8号排水路 水位計設置工事	7,789	旧伊勢田8号排水路 境界確定測量業務	1,653	公的住宅 第2期棟設計業務	住宅課	18,149	配水管他 移転補償	20,022
	事業名	担当課	事業費（千円）																					
	地区周辺道路 用地測量業務等	道路建設課	2,401																					
	地区内道路 整備工事		30,224																					
	伊勢田8号排水路 整備工事	雨水対策課	147,276																					
	伊勢田8号排水路 水位計設置工事		7,789																					
	旧伊勢田8号排水路 境界確定測量業務		1,653																					
公的住宅 第2期棟設計業務	住宅課	18,149																						
配水管他 移転補償		20,022																						
事業評価	「ウトロ地区小規模住宅地区改良事業計画」に基づき事業を実施することにより、ウトロ地区において、住環境改善の取組を進めることができた。今後も引き続き実施する。																							

総合計画の体系			所管部局	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち		建設部	
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備			
小分類	04 良好な住環境の整備			

事務事業名	高齢者優良賃貸住宅供給事業費補助金		所管課	住宅課
			決算額	9,794千円
事業内容	高齢者の居住の安定の確保を図るため、高齢者の身体機能に対応したバリアフリー化及び入居者の緊急時に対応するシステムを備えた高齢者向け優良賃貸住宅を民間事業者等が整備・運営するにあたり、建設費、家賃などの一部補助を行う。			
成果・実績	高齢者向け優良賃貸住宅を運営する事業者に対し、家賃減額補助金の交付を行った。			
	◎交付件数	1件		
	◎補助金額	9,794千円		
事業評価	高齢者向け優良賃貸住宅を管理する事業者に、入居者の家賃減額分に対する補助を交付することにより、高齢者の居住の安定に努めることができた。今後も国及び京都府の制度の動向を注視しつつ、引き続き実施する。			

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	都市整備部
中分類	01 みどりとうるおいのある環境整備	
小分類	01 みどりの保全・緑化の推進	

事務事業名	名木百選保全費	所管課	公園緑地課
		決算額	386千円
事業内容	「宇治市名木百選保全要綱」に基づき調査・診断を実施し、保全のために処置が必要な場合には補助金を交付する。		
成果・実績	<p>貴重な名木を保全するため、東部・西部、山間部の3つのエリアに分け、毎年1エリアずつ順番に調査している。令和2年度は西部エリアの調査をした。 毎年申請に基づき処置が必要な名木に対し、適切な保全策を講じている。</p> <p>◎名木調査委託料 20千円 ◎選定名木数 84件</p>		
事業評価	所有者からの相談等に応じて保全のために必要な助言や経費の一部の補助を行い、名木の保全を図ることができた。引き続き、現在選定している名木数を維持していく必要がある。		

事務事業名	まちかどふれあい花だん推進事業費	所管課	公園緑地課
		決算額	2,286千円
事業内容	市民が日常生活の関わりの中で、自らの意思と手法により身近な地域の環境美化に努め、ゆとりとうるおいのある生活空間を創造するため、公園の一部及び道路敷などの公共空地进行をボランティア団体等に提供し、花及び木を植えて花だん化する。		
成果・実績	<p>町内会、喜老会及びまちの美化・緑化活動をしているボランティア団体を対象に、花壇管理に必要な花苗・肥料等の支給を行った。</p> <p>◎花壇箇所数 62カ所</p> <div style="text-align: center;">  </div>		
事業評価	公共施設の敷地の一部を花だんとして維持管理してもらうことで、市内の緑化推進を図るとともに、地域活動の支援を図ることができた。継続して事業に取り組むため、より多くの団体等が参画できる仕組みづくりに努める必要がある。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	都市整備部
中分類	01 みどりとうるおいのある環境整備	
小分類	01 みどりの保全・緑化の推進	

事務事業名	緑化啓発費	所管課	公園緑地課
		決算額	52千円
事業内容	市民の「みどり」を守り育てる意識の高揚を図るため、春の「みどりの月間」の「緑のウォークラリー」を中心に啓発事業を展開する。		
成果・実績	<p>「緑のウォークラリー」は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となったが、宇治市緑化ボランティア「みどりの会」が植物公園に展示を行い、緑化啓発活動を行った。</p> <p>◎みどりの会春展 開催時期：令和2年4月16日～5月12日 開催場所：宇治市植物公園 緑の館前テラス</p> <p>◎みどりの会秋展 開催時期：令和2年10月1日～10月27日 開催場所：宇治市植物公園 緑の館前テラス</p>		
事業評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、イベントの開催を中止するなど対策を行う中で、展示会の実施により、都市における緑化の必要性を市民に認識してもらうことができた。今後も事業効果を検証しながら、イベント内容等の工夫に努める必要がある。		



展示の様子

事務事業名	みどりのボランティア推進事業費	所管課	公園緑地課
		決算額	2,188千円
事業内容	本市の緑の拠点である植物公園で市民が園芸の知識及び技術などを学びながら、魅力あふれる植物公園づくりを協働で行うとともに、そこで得た知識・技術を活かして地域の公共施設・公共空地の緑化・美化を進め、みどりのボランティアリーダーの育成を図る。		
成果・実績	<p>「緑のボランティア養成講座」修了生が学んだ知識及び技術を活かして、植物公園をはじめ、西宇治公園、黄檗公園、市役所北玄関で花壇管理を行ったほか、植物公園で苗作り、花壇管理、バラ園管理、ハーブ園管理、イベント協力などの活動を行った。</p> <p>◎ボランティア登録数 70人(令和2年度末時点)</p>		
事業評価	都市の緑化及び美化を進めるための緑化リーダーとなるボランティアの養成とその活動を支援することにより、緑化・美化の推進を図ることができた。今後もボランティア活動の幅を広げる手法等を検討する必要がある。		



活動の様子

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	都市整備部
中分類	01 みどりとうるおいのある環境整備	
小分類	02 公園・緑地の有効活用	

事務事業名	公園施設管理委託費	所管課	公園緑地課
		決算額	306,185千円
事業内容	有料都市公園施設の管理運営及び施設の小修繕などを（公財）宇治市公園公社を指定管理者として行い、利用者の利便性向上を図る。		
成果・実績	<p>各施設の運営にあたっては、維持管理及び施設貸出業務を適切に行うとともに、利用者へのサービス向上と利用者の一層の拡大、増加、併せて業務の見直し、経費の削減に努めた。</p> <p>◎指定管理料 170,841千円 ◎人件費補助 115,180千円 ◎体育館トレーニング室運営事業費 17,938千円</p>		
事業評価	指定管理者によって適切に管理運営できた。利用者の利便性向上のため、今後も引き続き効果的・効率的な管理運営に努めるとともに、検討委員会よりあり方の提言を受けた植物公園については、さらなる魅力向上に向けた園づくりに努める必要がある。		

事務事業名	源氏ゆめほたる事業費	所管課	公園緑地課
		決算額	3,650千円
事業内容	植物公園内において、蛍が永続的に棲息・繁殖可能な環境整備を行うことにより、毎年、植物公園入園者に蛍観賞の場を提供し、あわせて関連イベントを実施する。都市生活の中で身近に蛍に触れ合えることにより、市民生活に憩いと安らぎを与え、植物公園の集客力向上につなげる。		
成果・実績	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度については中止としたが、準備段階においてイベント開催に必要な環境整備等を行った。		
事業評価	植物に触れながら蛍鑑賞の場を市民等に提供することにより、緑化推進や自然環境の重要性を伝えるためのイベントであり、開催は中止したものの、ウィズコロナにおける開催手法について検討し、引き続き集客力の向上や緑化啓発に努める必要がある。		

令和2年度決算成果説明書


総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	都市整備部
中分類	01 みどりとうるおいのある環境整備	
小分類	02 公園・緑地の有効活用	

事務事業名	黄檗公園再整備関連事業費	所管課	公園緑地課
		決算額	310,917千円
事業内容	<p>黄檗公園は、宇治市地域防災計画において防災拠点として位置付けられており、災害時における現地対策本部及び避難場所などの機能を兼ね備えた都市公園として施設の再整備を行う。</p>		
成果・実績	<p>◎黄檗公園再整備事業費 災害発生時の応援部隊の駐留場所として活用できるよう、野球場グラウンドの改修工事等を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野球場グラウンド改修工事 ・防災トイレ新築工事 ・園路改修工事 ・スコアボード塗装改修 		
事業評価	<p>防災拠点としての機能強化を図ることができた。今後も市の財政状況等を考慮しながら、防災機能の向上に向けて適正な整備を行う必要がある。</p>		

事務事業名	植物公園魅力増進事業費	所管課	公園緑地課
		決算額	3,000千円
事業内容	<p>植物公園あり方検討委員会の提言を受け、植物公園の魅力度の増進に資する取組を実施する。</p>		
成果・実績	<p>◎SNSによる魅力発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本館及び本館周囲のWi-Fi環境整備 <p>◎憩いの空間整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キッズコーナー整備 ・ウッドマウンテンボルダリング整備 ・四阿修繕 <p>◎集客力向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・植栽改善方策検討業務委託・枝垂桜土壤改良 		
事業評価	<p>SNSによる魅力発信の促進としてWi-Fi環境の整備や、憩いの空間として子供連れが楽しめるキッズコーナーの整備を行い、園の魅力増進を図った。集客力向上を目的として植栽改善方策業務委託及び樹勢に衰えの見える枝垂桜の土壤改良を行い、コンテンツの維持、改良に努めた。今後も集客力の向上に向けた取組を検討し、効果的に発信することで園の魅力増進に努める必要がある。</p>		


令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	都市整備部
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備	
小分類	01 良好な市街地の形成	

事務事業名	まちづくり活動支援事業費	所管課	都市計画課
		決算額	630千円
事業内容	<p>宇治市まちづくり・景観条例に基づく市民主体のまちづくりを推進するため、まちづくり活動へのさまざまな支援を行い、地区まちづくり協議会の設立及び地区まちづくり計画の作成を進め、まちづくりの実現を目指す。</p>		
成果・実績	<p>◎地区まちづくり協議会パネル展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催期間 10月19日～10月23日 ・目的 協議会の活動内容について紹介 <div style="text-align: right;">  <p>「地区まちづくり協議会パネル展」</p> </div> <p>◎うじ井戸端会議 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催見送り</p> <p>◎宇治市まちづくり審議会 2回開催 委員15人</p> <p style="padding-left: 40px;">宇治市まちづくり審議会景観部会 1回開催 委員4人</p> <p>◎認定した地区まちづくり協議会に対して行う支援 活動費助成件数 1件</p>		
事業評価	<p>うじ井戸端会議などまちづくりの情報の共有、意見交換により、地域のまちづくり活動のサポートをしてきたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会議開催を控えている。感染状況の動向をみつつ、当面はまちづくり活動が継続できるよう個別支援に努める。</p>		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	都市整備部他
中分類	02 歴史と景観が調和したまちづくり	
小分類	01 歴史と調和したまちづくりと景観の形成	

事務事業名	(仮)お茶と宇治のまち歴史公園史跡ゾーン整備事業費	所管課	歴史まちづくり推進課
		決算額	141,358千円
事業内容	平成21年7月に国史跡指定を受けた宇治川太閤堤跡の良好な保存、未来への継承を行うため、歴史公園の整備を行う。		
成果・実績	造成、石積み、石張りなどの各種遺構再現整備及び史跡周辺の景観再現として茶樹の栽培に必要な道具を収納する「覆小屋」の整備を行ったほか、植栽・舗装工事、解説案内板の設置を行った。		
事業評価	整備検討委員会を開催して解説案内板について検討を行い、その設置を完了した。引き続き宇治川太閤堤跡の良好な保存及び活用のため、史跡整備の進捗を図り、計画的に取組を実施する。		

解説案内板の設置

事務事業名	(仮)お茶と宇治のまち歴史公園交流ゾーン整備事業費	所管課	歴史まちづくり推進課他																								
		決算額	1,275,958千円																								
事業内容	平成21年7月に策定した「宇治茶と歴史・文化の香るまちづくり構想」の実現に向け、「史跡の保存・活用」「宇治の歴史・文化・観光に関する情報発信」「宇治茶に関する魅力発信」を目的として、歴史公園の交流ゾーンの整備及び維持管理・運営を行う。																										
成果・実績	<p>(仮称)お茶と宇治のまち歴史公園交流ゾーンの整備については、PFI方式を事業手法として選定し、本事業の実施を目的として設立された「株式会社宇治まちづくり創生ネットワーク」と事業契約を締結している。</p> <p>建設業務と工事監理業務を11月末に完成し、昨年度から引き続き実施している維持管理業務に加えて、新たに運営業務に着手した。</p> <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">事業名</th> <th style="text-align: center;">担当課</th> <th style="text-align: center;">(千円) 事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">宇治313号線道路改良工事</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">道路建設課</td> <td style="text-align: right;">4,851</td> </tr> <tr> <td colspan="2">菟道221号線ほか道路改良工事</td> <td style="text-align: right;">27,720</td> </tr> <tr> <td colspan="2">宇治12号線ほか道路改良工事</td> <td style="text-align: right;">34,588</td> </tr> <tr> <td colspan="2">宇治313号線ほか舗装本復旧工事</td> <td style="text-align: right;">9,416</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(仮称)お茶と宇治のまち歴史公園整備運営事業</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">歴史まちづくり推進課</td> <td style="text-align: right;">1,184,511</td> </tr> <tr> <td colspan="2">設計業務・建設業務 維持管理・運営業務</td> <td style="text-align: right;">14,708</td> </tr> </tbody> </table>			事業名		担当課	(千円) 事業費	宇治313号線道路改良工事		道路建設課	4,851	菟道221号線ほか道路改良工事		27,720	宇治12号線ほか道路改良工事		34,588	宇治313号線ほか舗装本復旧工事		9,416	(仮称)お茶と宇治のまち歴史公園整備運営事業		歴史まちづくり推進課	1,184,511	設計業務・建設業務 維持管理・運営業務		14,708
事業名		担当課	(千円) 事業費																								
宇治313号線道路改良工事		道路建設課	4,851																								
菟道221号線ほか道路改良工事			27,720																								
宇治12号線ほか道路改良工事			34,588																								
宇治313号線ほか舗装本復旧工事			9,416																								
(仮称)お茶と宇治のまち歴史公園整備運営事業		歴史まちづくり推進課	1,184,511																								
設計業務・建設業務 維持管理・運営業務			14,708																								
事業評価	お茶と宇治のまち歴史公園の開園に向け、PFI事業による建設を完了し、運営業務に着手した。引き続き、開園に向けて計画的に取組を実施する。																										

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	都市整備部
中分類	02 歴史と景観が調和したまちづくり	
小分類	01 歴史と調和したまちづくりと景観の形成	

事務事業名	文化的景観保護推進事業費	所管課	歴史まちづくり推進課
		決算額	10,324千円
事業内容	平成21年2月に「宇治の文化的景観」が都市部の景観としては全国初の重要文化的景観に選定されたことから、その保全と活用を図るため、整備計画を策定するとともに、重要構成要素の修理・修景事業を推進し、白川地区・黄檗地区への重要文化的景観区域の拡大を目指す。		
成果・実績	<p>重要文化的景観の追加選定を目指して取り組むとともに、景観の保全を図るための調整を行った。修理事業としては旧菊屋萬碧楼建物主屋屋根等修理、福文製茶場土蔵屋根葺き替え修理、上林家住宅ドーム屋根改修の3件の工事を行った。</p> <p>また、令和元年度に重要構成要素の追加として文化庁に選定申出をしていた清水家住宅等4件の家屋が重要構成要素として追加選定を受けた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>福文製茶場の土蔵屋根修理の工事前</p> </div> <div style="font-size: 2em;">→</div> <div style="text-align: center;">  <p>福文製茶場の土蔵屋根修理の工事後</p> </div> </div>		
事業評価	重要構成要素の修理・修景事業を実施したことにより、市民の文化的景観への理解度を高めることができた。引き続き市民の協力を得る中で、歴史的な資産と一体となった魅力あふれる宇治のまちづくりを進める必要がある。		

事務事業名	歴史的風致維持向上計画推進事業費	所管課	歴史まちづくり推進課
		決算額	68千円
事業内容	平成21年7月に策定した「宇治茶と歴史・文化の香るまちづくり構想」の実現とともに平成24年3月に策定した宇治市歴史的風致維持向上計画により、（仮称）お茶と宇治のまち歴史公園の整備等、様々な取組を総合的に実施する。		
成果・実績	平成24年3月に国土交通大臣、文部科学大臣、農林水産大臣の3大臣認定を受けた法定計画の進行管理として、外部委員により構成された歴史的風致維持向上協議会を開催し、計画に記載された取り組みについて毎年度行う「進捗評価」を実施した。 歴史的風致維持向上計画の既存事業は現在27事業であり、概ね計画通り進捗している。		
事業評価	法定協議会の開催により、計画事業の進捗管理を行った。引き続き効果検証を行う中で、さらなる歴史的風致の維持向上を図る必要がある。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	都市整備部
中分類	02 歴史と景観が調和したまちづくり	
小分類	01 歴史と調和したまちづくりと景観の形成	

事務事業名	違反広告物除却推進事業費	所管課	歴史まちづくり推進課
		決算額	25千円
事業内容	市民と協働して良好な景観を形成していくために、市民参加による違反広告物の除却を行うとともに、関係機関と協働して違反広告物の一斉撤去を年1回実施する。		
成果・実績	違反広告物追放推進団体員として、1団体2人を登録し、違反広告物の除却を行う。 また、年1回関係機関とともに違反広告物の一斉撤去を行っており、これらの取組により違反広告物の通報など市民の意識向上が図られている。 ◎違反広告物撤去枚数 236枚		
事業評価	市民や関係機関と協働して違反広告物の除却を推進したことにより、良好なまちなみ形成と景観への意識向上を図ることができた。今後も、登録団体数の増加を図るとともに、関係機関と連携し地域の目による抑止力の向上及び景観意識の向上に努める必要がある。		



事務事業名	都市景観形成対策費	所管課	歴史まちづくり推進課
		決算額	1,062千円
事業内容	良好な景観の形成に著しく寄与する行為や阻害要因の除去に対して景観形成助成を行った。また、京都府、近隣市町村との意見交換や景観アドバイザーの助言などを受け、良好な景観の形成を推進していく。		
成果・実績	景観形成助成事業として、工作物（2件）広告物（1件）に対して、景観形成助成を行った。 本市の景観に寄与するだけでなく、地域の住民の景観に対する意識も高まった。 また、景観アドバイザー会議を2回開催し、専門家の助言を受け良好な景観形成の推進を行った。		
			
	改修前	改修後	
事業評価	工作物の新設や屋外広告物の除却への景観形成助成を行うことで、良好な景観の形成を図ることができた。引き続き、建築物や工作物・屋外広告物への景観形成助成を行うことで、地域住民の景観に対する意識を高め、住民が主体的に良好な景観の形成に取り組む手法を検討する必要がある。		

令和 2 年度決算成果説明書


総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	都市整備部
中分類	02 歴史と景観が調和したまちづくり	
小分類	01 歴史と調和したまちづくりと景観の形成	

事務事業名	風致地区内建築行為等許可事務費	所管課	歴史まちづくり推進課
		決算額	7千円
事業内容	平成27年4月より京都府から権限移譲を受け、風致地区内の建築行為等の許可事務を行うことで、風致地区内の風致の維持を行う。		
成果・実績	風致地区内の建築行為等の許可事務を行うにあたり、「許可基準の解説及び運用」を作成し、公表することで、円滑な許可事務を行った。 ◎許可事務取扱件数 114件		
事業評価	許可基準の運用書を作成・公表することにより、円滑な許可事務を行い、風致の維持を図ることができた。引き続き、許可基準及び「宇治市景観計画」に基づく、効果的な運用を検討する必要がある。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	02 歴史と景観が調和したまちづくり
小分類	02 文化財保護と伝統文化の継承

所管部局
都市整備部

事務事業名	文化財指定推進費	所管課	歴史まちづくり推進課
		決算額	4,187千円
事業内容	市内各所に所在する文化財調査を行い、本市にとって歴史上、芸術上価値の高いものを市指定文化財に指定し、伝えられてきた貴重な文化財の保護と活用を図る。併せて国・京都府指定及び未指定文化財の修理等に補助を行い、文化財保護を推進する。		
成果・実績	<p>萬福寺の重要文化財法堂ほか6棟保存修理強化対策事業など17件の修理事業について、所有者に対し補助を行った。</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <p style="text-align: center;">補助を行った萬福寺法堂</p> </div>		
事業評価	文化財の修理等への補助を実施したことにより、文化財の保全に努めることができた。引き続き優先順位等を見極めて文化財保護の推進を図るとともに、未指定を含めた文化財の修理等への補助を実施する中で、保存・活用に努める必要がある。		

事務事業名	埋蔵文化財発掘調査費（受託・国庫補助）	所管課	歴史まちづくり推進課
		決算額	6,837千円
事業内容	文化財保護法に基づいて、埋蔵文化財包蔵地内での開発事業と重要な遺跡保存の調和を図るため、発掘調査を実施する。また、発掘成果を基に史跡指定等の保存処置の検討を行うほか、市民へ成果を公開する。		
成果・実績	国庫補助事業としては松殿跡の発掘調査を実施し、遺構の分布状況など遺跡の状況把握に努めたほか、白川金色院跡の範囲確認調査を実施した。また、開発に伴う埋蔵文化財の保護のため、受託事業として宇治市街遺跡の緊急発掘調査1件の発掘調査監理を実施した。		
事業評価	市内に遺存する重要な遺跡について発掘調査及び調査記録の作成を行うとともに、広く発掘成果を公開することにより、文化財保護の啓発を図ることができた。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	都市整備部
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備	
小分類	01 良好な市街地の形成	

事務事業名	開発指導事務費	所管課	開発指導課																			
		決算額	88千円																			
事業内容	<p>無秩序な開発事業を防止し、安全で良好な都市環境の形成と円滑な都市機能の発現を図るため、宅地開発事業及び特定用途建築行為を行う事業者に対し、本市の行財政に重要な影響を及ぼす公共・公益施設等の整備について適正な指導を行う。</p>																					
成果・実績	<p>本市における開発事業について、「宇治市良好な居住環境の整備及び景観の形成を図るためのまちづくりに関する条例」等関係諸法令に基づき指導した。</p> <p>◎開発指導事務費 88千円</p> <p>令和2年度における宅地開発等協力寄付金の納入については下表のとおりである。</p> <p>◎宅地開発等協力寄付金 (歳入)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th style="text-align: center;">件数</th> <th style="text-align: center;">金額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">宅地開発事業</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: right;">25,665</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">特定用途 建築行為</td> <td style="text-align: center;">集合住宅</td> <td style="text-align: center;">9</td> <td style="text-align: right;">51,857</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">集合住宅以外</td> <td style="text-align: center;">7</td> <td style="text-align: right;">3,714</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: center;">22</td> <td style="text-align: right;">81,236</td> </tr> </tbody> </table>					件数	金額 (千円)	宅地開発事業		6	25,665	特定用途 建築行為	集合住宅	9	51,857	集合住宅以外	7	3,714	合計		22	81,236
		件数	金額 (千円)																			
宅地開発事業		6	25,665																			
特定用途 建築行為	集合住宅	9	51,857																			
	集合住宅以外	7	3,714																			
合計		22	81,236																			
事業評価	<p>開発事業について条例に基づき指導を実施したことにより、良好な居住環境の整備を図ることができた。今後も引き続き事業者に対して指導を行うとともに、本市のまちづくりへの理解と協力を求め、良好で安全な土地利用の促進に努める。</p>																					

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち	都市整備部
中分類	02 安全・安心なまちづくりへの対応	
小分類	01 安全・安心なまちづくり	

事務事業名	耐震診断・耐震改修推進事業費	所管課	建築指導課
		決算額	32,665千円
事業内容	<p>「建築物の耐震改修の促進に関する法律」第6条により、平成28年度に「宇治市建築物耐震改修促進計画」を改定し、市有建築物を含めた既設建築物の耐震化を促進する。民間の既設建築物について、耐震化を図るため、耐震診断・耐震改修の助成制度を実施している。</p>		
成果・実績	<p>旧耐震住宅の多い地域を中心に、順次地域を設定し旧耐震住宅への啓発チラシの配布や個別訪問を実施した。又、防災フェア、その他防災関係のイベント等でパネル展示、耐震化への啓発、リーフレット・チラシ配布等の啓発活動を行い、耐震診断・耐震改修希望者に対し、助成事業を実施した。</p> <p>◎木造住宅耐震診断 64棟 ◎木造住宅耐震改修 38棟 （本格改修24棟、簡易改修14棟）</p>		
事業評価	<p>耐震診断・耐震改修の助成制度を実施したことにより、既設建築物の耐震化の促進を図ることができた。今後も補助対象の拡大等、より有効な取組となるよう検討し、建築物の耐震化を図る必要がある。</p>		

令和 2 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	都市整備部
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備	
小分類	01 良好な市街地の形成	

事務事業名	建築指導事務費	所管課	建築指導課																				
		決算額	618千円																				
事業内容	<p>建築主は、建築工事に着手する前に建築基準法による確認申請書を提出し、建築主事または民間指定確認検査機関にて確認を受けなければならない。本市は建築基準法を所管する特定行政庁として、安全・安心な建築物の供給、法の的確な履行に取り組んでいる。</p>																						
成果・実績	<p>◎建築確認等申請件数（計画通知を含む/計画変更含まず）</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>建築物</th> <th>昇降機等</th> <th>工作物</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本市</td> <td>11</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>民間確認検査機関</td> <td>604</td> <td>27</td> <td>15</td> <td>646</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>615</td> <td>29</td> <td>15</td> <td>659</td> </tr> </tbody> </table> <p>建築主から建築基準法に基づく申請を受け、建築確認処分を行った。 また、安全で安心な、環境にやさしい建築物が供給されるように以下の各事業に取り組んだ。</p> <p>◎違反建築物対策（行政指導件数 29件） 違反建築物防止のため、建築関係者への啓発及び現場パトロールなどを実施した。また、違反建築物に対する是正指導等を行った。</p> <p>◎長期優良住宅の認定（認定件数 126件） 長期優良住宅の普及の促進に関する法律に基づき認定を行った。</p> <p>◎建設リサイクル法に基づく業務（届出・通知件数 457件） 建築物の分別解体及び再資源化等の適正かつ円滑な実施を確保するため、届出の受理を行い、併せて制度定着のため広報及び現場パトロールを実施した。</p> <p>◎建築物省エネルギー法に基づく業務（届出件数 30件） 地球温暖化の防止及び省エネルギーの実効性を向上させるため、一定規模以上の建築物について義務付けられている省エネルギー措置の届出の受理を行った。</p> <p>◎京都府地球温暖化対策条例に基づく業務（届出件数 8件） 地球環境問題への関心が高まる中、建築分野においても地球温暖化防止等への配慮が求められているため、一定規模以上の建築物に対して義務付けられている計画書等の届出の受理を行った。</p>				建築物	昇降機等	工作物	計	本市	11	2	0	13	民間確認検査機関	604	27	15	646	合計	615	29	15	659
	建築物	昇降機等	工作物	計																			
本市	11	2	0	13																			
民間確認検査機関	604	27	15	646																			
合計	615	29	15	659																			
事業評価	<p>パトロール等の啓発活動を実施したことにより、建築確認・検査制度の適正な執行及び適正な建築物の供給を担保することができた。今後も効果的な啓発内容を検討しながら、適正な建築物の供給に努める必要がある。</p>																						

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系			所管部局	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち		都市整備部	
中分類	02 安全・安心なまちづくりへの対応			
小分類	01 安全・安心なまちづくり			
事務事業名		近鉄大久保駅付近高架橋耐震改修事業補助金	所管課	交通政策課
			決算額	10,000千円
事業内容	南海トラフ地震等の大規模地震の発生に備え、災害時の市民の安全や公共交通機関としての移動手段確保のため、宇治市国土強靱化計画に基づき、高架橋等の鉄道施設について利用者の安全を確保する観点から、近畿日本鉄道(株)が実施する近鉄大久保駅付近高架橋等の鉄道施設耐震化に対して、国・京都府と連携しながら支援をする。			
成果・実績	近畿日本鉄道(株)が、国の「鉄道施設総合安全対策事業費補助」を活用し耐震化を進める事業に対し、補助を実施した。			
事業評価	補助を実施したことにより、計画通り耐震補強を進めることができた。引き続き、国・京都府と連携しながら補助を実施する。			

総合計画の体系			所管部局	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち		都市整備部	
中分類	03 快適な都市交通とバリアフリーのまちづくり			
小分類	01 交通安全とバリアフリーの推進			
事務事業名		交通安全対策事務費	所管課	交通政策課
			決算額	518千円
事業内容	交通安全対策の推進を図り、市民生活の利便性、快適性の向上を図る。			
成果・実績	<p>保育所(園)、認定こども園、幼稚園、小・中・高等学校において、警察の協力のもと、それぞれの学習段階に応じた交通安全教室を開催した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年よりも開催数、受講者数ともに減らしたものの、交通ルール・マナーの普及に尽力した。あわせて、宇治市交通安全対策協議会等の関係機関・団体とも連携し、交通安全運動期間における街頭啓発活動を始めとする取組により、市民の交通安全の意識向上を図った。</p> <p>また、地域からの交通安全要望を踏まえ、必要な交通規制及び安全対策を実施するため、警察及び関係機関との緊密な連携を図り、市民の交通安全確保に努めた。</p> <p>◎交通安全教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催数 52回 ・受講者数 延べ約3,800人 			
事業評価	交通安全教室を開催することにより、市民の交通安全への意識向上を図ることができた。今後も引き続き、関係機関とより一層の連携を図る中で、多様な取組手法により交通安全対策に努める必要がある。			

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	都市整備部
中分類	03 快適な都市交通とバリアフリーのまちづくり	
小分類	01 交通安全とバリアフリーの推進	

事務事業名	自転車等駐車場管理費	所管課	交通政策課																														
		決算額	161,991千円																														
事業内容	自転車等駐車場の適切な管理運営により、交通結節点における市民の利便性の向上及び自転車等の放置防止、歩行者及び通行車両などの安全確保を図るため、市内の14駅中11駅周辺に16カ所の有料自転車等駐車場を設置し、通勤・通学等で利用される自転車等を収容する。																																
成果・実績	<p>令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により自転車等駐車場の利用台数が減少した。</p> <p>◎自転車等駐車場利用台数 (台)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2">年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">自転車</td> <td>一時利用</td> <td>104,968</td> <td>102,821</td> <td>101,642</td> <td>73,527</td> </tr> <tr> <td>定期利用</td> <td>12,547</td> <td>11,180</td> <td>11,155</td> <td>9,850</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原動機付自転車等</td> <td>一時利用</td> <td>39,361</td> <td>36,174</td> <td>27,688</td> <td>18,293</td> </tr> <tr> <td>定期利用</td> <td>3,230</td> <td>2,691</td> <td>2,541</td> <td>2,191</td> </tr> </tbody> </table>					年度		H29	H30	R1	R2	自転車	一時利用	104,968	102,821	101,642	73,527	定期利用	12,547	11,180	11,155	9,850	原動機付自転車等	一時利用	39,361	36,174	27,688	18,293	定期利用	3,230	2,691	2,541	2,191
年度		H29	H30	R1	R2																												
自転車	一時利用	104,968	102,821	101,642	73,527																												
	定期利用	12,547	11,180	11,155	9,850																												
原動機付自転車等	一時利用	39,361	36,174	27,688	18,293																												
	定期利用	3,230	2,691	2,541	2,191																												
事業評価	施設の適切な管理運営により歩行者及び通行車両などの安全確保を図ることができた。施設の老朽化等の問題があるため、利用者ニーズを踏まえながら、自転車等駐車場の利便性の向上や施設規模の適正化を図る必要がある。																																

事務事業名	自転車放置防止対策費	所管課	交通政策課																						
		決算額	3,837千円																						
事業内容	駅周辺において良好な環境を保つため、駅周辺の自転車放置禁止区域内に放置されている自転車を定期的に撤去し、景観の維持を図るとともに、歩行者及び通行車両などの安全確保を図る。																								
成果・実績	<p>98台の自転車を撤去し、30台が所有者に引き取られた。引き取られなかった自転車はリサイクル自転車として活用するため福祉施設に無償譲渡したほか、有価物として売却を行った。</p> <p>◎放置自転車撤去台数等 (台)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>撤去台数</td> <td>419</td> <td>299</td> <td>200</td> <td>98</td> </tr> <tr> <td>返還台数</td> <td>204</td> <td>138</td> <td>74</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>売却処理台数</td> <td>170</td> <td>102</td> <td>51</td> <td>49</td> </tr> </tbody> </table>					年度	H29	H30	R1	R2	撤去台数	419	299	200	98	返還台数	204	138	74	30	売却処理台数	170	102	51	49
年度	H29	H30	R1	R2																					
撤去台数	419	299	200	98																					
返還台数	204	138	74	30																					
売却処理台数	170	102	51	49																					
事業評価	自転車放置対策に係る啓発及び放置自転車の撤去などを実施したことにより、歩行者及び通行車両などの安全確保を図ることができた。これまでの取組により自転車放置禁止区域での放置自転車の数は確実に減少しており、引き続き事業の効率化を図りつつ、放置防止対策に努める必要がある。																								


令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	都市整備部
中分類	03 快適な都市交通とバリアフリーのまちづくり	
小分類	01 交通安全とバリアフリーの推進	

事務事業名	市営駐車場管理費	所管課	交通政策課															
		決算額	5,156千円															
事業内容	JR宇治駅前及び近鉄大久保駅前における迷惑駐車をなくし、安全で快適な駅前交通環境を維持するため、自動車駐車を設置し、管理・運営を行う。																	
成果・実績	<p>駐車場は乗降客の多い駅前に立地し、終日営業するなど利便性が高いことから、多くの市民等に利用されているが、新型コロナウイルス感染症の影響により例年よりも利用台数が減少した。</p> <p>◎自動車駐車場利用台数 (台)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>JR宇治駅前</td> <td style="text-align: right;">22,795</td> <td style="text-align: right;">23,979</td> <td style="text-align: right;">25,295</td> <td style="text-align: right;">21,806</td> </tr> <tr> <td>近鉄大久保駅前</td> <td style="text-align: right;">114,095</td> <td style="text-align: right;">123,641</td> <td style="text-align: right;">137,136</td> <td style="text-align: right;">101,701</td> </tr> </tbody> </table>			年度	H29	H30	R1	R2	JR宇治駅前	22,795	23,979	25,295	21,806	近鉄大久保駅前	114,095	123,641	137,136	101,701
年度	H29	H30	R1	R2														
JR宇治駅前	22,795	23,979	25,295	21,806														
近鉄大久保駅前	114,095	123,641	137,136	101,701														
事業評価	指定管理者によって、適切に管理運営できた。迷惑駐車をなくし、安全で快適な駅前交通環境を維持するため、今後も適切な施設管理・運営に努める必要がある。																	

事務事業名	交通バリアフリー推進事業費	所管課	交通政策課
		決算額	52,038千円
事業内容	平成17年に策定した「宇治市交通バリアフリー全体構想」に基づき、市内のバリアフリー化に取り組んできたが、平成18年の法改正及び平成23年に国の基本方針が見直されたことを受け、全体構想を見直すとともに、改訂した全体構想に基づき、基本構想を策定するなど、さらに市内のバリアフリー化を推進する。		
成果・実績	<p>平成26年度に宇治市交通バリアフリー検討委員会を設置し、宇治市交通バリアフリー全体構想を改訂する中で、「木幡」「黄檗」「伊勢田」の3地区を新たに重点整備地区に位置付けた。</p> <p>平成30年度については、策定した基本構想をもとにJR木幡駅のバリアフリー工事を行った。</p> <p>令和2年度については、策定した基本構想をもとに、近鉄伊勢田駅のバリアフリー工事を行った。</p>		
事業評価	バリアフリー化事業に取り組むことにより、高齢者・障害者等の移動の円滑化に努めることができた。引き続き、関係機関と連携しながら駅周辺のバリアフリー対策を進める必要がある。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系			所管部局	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち		都市整備部	
中分類	03 快適な都市交通とバリアフリーのまちづくり			
小分類	01 交通安全とバリアフリーの推進			
事務事業名	自転車等駐車場整備費	所管課	交通政策課	
		決算額	65,408千円	
事業内容	平成31年3月に策定した「宇治市自転車等駐車場再整備実施方針」に基づき、駅毎の稼働率や施設老朽化の状況などに応じた駐輪場の再整備を実施する。			
成果・実績	<p>近鉄伊勢田駅前第1自転車等駐車場の令和2年度末廃止に伴い、近鉄伊勢田駅前自転車等駐車場の新築工事を行った。</p> <div style="text-align: center;">  <p>新築した近鉄伊勢田駅前自転車等駐車場</p> </div>			
事業評価	「宇治市自転車等駐車場再整備実施方針」に基づく、近鉄伊勢田駅における自転車等駐車場の規模適正化と効率的な運営を図ることができた。			

総合計画の体系			所管部局	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち		都市整備部	
中分類	03 快適な都市交通とバリアフリーのまちづくり			
小分類	02 公共交通機関の整備促進			
事務事業名	JR奈良線複線化事業補助金	所管課	交通政策課	
		決算額	625,680千円	
事業内容	JR奈良線の高速化・複線化第二期事業については、京都府・本市を含む沿線市町・JR西日本で締結された「基本協定書」「実施等に関する協定書」及びこれらの変更協定書に基づき、補助金をJR西日本に支出し事業の推進を図っている。			
成果・実績	<p>平成25年度に基本協定書を締結し、環境影響評価法に基づく評価書の確定・公告手続きは平成27年度に完了した。</p> <p>平成28年度から市内の各工区の本体工事に順次着手し、令和5年春の開業を目標に工事を進めている。</p> <p>令和元年度末に変更基本協定書、実施等に関する変更協定書が締結された。変更内容として、開業予定時期には変更ないが、労務賃金の上昇、環境対策の追加等による総事業費の増加、環境アセスメントの開業後対応などにより、令和6年度までの1年間工事期間の延長を行っている。</p>			
事業評価	今後も引き続き、京都府、沿線市町及び事業者と調整しながら、協定書等に基づく事業進捗に努める必要がある。			

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	都市整備部
中分類	03 快適な都市交通とバリアフリーのまちづくり	
小分類	02 公共交通機関の整備促進	

事務事業名	のりあい交通事業緊急支援補助金	所管課	交通政策課
		決算額	3,000千円
事業内容	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、のりあい交通事業の利用者数が大きく落ち込むなか、宇治市のりあい交通事業に関する要領に基づき、地域の公共交通の確保に取り組む運営委員会活動を臨時的に支援する。		
成果・実績	宇治市のりあい交通事業を活用し令和2年度に運行を継続されている明星町自治会に対して、利用促進等の運営委員会活動にかかる補助を実施した。		
事業評価	運営委員会への活動を支援することで事業継続に繋げることができた。地域の公共交通を維持するために、地域住民、交通事業者、宇治市の三者協働のもと引き続き利用促進に努める必要がある。		

事務事業名	地域公共交通事業者支援補助金	所管課	交通政策課											
		決算額	5,422千円											
事業内容	新型コロナウイルス感染症の長期化により、事業活動に特に大きな影響を受けている市内交通事業者の事業継続及び市民が公共交通を安全・安心に利用いただくための対策を支援するため、交通事業経営持続化支援金（以下、「支援金」という。）及び、交通事業感染症拡大防止支援補助金（以下、「補助金」という。）を交付する。													
成果・実績	<p>市内を運行する交通事業者に対して、対象となる支援金及び補助金を交付した。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="width: 30%;">交通事業者</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">対象有無</th> </tr> <tr> <th style="width: 20%;">支援金※1</th> <th style="width: 20%;">補助金※2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バス事業者</td> <td style="text-align: center;">3件</td> <td style="text-align: center;">1件</td> </tr> <tr> <td>タクシー事業者</td> <td style="text-align: center;">3件</td> <td style="text-align: center;">4件</td> </tr> </tbody> </table> <div style="margin-left: 20px;"> <p>※1 事業継続に向けた支援</p> <p>※2 感染症拡大防止のための設備等導入に要する経費として、抗菌・抗ウイルスシート、抗菌・抗ウイルス加工、感染防止仕切り板、消毒液等の導入等に係る費用に対する補助</p> </div>			交通事業者	対象有無		支援金※1	補助金※2	バス事業者	3件	1件	タクシー事業者	3件	4件
交通事業者	対象有無													
	支援金※1	補助金※2												
バス事業者	3件	1件												
タクシー事業者	3件	4件												
事業評価	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている交通事業者に対し必要な支援を行うことにより、事業継続を図るとともに感染症拡大防止対策を推進することができた。													

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	教育部
中分類	02 健康づくりの推進	
小分類	01 健康づくりの推進	

事務事業名	新型コロナウイルス感染症対策費	所管課	教育総務課
		決算額	104,174千円
事業内容	小・中学校における新型コロナウイルス感染症対策として、消毒液・石鹼・マスクなどの保健衛生物品の整備のほか、サーキュレーター・加湿器等の購入や、校外学習等で密を避けるためのバスの増便等の対応を行った。		
成果・実績	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 消毒液・石鹼・マスク・非接触体温計などの保健衛生物品やサーキュレーター・加湿器等の整備 98,152千円 ◎ 校外学習等で密を避けるためのバスの増便や健診器具の滅菌等 6,022千円 		
事業評価	国の補助金を活用し、各学校に予算配分を行う中で、学校長の意見を聞きながら物品購入等を行い、児童生徒及び教職員の感染症対策を実施した。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実	

事務事業名	緊急安全対策事業費	所管課	教育総務課・学校教育課
		決算額	36,310千円
事業内容	幼稚園、小・中学校に、地域・保護者の協力を得て学校運営支援員（スクールサポーター）を配置し、園児、児童・生徒の安全確保を図る。		
成果・実績	◎地域緊急安全対策事業費（教育総務課） 35,768千円 35校・園のモニターカメラ監視、校内巡視、門扉状況監視 ◎幼稚園緊急安全対策事業費（学校教育課） 542千円 私立幼稚園における運営支援員の配置に対して補助を行った。		
事業評価	幼稚園、小・中学校で各種安全対策を講じるとともに、私立幼稚園の安全対策に対して適切に補助を行い、園児、児童・生徒の安全の確保に努めた。今後も適切な安全対策体制の構築に向けた検討や他の地域安全活動との連携を図り、園児、児童・生徒が安心して学べる環境づくりに努める。		

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	02 学校教育環境の充実	

事務事業名	西小倉地域小中一貫校整備検討事業費	所管課	教育総務課
		決算額	541千円
事業内容	地域を主体として設立された西小倉地域小中一貫校開校準備協議会において、自治会、保護者、学校等が小中一貫校の開校場所に関して、意見交換を行うための資料作成を行う。		
成果・実績	◎西小倉地域小中一貫校整備検討資料作成 495千円 各校地での整備例を視覚的にイメージできる資料を作成した。		
事業評価	各校地での整備例を視覚的にイメージできる資料を作成し、西小倉地域小中一貫校開校準備協議会の各委員に提供したことにより、各校地での整備例をイメージすることができた。西小倉地域小中一貫校の早期開校を目指し、今後も引き続き協議会での意見交換を促していく。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実	

事務事業名	幼稚園、小・中学校保健管理費	所管課	学校管理課												
		決算額	118,970千円												
事業内容	学校保健及び学校安全に関し、法令に定める健康診断を実施し、環境衛生の確保に努めるとともに、学校管理下における事故災害に対する必要な給付を行い、園児、児童・生徒の心身の健全な育成を図る。														
成果・実績	<p>園児、児童・生徒の健康診断及び各種検診・検査を実施した。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、各種検診・検査の時期等を調整の上実施した。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">◎結核予防対策費</td> <td style="text-align: right;">36千円</td> </tr> <tr> <td>◎小学校保健管理費</td> <td style="text-align: right;">72,330千円</td> </tr> <tr> <td>◎小学校心臓検診充実費</td> <td style="text-align: right;">5,859千円</td> </tr> <tr> <td>◎中学校保健管理費</td> <td style="text-align: right;">34,030千円</td> </tr> <tr> <td>◎中学校心臓検診充実費</td> <td style="text-align: right;">3,078千円</td> </tr> <tr> <td>◎幼稚園保健管理費</td> <td style="text-align: right;">3,637千円</td> </tr> </table>			◎結核予防対策費	36千円	◎小学校保健管理費	72,330千円	◎小学校心臓検診充実費	5,859千円	◎中学校保健管理費	34,030千円	◎中学校心臓検診充実費	3,078千円	◎幼稚園保健管理費	3,637千円
◎結核予防対策費	36千円														
◎小学校保健管理費	72,330千円														
◎小学校心臓検診充実費	5,859千円														
◎中学校保健管理費	34,030千円														
◎中学校心臓検診充実費	3,078千円														
◎幼稚園保健管理費	3,637千円														
事業評価	法令に定める健康診断及び各種検診・検査を実施し、園児、児童・生徒の心身の健全な育成を図った。今後も引き続き実施する。														

事務事業名	へき地校通学対策費	所管課	学校管理課・学校教育課						
		決算額	18,210千円						
事業内容	へき地における特殊な教育条件を考慮し、教育水準の維持・向上を図り、児童・生徒の通学の負担を軽減するために、笠取地区内及び笠取地区と市街地を結ぶ通学用輸送車を運行する。								
成果・実績	<p>笠取地区スクールバス3台及び給食配送車の運行・維持管理を行った。（笠取小学校特認校児童の送迎を含む）</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">◎特認入学パンフレット印刷費</td> <td style="text-align: right;">70千円</td> </tr> <tr> <td>◎笠取地区通学バス等維持管理費</td> <td style="text-align: right;">440千円</td> </tr> <tr> <td>◎笠取地区通学バス等運行委託料</td> <td style="text-align: right;">17,700千円</td> </tr> </table>			◎特認入学パンフレット印刷費	70千円	◎笠取地区通学バス等維持管理費	440千円	◎笠取地区通学バス等運行委託料	17,700千円
◎特認入学パンフレット印刷費	70千円								
◎笠取地区通学バス等維持管理費	440千円								
◎笠取地区通学バス等運行委託料	17,700千円								
事業評価	スクールバス及び給食配送車を運行し、へき地における教育水準の維持・向上を図った。山間部の通学と特認校制度の運用に必要なとなっているが、車両の有効活用のため、利用状況等を把握し、その他の活用方法についても検討する必要がある。								



令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実	

事務事業名	フッ化物洗口事業費	所管課	学校管理課									
		決算額	523千円									
事業内容	児童の健全な発育のために、乳歯から永久歯へ生え変わる時期に小学校でフッ化物洗口を実施し、虫歯を予防する。											
成果・実績	<p>児童の健全な発育のために、全校・全学年児童の希望者を対象に、虫歯予防効果の高いフッ化物洗口を実施した。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、実施児童数は前年より3,508人減、平均実施回数は半分以下となった。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;">◎事業実施児童数</td> <td style="width: 30%;">5,235人</td> <td style="width: 40%;"></td> </tr> <tr> <td>◎事業実施率</td> <td>約56.0%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>◎平均実施回数</td> <td>10.0回</td> <td></td> </tr> </table>			◎事業実施児童数	5,235人		◎事業実施率	約56.0%		◎平均実施回数	10.0回	
◎事業実施児童数	5,235人											
◎事業実施率	約56.0%											
◎平均実施回数	10.0回											
事業評価	乳児から永久歯に生え変わる時期に、フッ素化合物による洗口を実施することで、児童の健全な発育を図るとともに、児童の健康に対する自己管理を推進した。京都府の動向を注視しつつ、効果的な実施手法について引き続き検討する必要がある。											



事務事業名	給食・調理環境充実費（管理運営分）	所管課	学校管理課									
		決算額	236,899千円									
事業内容	小学校給食運営の中で、本市調理職員が行っていた調理業務のみを学校単位で段階的に民間の給食専門会社に委託し、これまでの給食内容を変えることなく、運営経費の効率化を図り、それによって確保された財源で多様な子どもたちのニーズを踏まえた学校給食等の条件整備を行う。											
成果・実績	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;">◎調理業務委託料</td> <td style="width: 30%;">14校委託</td> <td style="width: 40%; text-align: right;">208,755千円</td> </tr> <tr> <td>◎非常勤職員（学校栄養士）配置</td> <td>10校</td> <td style="text-align: right;">27,873千円</td> </tr> <tr> <td>◎給食用トレイ購入費（更新）</td> <td>給食用トレイの購入費用</td> <td style="text-align: right;">271千円</td> </tr> </table>			◎調理業務委託料	14校委託	208,755千円	◎非常勤職員（学校栄養士）配置	10校	27,873千円	◎給食用トレイ購入費（更新）	給食用トレイの購入費用	271千円
◎調理業務委託料	14校委託	208,755千円										
◎非常勤職員（学校栄養士）配置	10校	27,873千円										
◎給食用トレイ購入費（更新）	給食用トレイの購入費用	271千円										
事業評価	調理委託によって給食運営の効率化を図るとともに、トレイをはじめとする食器等、学校給食環境の整備を行い、成長期にある児童の健全な育成を推進した。今後も円滑な業務遂行に努める。											

令和 2 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実	

事務事業名	中学校昼食提供事業費	所管課	学校管理課																								
		決算額	6,248千円																								
事業内容	中学校での昼食は生徒が弁当を持参することを基本としているが、家庭の事情等で持参できない場合に補完するため昼食の提供を行う。																										
成果・実績	<p>◎利用実績</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">学校名</th> <th style="width: 25%;">平均利用率</th> <th style="width: 25%;">学校名</th> <th style="width: 25%;">平均利用率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>南宇治中学校</td> <td style="text-align: center;">5.2%</td> <td>西宇治中学校</td> <td style="text-align: center;">0.3%</td> </tr> <tr> <td>西小倉中学校</td> <td style="text-align: center;">0.8%</td> <td>広野中学校</td> <td style="text-align: center;">0.3%</td> </tr> <tr> <td>宇治中学校</td> <td style="text-align: center;">0.0%</td> <td>東宇治中学校</td> <td style="text-align: center;">0.2%</td> </tr> <tr> <td>北宇治中学校</td> <td style="text-align: center;">0.2%</td> <td>木幡中学校</td> <td style="text-align: center;">0.1%</td> </tr> <tr> <td>槇島中学校</td> <td style="text-align: center;">0.6%</td> <td>黄檗中学校</td> <td style="text-align: center;">0.1%</td> </tr> </tbody> </table>			学校名	平均利用率	学校名	平均利用率	南宇治中学校	5.2%	西宇治中学校	0.3%	西小倉中学校	0.8%	広野中学校	0.3%	宇治中学校	0.0%	東宇治中学校	0.2%	北宇治中学校	0.2%	木幡中学校	0.1%	槇島中学校	0.6%	黄檗中学校	0.1%
学校名	平均利用率	学校名	平均利用率																								
南宇治中学校	5.2%	西宇治中学校	0.3%																								
西小倉中学校	0.8%	広野中学校	0.3%																								
宇治中学校	0.0%	東宇治中学校	0.2%																								
北宇治中学校	0.2%	木幡中学校	0.1%																								
槇島中学校	0.6%	黄檗中学校	0.1%																								
事業評価	弁当を持参できない生徒に栄養面を考慮した昼食を提供し、生徒の健全な発育を促進した。中学校給食の実施までの間、より効率的な事業実施となるよう、引き続き検討する必要がある。																										

事務事業名	中学校給食準備事業費	所管課	学校管理課
		決算額	495千円
事業内容	中学校給食の実施に向け、各中学校に必要となる配膳室の配置検討などを行う。		
成果・実績	<p>中学校給食検討委員会の意見を踏まえ策定した「宇治市中学校給食基本構想」に基づき、給食センター方式での実施を目指す中で、各中学校に必要となる配膳室の配置検討を行った。</p> <p>◎事業委託料 495千円</p>		
事業評価	給食センター方式での実施に向けて、引き続き、早急な用地の確保及び学校現場との調整に取り組む必要がある。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実	

事務事業名	学校臨時休業対策事業費（令和元年度繰越分）	所管課	学校管理課
		決算額	5,689千円
事業内容	小学校における令和2年3月の臨時休業に伴う学校給食の提供中止により、宇治市学校給食会より各物資納入業者に発注済みの食材に係る経費や、保護者に対して給食費を返還する際に要した経費等に対して、補助金を交付する。		
成果・実績	<p>宇治市学校給食会からの実績報告に基づき、事業補助金を交付した。</p> <p>◎納入業者に対する補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助対象期間 令和2年3月3日～3月24日 ・補助対象納入業者数 9業者 ・補助金額 5,674,834円 <p>◎保護者に対する給食費の返還に関する補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金額 14,578円 		
事業評価	本補助金を適用することで、臨時休業になった期間の給食費を保護者から徴収することなく、宇治市学校給食会から各納入業者に対して発注済み食材に係る経費やその処分に要した経費を支払うことができ、保護者の負担軽減につなげることができた。		

事務事業名	学校臨時休業対策事業費	所管課	学校管理課
		決算額	2,292千円
事業内容	小学校における令和2年4月～5月の臨時休業に伴う学校給食の提供中止により、宇治市学校給食会より各物資納入業者に発注済みの食材に係る経費や、令和2年度6月以降の臨時休業等のため児童が喫食できなかった期間の学校給食費に相当する経費等に対して、補助金を交付する。		
成果・実績	<p>宇治市学校給食会からの実績報告に基づき、事業補助金を交付した。</p> <p>◎納入業者に対する補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助対象期間 令和2年4月8日～5月31日 ・補助対象納入業者数 8業者 ・補助金額 1,891,881円 <p>◎保護者に対する6月以降の臨時休業等の学校給食費相当の補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象校 3校 ・補助金額 399,770円 		
事業評価	本補助金を適用することで、宇治市学校給食会から各納入業者に対して発注済み食材に係る経費やその処分に要した経費を補償できたことに加えて、不測の事態であった新型コロナウイルス感染症による臨時休業等への給食費返金を実施できたことで、保護者の負担軽減につなげることができた。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	02 学校教育環境の充実	

事務事業名	学校施設長寿命化計画策定費	所管課	学校管理課
		決算額	8,898千円
事業内容	学校施設の老朽化対策として、予防保全を計画的に推進し、学校施設の長寿命化を図ることで、安全・安心で快適な教育環境を確保するとともに、今後の少子高齢化などの社会動向を踏まえたうえで、学校施設の維持管理・更新に係るトータルコストの縮減と予算の平準化を図る。		
成果・実績	計画策定検討委員会を4回開催し、学校施設の劣化状況調査を踏まえた中長期的な維持管理・更新に係る計画策定を行った。 ◎計画策定支援業務委託料 8,898千円		
事業評価	老朽化が進む本市の学校施設において、安全・安心の確保、トータルコストの縮減を図りながら施設整備を実施していくため、計画策定を行った。今後は、国等の動向も注視しながら、計画に沿った整備の実施に努める。		

事務事業名	小・中学校、幼稚園維持整備事業	所管課	学校管理課																								
		決算額	1,068,849千円																								
事業内容	学校教育環境の充実と安全性の確保のため、幼稚園、小・中学校の施設・設備について、老朽化対応修繕、緊急修繕、及び法令等に適合させる修繕を行う。また、老朽化や損耗が著しい施設・設備について、計画的に改修を実施するとともに、トイレ改修及び体育館非構造部材の耐震改修など大規模改造事業を実施する。																										
成果・実績	良好な教育環境の確保と施設の維持・保全を図るために対応を行った。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">事業名</th> <th style="width: 50%;">主な内容</th> <th style="width: 25%;">事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校維持修繕費</td> <td>各小学校施設の小修理他</td> <td style="text-align: right;">54,697千円</td> </tr> <tr> <td>小学校施設整備費</td> <td>西小倉・北小倉・南小倉小学校便所改修工事 各小学校施設の環境整備他</td> <td style="text-align: right;">144,100千円</td> </tr> <tr> <td>小学校大規模改造事業費</td> <td>北楨島・笠取小学校便所改修工事 神明小学校体育館非構造部材耐震改修工事他</td> <td style="text-align: right;">462,901千円</td> </tr> <tr> <td>中学校維持修繕費</td> <td>各中学校施設の小修理他</td> <td style="text-align: right;">21,692千円</td> </tr> <tr> <td>中学校施設整備費</td> <td>西小倉中学校便所改修工事 各中学校施設の環境整備他</td> <td style="text-align: right;">51,157千円</td> </tr> <tr> <td>中学校大規模改造事業費</td> <td>南宇治中学校便所改修工事 広野中学校体育館非構造部材耐震改修工事他</td> <td style="text-align: right;">332,687千円</td> </tr> <tr> <td>幼稚園維持修繕費</td> <td>各幼稚園施設の小修理他</td> <td style="text-align: right;">1,615千円</td> </tr> </tbody> </table>			事業名	主な内容	事業費	小学校維持修繕費	各小学校施設の小修理他	54,697千円	小学校施設整備費	西小倉・北小倉・南小倉小学校便所改修工事 各小学校施設の環境整備他	144,100千円	小学校大規模改造事業費	北楨島・笠取小学校便所改修工事 神明小学校体育館非構造部材耐震改修工事他	462,901千円	中学校維持修繕費	各中学校施設の小修理他	21,692千円	中学校施設整備費	西小倉中学校便所改修工事 各中学校施設の環境整備他	51,157千円	中学校大規模改造事業費	南宇治中学校便所改修工事 広野中学校体育館非構造部材耐震改修工事他	332,687千円	幼稚園維持修繕費	各幼稚園施設の小修理他	1,615千円
事業名	主な内容	事業費																									
小学校維持修繕費	各小学校施設の小修理他	54,697千円																									
小学校施設整備費	西小倉・北小倉・南小倉小学校便所改修工事 各小学校施設の環境整備他	144,100千円																									
小学校大規模改造事業費	北楨島・笠取小学校便所改修工事 神明小学校体育館非構造部材耐震改修工事他	462,901千円																									
中学校維持修繕費	各中学校施設の小修理他	21,692千円																									
中学校施設整備費	西小倉中学校便所改修工事 各中学校施設の環境整備他	51,157千円																									
中学校大規模改造事業費	南宇治中学校便所改修工事 広野中学校体育館非構造部材耐震改修工事他	332,687千円																									
幼稚園維持修繕費	各幼稚園施設の小修理他	1,615千円																									
事業評価	教育施設の老朽化等に対応し、計画的に改修工事等を実施した。今後も計画的に施設の維持・保全に努め、園児、児童・生徒が安全で安心して授業に臨むことができるよう、教育環境の整備を図る。																										

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	03 総合的に進める教育の充実	

事務事業名	学校施設地域開放費	所管課	生涯学習課										
		決算額	598千円										
事業内容	西宇治中学校の地域開放型教室の特質を活かし、特別教室の積極的な開放を行うことで、子どもが仲間と楽しく学び、様々な活動を行う場を提供する。また、各種教育情報を提供し、地域住民に学習機会の場を設け、地域の活性化を図る。												
成果・実績	<p>◎利用状況</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>視聴覚室</th> <th>音楽室</th> <th>美術室</th> <th>調理室</th> <th>図書室</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>29件</td> <td>2件</td> <td>46件</td> <td>0件</td> <td>24人</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎西宇治オープンフェスタ 地域開放型教室の利用団体が、コーラス及び楽器の演奏など、日頃の活動の成果を発表する場だが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。</p>			視聴覚室	音楽室	美術室	調理室	図書室	29件	2件	46件	0件	24人
視聴覚室	音楽室	美術室	調理室	図書室									
29件	2件	46件	0件	24人									
事業評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため利用制限をかけた結果、利用件数は大幅に減少したが、市民のニーズは高く、ウィズコロナ社会の中でより効果的に事業実施ができるよう、運営委員会と連携・調整を行っていく必要がある。												

事務事業名	障害者教室開催費	所管課	生涯学習課												
		決算額	12千円												
事業内容	「宇治市障害者福祉基本計画」の趣旨を踏まえ、障害者の自立と社会参加を促進するため、学習機会の提供と仲間づくりを目的として、障害者関係団体及びボランティアと連携しながら、障害の種別に応じた障害者教室を開催する。														
成果・実績	<p>新型コロナウイルス感染症拡大対策を行いながら教室及び講座を開催し、延べ99人の参加があった。</p> <p>◎各障害者教室開催状況</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>対象者</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>やまぶき学級（中止）</td> <td>心身障害者</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>合同社会見学</td> <td>市内在住・在勤</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>合同講座</td> <td>市内在住・在勤</td> <td>66</td> </tr> </tbody> </table>			内容	対象者	人数	やまぶき学級（中止）	心身障害者	-	合同社会見学	市内在住・在勤	33	合同講座	市内在住・在勤	66
内容	対象者	人数													
やまぶき学級（中止）	心身障害者	-													
合同社会見学	市内在住・在勤	33													
合同講座	市内在住・在勤	66													
事業評価	障害者の自立と社会参加を促進するとともに共生社会の実現がより一層進展するように関係団体と調整し、事業の改善に努める。														

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	02 生涯学習の充実
小分類	01 生涯学習の推進

所管部局
教育部

事務事業名	公民館活動費	所管課	生涯学習課																																																																														
		決算額	746千円																																																																														
事業内容	<p>公民館を拠点として活動する市民が、より住みよい地域づくりの担い手として活動するため、市民がいつでも気軽に利用できる公民館を目指し、地域住民の学習意欲及び社会の変化に対応する各種講座及び教室の開設、文化活動事業など、学習機会を提供する。</p>																																																																																
成果・実績	<p>高齢者の生きがいがづくり・健康づくりを目的に鳳凰大学及び各公民館高齢者教室を開催し、子ども対象事業として茶道教室等を行った。また、市民が公民館で学習を通してつながりを作り、地域で活躍するスキルを身に付けられるように、各館の特色を活かして事業に取り組んだ。</p> <p>◎中央公民館活動費 386千円 ◎宇治公民館活動費 43千円 ◎木幡公民館活動費 118千円 ◎小倉公民館活動費 98千円 ◎広野公民館活動費 101千円</p> <p>◎高齢者を対象とした学級・講座等</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>公民館名</th> <th>事業名</th> <th>講座数</th> <th>参加延べ人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">中央</td> <td>宇治鳳凰大学(特別講座)</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;">82</td> </tr> <tr> <td>宇治鳳凰大学 大学祭</td> <td style="text-align: center;">中止</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">宇治</td> <td>宇治鳳凰学級(特別講座)</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">54</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">木幡</td> <td>木幡許乃国教室(特別講座)</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">46</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">小倉</td> <td>小倉蓮の実教室(特別講座)</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">39</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">広野</td> <td>広野久里古教室(特別講座)</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">43</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎公民館まつり等</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>公民館名</th> <th>事業名</th> <th>回数</th> <th>参加延べ人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">中央</td> <td>子どもの遊び場</td> <td style="text-align: center;">19</td> <td style="text-align: center;">251</td> </tr> <tr> <td>春を呼ぶサタデーコンサート</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">86</td> </tr> <tr> <td>版画で作る年賀状</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">35</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">宇治</td> <td>味噌づくり講習会</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">30</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">木幡</td> <td>チャレンジやってみよう</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">28</td> </tr> <tr> <td>こはた大発見</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">134</td> </tr> <tr> <td>手作りみそづくり</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">18</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">小倉</td> <td>親と子のちょっとおしゃれな木幡倶楽部</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">23</td> </tr> <tr> <td>手づくり味噌講習会</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">16</td> </tr> <tr> <td>子ども教室(書初め練習教室)</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">21</td> </tr> <tr> <td>おぐらクッキングクラブ</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">32</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">広野</td> <td>お茶を使ったスイーツづくり</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">24</td> </tr> <tr> <td>科学の教室</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">29</td> </tr> <tr> <td>音楽の広場</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">30</td> </tr> </tbody> </table>			公民館名	事業名	講座数	参加延べ人数	中央	宇治鳳凰大学(特別講座)	6	82	宇治鳳凰大学 大学祭	中止		宇治	宇治鳳凰学級(特別講座)	3	54	木幡	木幡許乃国教室(特別講座)	3	46	小倉	小倉蓮の実教室(特別講座)	3	39	広野	広野久里古教室(特別講座)	3	43	公民館名	事業名	回数	参加延べ人数	中央	子どもの遊び場	19	251	春を呼ぶサタデーコンサート	1	86	版画で作る年賀状	4	35	宇治	味噌づくり講習会	3	30	木幡	チャレンジやってみよう	2	28	こはた大発見	3	134	手作りみそづくり	1	18	小倉	親と子のちょっとおしゃれな木幡倶楽部	1	23	手づくり味噌講習会	2	16	子ども教室(書初め練習教室)	1	21	おぐらクッキングクラブ	2	32	広野	お茶を使ったスイーツづくり	2	24	科学の教室	3	29	音楽の広場	1	30
公民館名	事業名	講座数	参加延べ人数																																																																														
中央	宇治鳳凰大学(特別講座)	6	82																																																																														
	宇治鳳凰大学 大学祭	中止																																																																															
宇治	宇治鳳凰学級(特別講座)	3	54																																																																														
木幡	木幡許乃国教室(特別講座)	3	46																																																																														
小倉	小倉蓮の実教室(特別講座)	3	39																																																																														
広野	広野久里古教室(特別講座)	3	43																																																																														
公民館名	事業名	回数	参加延べ人数																																																																														
中央	子どもの遊び場	19	251																																																																														
	春を呼ぶサタデーコンサート	1	86																																																																														
	版画で作る年賀状	4	35																																																																														
宇治	味噌づくり講習会	3	30																																																																														
木幡	チャレンジやってみよう	2	28																																																																														
	こはた大発見	3	134																																																																														
	手作りみそづくり	1	18																																																																														
小倉	親と子のちょっとおしゃれな木幡倶楽部	1	23																																																																														
	手づくり味噌講習会	2	16																																																																														
	子ども教室(書初め練習教室)	1	21																																																																														
	おぐらクッキングクラブ	2	32																																																																														
広野	お茶を使ったスイーツづくり	2	24																																																																														
	科学の教室	3	29																																																																														
	音楽の広場	1	30																																																																														
事業評価	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため利用制限をかけた結果、参加人数は大幅に減少したが、市民のニーズは高く、ウィズコロナ社会の中でより効果的に生涯学習の循環が促進されるよう事業実施の手法及び公民館の今後のあり方を引き続き検討する。</p>																																																																																

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	02 生涯学習の充実	
小分類	01 生涯学習の推進	

事務事業名	総合野外活動センター管理運営費	所管課	生涯学習課																								
		決算額	129,078千円																								
事業内容	「自然とのふれあい、自然のなかでの交流」をテーマに、（公財）宇治市野外活動センターを指定管理者として、総合野外活動センター「アクトパル宇治」の施設管理・運営を行う。センターの各施設を活用した野外活動、宿泊研修、スポーツ活動などを行う。																										
成果・実績	<p>野外活動に関する事業を通じて、青少年の豊かな感性を育むとともに、市民のふれあいの場を提供する等、生涯学習の推進を図った。平成11年度から令和2年度までの延べ利用者数は約190万人となった。新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、休所・利用制限を実施したことから利用者数は大幅に減少した。</p> <p>◎利用者数 (人)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宿泊</td> <td>38,460</td> <td>35,133</td> <td>32,600</td> <td>30,787</td> <td>8,401</td> </tr> <tr> <td>日帰り</td> <td>72,732</td> <td>66,390</td> <td>65,743</td> <td>66,178</td> <td>53,732</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>111,192</td> <td>101,523</td> <td>98,343</td> <td>96,965</td> <td>62,133</td> </tr> </tbody> </table>			年度	H28	H29	H30	R1	R2	宿泊	38,460	35,133	32,600	30,787	8,401	日帰り	72,732	66,390	65,743	66,178	53,732	合計	111,192	101,523	98,343	96,965	62,133
年度	H28	H29	H30	R1	R2																						
宿泊	38,460	35,133	32,600	30,787	8,401																						
日帰り	72,732	66,390	65,743	66,178	53,732																						
合計	111,192	101,523	98,343	96,965	62,133																						
事業評価	指定管理者により適切に管理運営を実施した。ウィズコロナ社会においても野外活動を通じた生涯学習を促進するために引き続き効果的・効率的な施設の管理運営に努めるとともに、利用者ニーズを的確に把握し、より多くの市民に利用されるような事業の企画・実施に努める。																										

事務事業名	総合野外活動センター再整備事業費	所管課	生涯学習課
		決算額	10,450千円
事業内容	来場者が安全・安心に施設利用できるように、大規模修繕を計画的に実施する。		
成果・実績	◎機器取替え業務委託 10,450千円 自動制御装置の取替え業務委託を行った。		
事業評価	利用者が安全・安心に施設を利用できるよう今後も計画的改修を実施する。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実	

事務事業名	学校図書館費	所管課	学校教育課
		決算額	27,529千円
事業内容	児童・生徒の基礎学力の定着・向上のため、学校司書の配置と学校図書館ボランティアの活用により図書館教育の充実を図る。また、学校図書館ボランティアの養成のため、希望する保護者・市民が必要な知識・技術を修得する講座を開催する。		
成果・実績	◎図書館教育充実事業費 27,529千円 令和元年度より各中学校ブロックに学校司書を配置し、各学校をこまめに巡回して児童・生徒の学習活動及び読書活動の充実を図った。 ◎図書館ボランティア養成事業費 0千円 ・ボランティア養成講座（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止） ・ボランティア登録者数 271人		
事業評価	学校司書の定期巡回によって、児童・生徒・教員の学習ニーズに応じた資料準備・提供をするなど、授業支援を行うことができた。今後も児童・生徒の基礎学力の定着・向上のための取組をより一層推進する。		

事務事業名	教育だより発行費	所管課	学校教育課
		決算額	478千円
事業内容	市内幼稚園、小・中学校、高等学校、特別支援学校、保育所などの保護者及び市民に対して、本市の教育施策及び特色ある教育活動等時宜を得た教育行政情報の提供を行うため、「宇治市の教育だより」を発行する。		
成果・実績	第85・86・87号を発行し、本市小中一貫教育の取組、学力向上の取組、幼稚園児及び小・中学生の活躍の様子、各幼稚園・小学校・中学校の特色ある取組、子育て応援コラムなど、新型コロナウイルス感染症対策等を講じた本市の教育行政並びに幼稚園・学校教育などに係る情報を記載した。 ◎教育だより発行回数 3回 ◎教育だより発行部数 18,500部（1回につき）		
事業評価	教育だよりを発行し、保護者等に対し小中一貫教育の取組、園児・児童・生徒の活動の様子など、教育行政情報の周知を行った。今後も掲載情報の充実等に努める。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実	

事務事業名	英語指導助手設置費	所管課	学校教育課
		決算額	39,720千円
事業内容	<p>児童・生徒の国際理解教育とコミュニケーション能力の向上を図るため、英語指導助手（AET）を、幼稚園、小・中学校に派遣する。</p> <p>また、教職員研修で活用するとともに、生涯学習の一環として市民への学習機会での活用を図る。</p>		
成果・実績	<p>JETプログラムで招致した10人を、英語指導助手として市立小・中学校へ派遣した。また、市立幼稚園にも定期的に派遣した。</p> <p>◎英語指導助手 10人 ◎小学校派遣日数 779日 ◎中学校派遣日数 579日 ◎幼稚園派遣日数 42日 （2学期以降、新規2名の来日が延期になっている）</p>		
事業評価	<p>小・中学校、幼稚園への派遣を行い、園児・児童・生徒の国際理解とコミュニケーション能力の向上を図った。新型コロナウイルス感染症の影響によるAET不足への対応や各校への派遣・活用方法の検討を行う必要がある。</p>		

事務事業名	いきいき学級支援員設置費	所管課	学校教育課
		決算額	19,610千円
事業内容	<p>通常の学級での発達障害を含む障害のある児童・生徒の学習面及び生活面での課題の改善を図るため、各小・中学校に支援員を配置して支援体制を整備することにより、特別支援教育の充実を図る。</p>		
成果・実績	<p>児童・生徒の個別の指導計画に基づいて、支援員が授業の指導補助及び個別指導などを行った。</p> <p>◎いきいき学級支援員配置校 小学校 16校 中学校 8校 （京都府特別支援教育充実事業対象校 小学校6校・中学校2校を除く）</p> <p>◎通常学級における特別支援が必要な児童・生徒数及び割合 1,662人（12.0%）</p>		
事業評価	<p>支援員の配置により特別支援教育体制を整備し、学習・生活の両面において課題の改善を図った。従来の指導に加え、児童・生徒が安心して学習・生活に向かうことができるように新型コロナウイルス感染症に係る衛生面での指導・支援も合わせて行った。発達障害への対応について学校の役割は大きくなる傾向にあり、引き続き効果的な支援体制について検討する必要がある。</p>		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実	

事務事業名	小中一貫教育推進費	所管課	学校教育課
		決算額	44,114千円
事業内容	義務教育9年間の学びの連続性を意識した系統的、継続的な指導を行い、子どもたちの学習意欲を高め、確かな学力を身に付けさせることをねらいとした小中一貫教育を推進する。		
成果・実績	<p>全小・中学校において小中一貫教育を推進するにあたり、令和元年度より全ての中学校に「ラーニングコーディネーター」及び教科連携教員を配置し、系統的・継続的指導を進め、各中学校ブロックでの広報・啓発等を行った。 また、「宇治市小中一貫教育推進協議会」による取組状況の進行管理を行った。</p> <p>◎小中一貫教育取組推進教員の配置 43,309千円 小中一貫教育非常勤講師として、ラーニングコーディネーターの後補充教員を全中学校ブロックに配置するとともに、府費小中連携教員配置校5校を除く中学校ブロックに教科連携教員を配置することで、系統的・継続的指導を進めた。</p> <p>◎宇治市小中一貫教育推進協議会 183千円 学識経験者、保護者、地域関係団体、教職員により構成し、本市小中一貫教育の取組についての進行管理を行った。</p>		
事業評価	ラーニングコーディネーターを要とした小中一貫教育推進体制を基盤に、各中学校ブロックの課題を焦点化させることにより、目指す子ども像や学力観について理解を深め、とりわけ、学力定着・向上に向けた取組を進めた。新型コロナウイルス感染症対策を講ずるため、研修会や交流など取組方法を制限しての事業展開を図った。引き続き、小中一貫教育の取組を推進する。		

事務事業名	基礎学力課題支援費	所管課	学校教育課
		決算額	6,898千円
事業内容	児童・生徒の基礎学力の定着・向上及び希望進路の実現を図るため、非常勤講師の配置及び補習授業・学習相談の実施、教材・参考図書の配付などを行う。		
成果・実績	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じた中、学びを保障する観点より、引き続き中学校において、全校生徒を対象にした授業支援とともに、希望者を対象とした補習授業及びテスト前の学習相談会などを実施した。 指導方法及び指導機会の方策について全小・中学校へ啓発するとともに、児童・生徒の学力の充実、希望進路実現に向けて、教材・参考図書の配付等を行った。</p>		
事業評価	新型コロナウイルス感染症の影響下ではあるが、児童・生徒の学習意欲向上・学力の充実を図るとともに、家庭と連携した取組を進めることにより、学びを止めず希望進路の実現につながる支援を図った。今後も児童・生徒の実態に応じて学習相談及び授業改善などを進め、指導方法の工夫改善に向けた手法を検討する。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実	

事務事業名	「宇治学」推進事業費	所管課	学校教育課
		決算額	4,015千円
事業内容	本市小中一貫教育の特色ある教育活動として「総合的な学習の時間」を「宇治学」と称し、全ての市立小学校第3学年から中学校第3学年の7学年で実施している。この「宇治学」の指導充実を図るため、「宇治学」副読本及び指導の手引きを作成し、対象児童・生徒全員と教員に貸与する。また、すべての市立小学校3学年の宇治抹茶体験学習への支援を実施する。		
成果・実績	<p>◎ 発刊から4か年が経過した「宇治学」副読本及び指導の手引き（小学校第3学年）、同じく3か年が経過した同副読本（中学校第1学年）を改訂し、市立小学校全第3学年児童と同中学校全第1学年生徒、それぞれの担当教員に貸与した。</p> <p style="margin-left: 20px;">テーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「宇治茶」のステキをつたえよう（小学校第3学年） ・命 そして「ふるさと宇治」を守る ～私たち中学生としてできること～（中学校第1学年） <p>◎ 市立小学校22校の全ての第3学年児童が宇治抹茶（お点前）体験を実施できるよう、年に2回抹茶を配付した。</p>		
事業評価	「宇治学」副読本及び指導の手引き、同副読本を改訂し、児童生徒及び各担当教員に貸与することにより、新情報・新制度に対応できるよう内容の充実を図った。今後も各校での「宇治学」の探究的学習がさらに充実したものとなるよう支援・広報に努める。		

事務事業名	教育研究費	所管課	学校教育課																		
		決算額	424千円																		
事業内容	本市の学校教育において必要となる教育諸課題の解決と一層の教育内容の充実・振興に対応するため、教育研究員による実践研究を実施し、その成果を小中学校に還元する。																				
成果・実績	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じつつ、計画をした5部会で教育研究を実施した。また、成果を教職員研修講座の開催、研究冊子などにより報告する等、周知を図った。</p> <p>◎教育研究員部会と研究内容</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">設置部会</th> <th style="width: 15%;">部員数</th> <th style="width: 60%;">主な研究内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学力向上研究部会</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td>小・中学校の学力充実・向上・授業改善に係る研究</td> </tr> <tr> <td>宇治学研究部会</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td>「宇治学」副読本活用に係る研究</td> </tr> <tr> <td>英語教育研究部会</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td>外国語活動及び外国語教育の在り方に係る研究</td> </tr> <tr> <td>道徳教育研究部会</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td>道徳的価値の、内面的な自覚を促す指導方法の研究</td> </tr> <tr> <td>情報教育研究部会</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td>GIGAスクール構想、情報教育の推進に係る研究</td> </tr> </tbody> </table>			設置部会	部員数	主な研究内容	学力向上研究部会	5	小・中学校の学力充実・向上・授業改善に係る研究	宇治学研究部会	6	「宇治学」副読本活用に係る研究	英語教育研究部会	6	外国語活動及び外国語教育の在り方に係る研究	道徳教育研究部会	6	道徳的価値の、内面的な自覚を促す指導方法の研究	情報教育研究部会	5	GIGAスクール構想、情報教育の推進に係る研究
設置部会	部員数	主な研究内容																			
学力向上研究部会	5	小・中学校の学力充実・向上・授業改善に係る研究																			
宇治学研究部会	6	「宇治学」副読本活用に係る研究																			
英語教育研究部会	6	外国語活動及び外国語教育の在り方に係る研究																			
道徳教育研究部会	6	道徳的価値の、内面的な自覚を促す指導方法の研究																			
情報教育研究部会	5	GIGAスクール構想、情報教育の推進に係る研究																			
事業評価	教育研究員が教育実践に基づき研究し、本市の学校教育における課題解決を図った。今後も小中学校での活動を設定し、研究成果をフィードバックすることで、本市における教育力の向上につなげられるよう着実に取り組む。とりわけ、部会の設定については本市の教育課題に対応するべく検討・精査する。																				

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実	

事務事業名	小・中学校教材充実費	所管課	学校教育課																
		決算額	70,196千円																
事業内容	各教科の授業等で必要な教材について、学校間の格差が生じないように配慮しながら、教材等の充実を図るとともに、学校図書館図書を充実させて、教育環境の充実を図る。																		
成果・実績	<p>小・中学校の一般教材備品、理科教育振興備品、学校図書などの充実を図り、教育環境の整備に努めた。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">◎小学校教材充実費</td> <td style="width: 45%;"></td> <td style="width: 15%; text-align: right;">34,719千円</td> <td style="width: 35%;"></td> </tr> <tr> <td>◎中学校教材充実費</td> <td></td> <td style="text-align: right;">20,000千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>◎学校図書館図書充実費</td> <td>小学校</td> <td style="text-align: right;">7,778千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>中学校</td> <td style="text-align: right;">7,698千円</td> <td></td> </tr> </table>			◎小学校教材充実費		34,719千円		◎中学校教材充実費		20,000千円		◎学校図書館図書充実費	小学校	7,778千円			中学校	7,698千円	
◎小学校教材充実費		34,719千円																	
◎中学校教材充実費		20,000千円																	
◎学校図書館図書充実費	小学校	7,778千円																	
	中学校	7,698千円																	
事業評価	教材を適正に購入し、児童・生徒の教育環境の整備・充実を図った。また、学校図書標準達成校の増加など、図書館環境整備を進めることができた。ICT教育にかかる教材の充実を含め、引き続き教育環境の整備・充実に努める。																		

事務事業名	小・中学校就学援助費	所管課	学校教育課								
		決算額	105,041千円								
事業内容	義務教育を受ける機会を均等に保障するため、経済的な理由で就学が困難な児童・生徒の保護者に対し、学校で必要な学用品費、給食費、校外活動費、医療費などの援助を行う。										
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">◎小学校就学援助費</td> <td style="width: 45%;"></td> <td style="width: 15%; text-align: right;">72,833千円</td> <td style="width: 35%;"></td> </tr> <tr> <td>◎中学校就学援助費</td> <td></td> <td style="text-align: right;">32,208千円</td> <td></td> </tr> </table>			◎小学校就学援助費		72,833千円		◎中学校就学援助費		32,208千円	
◎小学校就学援助費		72,833千円									
◎中学校就学援助費		32,208千円									
事業評価	就学援助費の支給を適正に執行し、児童・生徒の教育機会の確保を図った。今後も引き続き適正な支給事務の遂行に努める。										

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実	

事務事業名	小・中学校特別支援教育費	所管課	学校教育課																																				
		決算額	6,686千円																																				
事業内容	特別な支援を必要とする児童・生徒の就学を保障するため、特別支援学級等の運営を行う。また、特別支援学級在級児童・生徒の保護者の経済的負担軽減を図り、義務教育を保障するため、就学奨励費の支給事業を行う。																																						
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">◎小学校特別支援教育費</td> <td style="text-align: right;">3,444千円</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">うち扶助費</td> <td style="text-align: right;">2,891千円</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">うち備品等</td> <td style="text-align: right;">553千円</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="4"> </td> </tr> <tr> <td>◎中学校特別支援教育費</td> <td style="text-align: right;">1,318千円</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">うち扶助費</td> <td style="text-align: right;">1,009千円</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">うち備品等</td> <td style="text-align: right;">309千円</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table> <p>小学校20校42学級、中学校10校26学級の特別支援学級を設置し、児童・生徒の発達促進と学力充実に努めるとともに、就学奨励費を支給した。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">◎小学校特別支援学級開設費</td> <td style="text-align: right;">1,245千円</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>◎中学校特別支援学級開設費</td> <td style="text-align: right;">678千円</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table>			◎小学校特別支援教育費	3,444千円			うち扶助費	2,891千円			うち備品等	553千円							◎中学校特別支援教育費	1,318千円			うち扶助費	1,009千円			うち備品等	309千円			◎小学校特別支援学級開設費	1,245千円			◎中学校特別支援学級開設費	678千円		
◎小学校特別支援教育費	3,444千円																																						
うち扶助費	2,891千円																																						
うち備品等	553千円																																						
◎中学校特別支援教育費	1,318千円																																						
うち扶助費	1,009千円																																						
うち備品等	309千円																																						
◎小学校特別支援学級開設費	1,245千円																																						
◎中学校特別支援学級開設費	678千円																																						
事業評価	奨学奨励費の支給を適正に執行し、特別な支援を必要とする児童・生徒の教育機会の確保を図った。また、特別支援教育にかかる物品の購入により教育環境の充実を図った。引き続き、すべての子どもが均等に義務教育を受けられるよう、適正な事業実施に努める。																																						

事務事業名	小・中学校「総合的な学習の時間」推進費	所管課	学校教育課																																
		決算額	7,006千円																																
事業内容	画一的な授業ではなく、地域及び子どもの実態に応じて各学校が創意工夫し、特色ある教育活動を展開する。国際理解、環境、情報、福祉、健康など従来の教科等の枠を超えた横断的、総合的な学習をより円滑に実施する。																																		
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">◎小学校「総合的な学習の時間」推進費</td> <td style="text-align: right;">3,507千円</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">主な学習内容</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">・国際（異文化）理解</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">・キャリア教育</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td colspan="4"> </td> </tr> <tr> <td>◎中学校「総合的な学習の時間」推進費</td> <td style="text-align: right;">3,499千円</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">主な学習内容</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">・キャリア教育</td> <td colspan="3"></td> </tr> </table>			◎小学校「総合的な学習の時間」推進費	3,507千円			主な学習内容				・国際（異文化）理解				・キャリア教育								◎中学校「総合的な学習の時間」推進費	3,499千円			主な学習内容				・キャリア教育			
◎小学校「総合的な学習の時間」推進費	3,507千円																																		
主な学習内容																																			
・国際（異文化）理解																																			
・キャリア教育																																			
◎中学校「総合的な学習の時間」推進費	3,499千円																																		
主な学習内容																																			
・キャリア教育																																			
事業評価	社会人講師等の外部人材の活用により、従来の授業とは異なる総合的な学習を実施し、自主的・実践的な態度を育成する教育振興を図った。今後も、探究的な学習の過程において、課題解決に必要な知識及び技能、主体的かつ協働的な取組方、積極的な社会参画の態度の習得に向けて、総合的な学習を推進する。																																		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実	

事務事業名	小・中学校コンピュータ教育充実事業費	所管課	学校教育課
		決算額	993,234千円
事業内容	市立小・中学校のコンピュータ教室におけるICT環境を整備し、活用を図ることにより、授業内容の充実や学習意欲の向上等を目指す。 GIGAスクール構想に基づく「1人1台端末」を小・中学校に配備し、活用することで教育環境の充実を図る。		
成果・実績	小・中学校32校におけるコンピュータ教室の指導用端末、児童・生徒用端末の利用環境の確保と、教育用無線端末機器の更新および無線LAN環境の整備を行った。 GIGAスクール構想に基づき、小・中学校全学年において1人1台端末、周辺機器や通信環境の整備を行った。 ◎小学校コンピュータシステム周辺機器一式貸借 49,766千円 ◎中学校コンピュータシステム周辺機器一式貸借 10,183千円 ◎小学校無線LAN機器及び教育用無線端末貸借 18,665千円 ◎中学校無線LAN機器及び教育用無線端末貸借 10,014千円 ◎1人1台端末等の整備に要した経費 ・小学校 533,475千円 ・中学校 286,574千円 ・小学校（繰越分） 59,062千円 ・中学校（繰越分） 25,495千円		
事業評価	国のGIGAスクール構想に基づき、1人1台端末を配備し、学校のICT環境整備を推進することで、学習活動の充実を図った。今後も主体的な学び、他者との協働学習などでの活用手法を研究し、効果的な活用に努める。		

事務事業名	小学校プログラミング教育推進費	所管課	学校教育課
		決算額	7,043千円
事業内容	市立小学校に1台のPepperを配備し、学習指導要領に基づくプログラミング教育に主体的に取り組む。また、児童がプログラミングしたプログラムをPepperに送り、実際に動作させ、児童自作のプログラムを可視化・検証し、意欲向上とプログラミング検証をする。		
成果・実績	研修を通じて教員のスキルアップを図り、各校の活用につなげた。また、プログラミング教育以外にも、学校行事や教科の学習に活用された。 ◎モバイルWi-Fi使用料 866千円 ◎Pepper 賃借料 6,072千円 ◎研修講師派遣手数料 105千円		
事業評価	児童が作成したプログラム通りにPepperが動くことを確認することで、児童の学習意欲を高めた。また、実践事例の研修を行い、指導方法の改善に努めた。GIGAスクール構想に基づく1人1台端末も活用し、今後もプログラミング教育を推進する。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実	

事務事業名	幼稚園預かり保育事業費	所管課	学校教育課
		決算額	1,930千円
事業内容	市立幼稚園の教育課程に係る教育時間終了後に、在籍園児のうち希望する者を対象に預かり保育を行う。		
成果・実績	<p>市立幼稚園2園（神明幼稚園、木幡幼稚園）において、園の開園日に預かり保育を試行実施した。</p> <p>4・5月は新型コロナウイルス感染症拡大防止による休園で、実施しなかった。</p> <p>実施時間：月・火・木・金 14:00～17:00 水 11:45～17:00</p> <p>利用料：1時間200円（上限1,000円/日）</p> <p>利用人数（のべ）：神明幼稚園 605人 木幡幼稚園 628人</p>		
事業評価	市立幼稚園2園で、開園日において保育の必要性がある園児に対する預かり保育を試行実施した。令和3年度から全園で試行実施し、引き続き利用状況や手法等を確認する中で、今後の事業のあり方について検討する。		

事務事業名	子育て支援施設等利用給付費補助金	所管課	学校教育課
		決算額	504,098千円
事業内容	令和元年10月から開始された幼児教育保育の無償化により、本市に居住する満3～5歳の幼稚園就園児の保育料が無償化（上限25,700円/月）され、就園する私立幼稚園等に保育料分として給付し、保育の必要性があると本市から認定を受けた保護者に対して、公立及び私立幼稚園の預かり保育料を給付する（上限11,300円/月）。また、年収約360万円未満相当世帯や小学生3年生以下の第3子以降の子どもの副食材料費を補助する。		
成果・実績	<p>◎子育て支援施設等利用給付費補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育料・入園費分 488,575千円 ・ 預かり保育事業利用料 9,024千円 ・ 副食材料費補助 6,499千円 		
事業評価	幼児教育保育の無償化にかかる事務を適正に執行した。引き続き、保育を必要とする保護者に対して預かり保育事業の利用料の給付、低所得世帯や多子世帯に対して副食材料費の補助を適正に行い、保護者の経済的負担の軽減を図る。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実	

事務事業名	地域学校協働活動推進費	所管課	学校教育課・教育支援課
		決算額	239千円
事業内容	保護者及び幅広い地域住民等による学校運営への参画により「地域とともにある学校」を目指すコミュニティ・スクールと、社会全体で未来を担う子どもたちの成長を支え、地域を創生する地域学校協働活動を一体的に推進する。		
成果・実績	◎コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の導入・促進に向けた活動 <ul style="list-style-type: none"> ・先進地視察 視察2回 西宮市教育委員会、奈良市教育委員会 ・研究推進校の指定 研究推進校4校 菟道小学校、南宇治中学校、宇治黄檗学園（宇治小・黄檗中） ・研修会の実施 開催数2回 研究推進校研修会、全体研修会 		
事業評価	宇治市立全小中学校において、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の実施に向け、京都府教育委員会、近隣先進推進地域より情報を集約しつつ、研究推進校を指定し取組を進め、実施に向けて基盤を整えた。全小中学校導入に向けて各校との連携・協力・支援の継続が必要である。		

事務事業名	まなび支援員設置費	所管課	学校教育課
		決算額	25,974千円
事業内容	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、臨時休業措置としていた学校の教育活動再開後、児童・生徒への学習支援のために支援員を配置し、教科指導の充実を図る。		
成果・実績	小学校第1学年を中心とした低学年（第3学年まで）及び中学校第3学年を対象とし、該当の市内小・中学校へ支援員を配置 ◎教科における指導補助や放課後等の補充学習支援 まなび支援員の配置 延べ56人（小学校20校中学校10校、6学級毎に週15時間を配置）		
事業評価	児童・生徒への学習支援として、支援員を配置し、授業中・放課後補習の教科指導の充実を図った。個別の学習支援が充実されることで、臨時休業後の学習進度への不安等を和らげることができ、児童・生徒の学力定着と落ち着いた学校生活に効果があった。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実	


事務事業名	学校支援チーム活動費	所管課	教育支援課
		決算額	11,414千円
事業内容	いじめ及び不登校といった教育課題への取組を推進するため、学校現場のみでは解決困難な問題について、組織的、体系的な支援を行う。		
成果・実績	<p>校長OBである学校教育指導主事による市立小・中学校への相談対応などの日常的な支援を行うとともに、学校だけでは解決が困難な事象や、解決にあたり時間を要する問題について、社会福祉士、臨床心理士、弁護士、精神科医、警察官、児童相談所員といった専門家を交えた「宇治市学校支援チーム」を設置し、専門的見地からの指導助言による支援を行った。</p> <p>さらに、顧問弁護士による法律相談、スクールソーシャルワーカーによる学校現場の困難な事象解決へ向けたアプローチにより、効果的な支援を行った。</p> <p>◎支援チーム会議開催数 7回</p>		
事業評価	学校現場の円滑な運営のため専門家による学校支援チームを設置し、専門的・組織的な支援を行うことで、学校現場で起こる困難事例に対しても解決を図ることができた。今後も効果的な学校支援に努める。		

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	03 総合的に進める教育の充実	

事務事業名	少年補導活動費	所管課	教育支援課
		決算額	3,963千円
事業内容	少年補導委員を中心に、街頭補導活動、社会環境浄化活動、市民啓発活動などを実施し、地域での青少年非行の未然防止に努め、青少年の健全育成を図る。		
成果・実績	少年補導委員として110人を委嘱した。毎月の校区補導、特別ブロック補導、県祭りでの全体補導、パネル展、地域懇談会、社会環境調査、浄化活動などについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止したが、各校区のパトロールについては規模を縮小してできる範囲内で実施した。		
事業評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、多くの取組が中止となったが、地域住民を主体とする見回り活動等を実施し、青少年の非行の未然防止に取り組むことができた。今後とも、各種団体との協力を図りながら、引き続き青少年の健全育成に努める。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	03 総合的に進める教育の充実	

事務事業名	中学生の主張大会開催費	所管課	教育支援課
		決算額	132千円
事業内容	宇治市教育委員会・宇治市青少年健全育成協議会・宇治市連合育友会の共催により、中学生、保護者、市民などが参加し、各中学校の代表生徒が主張を発表して互いに考え学び合う機会とするとともに、市民全般に中学生への理解と認識を深め、青少年の健全育成を推進する。		
成果・実績	<p>中学生が考え、悩み、求めていることを発表することにより、市民の青少年に対する理解と認識を深めるため、「第39回宇治市『中学生の主張』大会」を誌上発表とし、大会のまとめ冊子を作成、配布した。</p> <div style="text-align: right;">  </div>		
事業評価	中学生が学校、家庭、地域生活の中で感じたことを発表することで、同世代の青少年の学び合いと、市民の中学生に対する理解と認識の促進を図った。今後は、主催者である宇治市教育委員会、宇治市青少年健全育成協議会及び宇治市連合育友会で協議し、事業実施の手法を検討する必要がある。		

事務事業名	青少年健全育成推進費	所管課	教育支援課
		決算額	420千円
事業内容	青少年の健全育成及び社会環境づくりの推進を図るため、社会参加等の青少年育成事業を実施するとともに、青少年育成団体の活動を助成し、青少年育成に係る啓発活動を行う。		
成果・実績	<p>市内団体で組織されている青少年健全育成協議会の活動に対し支援を行った。 なお、次世代の地域活動を担う人材育成のため例年実施しているジュニアリーダーの養成学習会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。</p> <p>◎青少年健全育成協議会補助金 420千円</p>		
事業評価	各種関係団体が連携し、青少年の健全育成に向けて各種事業を実施したが、ジュニアリーダーの養成学習会は中止となった。ジュニアリーダーの養成学習会については、ウィズコロナ社会の中でどのような活動ができるのか、さらに、参加人数を増加するための活動の内容や広報について改善や工夫を検討する必要がある。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	02 生涯学習の充実	
小分類	01 生涯学習の推進	

事務事業名	放課後子ども教室支援事業費	所管課	教育支援課
		決算額	1,901千円
事業内容	<p>平日の放課後及び土曜日の午前中に、地域住民等で構成される推進組織の運営により、子どもに安全・安心な居場所を提供し、自主的な学習及びスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動などの支援を行う。また、地域の方の協力を得ることによって地域と学校との連携を図り、子どもが心豊かで健やかに育まれる環境づくりを進める。</p>		
成果・実績	<p>遊び及び学びの場を提供する地域活動に対して、教育活動推進員及び教育活動サポーターの派遣を行い、子どもの放課後の居場所を確保した。</p>		
	取組の名称	放課後学習会&北楨っ子くらぶ	笠二っ子クラブ
	開催場所	北楨島小学校	笠取第二小学校
	開催日数	12日	183日
	参加人数	延べ240人	延べ899人
事業評価	<p>地域住民等で構成される推進組織の運営により、放課後等の学校において児童の遊びと学びの場を提供した。引き続き国の動向等を踏まえ、地域の方の協力を得る中で、子どもの健全育成に向けた環境づくりを推進する。</p>		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	02 生涯学習の充実	
小分類	03 歴史資料の充実と古典文化の普及	

事務事業名	企画展示費	所管課	博物館管理課（源氏物語ミュージアム）
		決算額	2,633千円

事業内容	<p>話題性のある企画展の開催はミュージアムの広報・宣伝にもつながり、企画展を目的としたリピーターを含む来館者を誘致する。館蔵品のみではなく、他館及び関係者から作品・資料を借用し、毎回テーマを決めて魅力ある展示を行う。</p>
-------------	---

成果・実績	<p>様々な視点から趣向を凝らし、源氏物語及び平安時代の文化を紹介する展示を行った。令和2年度は、平等院ミュージアム鳳翔館と初の共催で、鳳翔館に収蔵されている資料を通して、平等院をはじめとする宇治の名所を紹介する特別企画展を開催した。</p> <p>◎企画展 なにが見える？ —よく見るということは— ・3月18日～5月10日（3月18日～3月31日、4月10日～5月10日臨時休館） 「意識して見る」ためのキーワードを手がかりに、『源氏物語』に関する美術工芸品を展示した。</p> <p>◎企画展 小町七変化—名所図会にみる小野小町— ・5月13日～7月12日（5月13日～5月31日臨時休館） 六歌仙のひとり小野小町について、『都名所図会』や名所図を通して、その伝承やゆかりの地を紹介した。</p> <p>◎企画展 源氏ワンダーランド ・7月15日～9月13日 『源氏物語』が描かれた平安時代の貴族たちの生活様式について、絵画資料などを通して紹介した。</p> <p>◎特別企画展 宇治を旅する 平等院を旅する ・9月16日～11月29日 平等院ミュージアム鳳翔館と共催で、鳳翔館に収蔵される貴重な資料などを通して、平等院をはじめとする宇治の名所を紹介した。また、関連事業として、両館の学芸員によるリレー講座を実施した。</p> <p>◎企画展 寿ぐ！屏風絵 ・12月2日～令和3年2月14日 源氏物語図屏風をはじめ、新春を寿ぐ画題の屏風を展示し、屏風の魅力を紹介した。</p> <p>◎企画展 なにが見える？ —よく見るということは— ・令和3年2月17日～4月25日（4月25日臨時休館） 「意識して見る」ためのキーワードを手がかりに、『源氏物語』に関する美術工芸品を展示した。</p>
--------------	---



事業評価	<p>新型コロナウイルス感染症対策を講じながら特別企画展及び企画展を実施した。毎年テーマを工夫した話題性のある展示会を開催することで、観覧者に『源氏物語』をはじめとする古典の持つ魅力を発信し、満足度の高い展示を提供することができた。今後も、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、他機関等とも連携し、魅力ある企画展の開催に努める。</p>
-------------	--

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	02 生涯学習の充実	
小分類	03 歴史資料の充実と古典文化の普及	



事務事業名	源氏物語ミュージアム広報活動費	所管課	博物館管理課（源氏物語ミュージアム）
		決算額	868千円
事業内容	「源氏物語をテーマとしたまちづくり」の中核的役割を担う施設として、初めての来館者の獲得をはじめ、リピーターの増加を目指し、広報宣伝活動を行う。		
成果・実績	特別企画展の開催にあわせ、30～40代の子育て世代層をターゲットにしたWEB広告を2か月間実施した。また、新たな取組として、京阪宇治駅で下車する利用客を対象にした京都京阪バス車内アナウンス広告を4か月間実施した。		
事業評価	スマートフォン等の電子媒体を活用した広報活動のほか、新たに京都京阪バス車内アナウンスを実施した。今後もウィズコロナ社会に即し、既存の媒体だけでなく、新たな情報媒体の活用も含めたより計画的で効果的な広報に努める。		

事務事業名	講座等開催費	所管課	博物館管理課（源氏物語ミュージアム）
		決算額	377千円
事業内容	源氏物語及び平安時代の文化について、より理解を深めるために、講演会及び講座などを実施する。ミュージアムの展示を観覧し、源氏物語及び平安時代の文化について、興味・関心を抱いた来館者のニーズに応え、さらに学ぶ機会を提供するとともに、より多くの人にミュージアムの存在を知ってもらうきっかけをつくる。		
成果・実績	<p>連続講座や源氏物語セミナーは、最新の研究を織り交ぜた講義により、深く学べる場と古典に親しむ機会を提供した。</p> <p>◎連続講座「日本文化のなかの藤原定家 一和歌、物語、そして芸能―」（全10回） ・9月～令和3年3月 参加者数 延べ353人 （新型コロナウイルス感染症対策のため、開催日、会場、参加人数を変更して実施）</p> <p>◎入門講座「超！入門講座 宇治で源氏物語を読むために」（全14回） ・9月～令和3年3月 参加者数 延べ267人</p> <p>◎特別企画展リレー講座（全5回） ・9月～11月 参加者数 延べ77人</p> <p>◎源氏物語セミナー 旅という人の生き死に ―宇治と平等院に伝わる旅日記から― ・10月10日 参加者数 45人</p>		
事業評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を延期した講座もあったが、感染症対策を講じながら、持続的な学習機会を提供することができた。今後も、ウィズコロナ社会に即した多様な方法によって、より多くの学習機会が提供できるよう努める。		



令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	02 生涯学習の充実	
小分類	01 生涯学習の推進	



事務事業名	生涯学習センター講座等開催費	所管課	生涯学習センター
		決算額	592千円
事業内容	宇治市教育振興基本計画に基づき、生涯学習センター及び公民館などで、市民のライフステージに対応した講座・事業を実施し、学習の機会を提供する。		
成果・実績	各種講座を実施し、学習機会の確保及び学習情報提供の充実など生涯学習を推進した。		
	◎社会・時代の変化に対応する講座		
	事業名	回数	参加人数
	おやこで防災	4	32
	◎青少年を対象とする講座・事業		
	事業名	回数	参加人数
	夏休み子ども★わくわくフェア（2日間）	中止	中止
			
	おやこで防災		
			
シニア向けスマートフォン体験講座			
◎教養講座			
事業名	回数	参加人数	
シニア向けスマートフォン体験講座	2	40	
NHK公開講演会「皇室の名宝」	1	46	

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	02 生涯学習の充実
小分類	01 生涯学習の推進

所管部局
教育部

事務事業名	生涯学習センター講座等開催費	所管課	生涯学習センター
		決算額	592千円

成果・実績	◎生涯学習団体等の育成・人材養成と活用																			
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 70%;">事業名</th> <th style="width: 15%;">回数</th> <th style="width: 15%;">参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ロビー展 ミニ講習会</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">15</td> </tr> <tr> <td>うじ市民活動サポート事業（3事業）</td> <td style="text-align: center;">10</td> <td style="text-align: center;">189</td> </tr> <tr> <td>はじめよう！セカンドライフ</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">20</td> </tr> <tr> <td>オンライン会議のはじめかた講座</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">9</td> </tr> <tr> <td>ふれあいワークショップ2021</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">26</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	回数	参加人数	ロビー展 ミニ講習会	1	15	うじ市民活動サポート事業（3事業）	10	189	はじめよう！セカンドライフ	1	20	オンライン会議のはじめかた講座	1	9	ふれあいワークショップ2021	1	26	
事業名	回数	参加人数																		
ロビー展 ミニ講習会	1	15																		
うじ市民活動サポート事業（3事業）	10	189																		
はじめよう！セカンドライフ	1	20																		
オンライン会議のはじめかた講座	1	9																		
ふれあいワークショップ2021	1	26																		
	◎家庭の教育力向上のための講座																			
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 70%;">事業名</th> <th style="width: 15%;">回数</th> <th style="width: 15%;">参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>おやこっころんど</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">中止</td> </tr> <tr> <td>小学生の親のための講座「今年から新しく始まる教育について」</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">78</td> </tr> <tr> <td>思春期講座「思春期の子どもが抱えるストレスについて」</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">11</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	回数	参加人数	おやこっころんど	中止		小学生の親のための講座「今年から新しく始まる教育について」	2	78	思春期講座「思春期の子どもが抱えるストレスについて」	1	11							
事業名	回数	参加人数																		
おやこっころんど	中止																			
小学生の親のための講座「今年から新しく始まる教育について」	2	78																		
思春期講座「思春期の子どもが抱えるストレスについて」	1	11																		
																				
	オンライン会議のはじめかた講座	ふれあいワークショップ																		

事業評価	新型コロナウイルス感染症の影響により、講座の規模の縮小や開催回数の削減などの対応を行う中で、幅広い世代に向けた多彩な講座等を開催し、市民の生涯学習の充実、地域での市民交流、地域で活動する人材の育成を図った。今後も引き続き市民ニーズを把握し、ウィズコロナ社会においても市民が主体的に生涯学習に取り組む機会が提供できるように努める。
-------------	--

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	02 生涯学習の充実	
小分類	01 生涯学習の推進	

事務事業名	市民まなびの集い（宇治まなびんぐ）	所管課	生涯学習センター
		決算額	175千円
事業内容	「つながれ・ひろがれ・まなびの“わ”」をテーマに、生涯学習に取り組んでいる人々の日常活動の発表と交流、及びこれから何かを始めたい人にきっかけづくりの場を提供するため、「市民まなびの集い（宇治まなびんぐ）」を開催する。		
成果・実績	緊急事態宣言期間中であったため中止した。		
事業評価	新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止となったが、今後はウィズコロナ社会の中においても参加体験型を中心にさらなる充実を図り、出展者、参加者、実行委員という様々な形で生涯学習の喜びを味わうことができる事業として発展に努める。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	02 生涯学習の充実	
小分類	01 生涯学習の推進	

事務事業名	図書館資料提供費等	所管課	各図書館																																																
		決算額	19,461千円																																																
事業内容	市民等の読書活動、生涯学習、調査研究、課題解決等を支援するため、図書、雑誌、新聞、郷土資料、行政資料などの図書館資料を幅広く収集して提供し、長期的に保存すると共に、読書推進や課題解決のための講座、朗読会、おはなし会など様々な企画事業を実施する。																																																		
成果・実績	◎中央図書館資料提供費 11,747千円 ◎東宇治図書館資料提供費 3,857千円 ◎西宇治図書館資料提供費 3,857千円 ◎資料数 <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">館名</th> <th style="width: 15%;">購入冊数</th> <th style="width: 15%;">年度末蔵書数 (冊)</th> <th style="width: 15%;">受入雑誌 (誌)</th> <th style="width: 15%;">購入新聞 (紙)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央図書館</td> <td style="text-align: right;">4,365</td> <td style="text-align: right;">188,027</td> <td style="text-align: right;">82</td> <td style="text-align: right;">10</td> </tr> <tr> <td>東宇治図書館</td> <td style="text-align: right;">1,850</td> <td style="text-align: right;">65,320</td> <td style="text-align: right;">50</td> <td style="text-align: right;">8</td> </tr> <tr> <td>西宇治図書館</td> <td style="text-align: right;">1,989</td> <td style="text-align: right;">73,872</td> <td style="text-align: right;">47</td> <td style="text-align: right;">8</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">8,204</td> <td style="text-align: right;">327,219</td> <td style="text-align: right;">179</td> <td style="text-align: right;">26</td> </tr> </tbody> </table> ◎利用状況 <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">館名等</th> <th style="width: 15%;">貸出点数</th> <th style="width: 15%;">延べ貸出者数</th> <th style="width: 15%;">登録者数</th> <th style="width: 15%;">市民登録率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央図書館</td> <td style="text-align: right;">306,267</td> <td style="text-align: right;">71,714</td> <td rowspan="5" style="text-align: center; vertical-align: middle;">63,707 うち市外 1,198</td> <td rowspan="5" style="text-align: center; vertical-align: middle;">33.9</td> </tr> <tr> <td>東宇治図書館</td> <td style="text-align: right;">142,183</td> <td style="text-align: right;">37,031</td> </tr> <tr> <td>西宇治図書館</td> <td style="text-align: right;">150,699</td> <td style="text-align: right;">39,424</td> </tr> <tr> <td>団体貸出</td> <td style="text-align: right;">4,200</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">603,349</td> <td style="text-align: right;">148,169</td> </tr> </tbody> </table> ◎団体貸出 15団体（地域・家庭文庫、笠取地区、青少年センター、Ujiふれあい教室）に4,200冊の貸出を行った。 また、19の小・中学校に、1,150冊の学校等団体貸出しを行った。				館名	購入冊数	年度末蔵書数 (冊)	受入雑誌 (誌)	購入新聞 (紙)	中央図書館	4,365	188,027	82	10	東宇治図書館	1,850	65,320	50	8	西宇治図書館	1,989	73,872	47	8	合計	8,204	327,219	179	26	館名等	貸出点数	延べ貸出者数	登録者数	市民登録率 (%)	中央図書館	306,267	71,714	63,707 うち市外 1,198	33.9	東宇治図書館	142,183	37,031	西宇治図書館	150,699	39,424	団体貸出	4,200	—	合計	603,349	148,169
館名	購入冊数	年度末蔵書数 (冊)	受入雑誌 (誌)	購入新聞 (紙)																																															
中央図書館	4,365	188,027	82	10																																															
東宇治図書館	1,850	65,320	50	8																																															
西宇治図書館	1,989	73,872	47	8																																															
合計	8,204	327,219	179	26																																															
館名等	貸出点数	延べ貸出者数	登録者数	市民登録率 (%)																																															
中央図書館	306,267	71,714	63,707 うち市外 1,198	33.9																																															
東宇治図書館	142,183	37,031																																																	
西宇治図書館	150,699	39,424																																																	
団体貸出	4,200	—																																																	
合計	603,349	148,169																																																	
	◎予約図書配本サービス 利用者の利便性向上を図るため、事前に予約された図書を、週1回、公共施設等に設置した6か所の配本所に搬送し、15,119冊の貸出を行った。																																																		
	◎資料の活用（リサイクル事業：年1回） 図書館資料の有効活用を図るため、リサイクル市を開催し、除籍図書及び保存期限が経過した雑誌等を市民に提供した。 ・提供冊数 5,222冊																																																		

令和 2 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	02 生涯学習の充実	
小分類	01 生涯学習の推進	

事務事業名		所管課	
	図書館資料提供費等	決算額	各図書館 19,461千円
成果・実績	<p>◎テーマ図書展示 季節や時事等に応じ、様々なテーマの図書展示を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成人書 中央図書館「時代小説～時代を駆けぬけたサムライたち～」他35回 東宇治図書館「持続可能な社会を目指して～環境編～」他12回 西宇治図書館「家の中で始めよう！」他17回 ・児童書 中央図書館「宇治市図書館のおせっかい”小学生はコレ!”」他16回 東宇治図書館「ぽつぽつぽとんあめのおと」他11回 西宇治図書館「ほんでたびしよう」他10回 <p>◎読書推進事業等 読書活動及び生涯学習の推進のため、朗読会、講座、おはなし会等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成人向け 中央図書館 読書週間記念講演会「日本最古の神社建築 宇治上神社」 他12回、延べ参加者174人 東宇治図書館 成人読書推進講演会 「終活入門～残された人を困らせないために～」 他1回、延べ参加者18人 西宇治図書館 読書推進講座 「放浪の俳人 山頭火 -春風の扉ひらけば南無阿弥陀仏-」 他2回、延べ参加者62人 ・児童向け 中央図書館 「読書感想文の書き方教室」他4回、延べ参加者90人 東宇治図書館 「赤ちゃんクリスマス会0・1・2！」他4回、延べ参加者78人 西宇治図書館 宇治市子ども読書の日記念事業 「西宇治図書館クイズラリー」他2回、延べ参加者311人 <p>◎課題解決支援事業 地域の課題解決を支援するための事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 中央図書館 不登校児童・生徒読書活動支援事業 図書の整理体験、団体貸出、おはなし会 教育支援課（Ujiふれあい教室）と共催 延べ参加者28人 東宇治図書館 先生のための絵本講座 他1回 延べ参加者13人 西宇治図書館 人権週間企画展「図書館でホッとハート」 人権擁護委員による人権絵本のおはなし会 参加者11人 人権啓発課、人権擁護委員と共催 <p>◎行政支援サービス 図書館の豊富な資料等を行政団体貸出により市内各課に提供し、行政課題の解決や職員のスキルアップを支援し、ひいては市民サービスの向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 中央図書館 利用所属数 延べ5所属、貸出冊数57冊 		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	02 生涯学習の充実
小分類	01 生涯学習の推進

所管部局
教育部

事務事業名	図書館資料提供費等	所管課	各図書館
		決算額	19,461千円

◎おはなし会（出張おはなし会を含む）

館名	回数	参加者数	内容
中央図書館	26	346	絵本の読み聞かせ、紙芝居、ペープサートなど
東宇治図書館	16	151	
西宇治図書館	16	109	

◎学校等連携

館名	図書館見学等 (小学校・幼稚園等)			中学生の 職場体験学習等		
	学校等の数	参加者人数	備考	学校数	人数	備考
中央図書館	1	50		0	0	
東宇治図書館	1	52		1	29	職業講話
西宇治図書館	3	15	代表以外他	0	0	

成果・実績



中央図書館
図書展示「百花繚乱」



中央図書館
「楽しいクリスマス会」



東宇治図書館
出張おはなし会「高齢者サロン」



西宇治図書館
人権週間企画展「人権絵本のおはなし会」



事業評価


令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、臨時休館、サービスの制限、イベントの中止等を行わざるを得ず、通常どおりの図書館サービスは提供できなかった。しかし、新型コロナウイルス感染症防止対策を講じる中で、図書の充実や環境整備に努め、人数制限を行ってのイベント開催等により利用者の読書活動や生涯学習を支え、学力や知的水準の向上を図ることができた。

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	02 生涯学習の充実
小分類	01 生涯学習の推進

所管部局
教育部

事務事業名	図書館情報発信事業	所管課	中央図書館
		決算額	2,354千円
事業内容	<p>今まで図書館の利用が少なかった若年層へ関心を持ってもらうツールとしてLINEを活用し、図書の検索や予約ができるサービスの実施、イベント情報やおすすめ図書などの図書館情報の発信を行う。</p>		
成果・実績	<p>◎開始時期 令和2年12月</p> <p>◎友だち登録数 約1,100人</p> <p>◎シニア向けスマホ教室 参加者11人</p>	 	
事業評価	<p>LINEを活用することで、若年層だけではなく幅広い世代へ向けて図書館情報を発信することができた。また、スマートフォンに慣れていない高齢者を対象とした使い方教室を実施するなど、インターネットによる図書館利用を促進することができた。</p>		



事務事業名	電子図書館サービス事業費	所管課	中央図書館
		決算額	9,579千円
事業内容	<p>利用者がインターネット上の電子図書館サイトにアクセスすることにより、いつでもどこでも電子書籍の貸出や閲覧等ができるサービスである。利用者が図書館に来館する必要がない、借りた電子書籍が自動返却される、音声読み上げ機能がある書籍があるなどのメリットがある。</p>		
成果・実績	<p>◎電子図書館サービス事業</p> <p>サービス開始日 令和3年3月24日</p> <p>電子書籍冊数 5,005冊</p> <p>登録者数 183人</p> <p>延べ利用人数 126人</p> <p>延べ貸出冊数 219冊</p>		
事業評価	<p>電子書籍の貸出や返却等は来館の必要がないため、長期にわたる臨時休館の際も貸出サービス等を継続することが可能となった。また、外出を自粛している利用者や図書館を利用しにくい市民等の利便性向上を図り、読書人口の拡大、図書館のデジタル化を図ることができた。</p>		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	02 生涯学習の充実	
小分類	01 生涯学習の推進	

事務事業名 図書館感染症対策費等	所管課	各図書館
	決算額	7,176千円


事業内容	新型コロナウイルス感染症防止対策として、①予約図書 [※] の無料郵送サービス、②館外返却ポストの設置、③図書除菌機の設置、④飛沫防止用遮蔽パーテーションの設置、⑤網戸やサーキュレーター [※] の設置、⑥館内の消毒及び手指用消毒液の設置等を行った。
-------------	---


成果・実績	<p>◎図書の無料お届けサービス</p> <p>読書によって外出自粛の不安やストレスを少しでも解消し、自宅で過ごしてもらうことを目的として、予約図書[※]を1人1回に限り2冊まで無料で郵送した。</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>郵送数</td> <td style="text-align: right;">998件</td> </tr> <tr> <td>貸出人数</td> <td style="text-align: right;">1,064人</td> </tr> <tr> <td>貸出冊数</td> <td style="text-align: right;">1,654冊</td> </tr> </table> <p>◎館外返却ポストの設置</p> <p>図書館に来館せず図書等の返却ができる返却ポストを館外7か所に設置した。</p> <p>設置場所 市役所本庁舎、木幡公民館、槇島コミュニティセンター、ゆめりあ うじ、開地域福祉センター、南宇治コミュニティセンター 京都文教大学図書館</p> <p>◎図書除菌機の設置</p> <p>図書館の図書を気持ちよく利用してもらうため、紫外線を照射して除菌し、風を当ててほこりやにおいを除去する図書除菌機を3館に設置した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>中央図書館 図書除菌機</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>市役所地下 返却ポスト</p> </div> </div>	郵送数	998件	貸出人数	1,064人	貸出冊数	1,654冊
郵送数	998件						
貸出人数	1,064人						
貸出冊数	1,654冊						

事業評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、様々な対策を講じたことにより、利用者の外出自粛を促し、来館者の密集を回避するとともに、利用者が安心して気持ちよく図書館を利用できる環境整備や利便性向上を図ることができた。
-------------	---

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	02 生涯学習の充実	
小分類	03 歴史資料の充実と古典文化の普及	

事務事業名	調査研究費	所管課	博物館管理課（歴史資料館）
		決算額	265千円
事業内容	本市関係歴史資料について、旧家及び社寺、博物館などが所蔵する資料の調査を行い、データの充実を図るとともに、収蔵資料調査報告書により成果を広く公開する。		
成果・実績	本市関係歴史資料で、江戸時代の御茶師の一つである尾崎坊家の調査成果をまとめた「収蔵資料調査報告書23 尾崎坊家文書」を刊行した。 ◎収蔵資料調査報告書発行数 400部		 <p style="text-align: center;">「収蔵資料調査報告書23 尾崎坊家文書」</p>
事業評価	歴史資料の調査を行い、調査結果をまとめ、報告書を刊行した。本市の歴史・文化を広く公開し、市民の生涯学習の促進を図るため、引き続き取り組む。		

事務事業名	資料収集保存費	所管課	博物館管理課（歴史資料館）
		決算額	563千円
事業内容	資料を収集して充実を図るとともに、これらをより良い状態で後世に伝えるため、資料の燻蒸及び収蔵庫の環境維持に努める。		
成果・実績	本市関係歴史資料として下記の資料を購入した。 ◎主な購入資料 <ul style="list-style-type: none"> ・豊国三代城州宇治川合戦対陣之図 ・豊国三代広重二代源氏合筆 四季秋たつ田紅葉 		 <p style="text-align: center;">豊国三代城州宇治川合戦対陣之図</p>
事業評価	資料の収集、保存、管理を適切に行うことより、本市に留まらず他館等への貸出し等、広く資料の活用を図ることができた。今後も資料の充実や適切な保存、整理に努めるとともに、その活用を図る必要がある。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	02 生涯学習の充実	
小分類	03 歴史資料の充実と古典文化の普及	

事務事業名	展示活動費	所管課	博物館管理課（歴史資料館）																								
		決算額	1,145千円																								
事業内容	本市の歴史に関する多様なテーマについて、調査・研究の成果を市民に還元し、後世に伝えるため、特別展、企画展及び関連事業を実施する。開館以来収集してきた資料を中心に、実物資料、写真パネル、映像資料を組み合わせ、市民が親しみやすい展示に努める。																										
成果・実績	<p>宇治の歴史及び文化財に関する様々な視点からテーマを設定し、展覧会を開催した。</p> <p>◎特別展</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">展覧会名</th> <th style="width: 25%;">会期</th> <th style="width: 25%;">入館者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">古絵図の世界</td> <td style="text-align: center;">9月26日～11月29日</td> <td style="text-align: center;">845人</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎記念講演会「古地図にみる宇治の世界」 ・講師：上杉和央（京都府立大学准教授）・開催月日：10月31日・参加者数39人</p> <p>◎企画展</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">展覧会名</th> <th style="width: 25%;">会期</th> <th style="width: 25%;">目録配布数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">名所宇治・茶のある風景 —絵はがき120周年記念—</td> <td style="text-align: center;">5月16日～6月28日 (5月16日～5月17日臨時休館)</td> <td style="text-align: center;">145</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">戦争遺品展 戦後75年 新聞・雑誌に見る戦中・戦後</td> <td style="text-align: center;">7月18日～9月6日</td> <td style="text-align: center;">192</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ちょっと昔の街と暮らし 前期 —人口倍増・激動の昭和40年代—</td> <td style="text-align: center;">12月19日～3年2月14日</td> <td style="text-align: center;">173</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">後期 —ひな人形と五月人形—</td> <td style="text-align: center;">3年2月20日～4月18日</td> <td style="text-align: center;">268</td> </tr> <tr> <td colspan="3">企画コーナー 発掘ものがたり宇治・2021</td> </tr> </tbody> </table> <p>企画展入場者推計：2,300人</p>			展覧会名	会期	入館者数	古絵図の世界	9月26日～11月29日	845人	展覧会名	会期	目録配布数	名所宇治・茶のある風景 —絵はがき120周年記念—	5月16日～6月28日 (5月16日～5月17日臨時休館)	145	戦争遺品展 戦後75年 新聞・雑誌に見る戦中・戦後	7月18日～9月6日	192	ちょっと昔の街と暮らし 前期 —人口倍増・激動の昭和40年代—	12月19日～3年2月14日	173	後期 —ひな人形と五月人形—	3年2月20日～4月18日	268	企画コーナー 発掘ものがたり宇治・2021		
展覧会名	会期	入館者数																									
古絵図の世界	9月26日～11月29日	845人																									
展覧会名	会期	目録配布数																									
名所宇治・茶のある風景 —絵はがき120周年記念—	5月16日～6月28日 (5月16日～5月17日臨時休館)	145																									
戦争遺品展 戦後75年 新聞・雑誌に見る戦中・戦後	7月18日～9月6日	192																									
ちょっと昔の街と暮らし 前期 —人口倍増・激動の昭和40年代—	12月19日～3年2月14日	173																									
後期 —ひな人形と五月人形—	3年2月20日～4月18日	268																									
企画コーナー 発掘ものがたり宇治・2021																											
事業評価	市民が宇治の歴史や文化を身近に感じられるテーマを選び、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら特別展及び企画展を実施した。市民が歴史資料に親しみ、その重要性を知る機会を提供し、宇治の歴史や文化について理解を深めることができるよう、今後も工夫を凝らした展示の実施に努める。																										

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	02 生涯学習の充実	
小分類	03 歴史資料の充実と古典文化の普及	

事務事業名	教育普及活動費	所管課	博物館管理課（歴史資料館）		
		決算額	32千円		
事業内容	歴史講座、古文書講習会等を開催し、調査・研究成果を広く公開する。市民の歴史研究に資するとともに、博物館活動への理解を深める。				
成果・実績	歴史講座と古文書講習会等を開催し、あわせて延べ101人の参加があった。				
	種別	開催日	テーマ	講師	
	歴史講座	3年2月6日	西国三十三所巡礼道をたずねて —宇治・三室戸を歩く—	小嶋正亮 <small>(元宇治市歴史資料館学芸員)</small>	19人
		3年2月27日	激動の戦国期城館 —播磨赤松氏と宇治真木島氏—	源氏物語ミュージアム 学芸員	15人
古文書講習会	3年3月9、 10、12日(3日)	宇治茶師の古文書から	歴史資料館 学芸員	延べ53人	
	上記のほか、展覧会関連事業を実施した。 ・事業数：2回 ・参加者数：14人				
事業評価	新型コロナウイルス感染症対策を講じながら各講座を開催し、宇治の歴史と文化について、持続的に市民が関心を持ち、理解を深める機会を提供した。今後も、ウィズコロナ社会に即した多様な方法によって、多様な世代の市民に向け、学習機会を提供できるよう努める。				

令和2年度決算成果説明書


総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	02 生涯学習の充実	
小分類	01 生涯学習の推進	

事務事業名	善法青少年センター活動費	所管課	善法青少年センター
		決算額	1,230千円
事業内容	<p>人権が尊重される豊かな社会の実現に向けて、青少年の教育・文化の向上、健全育成を目的に、学習・文化活動、体育・スポーツ・レクリエーション活動などのセンター事業を行う。</p>		
成果・実績	<p>◎学習・文化活動 書道教室、えいごくらぶ、手作り教室、学習会などを実施した。</p> <p style="text-align: center;">・実施回数 265回 ・参加者数 2,825人</p> <p>◎体育・スポーツ・レクリエーション活動 ダンス教室、スポーツクラブ、お楽しみ会などを実施した。合宿、体験シリーズなどは開催中止とした。</p> <p style="text-align: center;">・実施回数 22回 ・参加者数 340人</p>		
事業評価	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら各種事業・教室等を実施したが、感染リスクの高い一部事業については中止した。制約がある中でも、各種活動を通じ、青少年の生きる力を育み、健全育成と地域文化活動及び学習の促進を図った。今後も、感染状況を踏まえ事業内容の工夫に努める。</p>		

事務事業名	河原青少年センター活動費	所管課	河原青少年センター
		決算額	617千円
事業内容	<p>人権が尊重される豊かな社会の実現に向けて、青少年の教育・文化の向上、健全育成を目的に、学習・文化活動、体育・スポーツ・レクリエーション活動などのセンター事業を行う。</p>		
成果・実績	<p>◎学習・文化活動 えいごであそぼ、工作教室、お茶教室、体験学習、百人一首大会などを実施した。</p> <p style="text-align: center;">・実施回数 75回 ・参加者数 1,047人</p> <p>◎体育・スポーツ・レクリエーション活動 ダンス教室のみ実施した。アウトドア教室、カメレオン・パニック、チャレンジクリスマスなどについては開催中止とした。</p> <p style="text-align: center;">・実施回数 9回 ・参加者数 126人</p>		
事業評価	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら各種事業・教室等を実施したが、感染リスクの高い一部事業については中止した。制約がある中でも、各種活動を通じ、青少年の生きる力を育み、健全育成と地域文化活動及び学習の促進を図った。今後も、感染状況を踏まえ事業内容の工夫に努める。</p>		




令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	02 生涯学習の充実	
小分類	01 生涯学習の推進	

事務事業名	大久保青少年センター活動費	所管課	大久保青少年センター
		決算額	760千円
事業内容	<p>青少年の「生きる力」を育み、豊かな人間性及び協調性を養うことを目的に、文化・芸術・スポーツなどの活動事業を実施する。また、各種教室・催し物の開催及びこどもクラブでの活動の育成指導を行う。</p>		
成果・実績	<p>子どもたちの参加意識は高く、目的をもってのびのびと主体的に活動する場面が多く見られた。また、学校・学年・地域を越えて友達関係の輪を広げることができた。</p> <p>◎教室・各種事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施回数 21回 ・参加者数 432人 <p>◎こどもクラブ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施回数 48回 ・参加者数 512人 		
			
	こどもクラブ（ジャグリング）の練習風景		
事業評価	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら各種事業・教室等を実施したが、感染リスクの高い一部事業については中止した。制約がある中でも、各種活動を通じ、青少年の生きる力を育み、健全育成と地域文化活動及び学習の促進を図った。今後も、感染状況を踏まえ事業内容の工夫に努める。</p>		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち	消防本部
中分類	02 安全・安心なまちづくりへの対応	
小分類	02 消防・救急の充実	

事務事業名	消防団関連事業費	所管課	消防総務課																			
		決算額	37,108千円																			
事業内容	消防団の任務は、火災等あらゆる災害から市民の生命、身体及び財産を守ることであり、消防精神を養うため日頃から教養訓練、研修などを逐次実施し、知識技能の向上を図って火災予防を推進し、災害のないまちづくりに努める。																					
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">◎消防団員の報酬</td> <td style="width: 15%;">375人</td> <td style="width: 15%;">12,748千円</td> <td rowspan="6" style="text-align: center; vertical-align: middle;">  </td> </tr> <tr> <td>◎消防団員退職報償金</td> <td>9人</td> <td>3,721千円</td> </tr> <tr> <td>◎出場費用弁償</td> <td>延べ2,704人</td> <td>3,826千円</td> </tr> <tr> <td>◎小型動力ポンプ一式の整備</td> <td></td> <td>1,634千円</td> </tr> <tr> <td>◎京都府消防協会宇城久支部負担金等</td> <td></td> <td>609千円</td> </tr> <tr> <td>◎榎島分団三軒家支部消防団器具庫</td> <td></td> <td>2,681千円</td> </tr> </table>			◎消防団員の報酬	375人	12,748千円		◎消防団員退職報償金	9人	3,721千円	◎出場費用弁償	延べ2,704人	3,826千円	◎小型動力ポンプ一式の整備		1,634千円	◎京都府消防協会宇城久支部負担金等		609千円	◎榎島分団三軒家支部消防団器具庫		2,681千円
◎消防団員の報酬	375人	12,748千円																				
◎消防団員退職報償金	9人	3,721千円																				
◎出場費用弁償	延べ2,704人	3,826千円																				
◎小型動力ポンプ一式の整備		1,634千円																				
◎京都府消防協会宇城久支部負担金等		609千円																				
◎榎島分団三軒家支部消防団器具庫		2,681千円																				
事業評価	消防団によるきめ細やかな予防活動・啓発活動を実施し、地域一体となった安全・安心なまちづくりの推進を図ることができた。「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」に基づき、今後も積極的な広報を通じた消防団員の確保等により、消防団活動の活性化を図り、災害のないまちづくりに努める必要がある。																					

事務事業名	職員教養研修費	所管課	消防総務課																																
		決算額	3,326千円																																
事業内容	全国消防長会のほか、消防庁消防大学校、京都府立消防学校が実施する各種の教養資格講習等を受講し、消防職員の知識、技能を向上させる。																																		
成果・実績	<p>◎研修実績（主なもの）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">研修内容</th> <th style="width: 20%;">場所</th> <th style="width: 15%;">期間（日）</th> <th style="width: 15%;">人数（人）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>初任教育</td> <td>京都府立消防学校</td> <td>109</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>専科教育 救助科</td> <td>京都府立消防学校</td> <td>20</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>専科教育 救急科</td> <td>京都府立消防学校</td> <td>33</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>専科教育 特殊災害科</td> <td>京都府立消防学校</td> <td>7</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>専科教育 予防査察科</td> <td>京都府立消防学校</td> <td>10</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>専科教育 危険物科</td> <td>京都府立消防学校</td> <td>5</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>幹部教育 初級幹部科</td> <td>京都府立消防学校</td> <td>7</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>			研修内容	場所	期間（日）	人数（人）	初任教育	京都府立消防学校	109	4	専科教育 救助科	京都府立消防学校	20	2	専科教育 救急科	京都府立消防学校	33	3	専科教育 特殊災害科	京都府立消防学校	7	1	専科教育 予防査察科	京都府立消防学校	10	1	専科教育 危険物科	京都府立消防学校	5	1	幹部教育 初級幹部科	京都府立消防学校	7	1
研修内容	場所	期間（日）	人数（人）																																
初任教育	京都府立消防学校	109	4																																
専科教育 救助科	京都府立消防学校	20	2																																
専科教育 救急科	京都府立消防学校	33	3																																
専科教育 特殊災害科	京都府立消防学校	7	1																																
専科教育 予防査察科	京都府立消防学校	10	1																																
専科教育 危険物科	京都府立消防学校	5	1																																
幹部教育 初級幹部科	京都府立消防学校	7	1																																
事業評価	国・京都府等が実施する各種教育課程の受講及び各種免許・資格習得により、職員の知識・技能の向上を図ることができた。今後も複雑多様化している災害等に的確に対応するため、計画的な職員の知識・技能のさらなる向上に努める必要がある。																																		

令和2年度決算成果説明書


総合計画の体系		所管部局
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち	消防本部
中分類	02 安全・安心なまちづくりへの対応	
小分類	02 消防・救急の充実	

事務事業名	防火意識啓発費	所管課	予防課
		決算額	389千円
事業内容	<p>市内における火災の発生防止を図るとともに、市民に火災時の対応等について啓発・指導を図り、防火等への関心を高めることによって、安全・安心で住みよい災害に強いまちづくりを推進する。また、防火啓発チラシ等を配布することにより、消防を身近なものとし、より相談しやすく親しみやすい環境づくりを目指す。</p>		
成果・実績	<p>事業所への防火啓発ポスター、消防の仕事について学ぶ小学生への防火読本を作成配布することにより、市民への防火啓発や火災予防意識の高揚を図り、火災の発生防止に努めた。</p> <p>また、市民に訓練の重要性及び初期消火における消火器の有効性を認識してもらうため、町内会等の消火訓練に使用した消火器及び初期消火に使用された消火器に対し、消火薬剤の補填を行うことにより火災予防意識の高揚に努めた。</p> <p>◎ポスター配布数（市内事業所宛て） 570枚（1事業所への複数枚の配布含む） ◎防火読本配布数 2,500冊（市内小学3年生及び市民に配布） ◎消火薬剤補填数 1本（訓練 0本、初期消火 1本）</p>		
事業評価	<p>防火啓発ポスター及び小学生への防火読本の作成配布などを実施することにより、火災予防への意識高揚及び火災発生の防止効果につなげることができた。今後もより効果的な啓発等に努め、引き続き火災予防意識の高揚を図る必要がある。</p>		

事務事業名	消防水利維持管理・拡充事業費	所管課	警防救急課
		決算額	12,034千円
事業内容	<p>消火活動において、消防水利が有効に活用できるように維持管理するとともに必要に応じ修繕を行う。また、市街地における水利不便地に消火栓等を新設し、消防水利の充実を図る。</p>		
成果・実績	<p>火災時に活用する消防水利等の維持管理、新設を行った。</p> <p>◎消火栓維持管理 消火栓維持管理として、市内の13地区において、消火栓20基の維持管理に係る工事を行った。</p> <p>◎消防水利新設 消火栓新設工事実施計画分として、笠取地区にて1基を設置した。</p>		
事業評価	<p>消火栓の補修・改修及び新設をすることにより、消防水利を確保し、火災へ備えることができた。今後も引き続き消防水利等の維持管理・拡充を行い、災害対応力の充実に努める必要がある。</p>		

令和2年度決算成果説明書


総合計画の体系		所管部局
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち	消防本部
中分類	02 安全・安心なまちづくりへの対応	
小分類	02 消防・救急の充実	

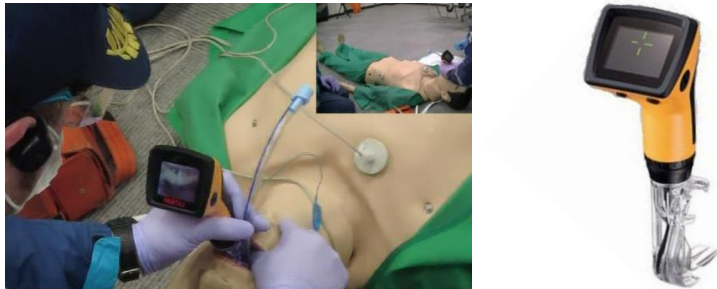
事務事業名	消防機械器具整備費	所管課	警防救急課
		決算額	98,949千円
事業内容	老朽化した消防車両、消防機械器具等の更新整備に伴い、災害活動時の安全管理対策につながる車両・機械器具等について、軽量化・高機能化等を行う。		
成果・実績	<p>◎消防用ホース更新整備業務 消防用ホースの更新整備85本</p> <p>◎空気呼吸器本体、面体及び空気呼吸器用軽量空気ポンベの更新整備業務 空気呼吸器本体の更新整備12基 面体の更新整備4基 空気呼吸器用軽量空気ポンベ22本</p> <p>◎消防ポンプ救助車1台の更新整備業務 84,590千円</p> <p>◎指令車1台の更新整備業務 4,112千円</p>		
	 <p>消防ポンプ救助車</p>		
事業評価	各種装備・機械器具・車両の更新により、被害の軽減及び隊員の安全管理を図ることができた。今後も引き続き必要な機能及び数量を精査する中で、計画的な消防車両及び消防機械器具の更新を行い、消防力の充実に努める必要がある。		

事務事業名	専門職員養成費	所管課	警防救急課																
		決算額	3,417千円																
事業内容	救急救命士制度の創設及び救急隊員の行う応急処置範囲の拡大に伴い、専門教育を受講し、隊員の資質・技能を向上することで救命率の向上を図る。																		
成果・実績	<p>救急救命士の新規養成1人と、拡大処置認定救急救命士として気管挿管認定1人、また本年度からはビデオ硬性挿管用喉頭鏡を使用した気管内挿管認定を1人養成し、救急高度化の充実・強化を図った。</p> <p style="text-align: center;">救急救命士新規養成及び処置拡大救急救命士研修実績</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">研修名</th> <th style="width: 30%;">場 所</th> <th style="width: 20%;">期 間</th> <th style="width: 20%;">人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急救命士養成教育</td> <td>京都市救急教育訓練センター</td> <td>7カ月</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>気管挿管病院実習</td> <td>市内医療機関</td> <td>30症例</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>ビデオ硬性挿管用喉頭鏡を使用した気管挿管病院実習</td> <td>市内医療機関</td> <td>5症例</td> <td>1人</td> </tr> </tbody> </table>			研修名	場 所	期 間	人数	救急救命士養成教育	京都市救急教育訓練センター	7カ月	1人	気管挿管病院実習	市内医療機関	30症例	1人	ビデオ硬性挿管用喉頭鏡を使用した気管挿管病院実習	市内医療機関	5症例	1人
研修名	場 所	期 間	人数																
救急救命士養成教育	京都市救急教育訓練センター	7カ月	1人																
気管挿管病院実習	市内医療機関	30症例	1人																
ビデオ硬性挿管用喉頭鏡を使用した気管挿管病院実習	市内医療機関	5症例	1人																
事業評価	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部実習が制限又は中止となったが、救急隊員の資質・技能を向上させることにより、救急高度化の充実・強化を図ることができた。今後も新たな時代に対応するため計画的な救急救命士の養成に努め、救命率の向上を図る必要がある。																		

令和 2 年度決算成果説明書


総合計画の体系		所管部局
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち	消防本部
中分類	02 安全・安心なまちづくりへの対応	
小分類	02 消防・救急の充実	



事務事業名	AED整備費	所管課	警防救急課
		決算額	3,466千円
事業内容	市内各公共施設にAEDを設置し、心肺停止傷病者に対して即時対応できる体制整備を行い、市民の救命率の向上を図る。 また、各消防署等に設置しているAEDの更新整備を実施する。		
成果・実績	平成30年8月から5年間の長期賃借契約により、公共施設86か所にAEDを更新整備し、迅速に救命できる体制を行っている。設置公共施設職員や利用者に救命講習を実施し救命のための習得促進に努めた。 また、消防本部・各消防署・分署・出張所に設置しているAEDの更新整備を実施した。消防庁舎に設置したAEDは、消防隊現場活動時に携帯し、あらゆる事態にも迅速に救命できる体制づくりに努めた。		
			
事業評価	2件の使用事例があり、市民の生命を守ることができた。また今後も引き続きAEDの取扱いの習得促進など、効果的・効率的な維持管理の検討を行い、救命率の向上を図る必要がある。		

事務事業名	高度救急設備整備費	所管課	警防救急課
		決算額	737千円
事業内容	救急体制の強化及び高度救急業務の推進を図るために、ビデオ硬性挿管用喉頭鏡の新規整備を行う。		
成果・実績	ビデオ硬性挿管用喉頭鏡を導入し、気管内挿管の対象症例を拡大することにより、救急活動の高度化を図った。またコロナ禍における救急活動については、ビデオ硬性挿管用喉頭鏡を積極的に使用した気管内挿管をすることで、救急隊の感染リスクを低減するとともに、搬送先医療機関医療従事者の感染リスクの低減を図った。		
			
事業評価	新型コロナウイルス感染症の影響により、ビデオ硬性挿管用喉頭鏡の使用に必要な病院実習が、実施困難な状況であるが、1人の資格者を養成した。感染症に有効な機器であることから、今後も計画的な導入と資格者の養成を行い、感染リスクの軽減を図り市民の安全安心に努める必要がある。		

令和2年度決算成果説明書


総合計画の体系		所管部局
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち	消防本部
中分類	02 安全・安心なまちづくりへの対応	
小分類	02 消防・救急の充実	

事務事業名	通信施設維持管理費	所管課	指揮指令課
		決算額	32,861千円
事業内容	各種災害の受信・指令等、災害事案を管理する高機能指令システムの維持管理及び災害出動隊の通信手段である消防救急デジタル無線設備の維持管理を行う。		
成果・実績	◎NET119緊急通報システム整備事業業務委託 登録者数 87人		726千円
			
	◎消防通信指令システム部材交換 消防情報支援システムサーバーHDD交換及び署所端末装置バッテリー交換を実施。		3,959千円
	◎消防救急デジタル無線部材交換 直流電源装置用蓄電池及び受令機用バッテリーの交換を実施。		5,758千円
事業評価	NET119緊急通報システムにより、会話に不自由な聴覚・言語機能障がい者の方が、スマートフォン等のインターネット機能を利用して、いつでも全国どこからでも119番通報できる体制の構築を図れた。今後も多様化する119番通報に対応できる体制を整備していく必要がある。		

事務事業名	救急搬送体制強化事業費	所管課	警防救急課
		決算額	6,210千円
事業内容	新型コロナウイルス感染症に対する救急搬送体制の強化を行う。		
成果・実績	<p>新型コロナウイルス感染症傷病者に対応するための資器材が不足しないよう、必要な物品を重点的に備蓄し今後の感染に備えるとともに、傷病者家族や関係者に安心して救急車を利用してもらえるよう車内に設置できる陰圧シールドを導入。また、導入する事で消毒時間の短縮を図り、次の出動への備えを早期に整えることができた。</p>		
	 		
事業評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を実施し、救急搬送体制を確保できた。今後も必要に応じた体制強化を実施し、市民の安全・安心確保に努める必要がある。		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち	消防本部
中分類	02 安全・安心なまちづくりへの対応	
小分類	02 消防・救急の充実	

事務事業名	救急安心センター事業	所管課	警防救急課
		決算額	2,350千円
事業内容	<p>京都府と府内の消防本部が共同で運営する救急安心センター事業（救急安心センターきょうと）は、共通の短縮ダイヤル#7119を使用し、医師・看護師・相談員等が救急車を呼ぶべきか、医療機関を受診すべきかなど、医療相談をはじめ、受診可能な医療機関の案内まで、判断に悩む住民（全年齢）からの相談に対して助言を行う。</p>		
成果・実績	<p>不急の救急要請の抑制や、潜在的な重症者を救急要請に導くことができた。 新型コロナウイルスの影響も踏まえて、継続して検証する必要がある。また、利用者からは相談することで安心を得られたという声も報告された。</p> <p>◎事業負担金 1,982千円 ◎広報関連費用 368千円</p> <div style="text-align: right;">  <p>京の救急受診ガイド 救急の電話相談窓口 24時間 365日 #7119 または ☎0570-00-7119</p> </div>		
事業評価	<p>令和2年度救急安心センターきょうと検証会議においても、事業効果が確認されており、今後も検証結果を注視しつつ、継続して市民に周知を図る必要がある。</p>		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	その他
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実	
小分類	01 市民参加機会の充実と情報公開の推進	

事務事業名	議会改革推進事業費	所管課	議会事務局
		決算額	1,985千円
事業内容	円滑な議会運営のため、議会改革に取り組む。各委員会活動充実のための研修会及び市民に開かれた議会を目指し、本会議及び委員会の生中継と録画配信を行う。また、議会関連資料の閲覧や検索等、情報の共有化及び情報伝達の簡素化を図るため、タブレット端末を活用する。		
成果・実績	◎委員会研修 20千円		
	委員会	研修内容	参加人数
	市民環境	宇治の農業の歴史と現状・課題について	16
	◎議会映像インターネット配信経費 63千円		
	録画映像アクセス数	19,655件	
	◎タブレット端末・クラウド接続経費 1,902千円		
事業評価	新型コロナウイルス感染症の拡大防止により本会議等の傍聴制限を設けた際も、開かれた議会を実現するため、本会議等のインターネット配信の活用により議会の情報を広く市民に発信することができた。また、昨年度に導入したタブレット端末を活用し、一部の会議をリモートで試行開催するなど、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を講じた議会運営に努めることができた。今後も開かれた議会を目指し、議会改革に取り組み、さらなる議会運営の活性化に努める必要がある。		

事務事業名	議会広報活動費	所管課	議会事務局
		決算額	6,478千円
事業内容	議会活動を市民に周知し、議会への関心と理解を深め、住民自治の高揚を図るため、「議会だより」を発行する。また、「市政概要」を発行し、市政全般にわたる制度、市政執行の状況などを掲載して、市政の手引きとして活用する。		
成果・実績	◎議会だより発行経費 6,329千円		
	・発行回数	4回	
	・年間発行部数	322,910部	
	◎市政概要発行経費 138千円		
	・発行回数	1回	
	・発行部数	130部	
事業評価	議会だよりを各戸配布し、全市民へ議会の情報を発信した。今後も市民の議会への関心を高めるため、より分かりやすい情報発信の手法について引き続き検討する必要がある。		



令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	その他
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実	
小分類	01 市民参加機会の充実と情報公開の推進	

事務事業名	選挙啓発推進費	所管課	選挙管理委員会事務局
		決算額	27千円
事業内容	選挙が公明かつ適正に行われるように、様々な機会を通じて選挙人の政治意識の向上に努める。		
成果・実績	<p>明るい選挙の推進のため、啓発ポスター・標語の募集、新有権者へのバースデーカードの送付などの各種啓発事業を行った。</p> <p>また、出前講座等の実施を通じて、主に若年層に対する啓発を行った。</p>		
事業評価	市民の政治意識及び投票率の向上のため、各種啓発活動に取り組んだ。今後は、特に若年層の投票率改善に向けて、主権者意識の醸成等に資する、より効果的な啓発活動を検討する必要がある。		

事務事業名	宇治市長選挙執行費	所管課	選挙管理委員会事務局																										
		決算額	49,654千円																										
事業内容	任期満了に伴う宇治市長選挙を執行する。																												
成果・実績	<p>12月6日に宇治市長選挙を執行した。</p> <p>◎執行状況</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 5px 0;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">当日の有権者数</th> <th rowspan="2">投票者数</th> <th rowspan="2">投票率</th> <th colspan="2">期日前投票者数</th> </tr> <tr> <th>市役所 (6日間)</th> <th>アル・プラザ 宇治東 (3日間)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男</td> <td style="text-align: center;">73,038 人</td> <td style="text-align: center;">24,711 人</td> <td style="text-align: center;">33.83%</td> <td style="text-align: center;">3,641人</td> <td style="text-align: center;">2,020人</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td style="text-align: center;">80,212 人</td> <td style="text-align: center;">27,455 人</td> <td style="text-align: center;">34.23%</td> <td style="text-align: center;">4,117人</td> <td style="text-align: center;">3,040人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: center;">153,250 人</td> <td style="text-align: center;">52,166 人</td> <td style="text-align: center;">34.04%</td> <td style="text-align: center;">7,758人</td> <td style="text-align: center;">5,060人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※今回の選挙からアル・プラザ宇治東に期日前投票所を増設</p>				当日の有権者数	投票者数	投票率	期日前投票者数		市役所 (6日間)	アル・プラザ 宇治東 (3日間)	男	73,038 人	24,711 人	33.83%	3,641人	2,020人	女	80,212 人	27,455 人	34.23%	4,117人	3,040人	合計	153,250 人	52,166 人	34.04%	7,758人	5,060人
	当日の有権者数	投票者数	投票率					期日前投票者数																					
				市役所 (6日間)	アル・プラザ 宇治東 (3日間)																								
男	73,038 人	24,711 人	33.83%	3,641人	2,020人																								
女	80,212 人	27,455 人	34.23%	4,117人	3,040人																								
合計	153,250 人	52,166 人	34.04%	7,758人	5,060人																								
事業評価	今後も公明かつ適正な選挙事務の執行に努めるとともに投票しやすい環境づくりに努める必要がある。																												

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	その他
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進	
小分類	03 行政サービスの充実	

事務事業名	監査委員活動費	所管課	監査委員事務局
		決算額	87千円
事業内容	<p>本市の事務の執行、管理等について法令に適合し、正確で、経済的、効率的かつ効果的な実施を確保するとともに、本市の行財政運営について、健全性及び透明性の確保に寄与し、もって市民の福祉の増進と市政の信頼確保に資することを目的として、例月現金出納検査、定期監査、随時監査、決算審査などを行う。</p>		
成果・実績	<p>定期監査は、22課4センター4校1園を抽出し実施した。 随時監査は、平成30年度の定期監査において指摘事項のあった9課を抽出して実施した。 例月現金出納検査は、一般会計、特別会計、公営企業会計について毎月実施した。 決算審査は、一般会計・4特別会計・2公営企業会計及び基金運用状況について実施した。 健全化判断比率等審査は、健全化判断比率・資金不足比率について実施した。 なお、参画する全国都市監査委員会、近畿地区都市監査委員会及び京都府都市監査委員会の総会及び研修会などは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面開催あるいは中止となった。</p>		
事業評価	<p>各種研修会は全て中止となったが、過去の研修実績等により、事務事業の指導監査を適正に行うことができた。</p>		

事務事業名	公平委員会運営費	所管課	公平委員会事務局
		決算額	101千円
事業内容	<p>地方公務員法の規定に基づき、職員の不利益処分の審査請求及び勤務条件に関する措置の要求に対して審査、判定などを行う。</p>		
成果・実績	<p>宇治市公平委員会議事規則により定例会を4回、臨時会を2回開催し、職員団体登録に伴う審査や公平委員会規則の一部改正の議決等を行った。 なお、参画する全国公平委員会連合会、同近畿支部及び京都府公平委員会連合会の総会及び事務研究会などは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面開催あるいは中止となった。</p>		
事業評価	<p>事務研究会は全て中止となったが、過去の研修実績等により、適正に審査を行うことができた。</p>		

令和2年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	その他
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進	
小分類	03 行政サービスの充実	

事務事業名	固定資産評価審査委員会運営費	所管課	固定資産評価審査委員会事務局
		決算額	28千円
事業内容	地方税法の規定に基づき、固定資産税、都市計画税の課税の基礎となる固定資産課税台帳に登録された事項に関する納税者からの審査申出について審査、決定する。		
成果・実績	土地1件の審査申出を受け、委員会を7回開催した。		
事業評価	審査申出について、適正に審査を行い決定することができた。		

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	その他
中分類	03 農林漁業・茶業の振興	
小分類	01 農業の振興	

事務事業名	農業委員会運営費	所管課	農業委員会事務局
		決算額	636千円
事業内容	農業委員会等に関する法律第6条に規定する所掌事務、農業者年金業務、京都府国有農地等管理処分事業事務及び農業委員会の運営を行う。		
成果・実績	<p>農業委員会等に関する法律に基づき、農業委員会総会を13回開催し、農地法に基づく農地の権利移動及び転用などについての審議を行ったほか、租税特別措置法に基づく相続税納税猶予特例適用に係る証明願の承認及び農地の利用状況確認等を行った。</p> <p>また、各部会等の活動及び研修会等を通じて、農地行政の適正な執行に努めた。</p> <p>一方、市長部局（農林茶業課）及び関係機関と連携し、農地利用の最適化の推進を図るとともに、農業経営基盤強化促進法に基づく農地の利用権設定の推進、農業者年金の各種届出等への対応及び加入促進事業に取り組んだ。</p> <p>さらに、農家への啓発活動として「農委だより・うじ」の発行等を行った。</p>		
事業評価	農業委員会等に関する法律等に基づき、適正に農地行政経費を執行し、農地利用の審議及び農家への啓発などを図ることができた。今後も円滑な委員会運営に努め、農家への啓発や農地利用の最適化の推進を図る必要がある。		

用品調達基金運用状況表

(単位：円)

借 方		科 目	貸 方	
残 高	累 計		累 計	残 高
1,206,821	2,705,878	在 庫 用 品	1,499,057	
4,793,179	6,475,767	預 金	1,682,588	
	2,001,630	未 収 金	2,001,630	
	1,179,970	未 払 金	1,179,970	
		基 金	6,000,000	6,000,000
6,000,000	12,363,245	小 計	12,363,245	6,000,000
		払 出 差 益	508,981	508,981
		受 取 利 息	45	45
		雑 利 益		
6,408	6,408	雑 損 失		
502,618	502,618	一般会計繰出金		
509,026	509,026	小 計	509,026	509,026
6,509,026	12,872,271	合 計	12,872,271	6,509,026